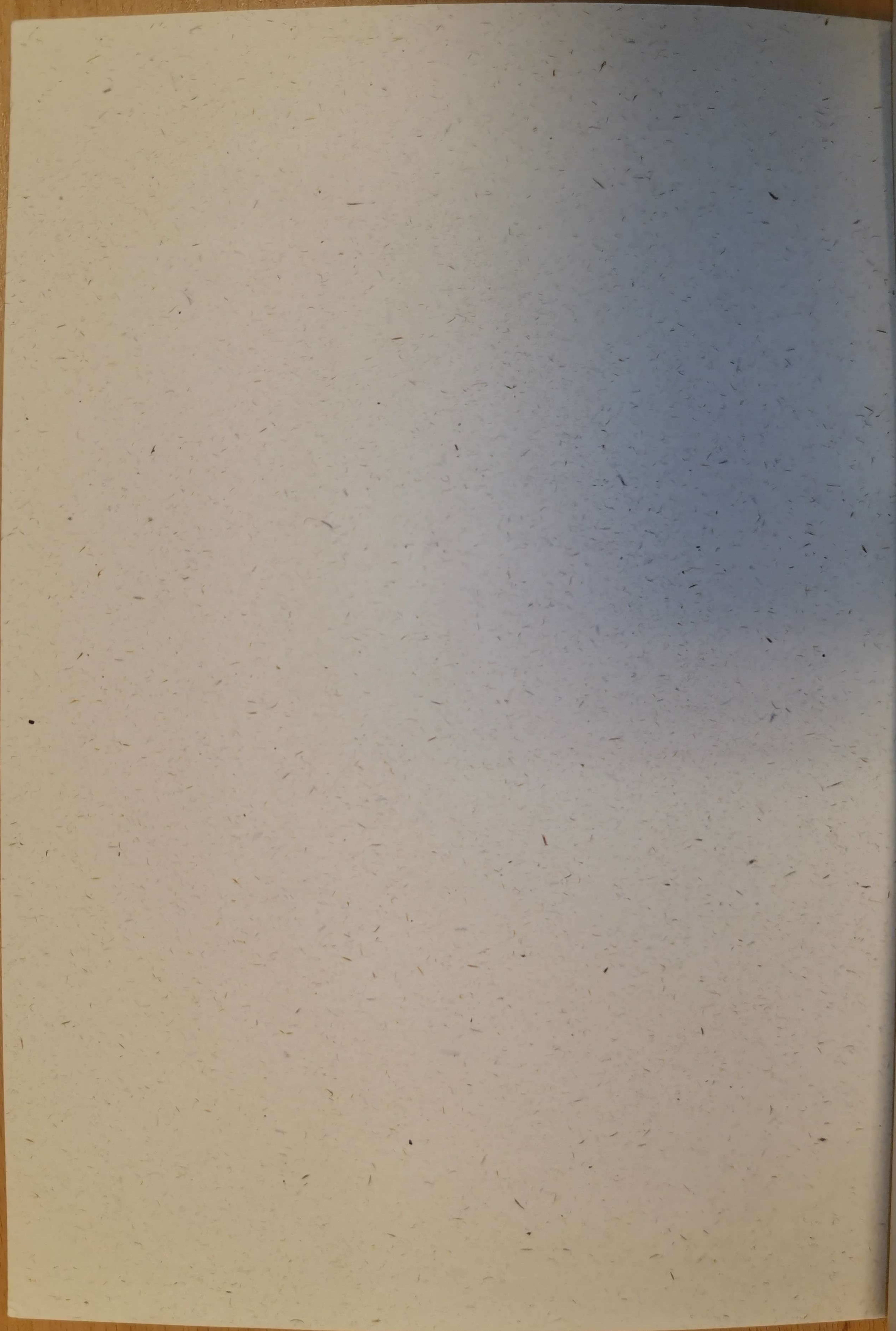
日本語ワードプロセッサ カートリッジ

EC701 使用説明書

MSX, MSX2

あ

Konami®

はじめに

このたびは、コナミの EC701 日本語ワードプロセッサカートリッジをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

EC701はMSXシステムでご利用いただく日本語ワープロソフトです。小さなプログラム・カートリッジの中に、充実した辞書機能、本格的な編集機能を備えているので、家庭や職場での文書作りに活躍します。

操作はメニュ方式ですから、必要な機能を簡単に選ぶことができます。さらに、ヘルプ機能が用意されているので、操作を忘れても、どのキーを押したらよいかがすぐわかる親切設計です。

コナミ株式会社

目　次

PART 1 ご使用になる前に

PART 2 まず、文章を書いてみましょう

PART 3 キーボードの使いかた

PART 4 知っておきたいこと

PART 5 美しい文書作りをめざして

PART 6 印刷しましょう

PART 7 文書や辞書の保存と呼出

付　録

センタリング(139)
倍幅文字(144)
横リピート(97)
縦リピート(98)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆
☆　スキーツアーのお知らせ　☆
☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

右寄せ(140)
半幅文字(49)
内蔵句(95)

11月20日

おまっとさんでした！
冬の到来を告げる雪だよりを横目に、今年も恒例のスキーツアーを実施します。
スキー好きも、下手も上手も、老いも若きもきっとご満足していただけるように、
ねりにねった企画の総攻撃！！
さあ、あなたはこの集中砲火にどこまで耐えられるか？

タブ(99)
アンダーライン(146)

1　「下手なままでは帰れない」スキー教室
2　人間雪だるまころがし
3　雪の中でのきもだめし

などなど迫力満点の企画があなたをお待ちしております。今年は申し込みが殺到しそうなので、先を争ってお申しこみください。

作表(107)

期　間	12/26 ～ 12/28
場　所	妙高高原赤倉国際スキー場
募集人員	20人まで（先着順）
宿　泊	ペンション・クヌルプ
費　用	２万円（１名）

日常漢字(91)
特殊記号(89)

〆切り　：　12月5日
申込先　：　制作室・近藤まで
（内線３００番）

この使用説明書の読みかた

この使用説明書のあらましを下記の表にまとめてあります。あなたの経験や必要に合わせてご利用ください。右端のマークの意味は次のとおりです。

◎………使う前に必ずお読みください。
○………知っておくと便利なことが書いてあります。順番通りに読む必要はありません。
☆………必要に応じてお読みください。

項　　目	内　　容	マーク
PART 1 ご使用になる前に	このソフトを使用する前に必要な準備や周辺機器の接続、操作の始めかたと終わりかたについての説明です。	◎
PART 2 まず、文章を書いてみましょう	簡単な文章を書きながら、このソフトの基本的な操作を説明します。	☆
PART 3 キーボードの使いかた	文書作成の基本になるキーボードの使いかたやキーのはたらき、このソフトで書ける文字の種類や書きかたの説明です。	◎
PART 4 知っておきたいこと	このソフトの画面、カーソルの動き、文書作成のながれなどを説明します。	○
PART 5 美しい文書作りをめざして	このソフトの機能の使いかたを説明します。必要なところを辞書的にお使いください。	○
PART 6 印刷しましょう	印刷形式の指定のしかた、印刷の手順などについての説明です。	○
文書や辞書の保存と呼出	このソフトで作った文書をフロッピディスクやカセットテープへ保存する方法の説明です。	☆
付　　録	印字サンプル、ローマ字変換の規則、各種一覧表や困ったときの対処のしかたなどをまとめたページです。	☆

- 初めてお使いになる方は、PART1をしっかり読んで1番始めに行う準備をしてから、他のところをお読みください。
- 最初から順番に読む必要はありません。PART1とPART2を読めば、簡単な文章を書いて印刷することができます。その他のところは、必要に応じてお読みください。
- MSXパソコンの経験者は、PART3に関しては特に読む必要はありません。必要に応じてご利用ください。

表記上の約束

この使用説明書には表記上で次の約束事があります。

記号の意味

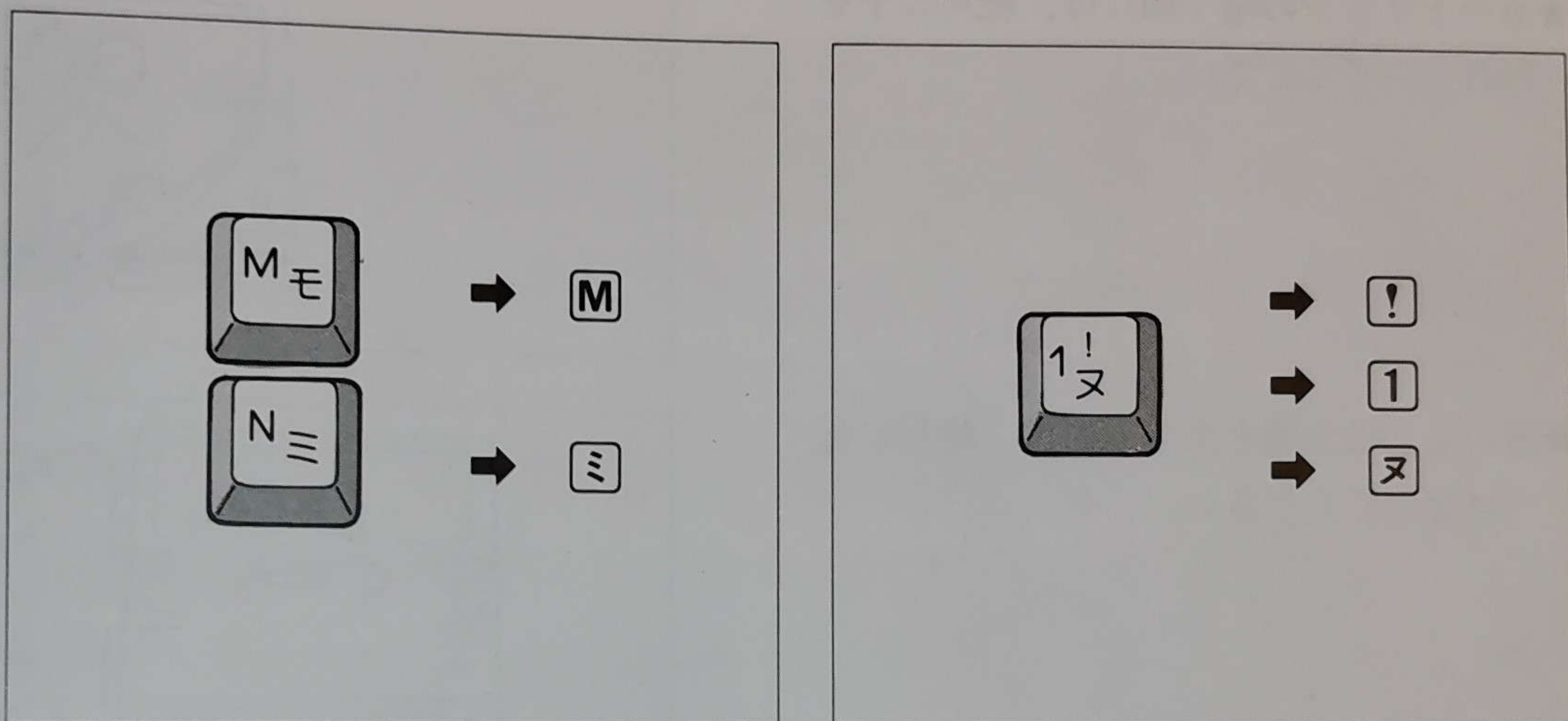
✎ この記号の前に書かれていた内容に関連のある情報や、覚えておくと便利なことが書いてあります。

⚠ 注意や禁止事項について書いてあるので、必ずお読みください。

キーマークの表記

1つのキーに複数の文字や記号が書かれている場合は、全てを書くと分かりにくいので、操作の説明に必要な部分だけを表記しています。

M モ → M
N ミ → ミ

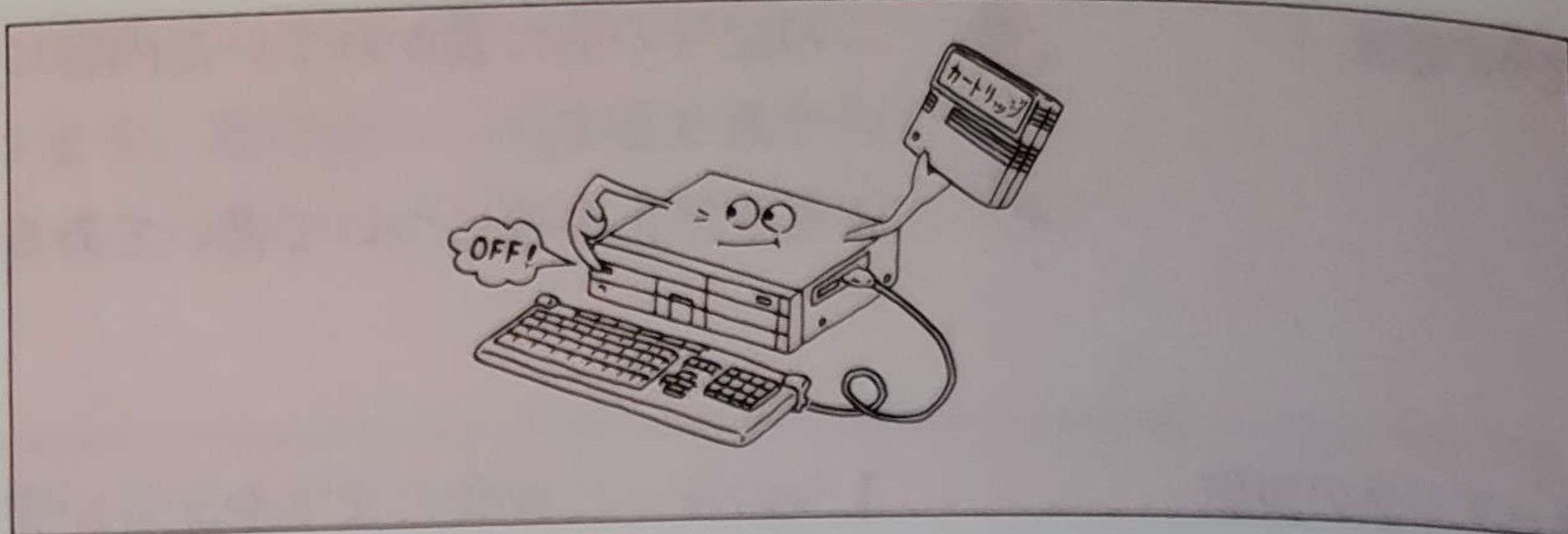
1 ! ヌ → !
→ 1
→ ヌ

キーを押すときの表記

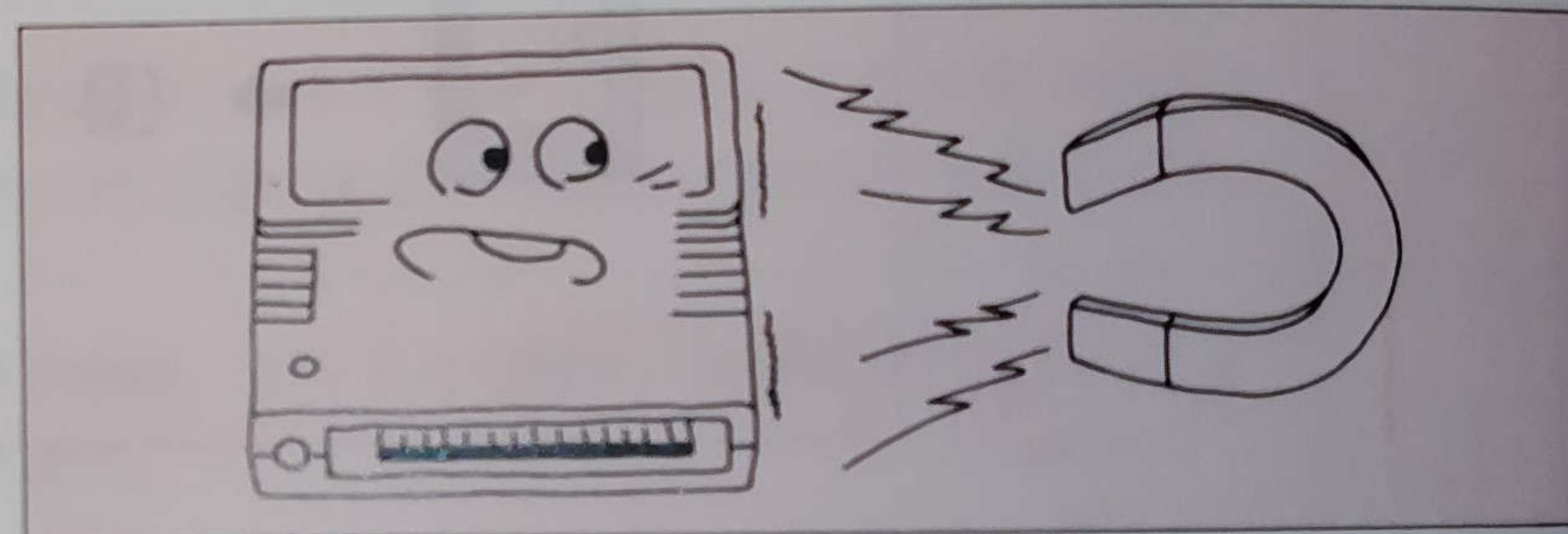
STOP + ESC ……………………… キーとキーの間に「+」のしるしがあるときは、左のキーを押しながら、右のキーを押すという意味です。

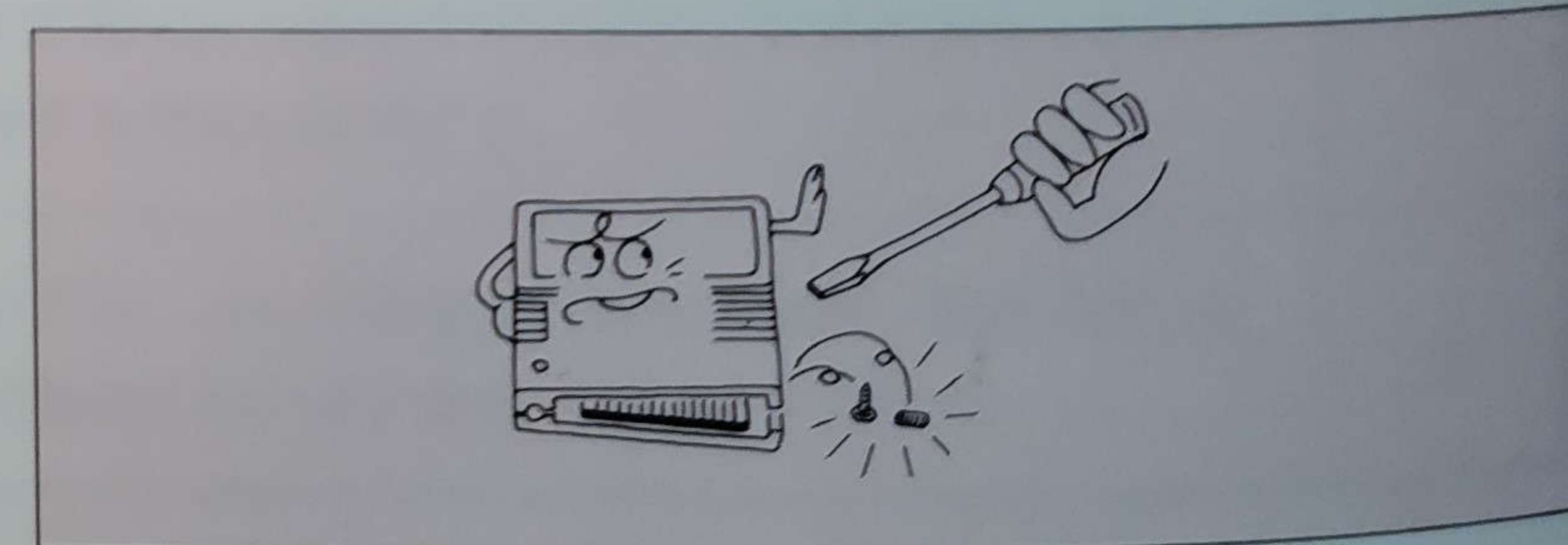
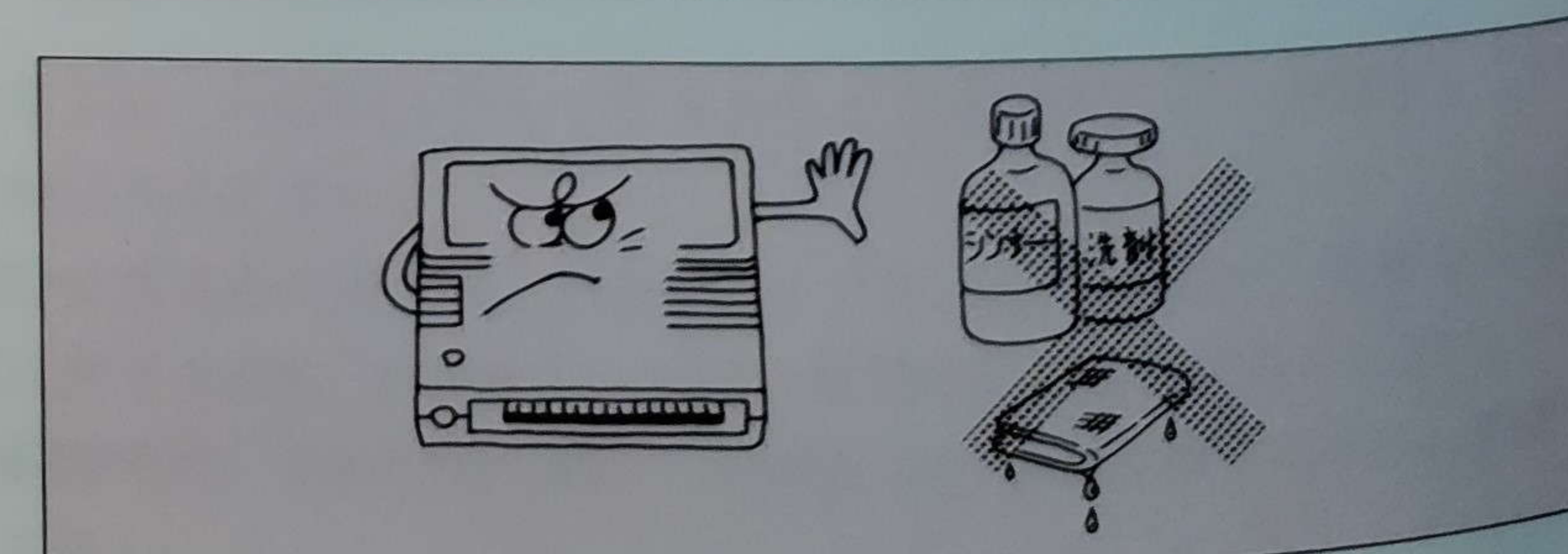
O T T ……………………………… キーが並んでいるときは、左のキーから順番に押すという意味です。

取扱い上で注意する点

このソフトを正しくお使いいただくために、次のことに注意してください。

★本体に接続したり、取りはずすときは、必ず電源をＯＦＦにしてください。電源を入れたままおこなうと、ＭＳＸ本体が故障したり、プログラムの内容がこわれるおそれがあります。

★カートリッジの端子部には、絶対に手を触れないでください。

★磁石など磁力線を出すものは、絶対に近づけないでください。

★カートリッジは高温や湿気、ホコリに弱いので、そのような場所に放置しないでください。

★カートリッジを分解しないでください。

★揮発性の溶剤や洗剤、あるいは水分を含んだ布などで拭かないでください。

PART 1

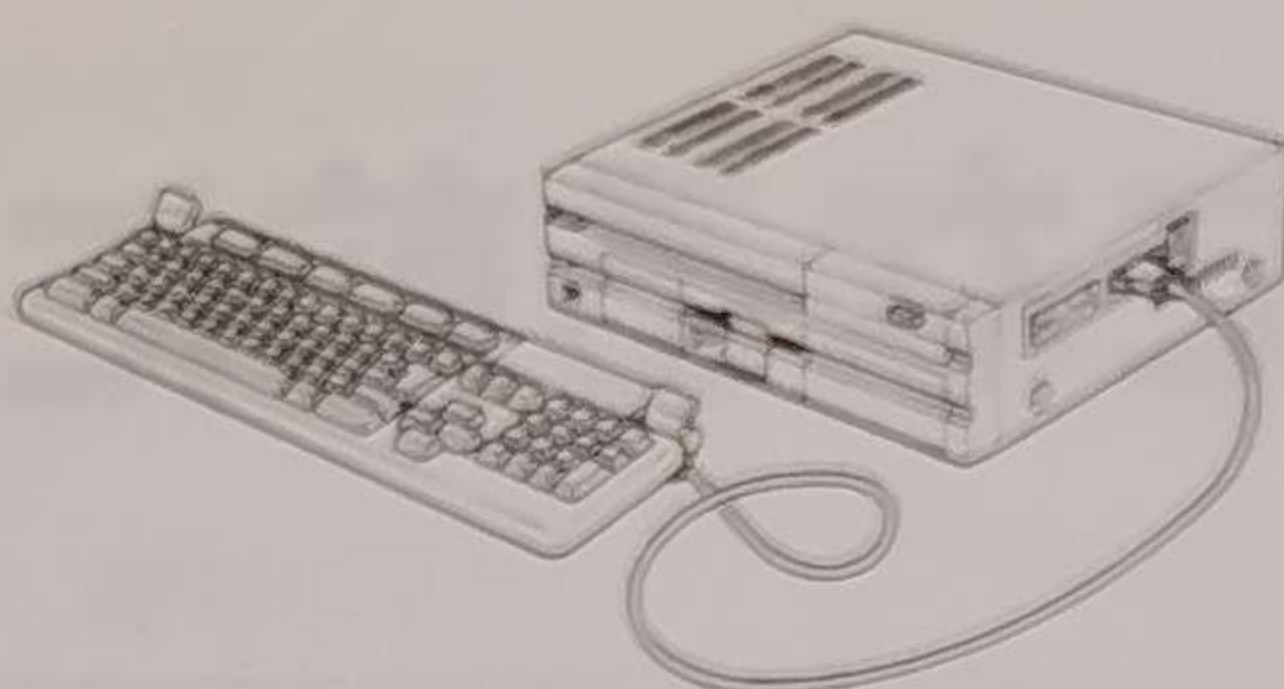
ご使用になる前に

日本語ワープロで、実際に文字を書きはじめる前に、必要な準備があります。あらかじめ知っておいたほうがよい取り扱いの注意もあります。
この章では、必要な装置の確認や、その接続、始めかたや終わりかたを説明します。

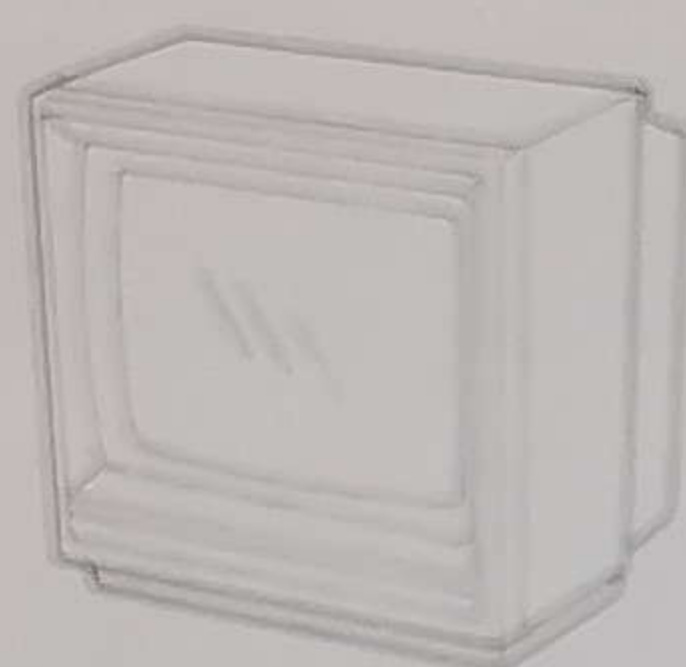
この章の内容

必要な装置

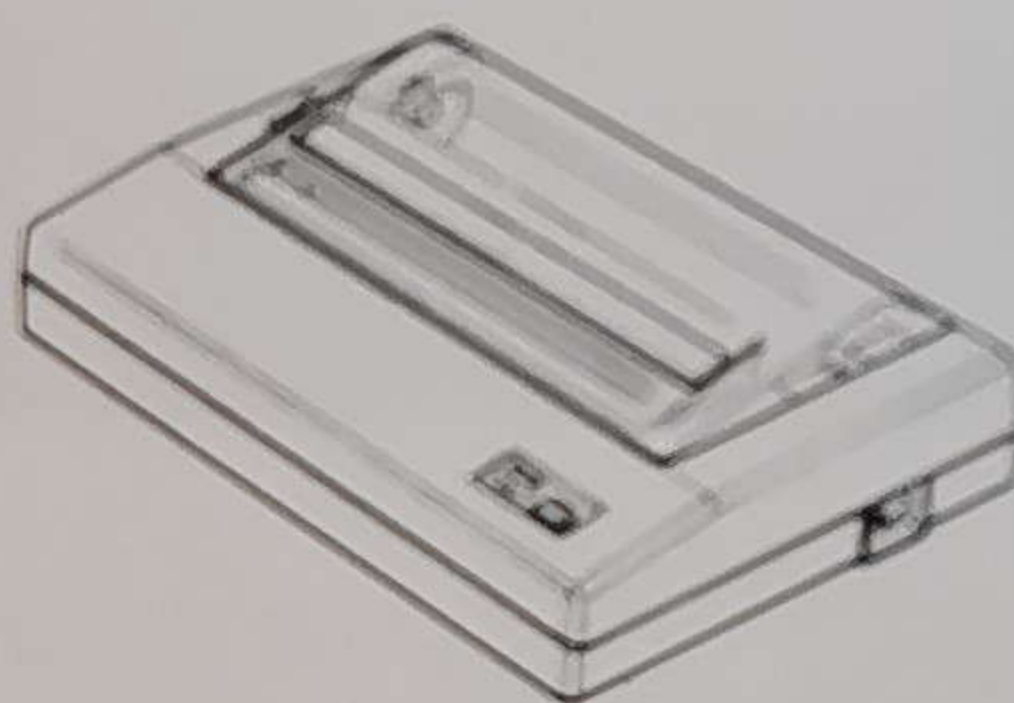
お手持ちのＭＳＸパソコンを日本語ワープロとして使うためには、この日本語ワードプロセッサカートリッジ（以下、プログラムカートリッジといいます）と付属の漢字ＲＯＭカートリッジの他に、以下の装置が必要です。

MSX本体

このソフトを動かす頭脳としてはたらきます。16ＫＢ以上のＲＡＭ容量が必要です。

プログラムカートリッジと漢字ＲＯＭカートリッジの両方を取りつけるため、カートリッジ用スロットが1つのものでは使えません。

テレビ

テレビの画面に文字を書いて、文書を作っていきます。途中の操作に必要な指示なども画面に表示されます。

お手持ちのパソコンがMSX2規格の場合、テレビの画面に1行30文字まで表示させることができます。この場合、アナログＲＧＢ端子（21ピン）付のテレビ以外では、文字が不鮮明になります。

プリンタ

作った文書を紙に印刷します。

このソフトで使用できるのは次の3種類のプリンタです。

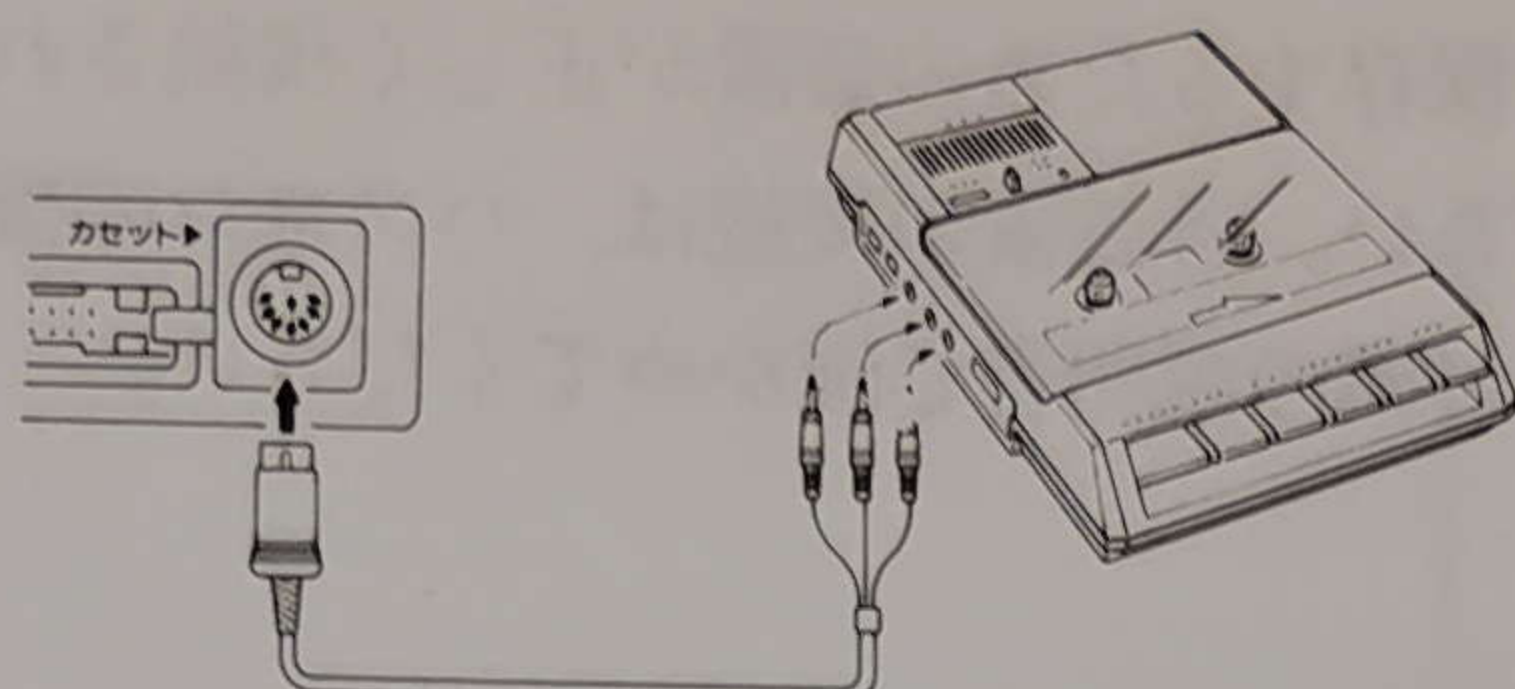
●ＭＳＸ—Ａ……ＭＳＸ仕様のプリンタで1行に最大1120ドット印字できます。
●ＭＳＸ—Ｂ……ＭＳＸ仕様のプリンタで1行に最大1280ドット印字できます。
●ＥＳＣ／Ｐ……ＥＳＣ／Ｐ仕様のプリンタ。

プリンタに付属の説明書で、イメージプリント1行に印字できる最大のドット数を確かめてください。

上記以外のプリンタは使えません。詳しくは、付属の説明書または販売店で確かめてください。

あれば便利な装置

プログラムカートリッジには、作った文書を記憶できません。以下の装置があれば、作った文書を何度も修正して利用できます。

カセットレコーダ

作った文書をカセットテープに保存したり、保存した文書をテレビの画面に呼び出したりします。
フロッピディスクドライブに比べると、保存や呼び出しに時間がかかります。

カセットレコーダはカートリッジスロットが2つの場合でも、ＭＳＸパソコンに接続して使えます。

カセットテープ

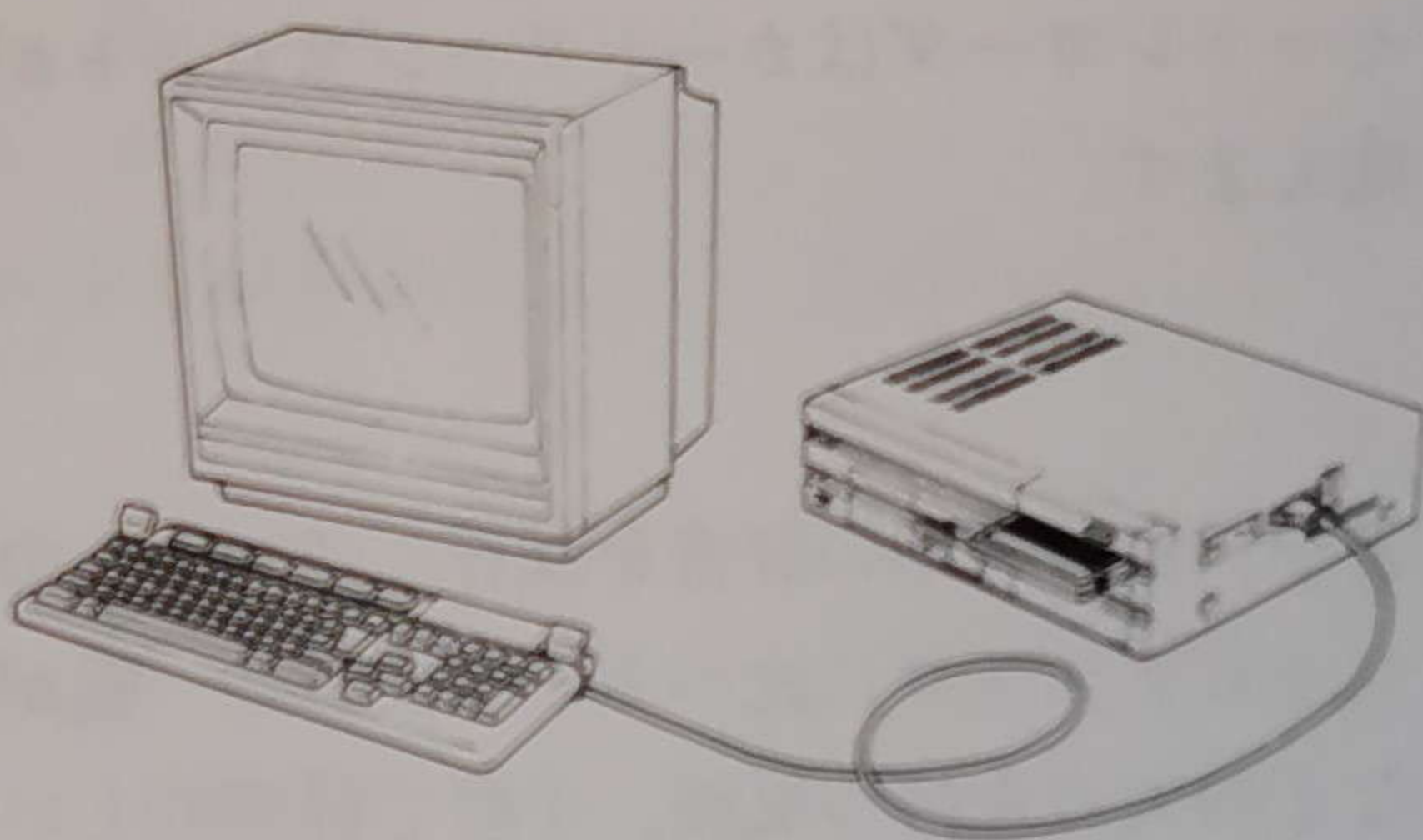
文書や、自分専用の辞書を保存しておくものです。
フロッピディスクに比べると、文書の一覧が作れない、うまく呼び出せないこともあるなどの欠点を持つ反面、手軽で経済的という長所があります。

フロッピディスクドライブをＭＳＸパソコンの拡張スロットに接続してお使いになる場合、ソフトがうまくスタートしないことがあります。この場合、ソフトをお買い求めの販売店にご相談ください。

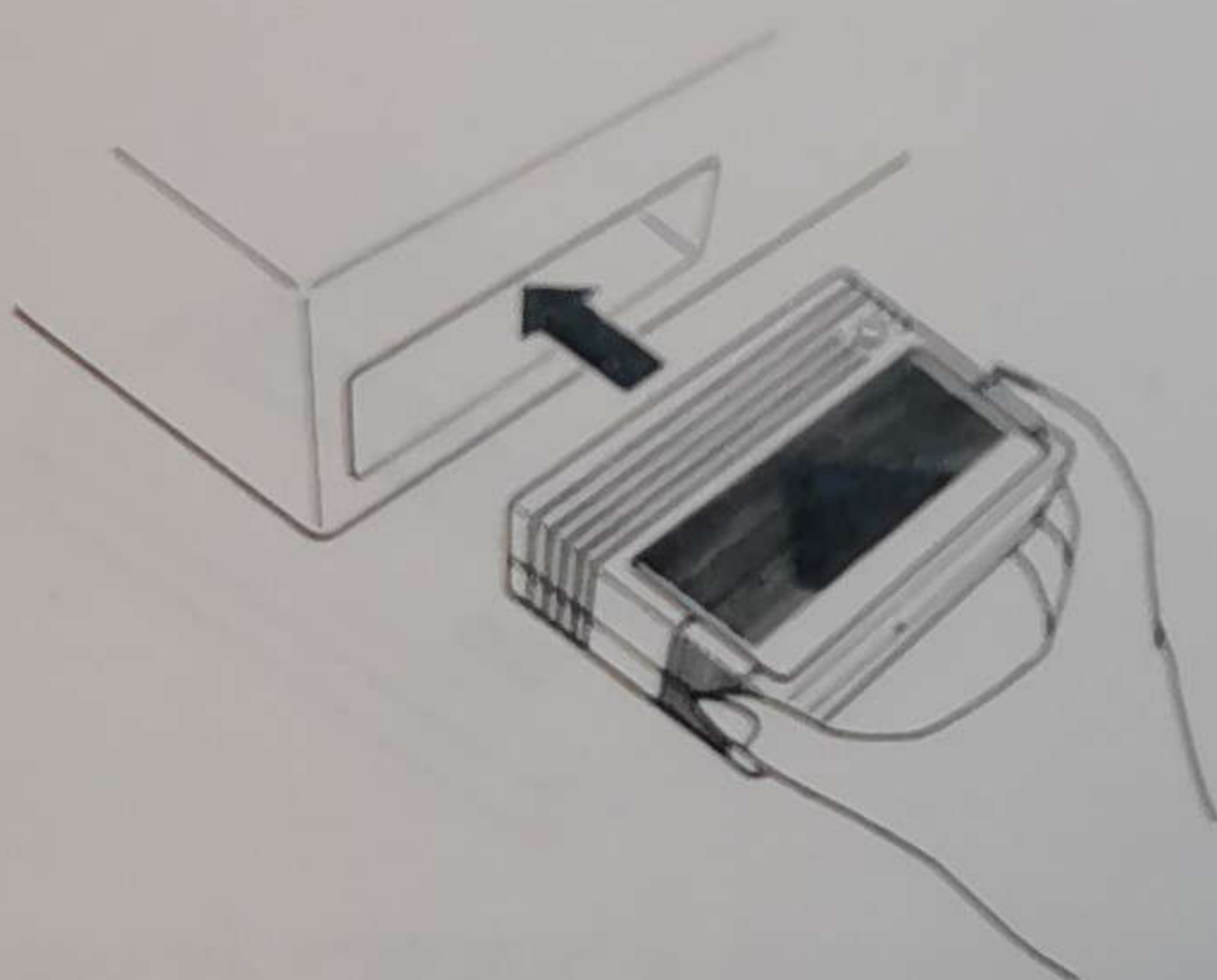
接続のしかた

このソフトを使いはじめる前に、必要な装置の接続を確認してから、プログラムカートリッジを取りつけてください。

装置の接続の確認

必要な装置や文書を保存するための装置が正しく接続されているか、あらかじめ確認してからお使いください。各装置の接続は、パソコンの機種や接続する装置の機種によって異なるため、付属の説明書で確かめてください。

プログラムカートリッジの取りつけ

プログラムカートリッジの取りつけ・取り外しの際は、次の原則を守ってください。

●取りつけてから、ＭＳＸパソコン本体の電源を入れる。
●ＭＳＸパソコン本体の電源を切ってから、取り外す。

電源が入っていないことを確認してから、漢字ＲＯＭをＭＳＸのスロットにしっかり差し込んでください。
カートリッジを差し込む方向は、パソコンの機種によって異なります。

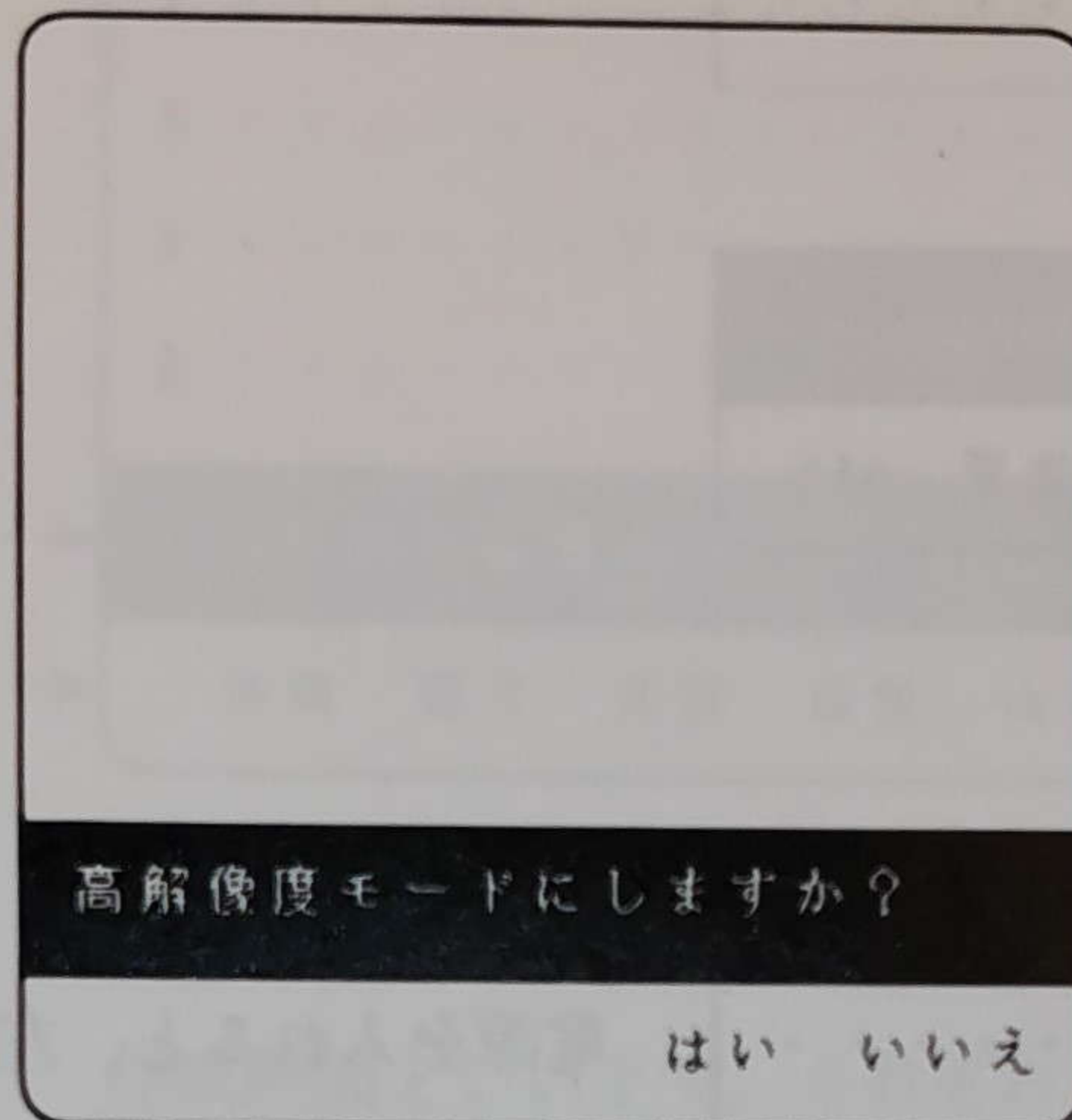
●縦に（垂直に）差し込むときは、ラベルが手前にくるように。
●横に（水平に）差し込むときは、ラベルが上を向くように。

ＭＳＸパソコン本体の電源が入った状態で、プログラムカートリッジの取りつけ・取り外しをすると、プログラムの内容がこわれるおそれがあります。

始めかた

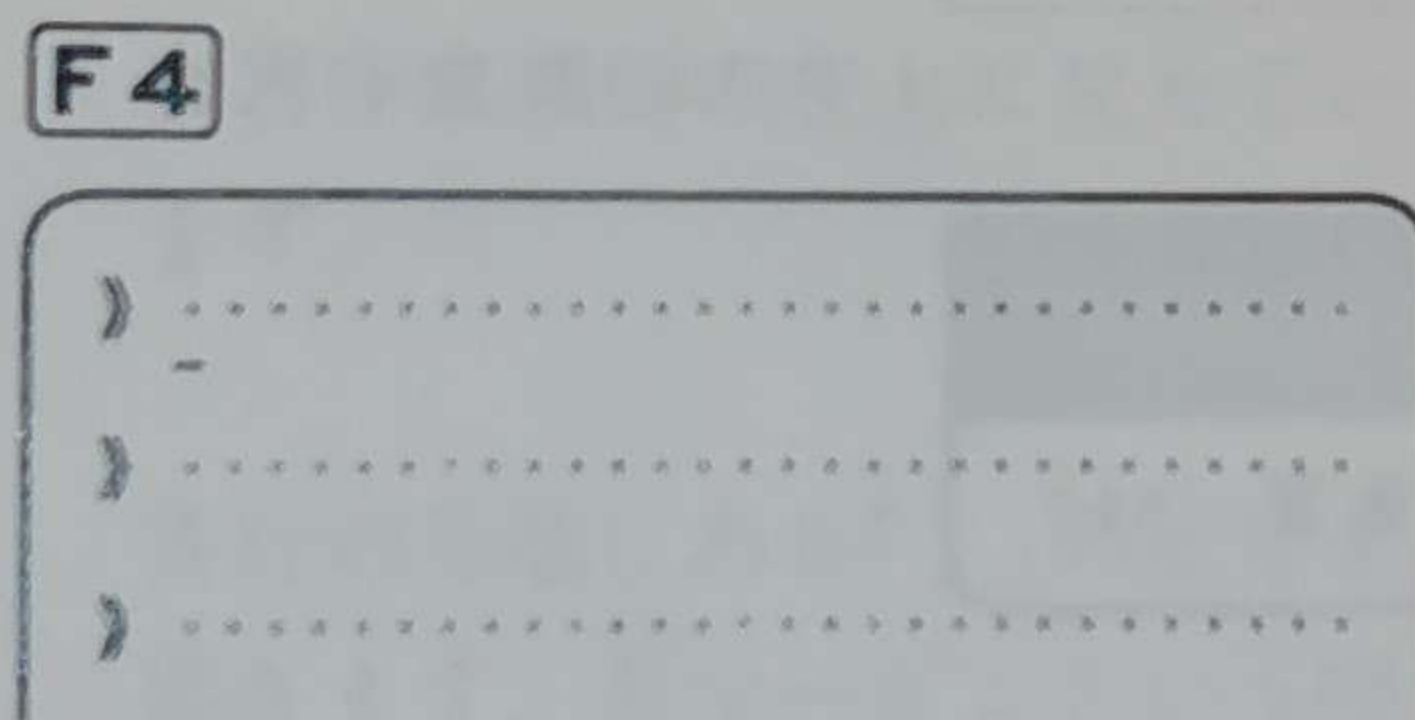
接続を確認して、プログラムカートリッジを取りつけたら、まずはMSXパソコン本体の電源を入れてみましょう。
電源を入れる順序は、テレビやプリンタなどまわりの装置の電源を先に入れ、あとからMSXパソコン本体の電源を入れます。

MSX2規格のパソコンで使うとき

高解像度モードにしますか？
はい　いいえ

テレビの画面にMSXマークが表示されてから、左の画面に変わります。

高解像度モードにするとき

F4（はい）を押す

F4

高解像度モードを選ぶと、1行に30文字を表示できる画面になります。

01 01 01 書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　変更　ヘルプ

アナログRGB端子付のテレビ以外では、漢字の表示が不鮮明になって、読めないことがあります。

この使用説明書では、これ以降、画面は15文字表示として説明していきます。画面に1度に表示できる文字の数を除けば、30文字表示でも15文字表示でも、利用できる機能は同じです。

高解像度モードにしないとき

F5

F5 (いいえ)を押す

```
》 .・・・・・・・・・・・・・
》 ・・・・・・・・・・・・・・
》 ・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01. 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ﾍﾙﾌﾟ
```

高解像度モードにしないほうを選ぶと、1行に15文字表示できる画面になります。

通常のMSXパソコンで使うとき

```
》 .・・・・・・・・・・・・・
》 ・・・・・・・・・・・・・・
》 ・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01. 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ﾍﾙﾌﾟ
```

電源を入れると、左の画面に変わります。

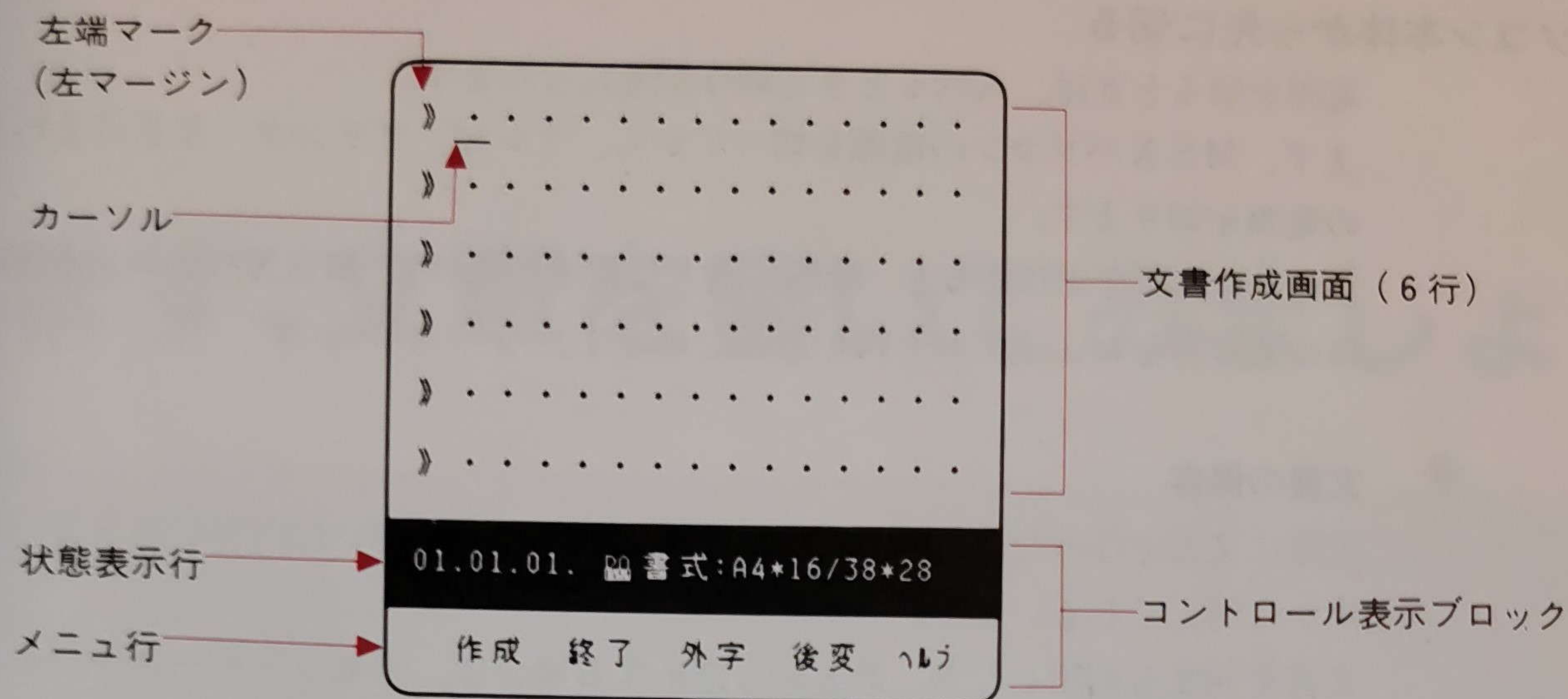
ＭＳＸ2規格のパソコンで、高解像度モードにしないほうを選んだ場合と同じです。

電源を入れると次のような画面になるとき

```
ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｷﾘ､ｶﾝｼﾞROMｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｲﾚ
ﾃ､ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ｡
```

漢字ＲＯＭカートリッジが取りつけられていません。
画面のメッセージに従って、電源を切って、漢字ＲＯＭカートリッジを取りつけてから、電源を入れなおしてください。

画面各部の呼びかた

テレビの画面を使って実際に文字を書き、文書を作っていく前に、始めの画面をよく見てみましょう。この使用説明書では、画面の各部を次のように呼びます。

文書作成画面	画面の上から、6行分、文字を書くための場所が用意されています。この部分を文書作成画面といいます。それぞれの行には点「・」が14ずつ表示されています。この点の場所に文字を書いていきます。
カーソル	文書作成画面の左上に見えている線の上に文字を書きます。これを、カーソルと呼びます。
左端マーク	各行の左端にある「》」の記号を左端マークと呼びます。このマークより右側に文字を書きます。左マージンという呼びかたもよく使われています。
コントロール表示ブロック	画面の下2行をまとめてコントロール表示ブロックと呼んでいます。
状態表示行	コントロール表示ブロックの上1行には、現在どこまで書き進んでいるか、どんな文字が使える状態なのか、あとどれくらい書くことができるか、などの情報が表示されています（▶58ページ）。この行を状態表示といいます。
メニュ行	コントロール表示ブロックの下の行には、これからおこなう操作を選ぶための案内が表示されます（▶58ページ）。この行をメニュ行といいます。

終わりかた

電源を入れて、最初に表示される画面を確かめたら、いったん電源を切ります。

電源はMSXパソコン本体から先に切る

電源を切るときは、入れるときと順序が逆になります。
まず、ＭＳＸパソコンの電源を切ってから、テレビ、プリンタ　などのまわりの装置の電源を切ります。
まわりの装置を先に切ると一時的に過大な電流が流れて、ＭＳＸパソコン本体内部の回路に悪影響をおよぼすおそれがあるためです。

文書の保存

実際に文書を作ったときは、電源を切ると、それまで書いた内容がＭＳＸパソコン本体から消えてしまいます。
文書を何度も利用したり、あとから修正する場合は、カセットテープやフロッピディスクに保存するための操作（▶159ページ）をおこなってから、電源を切ってください。

プログラムカートリッジは電源を切ってから抜く

使い終わったあと、全部の電源を切ったら、プログラムカートリッジをＭＳＸ本体から取り外して、保管してください。
取りつけたままにしておくと、別のプログラムを利用するときに不便です。また、取りつけたまま、物をぶつけたりすると、機械の破損や故障の原因になります。

PART 2

まず、文章を書いてみましょう

このソフトは、MSXパソコンを日本語ワープロに変身させてくれます。　むずかしい理屈は後回しにして、まず日本語ワープロってどんなものかを体験してみましょう。
はじめてお使いになるかたは、ぜひこの章から読んでください。説明の通りに操作していくと、簡単な文章を書いて印刷できるようになっています。
すでにワープロを使った経験のあるかたは、ざっと流し読みするだけで、このソフトの基本的な機能が理解できるように書いてあります。

この章の内容

まず、ひらがなを書く

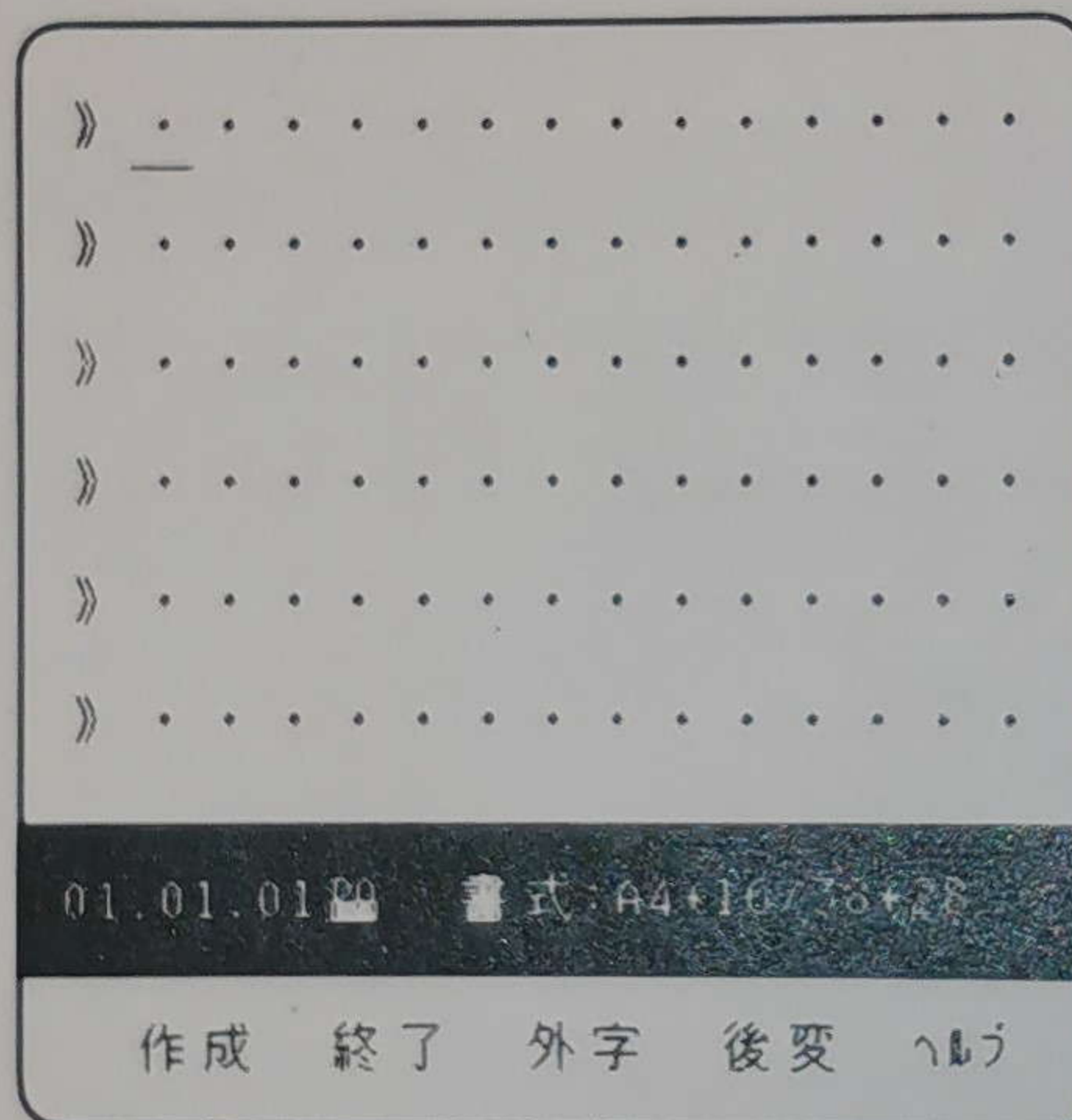
あらためてMSX本体の電源を入れて、テレビの画面に文字を書いてみましょう。この章では、次の例文をテレビの画面に書いてから、プリンタで印刷するまでの操作を説明します。
はじめは、ひらがなの書きかたから練習します。

例

いつもの道
快調にトップを走る
Number 1

MSX本体の電源を入れる

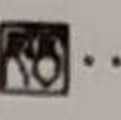
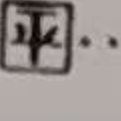
13ページの「始めかた」にしたがって、テレビにはじめの画面を表示させます。

01.01.0100　書式:A4*16*38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

ひらがなを書く

ひらがなを書くには次の2通りの方法があります。

- ローマ字入力……キーに書かれた英字をさがして、ローマ字のつづりでひらがなを書く。
- かな入力…………キーに書かれたかな文字をさがして、直接ひらがなで書く。

最初にスタートさせた状態では、自動的にローマ字入力で書くようになっています。この使用説明書でも、これからローマ字入力を使って操作を説明していきます。
キーボードのかな文字に慣れたかたは、次の手順でかな入力できる状態に切り換えてからお使いください。

ローマ字入力のおもな規則は38ページに説明してあります。またローマ字変換の規則一覧が186ページにあります。

かな入力に切り換える

[カナ] を押す

[カナ]

》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

状態表示行が、
「01.01.01ﾛｰ……」から
「01.01.01平……」に変わります。

01.01.01平　書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ﾍﾙﾌﾟ

これでかな入力になりました。

かな入力をローマ字入力にするには、[SHIFT] を押しながら [カナ] を押します。

「いつもの」と書く

ローマ字入力で、ひらがなを書いてみます。英字キーの場所に慣れていないかたは、あせらずにじっくり練習してください。

[I] を押す

[I]

》い・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

文書作成画面の左上に「い」と書けます。
カーソルは、ひとつ右に動きます。

[T][U] と押す

[T][U]

》いつ・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

続けてカーソルの位置に「つ」と書けます。

[T] を押したとき画面には「t」と出ますが、続けて [U] を押すと「つ」に変わります。

[M][O][N][O] と押す

[M][O][N][O]

》いつもの・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

これで「いつもの」と書けました。

文字の間違いを直す

文字を間違えて書いたときは、画面上で簡単に直すことができます。ここでは、具体的な例を使って4つの方法を紹介します。同じような間違いをしたときに、ここで紹介した方法を応用してください。

文字を重ねて書いて直す

「いつもの」と書かずに「いつもに」と書いてしまったら、

```
》いつもに・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

「に」の上から「の」を重ねて書いて直します。

[←]

カーソルキーを押す

```
》いつもに・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

左向きのカーソルキーを押して、カーソルを1文字分もどします。

[N][O]

[N][O]と押す

```
》いつもの・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

「に」重ねて、「の」と書きます。

カーソルをもどして文字を消す

「いつ」と書くかわりに「いう」と書いてしまったら、

```
》いう・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルをもどして、後ろから文字を消します。

[BS]

[BS]を押す

```
》い・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルが左にもどって、間違えた文字を消してくれます。

カーソルのある位置の文字を消す

「いつも」と書くかわりに「いつうも」と書いてしまったら、

```
》いつうも_・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルをもどして、途中の「う」を削除します。

← ←

カーソルキーを押す

```
》いつうも・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

左向きのカーソルキーで、カーソルを2文字分もどします。

DEL

DEL を押す

```
》いつも・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルの上にあった「う」が消えて、後ろの文字が手前につまってきます。

途中に文字を挿入する

「いつもの」の「つ」が抜けて「いもの」と書いてしまったら、

```
》いもの_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルをもどして、途中に「つ」を挿入します。

← ←

カーソルキーを押す

```
》いもの・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

左向きのカーソルキーで、カーソルを2文字分もどします。

INS T U

INS を押して、抜けた文字を書き直す

```
》いつもの・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソル以降の文字が後ろにずれて1文字分の空きができます。
そこに、「つ」と書き直します。

ひらがなの「読み」を漢字に直す

こんどは、「いつもの道」の「道」を漢字にします。漢字を書くときは、最初にひらがなで漢字の「読み」を書いてから漢字に直します。
漢字の「読み」を書く場所は、画面の一番下にあるメニュ行です。

メニュ行の表示を変える

このままでは、メニュ行に「読み」を書くことができないので、次の手順でメニュ行の表示を変えます。

SPACE

SPACEを押す

```
》いつもの・_・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

メニュ行に「〔_」が表示されます。
メニュ行に表示されたカーソルは、漢字の「読み」を書くためのものです。

```
01.01.05  書式:A4*16/38*28
〔_
```

「読み」を書く

続けて、「読み」を書いて、求める漢字をメニュ行に表示させます。

M **I** **T** **I**

漢字の読みを書く

```
01.01.05  書式:A4*16/38*28
〔みち_
```

メニュ行に「みち」と書きます。

SPACE

SPACEを押す

```
01.01.05  書式:A4*16/38*28
〔みち〕_
```

「読み」の前後を〔 〕でくくります。

漢字を表示する

読みに対応する1文字の漢字を探すときは、GRAPH を押します。

GRAPH

GRAPH を押す

```
01.01.05  書式:A4+16/38+28
  1道 2路 3径 4途 5蜜 6迪
```

「みち」という「読み」に対応する1文字の漢字がメニュ行に表示されます。

GRAPH を一度押しただけで使いたい漢字が出てこないときは、さらに続けて GRAPH を押してください。

漢字を選ぶ

メニュ行に表示された文字から、使いたい漢字を数字で選びます。

1

数字のキーを押して、漢字を選ぶ

```
》いつもの道・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

「道」に対応する「1」を選ぶと、文書作成画面の1行目に「道」が書きこまれます。
メニュ行の表示がもとにもどります。

```
01.01.06  書式:A4+16/38+28
  作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

行を変える

「いつもの道」が書きあがりました。続けて2行目を書くため、1行目の途中で行を変えます。カーソルを2行目の先頭に動かします。

RETURN

RETURN を押す

```
》いつもの道⊋・・・・・・・・・
》_・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルは、2行目の先頭に動きます。
「いつもの道」の後ろに、ここで行が変わったことを示す「⊋」マークが表示されます。

「読み」を書いて熟語に直す

2行目の「快調にトップを走る」という部分に進みましょう。
このソフトでは、複数の漢字の組み合わせも、「読み」を書いて一度で漢字に直すことができます。この使用説明書では、複数の漢字でできたことばを「熟語」と呼びます。

メニュ行の表示を変える

メニュ行に「読み」が書けるようにします。

SPACE

SPACE を押す

》いつもの道 ⓞ・・・・・・・・・
》_・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

漢字1文字の「読み」を書くときの操作と同じです。

01.02.01 書式:A4+16/38+28
〔_

熟語の「読み」を書く

続けて「読み」をメニュ行に書きます。

K A I T Y O U

熟語の「読み」を書く

01.02.01 書式:A4+16/38+28
〔かいちょう_

メニュ行に「かいちょう」と書きます（「ちょ」は「CHO」、または「TILYO」でも書けます）。

SPACE

SPACE を押す

01.02.01 書式:A4+16/38+28
〔かいちょう〕_

「読み」の前後を〔 〕でくくります。

熟語を表示させる

「読み」に対応する熟語を探すときは、SELECT を押します。

SELECT

SELECT を押す

```
01.02.01   書式:A4*16/38*28
1快調 2諧調 3会長
```

「かいちょう」という「読み」に対応する熟語がメニュ行に表示されます。

熟語を選ぶ

メニュ行に表示されたことばの中から、自分の使いたい熟語を数字で選びます。

1

数字のキーを押して、熟語を選ぶ

```
》いつもの道〇・・・・・・・・
》快調_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「快調」に対応する「1」を選ぶと文書作成画面の2行目に「快調」が書きこまれます。
メニュ行の表示がもとにもどります。

```
01.02.01   書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

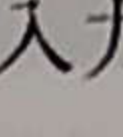
ひらがなを書く

続けて「快調に」の「に」をひらがなで書きます。

N I

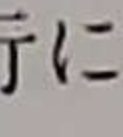
N I と押す

```
》いつもの道〇・・・・・・・・
》快調に_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「快調」の後に「に」を書きます。

カタカナを書く

カタカナを書くためには、文字の種類を変えるための操作が必要です。

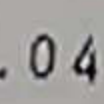
カタカナが書ける状態にする

状態表示行（メニュ行の上）には、「 01.02.04 [ロひ] 」のようになっています。この「[ロひ]」が現在使える文字の種類を表しているのです。
次の操作で表示を「[ロカ]」に変えると、ローマ字入力でカタカナが書けます。

CAPSLOCK を押す

CAPSLOCK

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・
》快調に_・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.02.04[ロカ]  書式:A4+16/38*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

状態表示行に「[ロカ]」を表示します。これで、カタカナが書ける状態になります。

かな入力で使っているかたへ
ローマ字入力と同じように、**CAPSLOCK** を押します。
状態表示行が「01.02.04[平]」から「01.02.04[片]」に変わって、カタカナが書ける状態になります。

カタカナを書く

「トップ」と書いていきます。小さい「ッ」は子音の英字キーを続けて押して書きます。

T O P P U と押す

T O P P U

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・
》快調にトップ_・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「快調に」の後に「トップ」と書きます。

かな入力で使っているかたへ
小さい「ッ」は **SHIFT** を押しながら「ツ」を押して書きます。

ひらがなを書ける状態にもどす

「トップ」の次は「を」です。ひらがなが書けるように、状態表示行に「あ」をもう一度、表示させます。

CAPSLOCK を押す

CAPSLOCK

```
》いつもの道⑦・・・・・・・・・
》快調にトップ_・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

状態表示行に「あ」を表示します。

```
01.02.07あ  書式:A4*16/38*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

かな入力で使っているかたへ

ローマ字入力と同じように、CAPSLOCK を押します。

状態表示行が「01.02.07卍」にもどります。

ひらがなを書く

「トップを」の「を」を書きます。

W **O** と押す

W O

```
》いつもの道⑦・・・・・・・・・
》快調にトップを_・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「を」と書きます。

ひらがなで書ける状態にもどっています。

送りがなのある漢字を書く

これまで、漢字１文字の「読み」を書いて漢字に直したり、熟語をまとめて漢字に直すやりかたを練習しました。
こんどは、「走る」という送りがなのついたことばをメニュ行に書いて漢字に直してみましょう。

メニュ行の表示を変える

メニュ行に「読み」が書けるようにします。

SPACE

SPACE を押す

```
01.02.08    書式:A4*16/38*28
 ㇾ
```

熟語や漢字１文字の「読み」を書くときの操作と同じです。

「読み」を書く

送りがなを含めて「読み」を書きます。この場合、「読み」の前後をかっこでくくる必要がありません。

H A S I R U

「読み」を書く

```
01.02.08    書式:A4*16/38*28
〔はしる_
```

メニュ行に「はしる」と書きます。

漢字を表示する

送りがなのある漢字を表示するときは GRAPH を押します。

GRAPH

GRAPH を押す

```
01.02.08    書式:A4*16/38*28
〔はし〕る
```

わずかの間、メニュ行に漢字と送りがなの区切りを示す「〕」が表示され……、

```
01.02.08    書式:A4*16/38*28
   1走 2趨 3奔
```

すぐに、「はし」という「読み」に対応する漢字がメニュ行に表示されます。

漢字を選ぶ

熟語や漢字1文字を選んだときと同じように、使いたい漢字を数字で選びます。

1

数字のキーを押して、漢字を選ぶ

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・
》快調にトップを走る_・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.02.10 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

「走」を選ぶと、「トップを」の後に「走る」と書きこまれます。

行を変える

2行目までが書けました。3行目を書くために、改行します。

RETURN

RETURN を押す

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・
》快調にトップを走る⏎・・・・
》_・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルは、3行目の先頭に動きます。

アルファベットを書く

アルファベットを書くためにも、文字の種類を変える操作が必要です。

アルファベットが書ける状態にする

アルファベットを書くときは、次の操作で、状態表示行の表示を「英」に変えます。

SHIFT + カナ

SHIFT を押しながら、カナ を押す

```
》いつもの道⊙・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⊙・・・・
》_・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.03.01英　書式:A4:16/38:28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ
```

状態表示に「英」を表示します。
これで、アルファベットの小文字が書ける状態に変わりました。

かな入力で使っているかたへ

カナ を1回押します。
状態表示が「01.03.01カ」から「01.03.01英」に変わって、アルファベットの小文字が書ける状態になります。

アルファベットを書く

「Number　1」と書いていきます。最初の「N」は大文字なのに気をつけてください。

SHIFT + N

SHIFT を押しながら、N と押す

```
》いつもの道⊙・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⊙・・・・
》N_・・・・・・・・・・・・・
```

アルファベットの大文字が書けます。

U M B E R

SHIFT を押さずに英字キーを押す。

```
》いつもの道⊙・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⊙・・・・
》Number_・・・・・・・・・
```

アルファベットの小文字が書けます。

SHIFT を押しながら、SPACE を押す

SHIFT + SPACE

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⏎・・・・
》Number _・・・・・・・
```

文の途中にスペースがあきます。

SPACE をそのまま押すと、メニュ行に漢字や熟語の読みを書く状態になってしまいます。もう1度 SPACE を押すと、文書作成画面に文字が書ける状態にもどります。

数字を書く

1

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⏎・・・・
》Number 1_・・・・・・
```

文書作成画面に数字が書けます。

例文の完成

これで例文が完成しました。テレビの画面には、下のように表示されていますか？間違いを見つけたら、20ページで説明した方法で訂正してください。

```
》いつもの道⏎・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⏎・・・・
》Number 1_・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
01.03.09   書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

文書の保存

完成した例文は、保存しておきましょう。文書を保存しておくと、後でもう一度呼び出して利用することができます。保存する装置によって操作が違います。

フロッピディスクに保存する方法（▶📖169ページ）。
カセットテープに保存する方法（▶📖160ページ）。

できあがったら印刷する

書いた文章を印刷してみましょう。
以下の操作は、メニュ行に表示される機能や印刷の形式を選んでおこないます。選択するためには、機能に対応するファンクションキーを押します。

文書作成を終了する

印刷するには、いったん文書の作成を終わります。

```
01.03.09画  書式:A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

画面のメニュ行の表示が左のようになっているか、確かめます。

F2 終了を押す

F2

```
終了メニュ
 印刷  保存  目録  消去  取消
```

「終了」を選ぶと、コントロール表示ブロック（状態表示行とメニュ行）が変わります。

印刷を選択する

終了メニュの表示で印刷を選びます。

F1 印刷を押す

F1

```
一括  横書  禁則有 MSX-A
プリント 停止  変更      終了
```

「印刷」を選ぶと、印刷をはじめるためのメニュが表示されます。

プリンタの種類が違うとき
プリンタがMSX－A（▶📖10ページ）に該当しないときは、155ページの説明にしたがって、プリンタの機種を変更してください。

プリントを開始する

プリンタを動かして、印刷を始めます。

印字例

F1 プリントを押す

いつもの道

快調にトップを走る

Number 1

「プリント」を選ぶとプリンタが動きはじめ、画面の文章が印刷されます。

F1 を押してからプリンタを接続し忘れているのに気づいたときは、CTRL を押しながら STOP を押すと印刷を中断できます。

プリントを終了する

画面の文章をすべて印刷すると、プリンタが止まります。表示画面は変わらないので次のように終了の操作をします。

F5 F5

F5 を2回押す

01.03.09 書式:A4*16/38*28

作成 終了 外字 後変 ヘルプ

「終了」を選ぶと、コントロール表示ブロックが印刷する前の状態にもどります。
さらに「取消」を選ぶと、画面のメニュ行の表示が元にもどります。

印刷の終わった用紙を取り出す

印刷が終わった用紙は、プリンタから切り取ったり、抜き取ったりして、どのように印刷されたか目で確かめてください。
用紙の取り出しかたはプリンタによって違うので、それぞれのプリンタに付属の説明書を読んでください。

このあとの操作

ひきつづき文字や文章を書く練習をすることができます。(▶37ページ)。

終わるときは、(▶16ページ)。

三日月駅周辺タウンマップ

電話局

花道公園

⇦梅橋

うぐいす通り

さくら町⇨

お達者病院

乙女高校

公会堂

区役所

理容室BOO

駅前アベニュー

喫茶モネ

BUTIQUE BUGI

▲銀行

宇宙座
シネマ

〒 郵便局

万年堂書店

三日月駅

⇨満月駅

シカゴ靴店

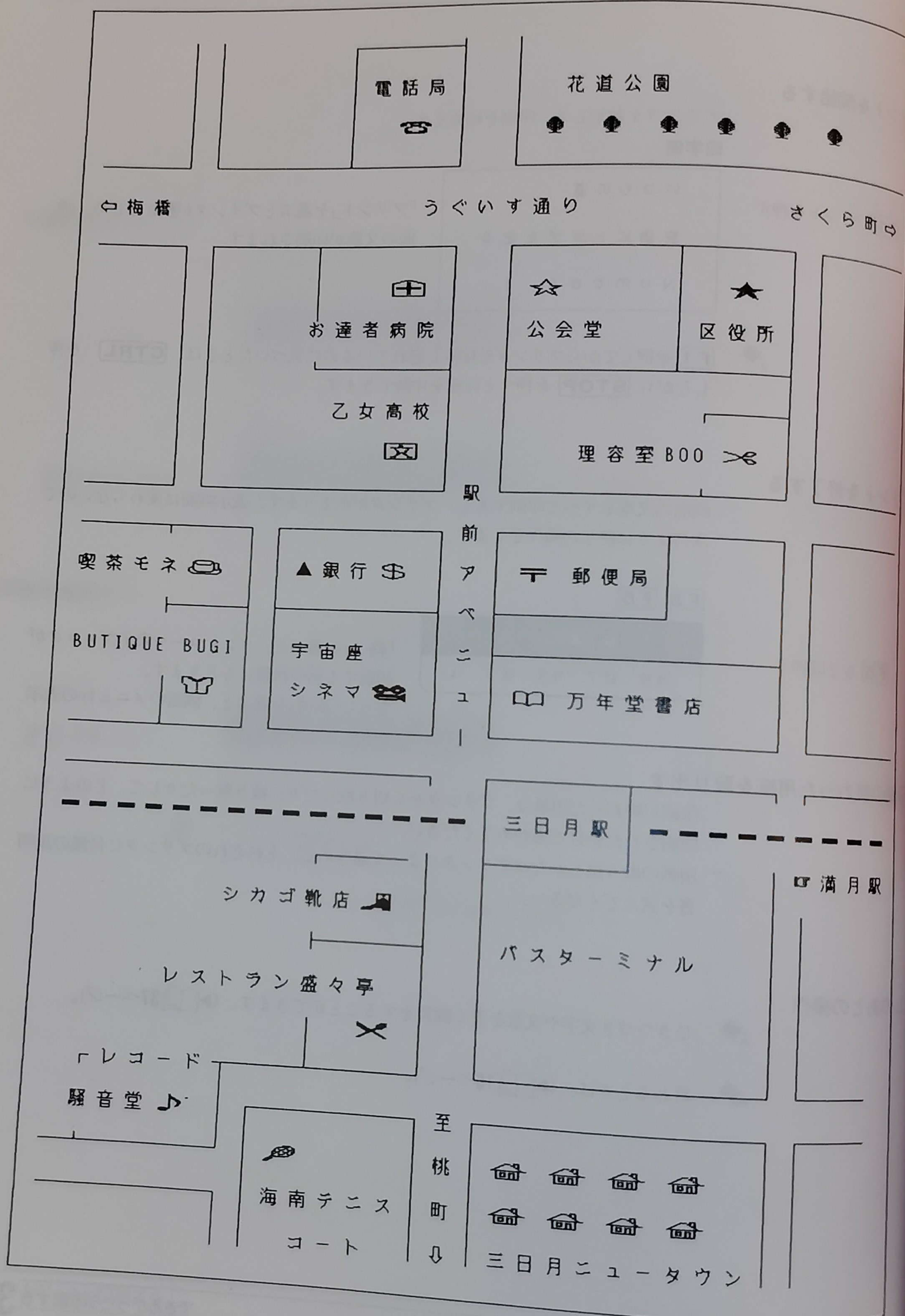
レストラン盛々亭

バスターミナル

「レコード
騒音堂

海南テニス
コート

至
桃
町
⇩

三日月ニュータウン

PART 3

キーボードの使いかた

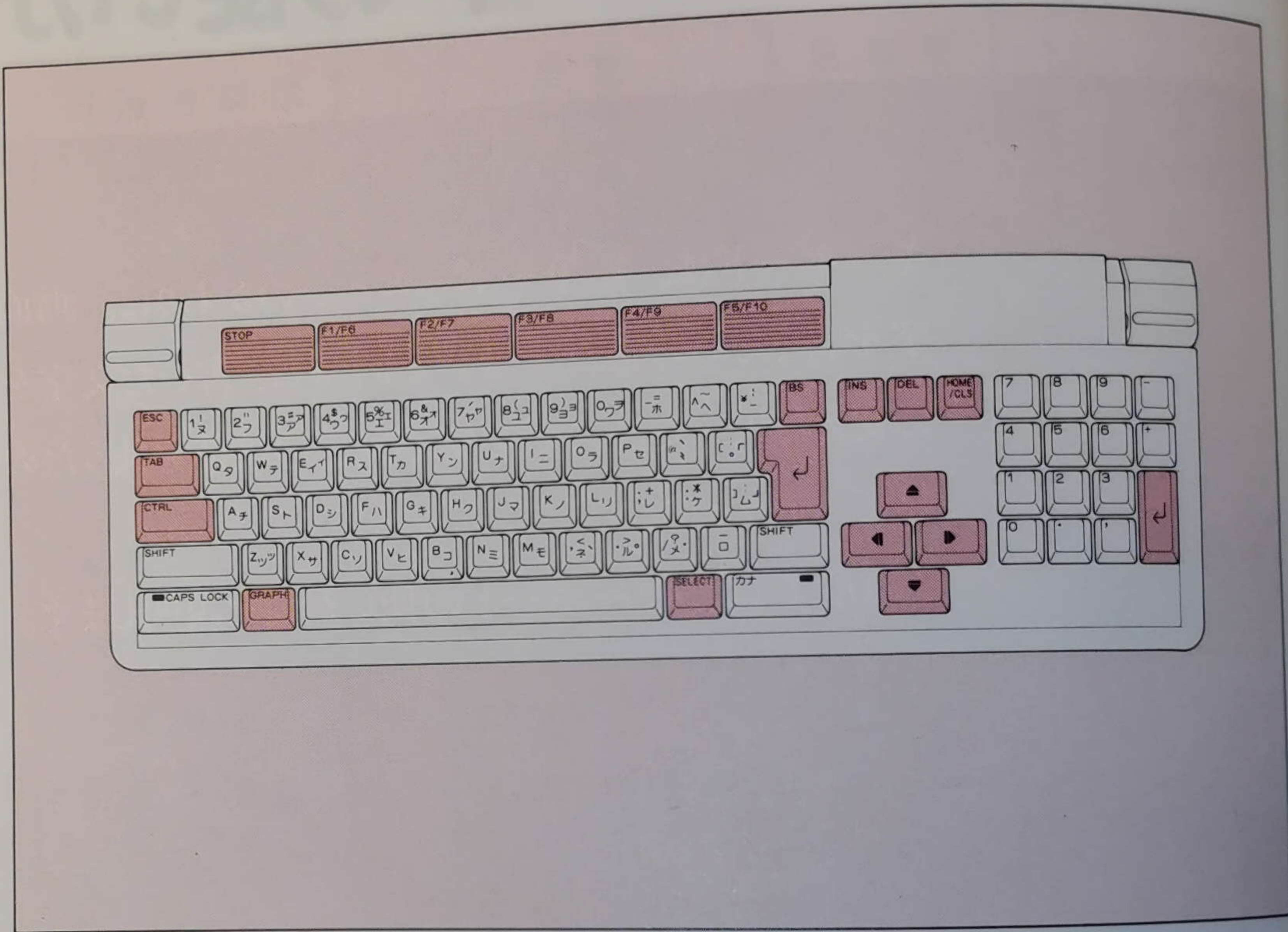
キーボードは、鉛筆やボールペンのかわりに、画面に文字を書くための道具です。と同時に、書いた文字を漢字に変えたり、文書の形を変えるなどの機能を使うための道具でもあります。
この章では、キーボードの使いかたを説明します。

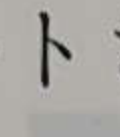
この章の内容

キーの種類

キーボードには、文字を書くためのキーと、いろいろな機能を使うためのキーの2種類があります。

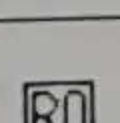
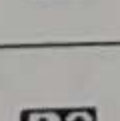
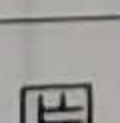
2種類のキー

次のイラストは、JIS配列のキーボードです。いろいろな機能を使うためのキーは、色を分けてあります。

MSXパソコンの機種により、キーボードの配列が異なっている場合があります。いろいろな機能を使うためのキーはどの位置にあっても、同じ名前であれば、はたらきは同じです。

入力モードと文字の関係

キーを押して直接画面に書くことができる文字は、ひらがな、カタカナを始めとしていろいろな種類があります。

入力モードの表示

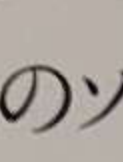
コントロール表示ブロック（画面の下2行）に、現在どのような文字が書けるか表示されます。これを入力モードの表示といいます。

01.01.01 ﾛ　書式:A4*16/34*28

入力モードの表示

このソフトをスタートさせたときの最初の入力モード表示は「ﾛ」です。これは、ローマ字で入力すると画面にひらがなが書けることを意味しています。

入力モードの種類と、書ける文字

入力モードには、ローマ字入力、かな入力、英字入力の3種類があります。
入力モードの表示を変える方法は、このあと、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の書きかたで説明します。

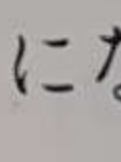
入力モード	CAPSLOCK のランプ	入力モードの表示	そのまま書ける文字	SHIFT を押しながら一緒に押すと書ける文字
ローマ字入力	消　灯	ﾛ	ひらがな、数字	カタカナ、英記号
		RO	ひらがな、半幅の数字	カタカナ、半幅の英記号
	点　灯	RO	カタカナ、数字	ひらがな、英記号
		RO	カタカナ、半幅の数字	ひらがな、半幅の英記号
かな入力	消　灯	平	ひらがな	ひらがな小文字、かな記号
	点　灯	片	カタカナ	カタカナ小文字、かな記号
英字入力	消　灯	英	英小文字、数字	英文大文字、英記号
		英	半幅の英小文字 半幅の数字	半幅の英大文字 半幅の英記号
	点　灯	英	英大文字、数字	英小文字、英記号
		英	半幅の英大文字 半幅の数字	半幅の英小文字 半幅の英記号

ひらがなとカタカナ

ひらがなとカタカナを書くには、ローマ字入力とかな入力の2種類のやりかたがあります。
ここではそれぞれについて説明します。

ローマ字入力

ローマ字入力では、英字キーでローマ字のつづりを押すと画面にひらがなとカタカナが書けます。

ローマ字入力にする

次のように操作すると、かな入力または英字入力からローマ字入力になります。
このソフトを始めた状態では、入力モードの表示はいつも「ロ」ですから、最初からローマ字入力でひらがなが書ける状態になっています。

SHIFT を押しながら、カナ を押す

SHIFT + カナ

01.01.01 書式:A4*16/34*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

入力モードの表示が、「ロ」に変わります。

CAPSLOCK のランプが点灯したままこの操作をおこなうと、入力モードの表示は、「ロ」になります。これは、ローマ字入力でカタカナが書ける状態です。

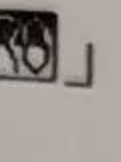
ローマ字入力のきまり

巻末の付録に、ローマ字の書きかたの一覧表があります。つづりを忘れたときに利用してください。ここでは、ローマ字入力で書くときの規則をまとめます。

ひらがなを書く

CAPSLOCK のランプが点いているときは、もう一度 CAPSLOCK を押してランプを消します。

A K I

》あき・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.03 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

入力モードの表示が「ロ」のときに SHIFT を押しながら書くと、カタカナが書けます。

カタカナを書く

CAPSLOCK のランプが消えて、入力モードの表示が「Rあ」となっていたら、もう一度 CAPSLOCK を押して、ランプを点けます。

A K I

```
》アキ_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.03 Rカ  書式:A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

入力モードの表示が「Rカ」のときに SHIFT を押しながら書くと、ひらがなが書けます。

小さな「っ」を書く

子音を2つ続けて書くと小さな「っ」(促音)が書けます。

O T T O

```
》おっと_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

母音の小文字を書く

「L」キーと母音(A、I、U、E、O)を組み合わせると、外来語などでよく使われる母音の小文字が書けます。

U L I

```
》うぃ_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「ゃゅょ」を書く

「にゃ、にゅ、にょ」などのように、他の文字の隣にくる小文字「ゃゅょ」(拗音(ようおん))は、「子音+Y+母音」で書き表します。

N Y A

```
》にゃ_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「ん」を書く

通常は「N」の後に「Y」以外の子音を押すと「ん」が書けます。

I N K O

```
》いんこ_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

「N」の後に母音や「Y」が続くときや、「ん」で終わる文字を書くときは N を2度押して、「ん」を書きます。

A N N I

```
》あんい_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

N を1度しか押さずに I を押すと、「あに」になります。

A N I → あに

「ー」を書く

「ー」(音をのばす符号)は、アルファベットの「X」を押して書きます。

O X I

```
》おーい_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

かな入力

かな入力では、キーのかな文字を探してその通りにひらがなとカタカナを書くことができます。MSXパソコンの機種によって、JIS配列のキーボードと、50音順配列のキーボードがあります。かな文字の場所が違っているので、MSX本体の説明書などで確認してください。

かな入力にする

次のように操作すると、ローマ字入力または英字入力からかな入力になります。

カナ を押す

[カナ]

```
01.01.01■  書式:A4*16/34*28
 作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

入力モードの表示が「平」に変わります。

[CAPSLOCK] のランプが点灯したままこの操作をおこなうと、入力モードの表示は、「片」になります。これは、かな入力でカタカナが書ける状態です。

かな入力のきまり

かな入力のときは、キーのかな文字がそのまま書けます。

ひらがなを書く

[CAPSLOCK] のランプが点いているときは、もう一度 [CAPSLOCK] を押してランプを消します。

[ヒ][ミ][コ]

```
》ひみこ_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.04■  書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

カタカナを書く

CAPSLOCK のランプが消えて、入力モードの表示が「平」になっていたら、もう一度 CAPSLOCK を押してランプを点けます。

タ ケ ル

```
》タケル_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

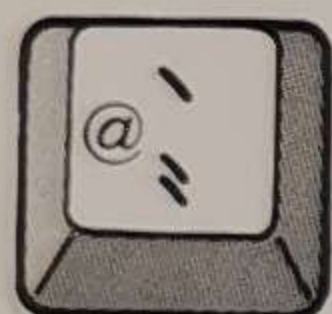
```
01.01.04 [カ]  書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

濁音を書く

「が」行、「ざ」行、「だ」行、「ば」行の文字を濁音といいます。文字キーのあとに濁点のキーを続けて押して書きます。

シ ゛

濁点のキー

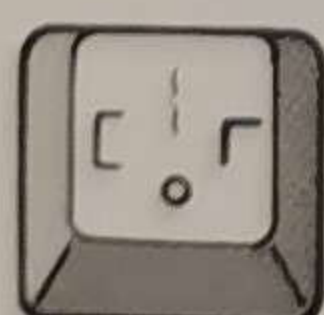
```
》じ_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

ア ゛ などのように、濁音にならない文字のうしろで、濁点を押しても、゛ は無視されます。

半濁音を書く

「ぱ」行（ぱぴぷぺぽ）の文字を半濁音といいます。文字キーのあとに半濁点のキーを続けて押して書きます。

フ ゜

半濁点のキー

```
》ぷ_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

シ ゜ などのように、半濁音にならない文字のうしろで、半濁点を押しても、゜ は無視されます。

かな小文字を書く

かな小文字は、「やった」、「きゃん」、「うぃ」などを書くときに使います。かな小文字になるのは、「ぁぃぅぇぉっゃゅょ」の9文字だけです。

SHIFT を押しながら、かな文字キーを押す

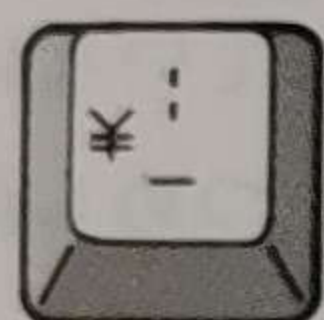
SHIFT + ツ

```
》っ_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「ー」を書く

「ー」（音をのばす符号）を書くときは、「ー」のキーを押します。

「ー」のキー

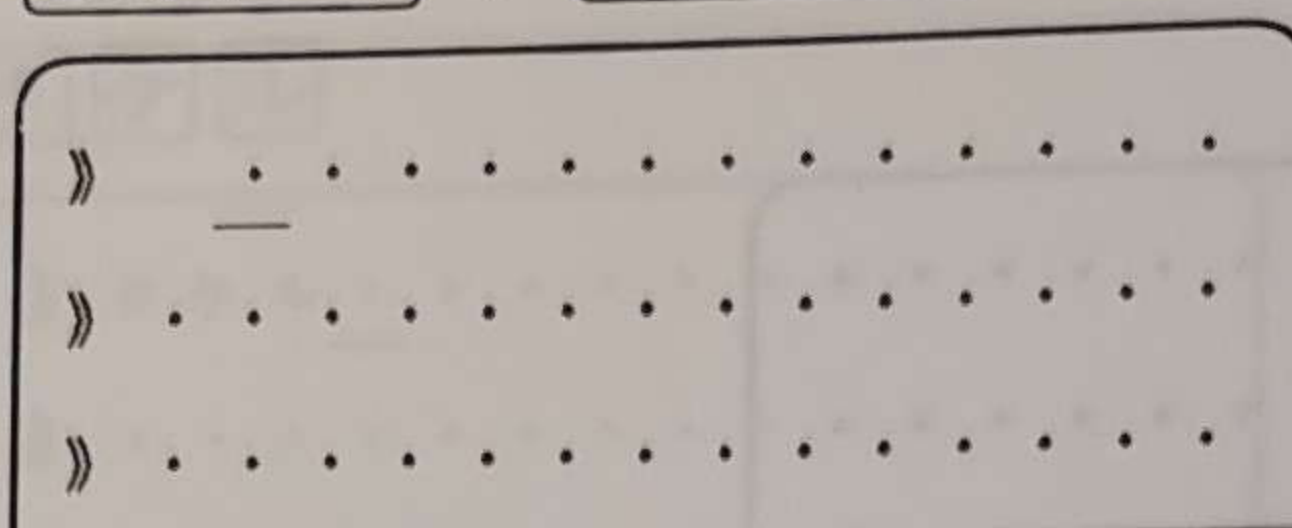
ユ ー

```
》ゆー_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

空白の書きかた

文字と文字の間に空白を作るときは、次のように操作します。

SHIFT ＋ SPACE

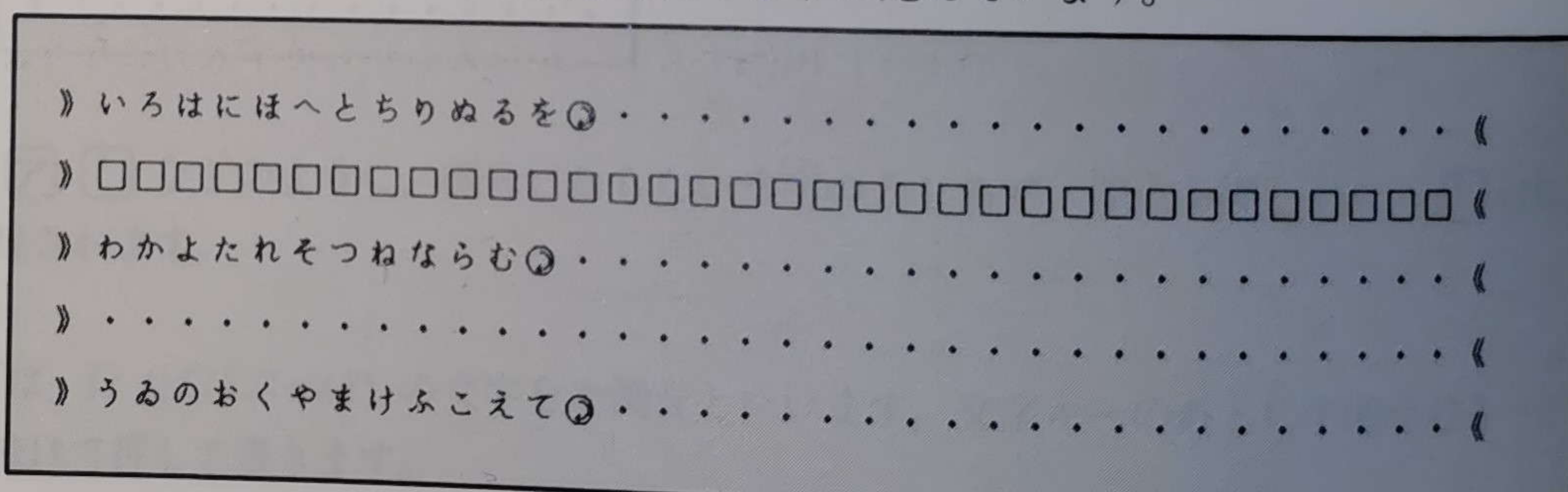
SHIFTを押しながらSPACEを押す

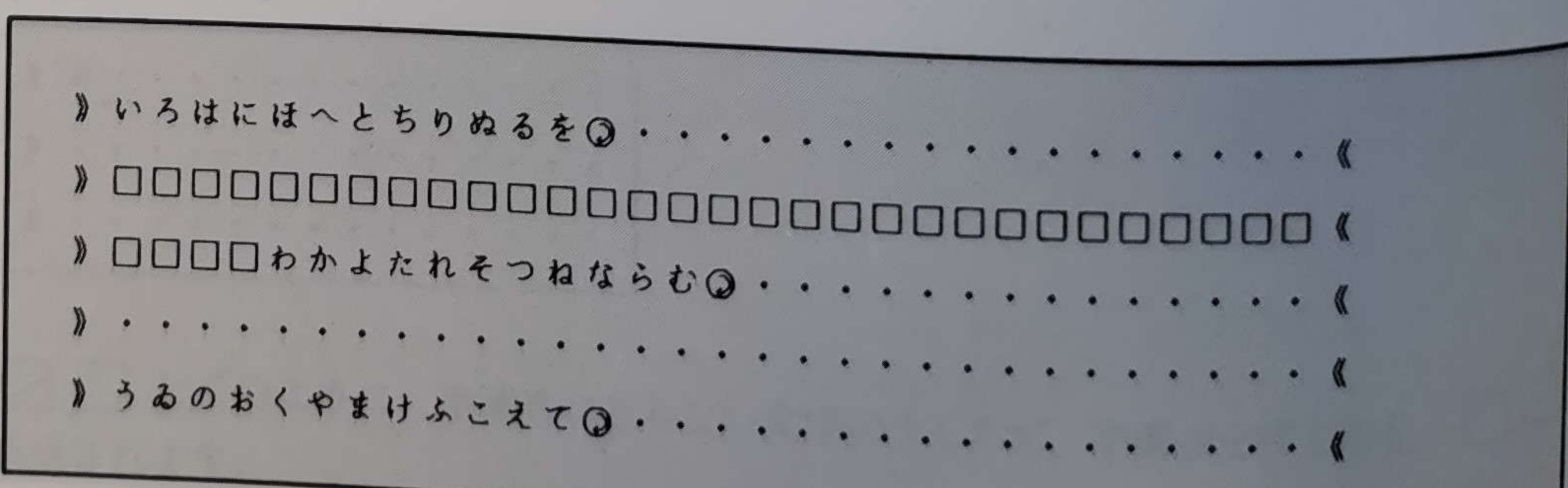
```
》 ・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

画面の「・」が消えて、カーソルが1文字分進みます。

空白は1文字分

SHIFTを押しながら SPACE を押して空白を書くと、あとから1行の文字数や用紙の大きさを変えても、空白を書いた文字数分のスペースがそのまま残ります。つまり、空白は文字と同じように画面に書くものなのです。
それに対して、画面で「・」が表示されている部分は、そこに何も書かれていないということを表しています。1行の文字数や1ページの大きさを変えると、つめられてしまうことがあります。

次の例は、いろは文字を1行おきに書いたものです。
2行目には「　」(空白)が、34文字分あります。
4行目にも「・」が同じく34文字分あるように見えています。

```
》いろはにほへとちりぬるを⏎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《
》□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□《
》わかよたれそつねならむ⏎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《
》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《
》うゐのおくやまけふこえて⏎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《
```

この文書の1行の文字数を書式変更（▶📖70ページ）で変えて30文字にすると、次のようになります。

```
》いろはにほへとちりぬるを⏎・・・・・・・・・・・・・・・・・《
》□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□《
》□□□□わかよたれそつねならむ⏎・・・・・・・・・・・・・・《
》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《
》うゐのおくやまけふこえて⏎・・・・・・・・・・・・・・・・・《
```

1行の文字数が4文字減ったために、3行目の文章が4文字の空白の分だけ右にひっこんでしまいました。
5行目の文はもとのまま、左端からはじまっています。4行目の「・」は、30文字につめられてしまいました。

アルファベット

アルファベットは入力モードを英字入力にして書きます。

入力モードを英字入力にする

ローマ字入力から英字入力に変える方法と、かな入力から英字入力に変える方法があります。

ローマ字入力から

次のように操作すると、ローマ字入力から英字入力になります。

SHIFT を押しながら **カナ** を押す

SHIFT + **カナ**

```
01.01.01英   書式:A4*16/34*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

ローマ字入力でひらがなを書いていたときは入力モードの表示が、「RO」から「英」に変わります。

CAPSLOCK を押してカタカナを書いていたときは、入力モードの表示が「RO」から「囲」になります。これは、アルファベットの大文字が書ける状態です。

カナ を2回押しても英字入力に変わります。

かな入力から

次のように操作すると、かな入力から英字入力になります。

カナ を押す

カナ

```
01.01.01英   書式:A4*16/34*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

かな入力でひらがなを書いていたときは、入力モードの表示が、「平」から「英」に変わります。

CAPSLOCK を押してカタカナを書いていたときは、入力モードの表示が「囲」から「囲」になります。これは、アルファベットの大文字が書ける状態です。

英小文字を書く

CAPSLOCK のランプが消えて入力モードの表示が「興」となった状態で、英小文字が書けます。

F **U** **N**

```
》fun_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.04興  書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ﾍﾙﾌﾟ
```

この状態で、**SHIFT** を押しながら英字キーを押すと、英大文字が書けます。

英大文字を書く

CAPSLOCK のランプがついて入力モードの表示が「困」となった状態で、英大文字が書けます。

J **A** **P** **A** **N**

```
》JAPAN_・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.06困  書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ﾍﾙﾌﾟ
```

この状態で、**SHIFT** を押しながら英字キーを押すと、英小文字が書けます。

数字・記号

数字を書くときは、入力モードをローマ字入力か英字入力にします。
かな入力のときは数字が書けません。

数字を書く

数字キーを押して書きます。

[2][0][0][1]

```
》2001_・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

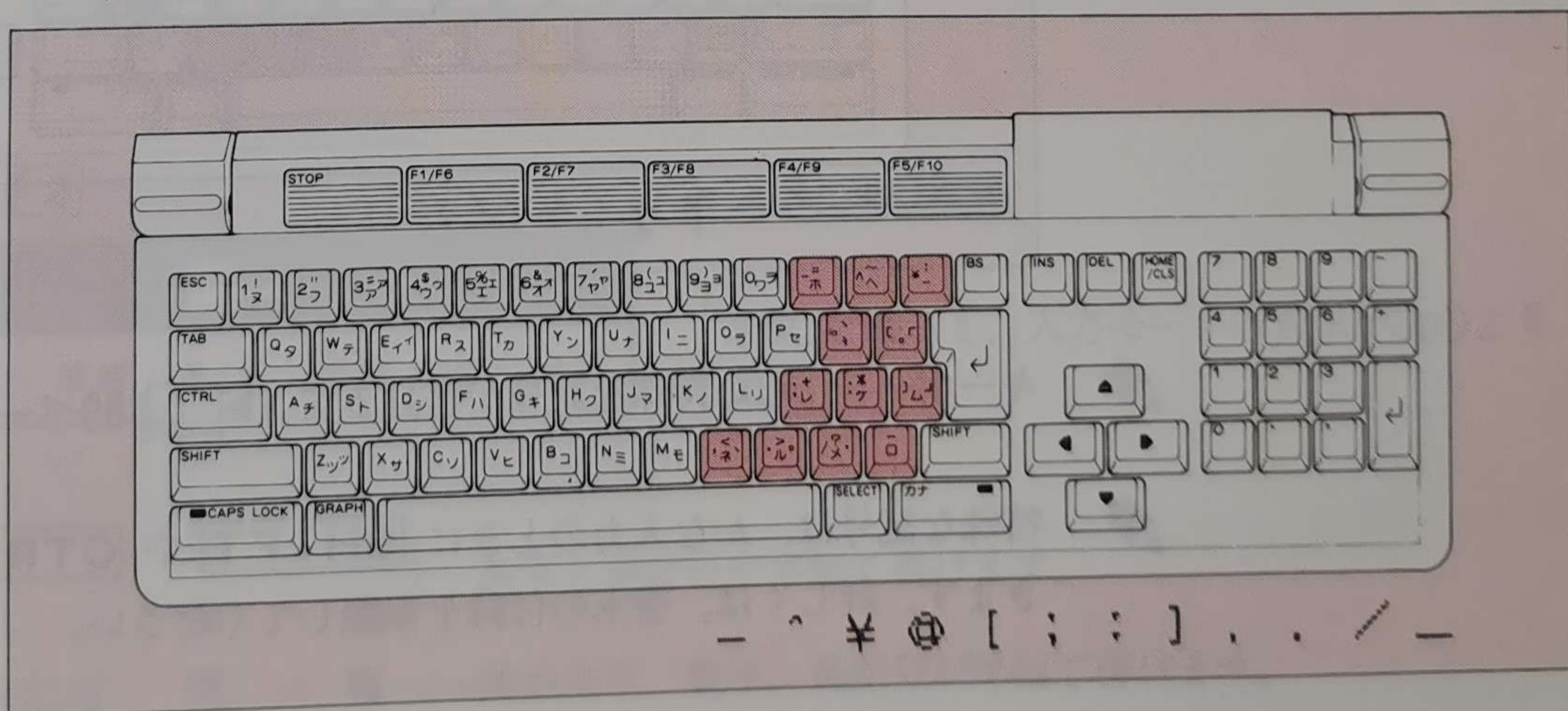
記号の種類

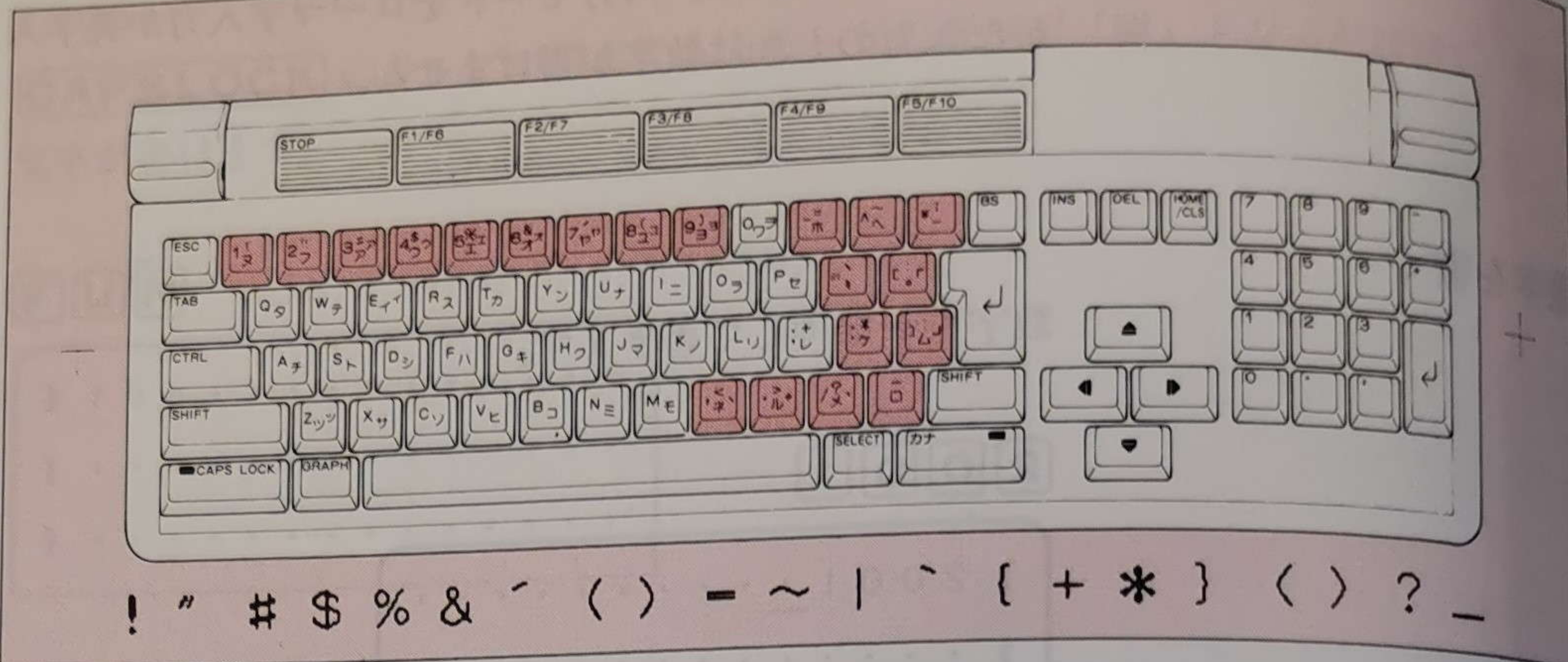
キーボードから直接書ける記号には「英記号」と「かな記号」の**2**種類があります。
「英記号」は入力モードがローマ字入力のときと英字入力のときに共通に書ける記号です。
「かな記号」は入力モードがかな入力のときに書ける記号です。

英記号の書きかた

英記号には、英字キーをそのまま押して書く記号と、[SHIFT]を押しながら書くものがあります。

英字キーをそのまま押して書く記号

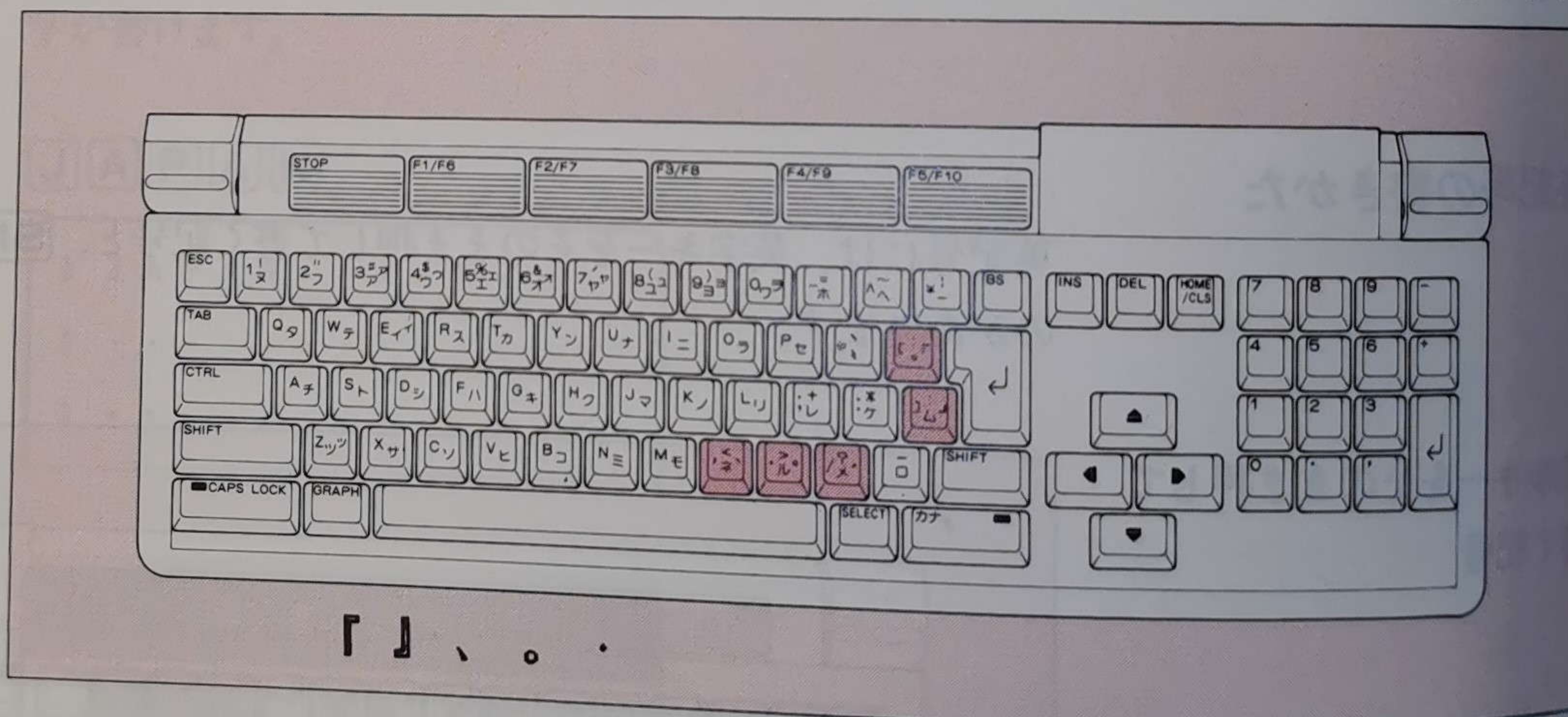
－ ^ ¥ @ [; :] , . / _

SHIFT を押しながら書く記号

! ” # $ % & ´ ( ) = ~ | ` { + * } < > ? _

ローマ字入力では、[{] [}] [<] [>] を押すと次の記号が書けます。

[{] → 「
[}] → 」
[<] → 、
[>] → 。

かな記号の書きかた

入力モードがかな入力のとき **SHIFT** を押しながら書くと、次の記号が書けます。

『 』 、 。 ・

キーボードにない特殊な記号が書けます（▶📖 89ページ）。

特殊な記号は、かな入力のときに **SHIFT** や **CTRL** を押しながら書くこともできます。詳しくは、巻末の付録を参照してください。

半幅文字

半幅文字とは、通常の文字幅の半分に縮小された文字のことです。
半幅文字で書けるのは、アルファベット、英記号、数字だけです。

半幅文字の用途

次の例を見てください。

半幅を使わないと

```
Ｓｍｉｔｈ氏には１９７８年に初
・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・
```

数字やアルファベットを漢字やかな文字と同じ幅で書くと、何となくバランスがよくありません。

半幅を使うと

```
Smith 氏には1978年に初めて会っ
・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・
```

全体のバランスがすっきりして、文字数も節約できます。

半幅文字が書ける状態にする

半幅文字を書くときは、次の操作をします。

メニュを変える

STOP を押してメニュ行に半／全を出す

STOP

```
01.01.01    書式:A4*16/38*28
罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

コントロール表示ブロックのメニュを左のようにします。
「半/全」とは、半幅と全幅（通常の幅）という意味です。

入力モードの表示を変える

F2 半／全を押す

F2

入力モードの表示

```
01.01.01 □  書式:A4*16/38*28
罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

「半幅」を選ぶと、入力モードの表示が次のように変わります。

[漢] → [RO] ｝数字と英記号が半幅で書けます。
[RO] → [RO] ｝

または [英] → [英] ——英小文字、数字、英記号が半幅で書けます。
または [英] → [英] ——英大文字、数字、英記号が半幅で書けます。

半幅文字を書く

英字を書く

I F

```
》if_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

英字キーを押すと半幅のアルファベットが書けます。

数字を書く

2 0 0 1

```
》2001_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

数字キーを押すと半幅の数字が書けます。

英記号を書く

SHIFT + !

```
》!_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

半幅の英記号が書けます。

半幅文字は2文字続けて書かないと、カーソルが次の文字に移動しません。カーソルを次の文字に動かすためには、SHIFT を押しながら SPACE を押します。半幅文字を書いて、カーソルが次の文字に移動しないうちに、通常の幅の文字を書くと、書いた半幅文字が消えてしまいます。

ローマ字入力から半幅文字を選んだときは、ひらがなとカタカナは通常の文字幅のまま書くことができます。

半幅文字を消す

半幅文字を消すときは、BS か DEL を押します。

```
》123_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

BS で消す

```
》1_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルが前の文字にもどって、半幅文字を2文字1度に消します。

DEL で消す

```
》12_・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルの位置にあった半幅文字が消えます。カーソル位置に半幅文字が2文字ある場合、2文字を1度に消します。

通常の文字幅で書けるようにもどす

アルファベット、数字、英記号が通常の文字幅（全幅）になるようにもどすには2通りのやりかたがあります。

メニュから選ぶ

STOPを押してメニュ行に半／全を出す

STOP

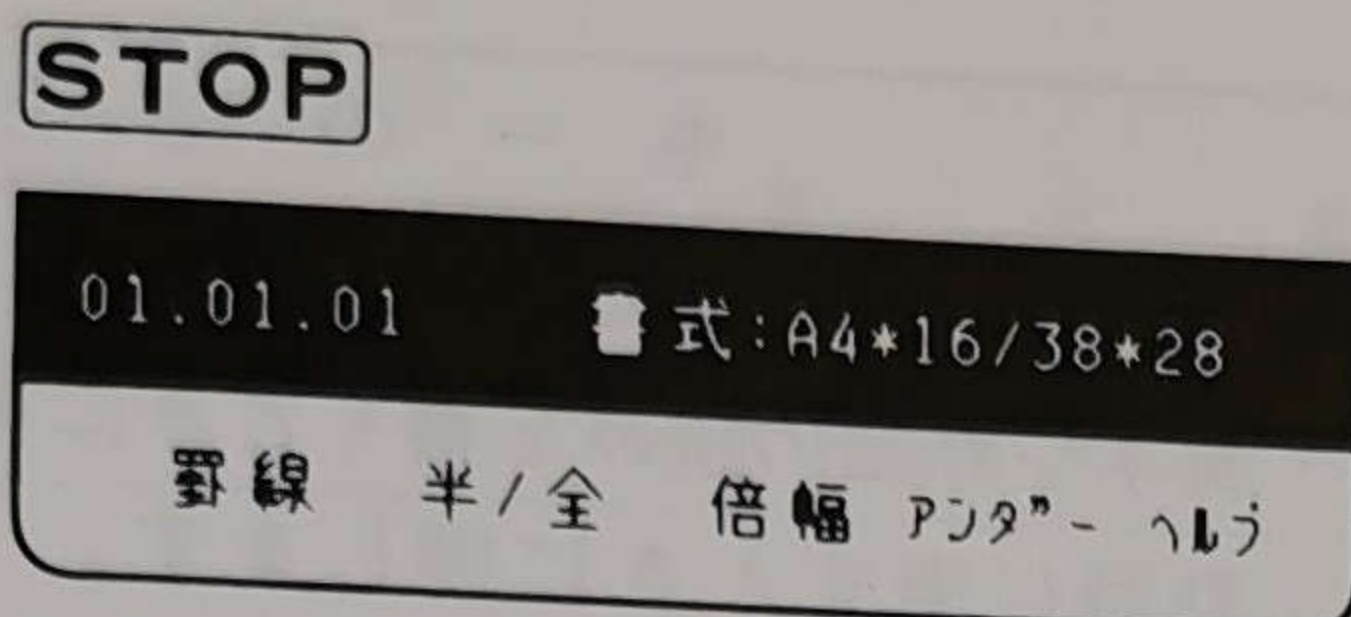
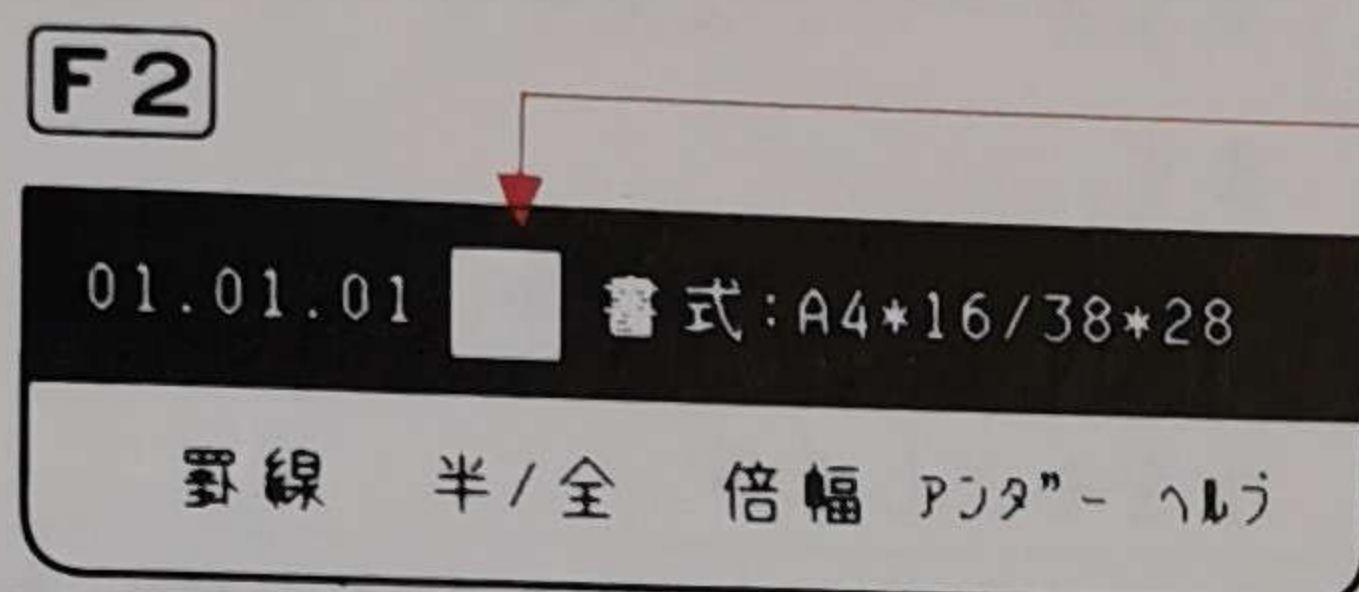
```
01.01.01        書式:A4*16/38*28
 罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

左のメニュを表示させます。

F2 半／全を押す

F2

入力モードの表示

```
01.01.01 □      書式:A4*16/38*28
 罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

「全幅」を選ぶと、入力モードの表示が次のように変わります。

RO → RO
RO → RO
英 → 英
英 → 英

カナ を押す

カナ を押すと、入力モードの表示が変わります。**CAPSLOCK**のランプがついているときは「英」に、消えているときは「英」になります。
このあと、ローマ字入力や英字入力にすると、アルファベット、数字、英記号も通常の文字幅で書けます。
半幅の英小文字を書いたあと、**カナ** を押して、全幅のひらがなをローマ字入力で書けるようにするには、次のように操作します。

```
01.03.16英      書式:A4*16/34*28
 罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

カナ を押す

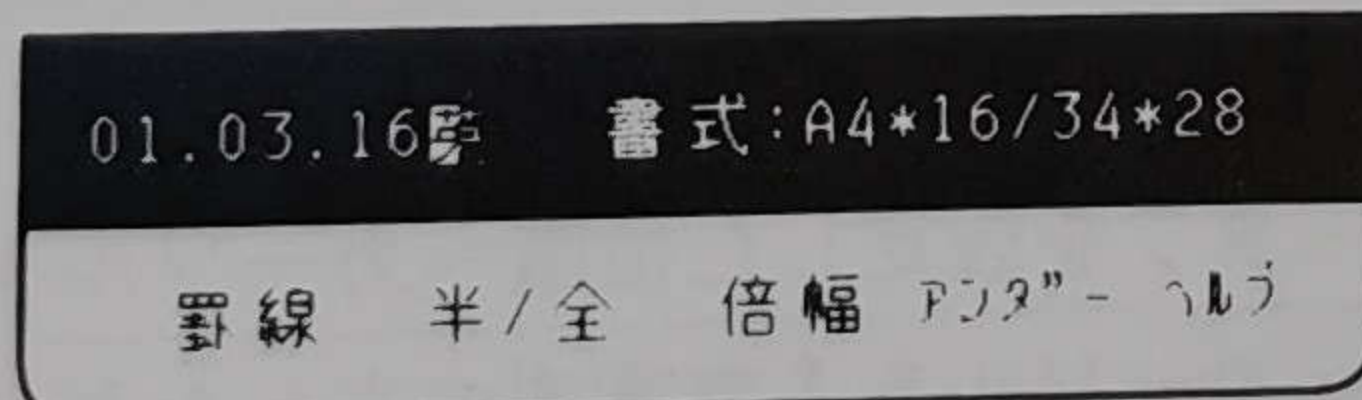
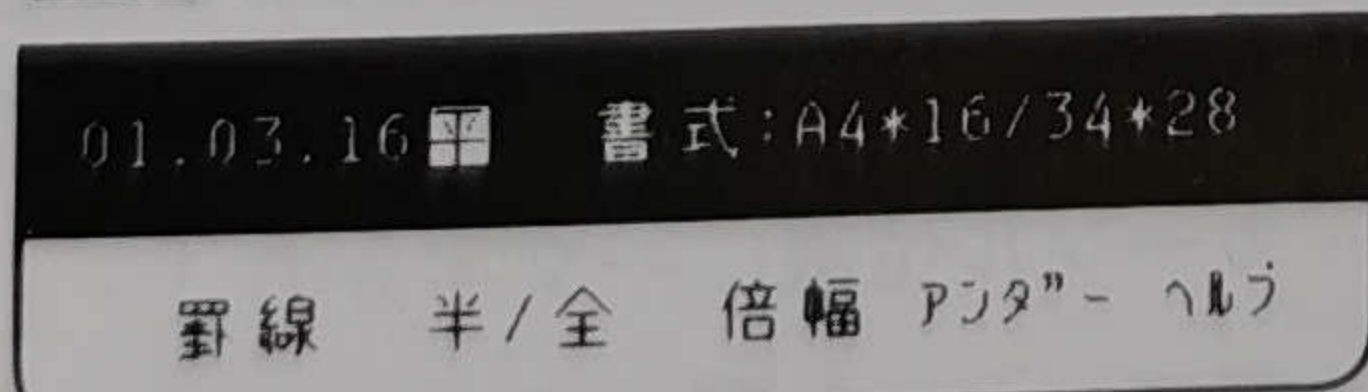
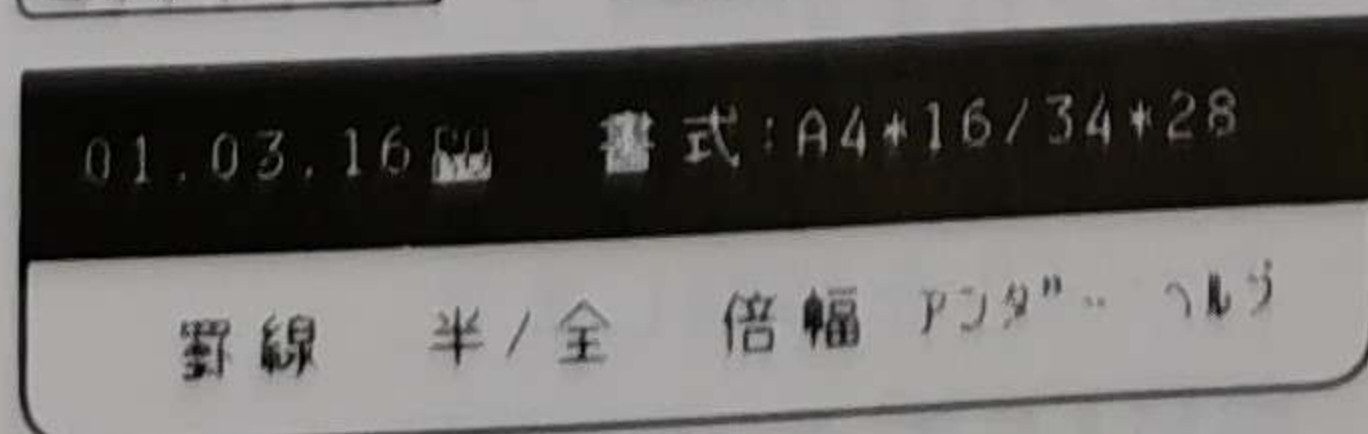
カナ

```
01.03.16カ      書式:A4*16/34*28
 罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

入力モードの表示が「カ」になります。

SHIFT を押しながら **カナ** を押す

SHIFT ＋ カナ

```
01.03.16RO      書式:A4*16/34*28
 罫線  半/全  倍幅  ｱﾝﾀﾞｰ  ﾍﾙﾌﾟ
```

入力モードの表示が「RO」になります。

文字キー以外のはたらき

このソフトのいろいろな機能を使うためのキーは次の通りです。
具体的な機能の使いかたについては、PART４～７までの説明を読んでください。
これらのキーは、ＭＳＸパソコンの機種によって位置が異なるものがありますので、
ＭＳＸパソコン本体に付属の説明書で位置を確かめてください。

キー	キーのはたらき
RETURN	・文章を書いているときは、行の途中で改行します。
SPACE	・漢字や熟語の読みを書くときに押します。
SELECT	・熟語に直すときに押します。
GRAPH	・１文字の漢字に直すときに押します。
SHIFT	・英字キーやかな文字キーと一緒に押して、記号や空白を書きます。 ・他のキーと一緒に押して、カーソルを動かしたり、画面の表示をもどします。
HOME／CLS	・カーソルを表示画面の左上隅に動かします。 ・CTRL と一緒に押して、設定されているタブ位置を表示します。
CAPSLOCK	・押すとランプが点滅して、入力モードの表示が変わります。 ・ひらがなとカタカナの切り換え、アルファベットの大文字と小文字の切り換えをします。
カナ	・押すとランプが点滅して、かな入力と英字入力の切り換えをします。
STOP	・押すとメニュ行の表示が変わります。
CTRL	・他のキーと一緒に押して、カーソルを動かしたり、画面の表示を変えます。
ESC	・１ページの全体を見る（レイアウト表示）画面と文書作成画面を切り換えます。
TAB	・タブを設定した位置へカーソルをとばします。
BS	・カーソルを１文字ずつ左へもどして文字を消します。
DEL	・カーソル位置の文字を削除して右側の文字を左へつめます。 ・左マージン位置で押すと、その行をすべて削除します。
INS	・カーソル位置に一文字分の「・」を割り込ませます。 ・左マージン位置で押すと、何も書かれていない「・」の行が挿入されます。
F1 ～ F5	・メニュ行に表示された機能を選ぶときに押します。
➡ ⬇ ⬅ ⬆	・カーソルを移動します。 ・SHIFT や CTRL を押しながら使うと、文書のいろいろな場所にいっぺんにカーソルを動かすことができます。

PART 4

知っておきたいこと

この章では、文書作成の流れや画面の使いかたなどを説明します。
いわば、このソフトのいろいろな機能を使いこなすための基礎知識をまとめたものです。

この章の内容

文書作成のながれ

開始から終了までの操作の流れは、次のようになっています。

（黒帯）は、必要に応じておこなう操作です。

文書作成の準備

●プログラムカートリッジを取りつける
（▶📖 12ページ）
●電源を入れてスタートする（▶📖 13ページ）

新しく文書を作る準備

●画面の文字をクリアする（▶📖 72ページ）
●書式を設定する（▶📖 72ページ）

保存した文書の呼び出し

●フロッピディスクから呼び出す（▶📖 173ページ）
●カセットテープから呼び出す（▶📖 164ページ）

↓

文字を書く・訂正する

●いろいろな文字を書く（▶📖 37ページ）
●漢字に直す（▶📖 77ページ）
●間違いを訂正する（▶📖 127ページ）

↓

文書を加工する

●挿入や削除をする（▶📖 128ページ）
●移動や複写をする（▶📖 134ページ）
●いろいろな編集機能を使う（▶📖 138ページ）

↓

保存する

●フロッピディスクに保存する（▶📖 169ページ）
●カセットテープに保存する（▶📖 160ページ）

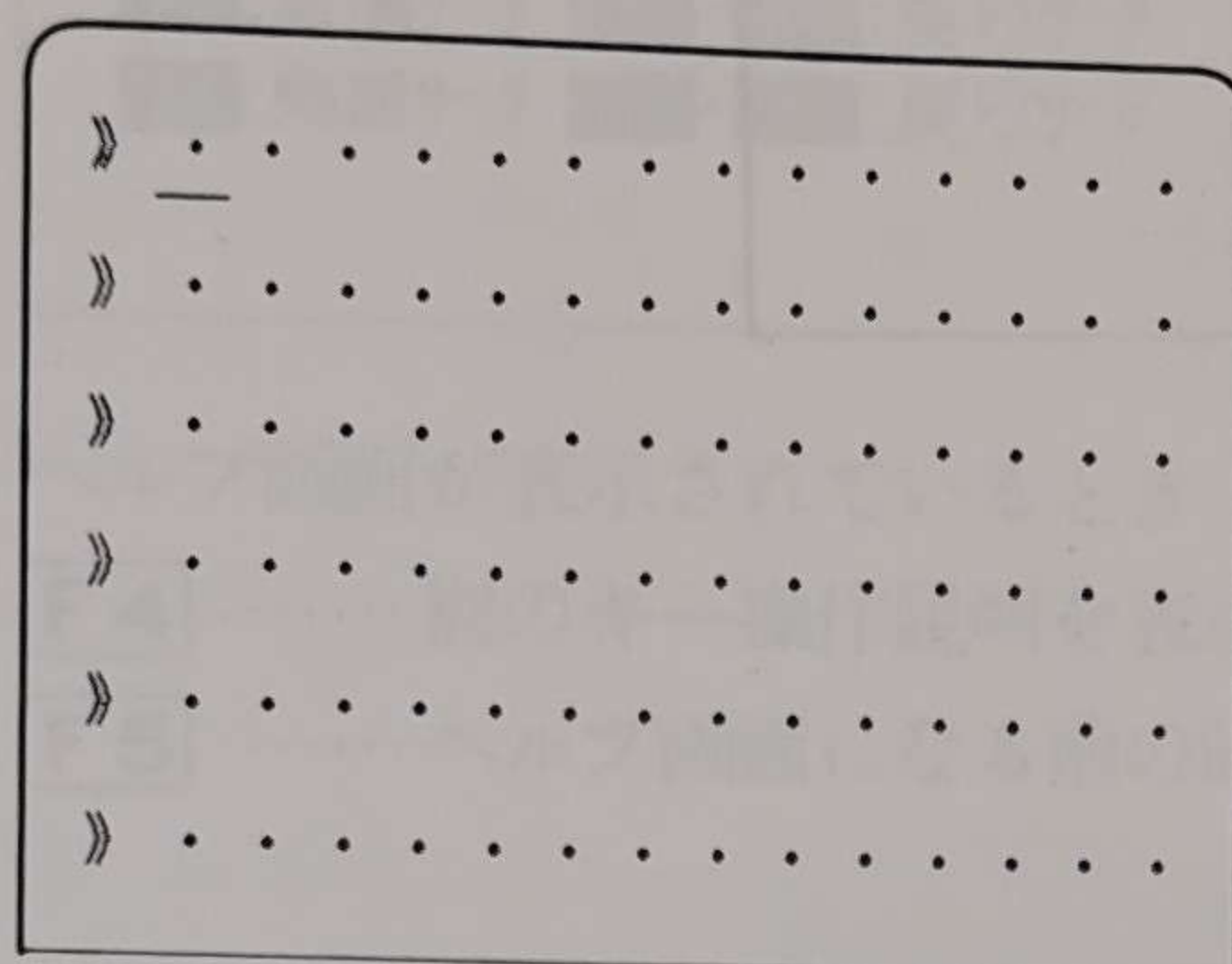
↓

印刷する

●書式を変更する（▶📖 76ページ）
●印刷形式を変更する（▶📖 151ページ）
●印刷する（▶📖 156ページ）

↓

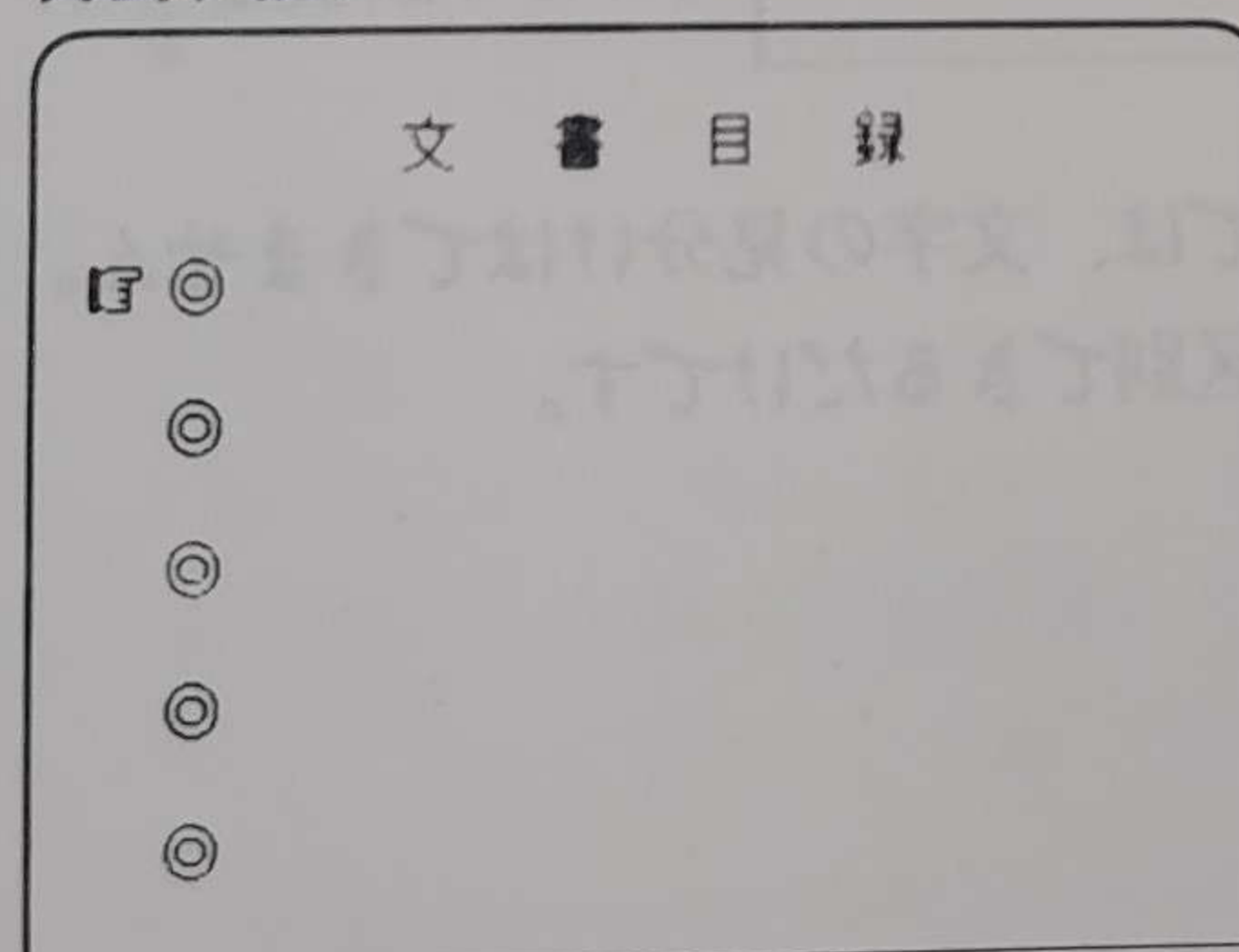
終了する

●電源を切って終わる（▶📖 16ページ）

いろいろな画面

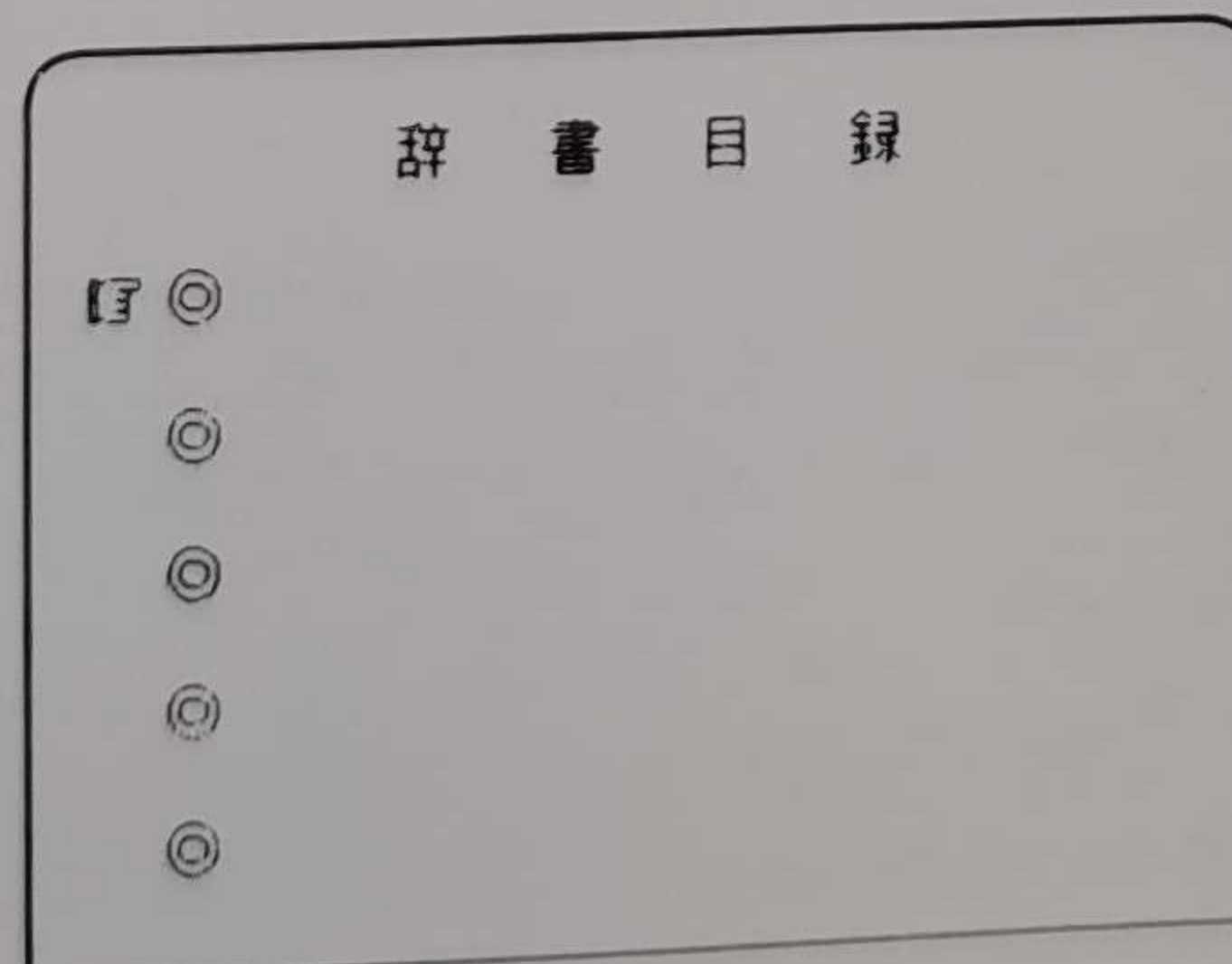
このソフトは、テレビの画面を見ながら操作します。画面は書いた文字を表示するだけでなく、文章の修正や印刷をするための指示なども表示します。ここでは、画面が用途に応じて変化していくことを説明します。

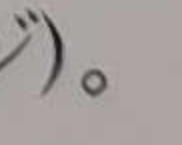
文字を書きこんだり、書いた文字を訂正する画面

文書作成画面

「はじめかた」の説明(▶📖13ページ)にしたがって操作すると、最初に表示される画面です。

●ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、キーボードの記号、を直接この画面に書き込むことができます。

漢字を直接書きこむことはできません。

フロッピディスクに保存した内容を一覧する画面

目録画面

文書目録

フロッピディスクに保存した文書を呼び出す操作をしたときに、保存済文書のタイトルを表示します(▶📖178ページ)。

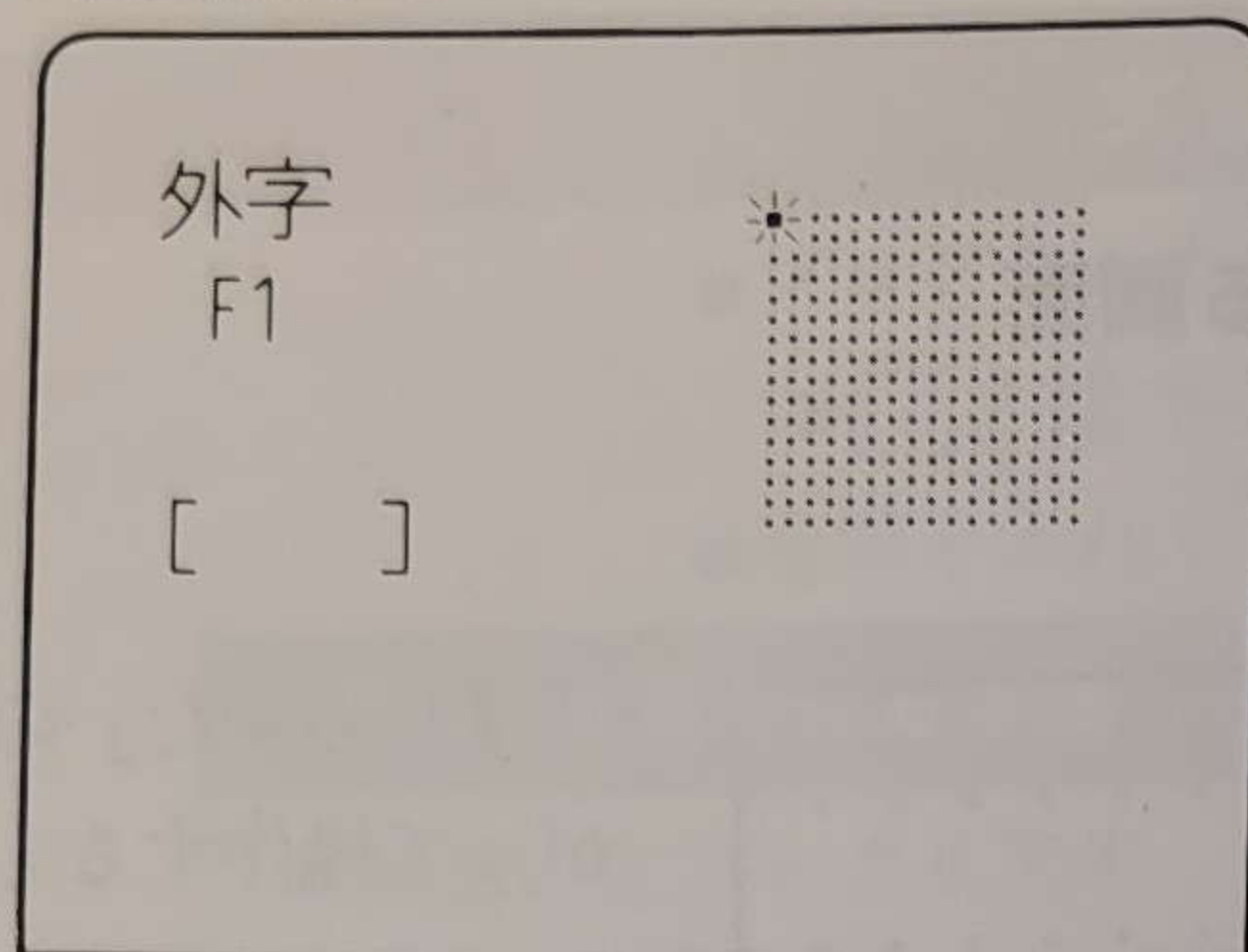
辞書目録

フロッピディスクに保存した辞書を呼び出す操作をしたときに、保存済辞書のタイトルを表示します (▶📖178ページ)。

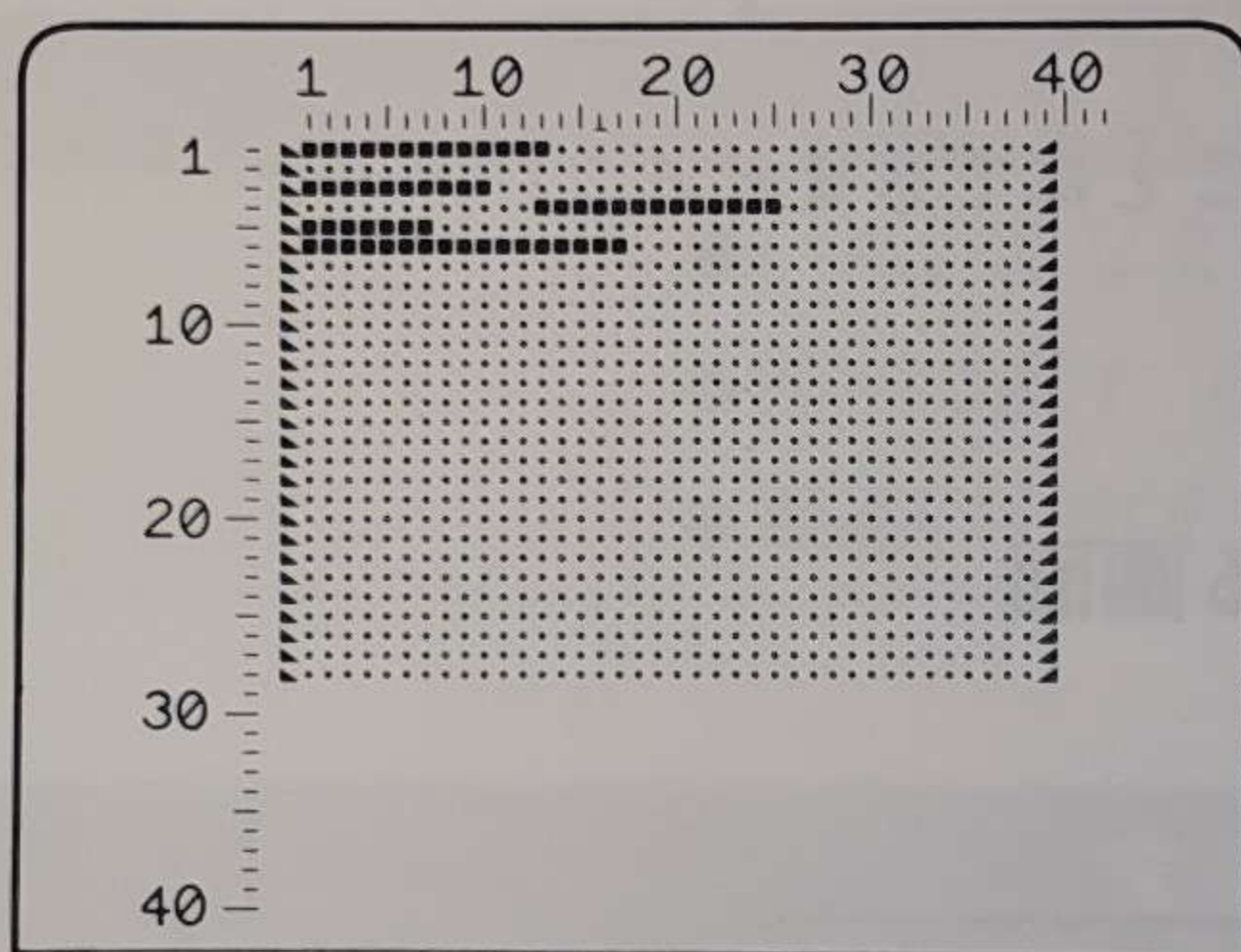
辞書は、よく使うことばなどを略語で登録できるようにしたものです。

カセットテープに保存された文書や辞書は一覧できません。

文字やマークを自分で作る画面

外字作成画面

JIS（日本工業規格）で定められた第**1**水準にない文字やマークを、自分で作る操作をしたときに、表示される画面です（▶📖**120**ページ）。

1ページの全体の配置を見る画面

レイアウト表示画面

文書作成画面では、**1**ページ全体の文字や記号の配置を見ることができないため、ページ全体のレイアウトを見るための操作をしたときに、表示される画面です（▶📖**66**ページ）。

レイアウト表示画面では、文字の見分けはできません。文字の書かれた場所と何も書かれていない場所が区別できるだけです。

キー操作を忘れたときに見る画面

ヘルプ画面

```
STOP:文書復帰／コマンド・チェンジ
ESC:全体レイアウト表示ON/OFF
CTR+HOME:TAB位置表示ON/OFF
SFT+カナ:ローマ字かな変換モード
GRP:単漢サーチ SFT+GRP:戻りサーチ
SEL:熟語サーチ SFT+SEL:戻りサーチ
```

操作の途中で、どのキーを押したらよいかわからなくなったときにキー操作を確かめるための画面です。

ヘルプ画面が表示されているとき

F4 ……別のキー操作説明を表示します。

F5 ……ヘルプ画面になる前の画面にもどります。

ヘルプ画面を見るためには

```
01.01.01   書式:A4*16/38*24
 作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

コントロール表示ブロックのメニュ行右端の表示が「ヘルプ」となっているときに、F5 を押します。

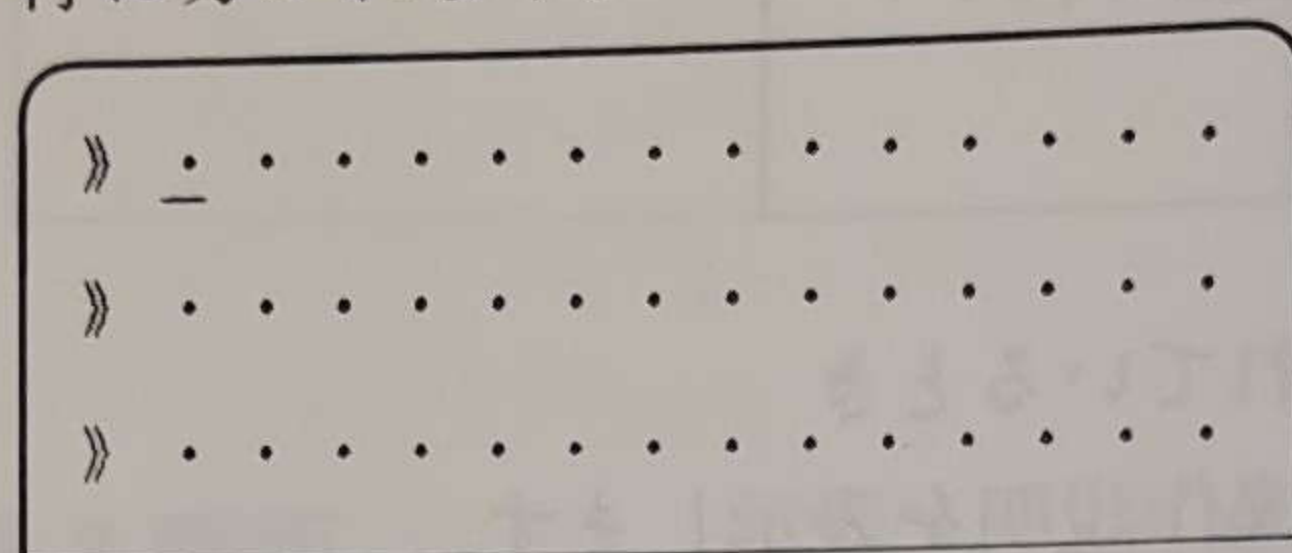
上の画面は、一例です。メニュ行の「作成」から「後変」までの表示は STOP を押すと変化します。

画面との対話

このソフトは、画面のコントロール表示ブロックで、現在の状態や、ファンクションキーのはたらきを確認しながら操作します。
表示される機能を選びながら、画面と対話するように操作を進めていくことをメニュ方式と呼んでいます。

メニュ行と状態表示行

MSX本体の電源を入れて、このソフトをスタートさせせたときのコントロール表示ブロックは次のようになっています。コントロール表示ブロックは、メニュ行と状態表示行に分かれます。

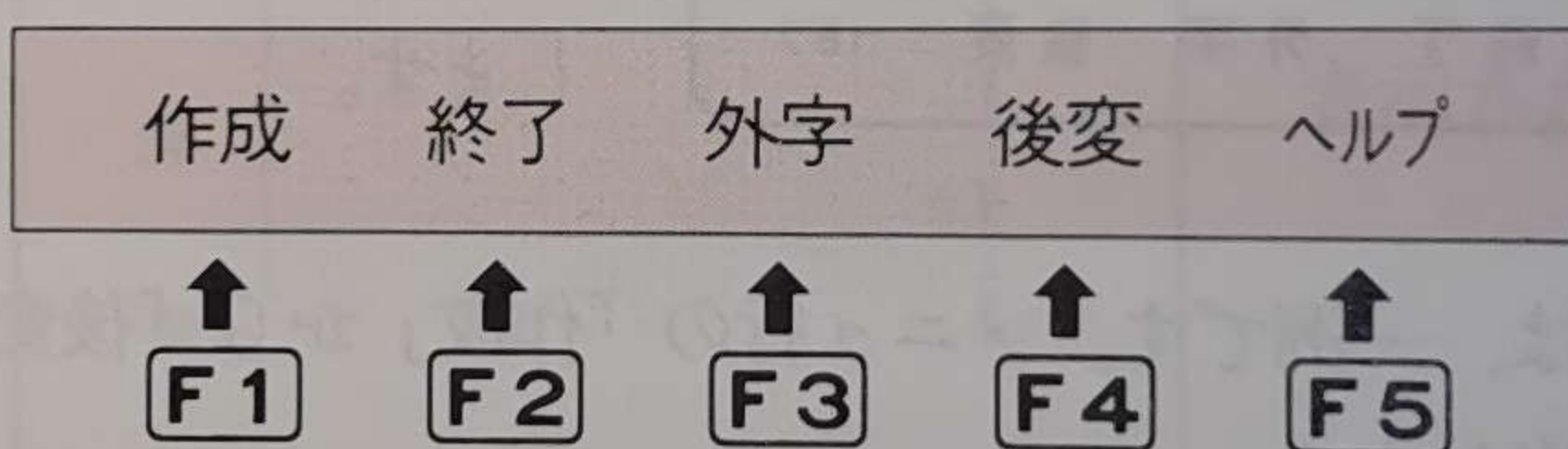
```
》_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

状態表示行には、カーソルの位置、入力モード(書ける文字の種類)、書式(1ページの大きさ、作成できる上限のページ数など)が表示されます(▶70ページ)。

状態表示行……………… 01.01.01 書式:A4*16/38*28
メニュ行………………… 作成　終了　外字　後変　ヘルプ

メニュ行には、機能を選ぶためのメニュが表示されます。

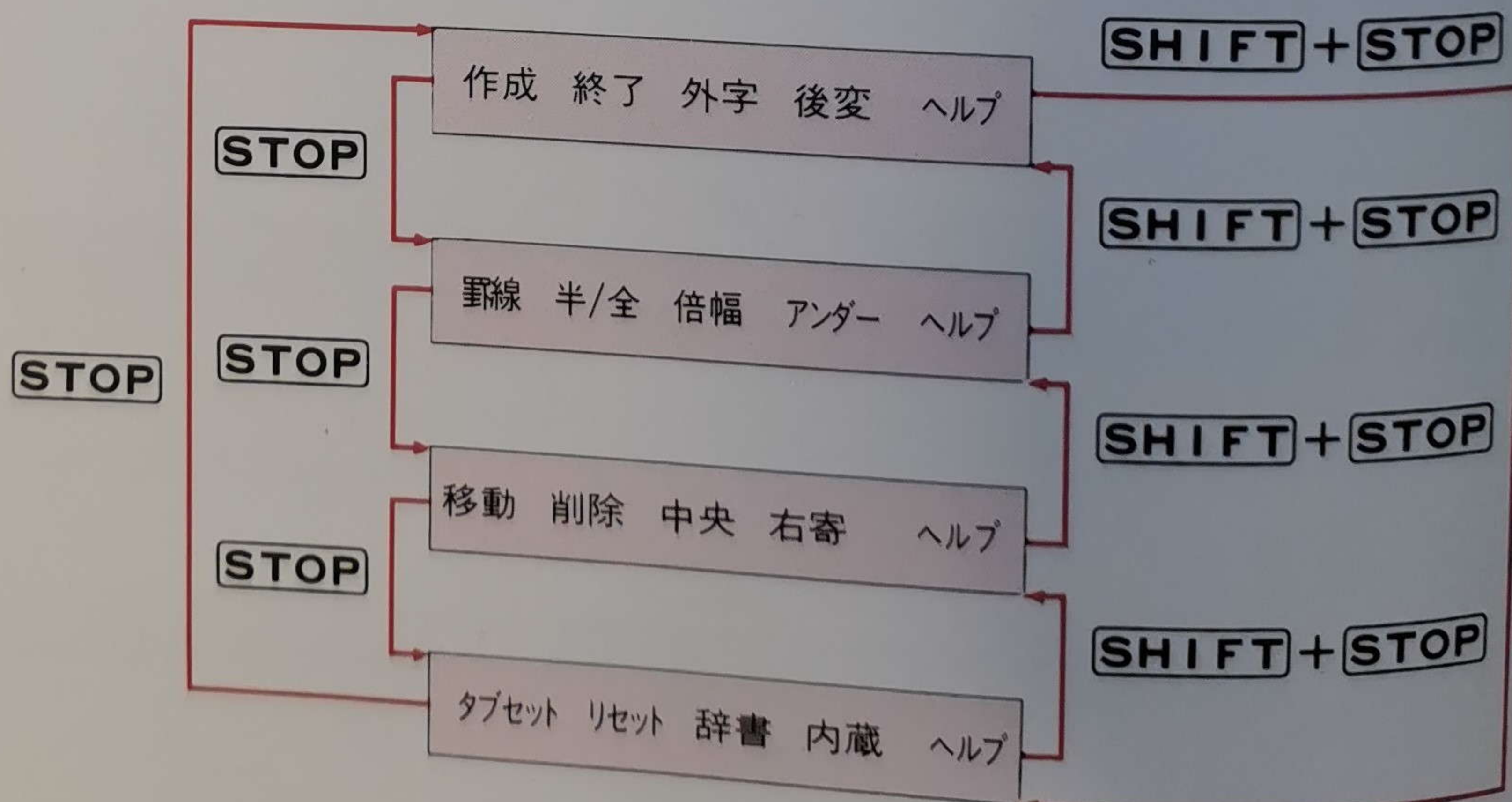
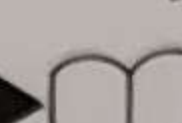
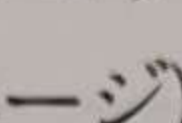
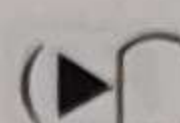
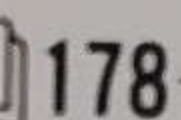
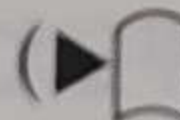
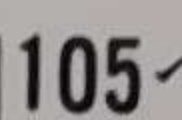
初期メニュ

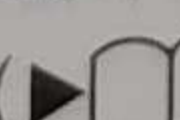
作成	終了	外字	後変	ヘルプ
F1	F2	F3	F4	F5

このメニュを初期メニュと呼びます。

初期メニュは、文書の印刷や保存などの操作をしたあとにも表示されます。

メニュ行の表示を変える

STOPを押すと、メニュは次の4通りに変化します。
SHIFTを押しながらSTOPを押すと、メニュは逆の順序で表示されます。

作成　終了　外字　後変　ヘルプ
↓ STOP ↑ SHIFT＋STOP
罫線　半/全　倍幅　アンダー　ヘルプ
↓ STOP ↑ SHIFT＋STOP
移動　削除　中央　右寄　ヘルプ
↓ STOP ↑ SHIFT＋STOP
タブセット　リセット　辞書　内蔵　ヘルプ
↓ STOP (作成…へ戻る) ↑ SHIFT＋STOP

メニュ行に表示された機能を選ぶ

メニュ行の表示は、F1からF5までのファンクションキーの役割をあらわしています。各ファンクションキーのはたらきと用途を説明します。

作成	終了	外字	後変	ヘルプ

作　成 F1 ……………
- 新しく文書を作る（▶72ページ）。
- 1ページの大きさを変える（▶73ページ）。
- フロッピディスクやカセットテープに保存された文書を呼び出す（▶159ページ）。

終　了 F2 ……………
- 文書や辞書をフロッピディスクやカセットテープに保存する（▶159ページ）。
- フロッピディスクに保存された文書や辞書を消す（▶181ページ）。
- 文書をプリンタで印刷する（▶150ページ）。
- フロッピディスクに保存された文書や辞書のタイトル一覧を印刷する（▶178ページ）。

外　字 F3 ……………
- JIS 第1水準にない漢字や記号を自分で作る（▶120ページ）。

後　変 F4 ……………
- ひらがなで書いた文字を後から漢字に直す（▶84ページ）。

ヘルプ F5 ……………
- ヘルプ画面を表示させる

罫線	半/全	倍幅	アンダー	ヘルプ

罫　線 F1 ……………
- 文書中で縦横の罫線を引く（▶105ページ）。

半／全 F2 ……………
- 数字やアルファベットの文字幅を通常の半分にする（▶49ページ）。

倍　幅 F3 ……………
- 印刷するときの文字幅が通常の2倍の、大きな文字を使う（▶144ページ）。

アンダー F4 ……………
- 文字の下にアンダーラインを引いて目立たせる（▶146ページ）。

ヘルプ F5 ……………
- ヘルプ画面を表示させる

移動	削除	中央	右寄	ヘルプ

移　動 F1 ……………
- 文章の一部を別の場所に複写したり、移動する（▶134ページ）。

削　除 F2 ……………
- 文章の一部を消す（▶131ページ）。

中　央 F3 ……………
- 見出しやタイトルなどを、行の真中にそろえる（▶139ページ）。

右　寄 F4 ……………
- 日付や名前などを、行の右端に寄せる（▶140ページ）。

ヘルプ F5 ……………
- ヘルプ画面を表示させる

タブセット	リセット	辞書	内蔵	ヘルプ

タブセット F1………●項目の頭をそろえる場合にタブの位置を決める（▶99ページ）。

リセット F2………●タブを解除する（▶102ページ）。

辞　書 F3………●よく使う単語やことばを自分の略語で呼び出せるように、辞書に登録する（▶113ページ）。

内　蔵 F4………●季節の挨拶など、あらかじめ登録されている文書を探す（▶95ページ）。

ヘルプ F5………●ヘルプ画面を表示させる

メニュ行に表示された機能を選ぶときに、F6からF10までのファンクションキーは使えません。SHIFTを押しながらファンクションキーを押しても、何も起きません。

ファンクションキーの役割が表示されていないとき

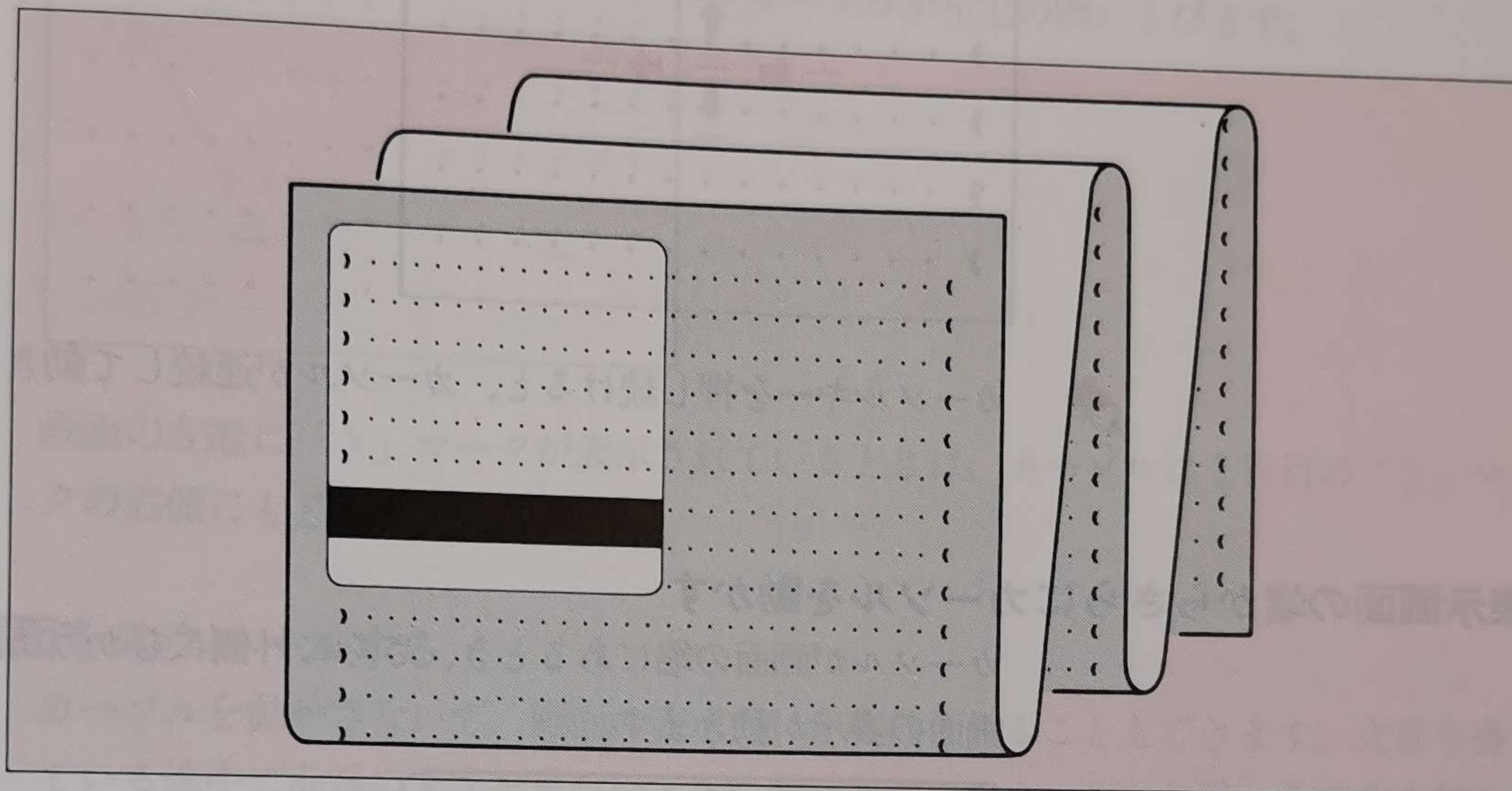
メニュ行に表示された機能を選ぶと、さらに新しいメニュ行になります。たとえば、初期メニュで、F1を押して「作成」を選ぶと、メニュ行は次のように変わります。

呼出	新規	書式		取消

このとき、F4に相当する位置には何も機能が表示されていません。このメニュが表示されているときは、F4を押しても何もできないことを意味しています。

カーソルの移動

このソフトでは、ひとつの文書を何ページにもわたって書き続けられます。この場合、文書のすべてをテレビの画面で一度に全部見ることはできません。ここでは、カーソルを移動して、文書のあちこちを文書作成画面に表示させる方法を説明します。

文書と文書作成画面の関係

文書作成画面は、作成した文書を見るための「窓」の役目を持っています。つまり、連続した文章の一部を、**15**文字×**6**行（MSX 2で高解像モードを選んだときは**30**文字×**6**行）の範囲で切り取って見せているわけです。

文書作成画面では、ページの切れ目が表示されません。現在画面に表示されているページ番号は、カーソルの位置をあらわす数字で確認します。

カーソルの現在位置を見る

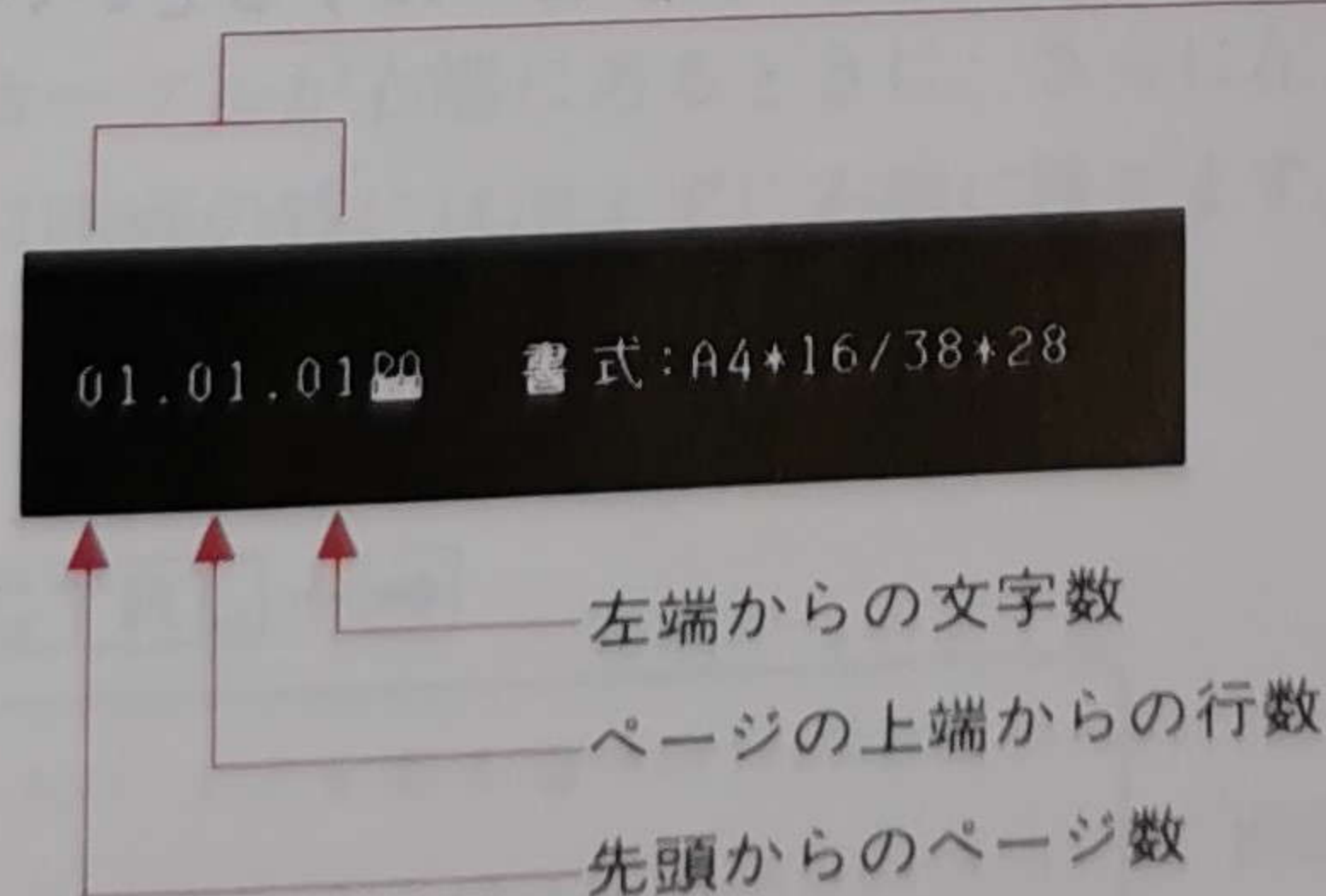
カーソルが文書のどの位置にあるか、コントロール表示ブロックの状態表示行を見て確かめることができます。

カーソルの現在位置表示

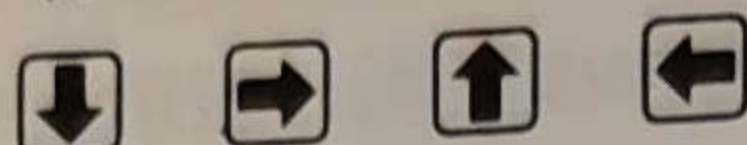
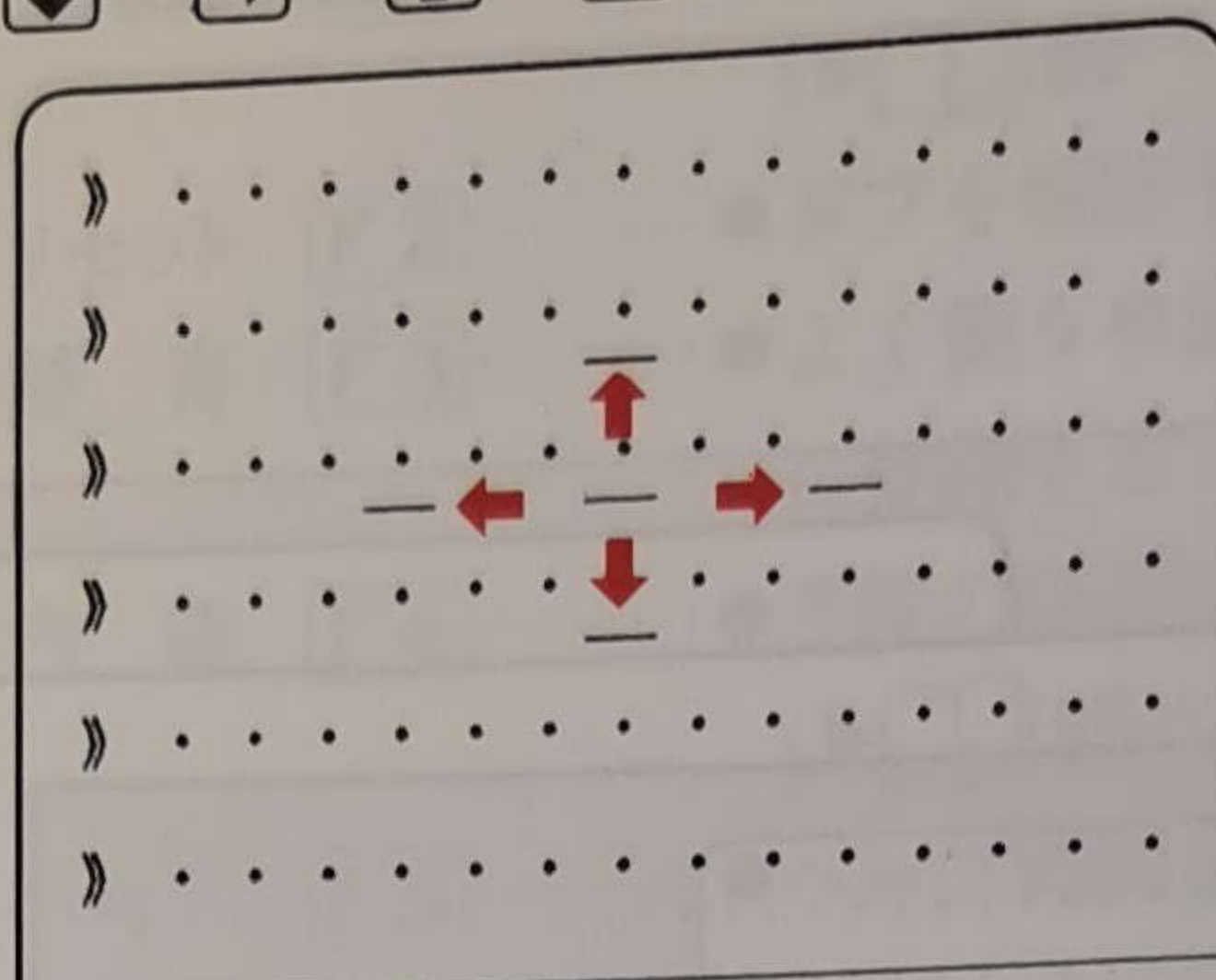
01.01.01 書式:A4*16/38*28

左端からの文字数

ページの上端からの行数

先頭からのページ数

カーソルキーでカーソルを移動する

カーソルキーは、矢印の方向にカーソルを移動するはたらきがあります。

⬇ ➡ ⬆ ⬅

カーソルキーを押す

自由にカーソルキーを押して、画面の中でカーソルが動くのを確かめることができます。

カーソルキーを押し続けると、カーソルが連続して動きます。

表示画面の端からさらにカーソルを動かす

カーソルが画面の端にあるとき、さらに外側にむかう方向のカーソルキーを押すと、画面の表示が動きます。

》あいうえおかきくけこさしすせ

あいうえお以下の**50**音が続けて**1**行に書かれているとします。

➡

カーソルキーを押す

あいうえおかきくけこさしすせそ

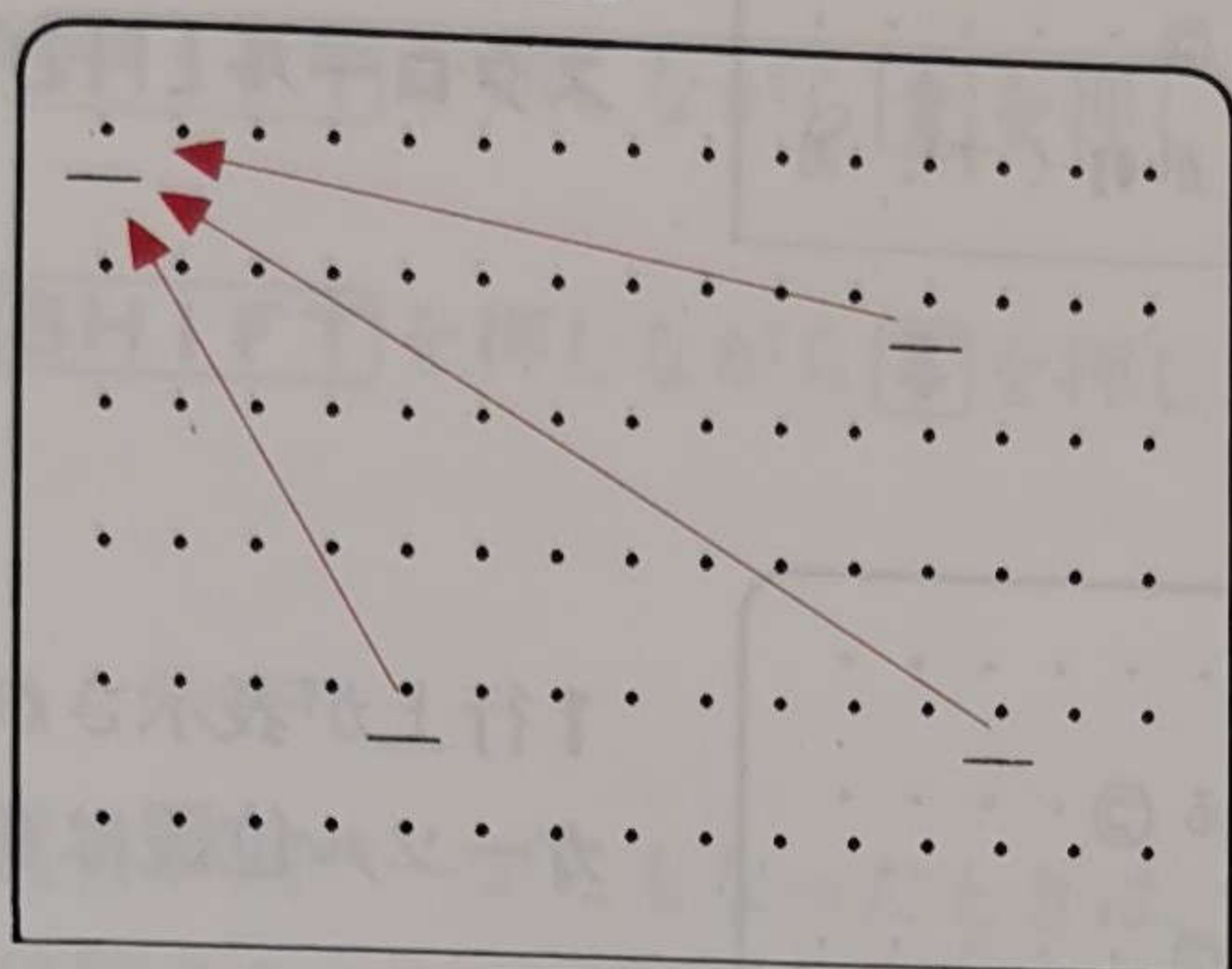
左端に表示されていた「》」マークが消え、「せ」に続く「そ」が表示されます。

このように、カーソルキーを押すことで、画面が作った文書の上を**1**文字ずつ動くように見えます。これを、画面が**スクロール**するといいます。

画面の左上の隅にカーソルをとばす

カーソルがどの位置にあっても、画面の左上の隅にカーソルをいっぺんにとばすことができます。

HOME／CLS

HOME／CLS を押す

カーソルが左上の隅にとびます。

画面の左端に「》」マークが表示されているときは、カーソルは1行目の「》」マークの右側にもどります。

カーソルを動かさずに画面をスクロールする

カーソルを動かさないで、画面の表示だけを移動させることもできます。文章を書いている途中で前後の文字を見たいときに使うと、スクロールした後もそのまま続きを書けるので便利です。

左右へのスクロール

```
調にトップを走る⊙・・・・・・・
umber　1⊙・・・・・・・・
しぎなくらい体が軽くて、苦・・
```

画面の左右に1文字ずつスクロールするのを桁**スクロール**と呼びます。

CTRL＋←

CTRL を押しながら ← を押す

```
快調にトップを走る⊙・・・・・
Number　1⊙・・・・・・・
ふしぎなくらい体が軽くて、苦・
```

画面の左側が表示されます。
カーソル位置は変わりません。

カーソルが右端にあるときに、さらに左方向に桁スクロールをおこなうと、カーソルは画面の外には消えずに右端に残ります。カーソルが右端にある状態で、文書だけがスクロールします。

CTRL＋→

CTRL を押しながら → を押す

```
にトップを走る⊙・・・・・・・・
mber　1⊙・・・・・・・・・
ぎなくらい体が軽くて、苦・・・
```

画面の右側が表示されます。
カーソル位置は変わりません。

上下へのスクロール

》快調にトップを走る⊙・・・・
》Number 1⊙・・・・・
》ふしぎなくらい体が軽くて、苦

画面の上下に1行ずつスクロールするのを、行**スクロール**と呼びます。

CTRL+⬆

CTRL を押しながら ⬆ を押す

》いつもの道⊙・・・・・・・・・
》快調にトップを走る⊙・・・・
》Number 1⊙・・・・・

1行上が表示されます。
カーソル位置は変わりません。

CTRL+⬇

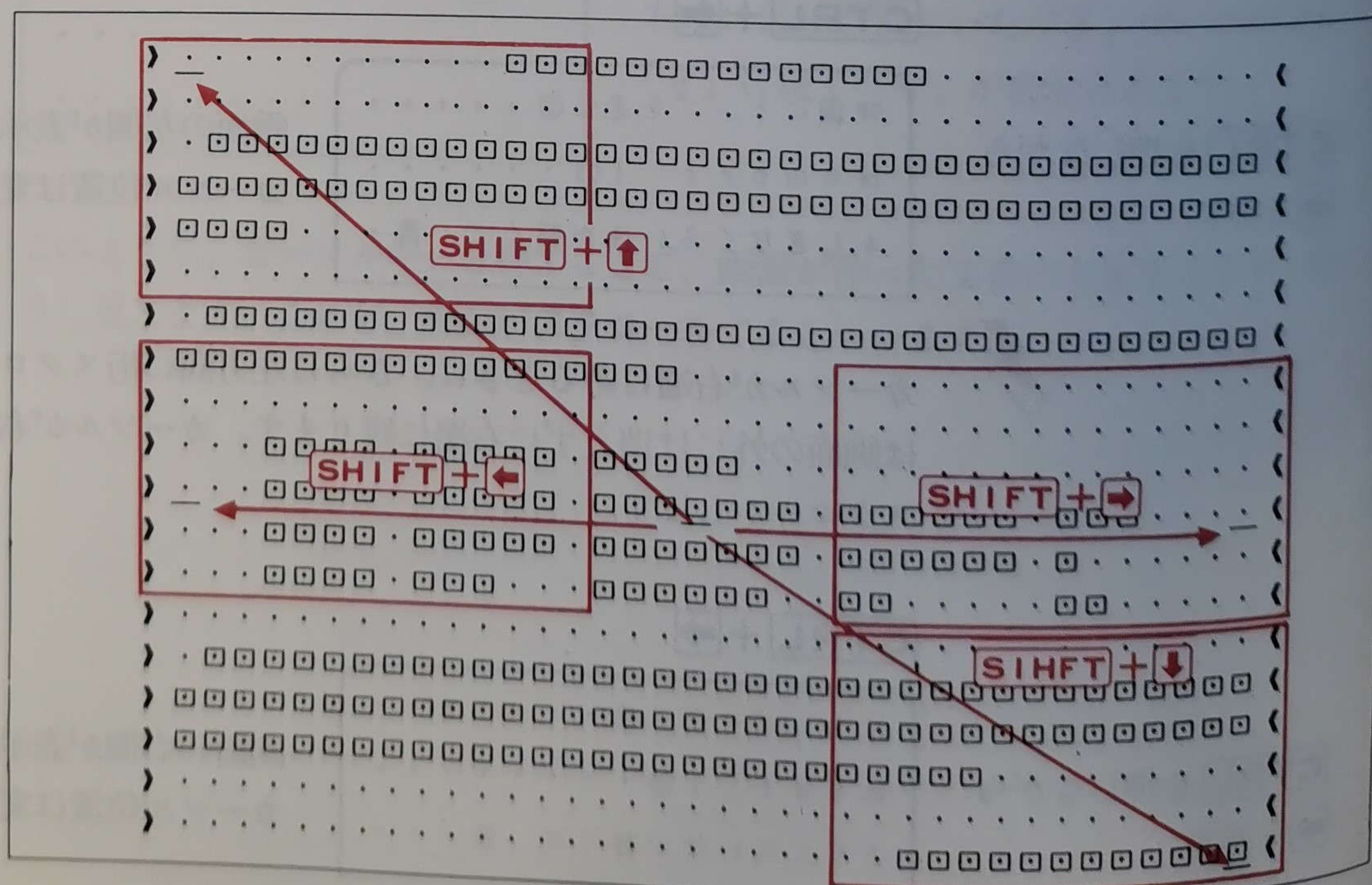
CTRL を押しながら ⬇ を押す

》Number 1⊙・・・・・
》ふしぎなくらい体が軽くて、苦
》は出ない。今度のマラソン大会

1行下が表示されます。
カーソル位置は変わりません。

ページの端へカーソルを移動する

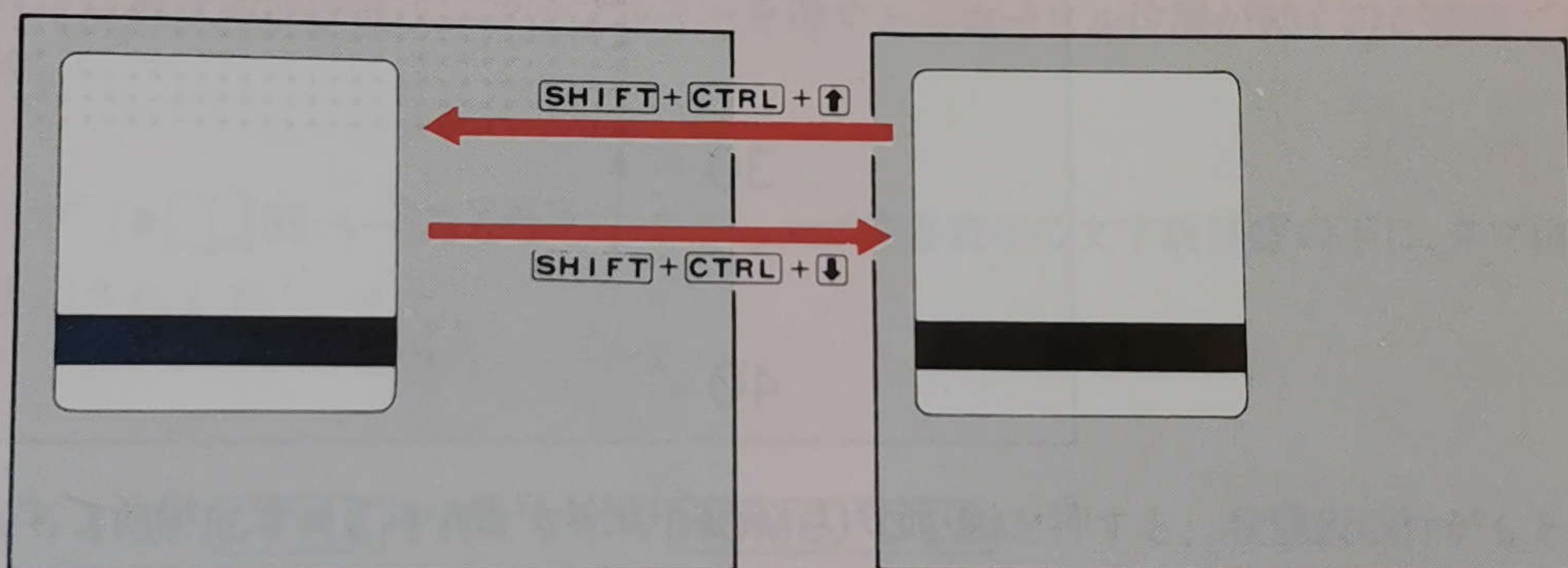
カーソルキーを押しつづけないで、簡単にカーソルを離れたところへとばす方法があります。

カーソルをページの端へ移動して、画面をスクロールするためには、**SHIFT** を押しながら、移動したい方向のカーソルを押します。

⊡は文字や記号の書かれた場所。

行の左端に移動する	SHIFT を押しながら ← を押します。
行の右端に移動する	SHIFT を押しながら → を押します。
ページの先頭に移動する	SHIFT を押しながら ↑ を押します。
ページの最後の文字の後ろに移動する	SHIFT を押しながら ↓ を押します。

前後のページを見る

文書が何ページにもなったときは、カーソルをいっぺんに前後のページの同じ位置に移動することができます。

SHIFT と CTRL の両方を一緒に押しながら ↓ を押すと、次のページの同じ位置にカーソルが跳びます。
SHIFT と CTRL の両方を一緒に押しながら ↑ を押すと、前のページの同じ位置にカーソルが跳びます。

前ページを見る	SHIFT と CTRL の両方を一緒に押しながら ↑ を押します。
次ページを見る	SHIFT と CTRL の両方を一緒に押しながら ↓ を押します。

ページの中でのカーソル位置（何行目の何文字目か）は、変わりません。次のページの先頭にカーソルを移動したいときには、まず、SHIFT を押しながら ↑ を押して同じページの先頭に移動します。そのあとで SHIFT と CTRL の両方を一緒に押しながら ↓ を押します。

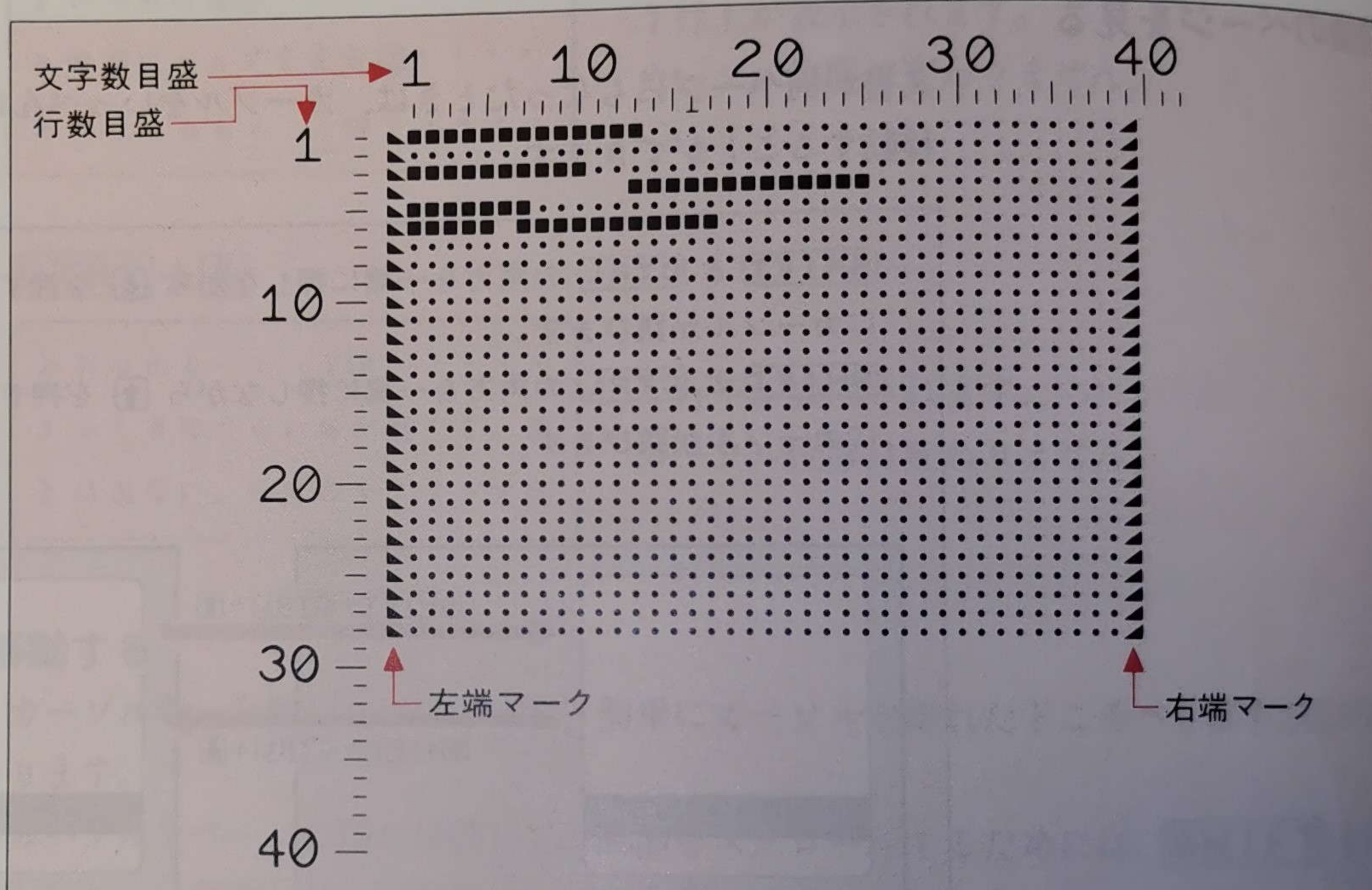
レイアウト表示画面

レイアウトとは、文字や表などの配置を意味することばです。
このソフトには**1**ページの全体や**1**行の全体を見るための機能があります。

ページ全体の形を見る

ページの全体像がわかると、文章のバランスがわかって便利です。次のように操作して全体レイアウトの画面を表示させます。

全体レイアウトを表示する
ESC を押す

文字数目盛
行数目盛
1　10　20　30　40
1
10
20
30
40
左端マーク
右端マーク

「・」の部分は、文字や記号が書かれていない場所です。
空白を入力したところは「■」も「・」も表示されません。
罫線（▶📖**105**ページ）や、特殊な記号（▶📖**89**ページ）も通常の文字と同じように「·」で表示されます。

もとの画面にもどる

もう**1**度 **ESC** を押すと、もとの画面にもどります。

1行の全体を見る

文字を書いている途中でも、1行のスケール（目盛）を表示させることができます。現在のカーソル位置を確認しながら書き進めることができるので便利です。この1行のスケールを「タブ位置表示」と呼びます。次のように操作して、タブ位置を表示させます。

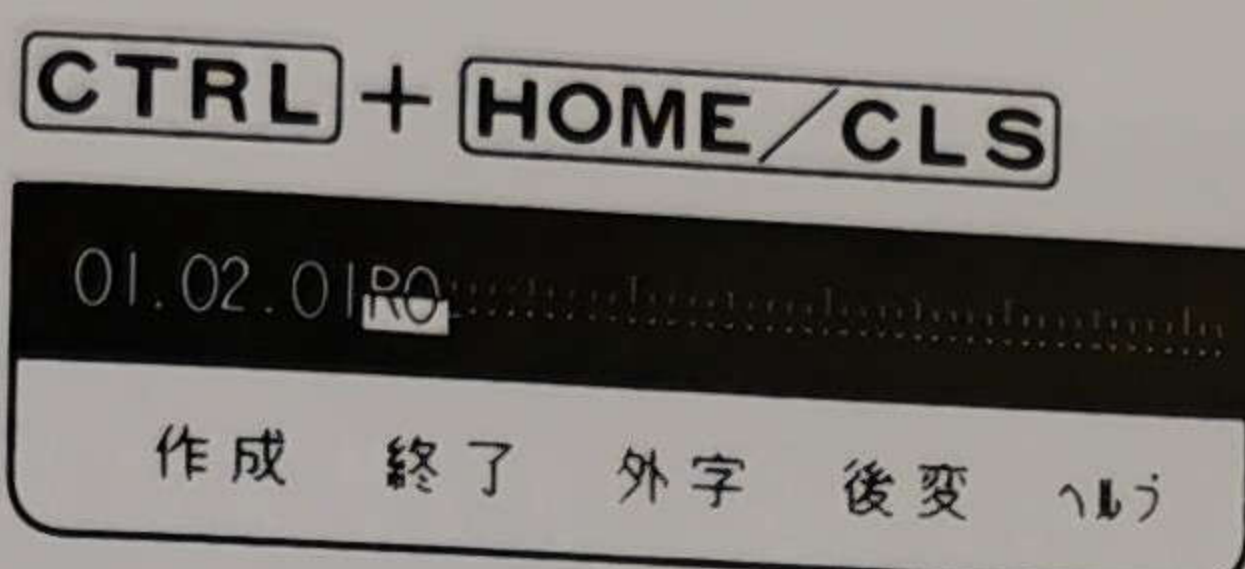
タブ位置を表示する

タブ位置はコントロール表示ブロックの状態表示行に出ます。

CTRL を押しながら CLS／HOME を押す

CTRL ＋ HOME／CLS

01.02.01RO

作成　終了　外字　後変　ヘルプ

タブ位置表示には、現在カーソルが行のどのあたりにあるかが表示されます。

タブ位置表示では、文字を書いた部分と何も書かれていない部分が区別できません。カーソルの現在位置だけが確認できます。

タブ位置を表示させて、カーソルキーを押すと、カーソル位置が動くのが確認できます。

タブ（▶📖99ページ）をセットするとタブ位置表示の文字数目盛の下に、タブ位置が表示されます。

もとの画面にもどす

もう1度、CTRL を押しながら HOME／CLS を押すと、状態表示行がもとにもどって、現在の書式を表示します。

PART 5

美しい文書作りをめざして

作成した文書を美しく見やすい文書に整えるための編集機能について説明します。
単に文字を書くだけでなく、いろいろな機能を応用して個性的な文書作りを発見してみてください。

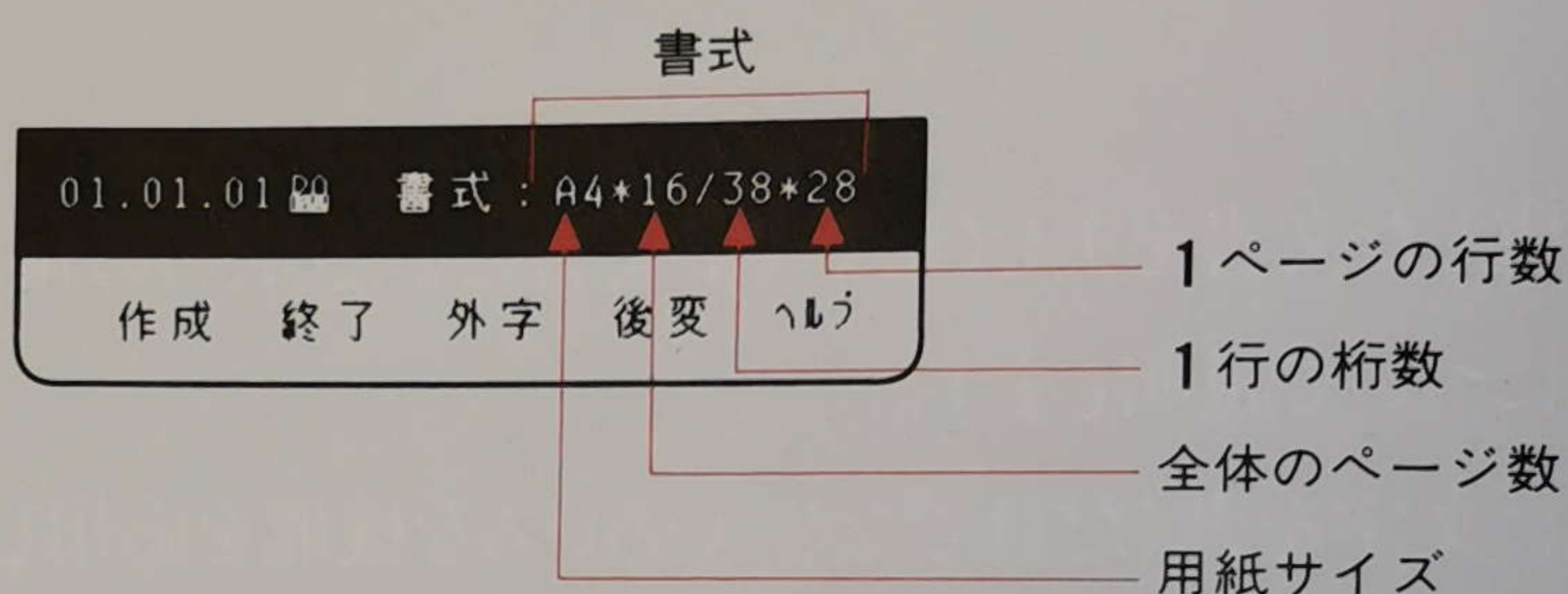
この章の内容

文書のかたちを決める

文書を作るときに用紙のサイズや、行数、桁数（1行の文字数）を決めますが、このことを書式といいます。

書式で設定すること

書式では用紙のサイズと1ページの行数、桁数を設定します。書式は状態表示行に表示されます。

《コントロール表示ブロック》

全体のページ数の上限は……
あらたに設定した書式をもとに、全部で何ページまでの文書を作成できるかを自動的に計算して画面に表示します。
ＭＳＸ本体の記憶容量によって、全体のページ数の上限は変わります。

用紙サイズと文字範囲

このソフトで指定できる用紙サイズは4種類です。設定できる行数と桁数は用紙サイズによって限定されます。指定できる用紙サイズの種類とそれぞれのサイズに対応する文字範囲（行数、桁数）は次のとおりです。

印刷時の行間隔と文字間隔

行数、桁数を変更すると、それに合わせて印刷のときの文字間隔、行間隔が変わります。行数や桁数が大きくなると、行間隔や文字間隔は狭くなり、逆に小さい場合は広くなります。（▶📖200ページ）。

A4サイズ

20〜40行

26〜42字

B5サイズ

18〜34行

22〜32字

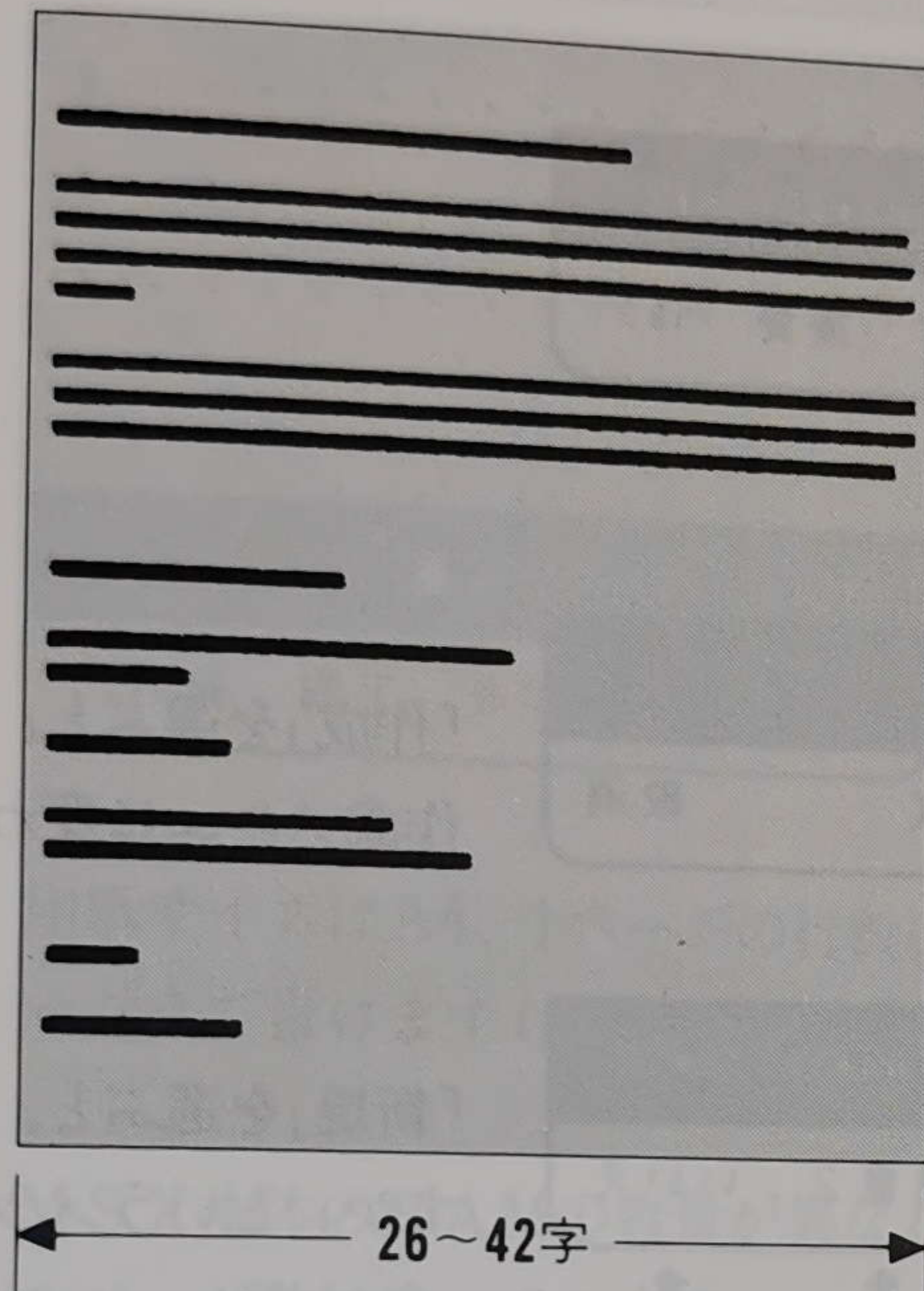
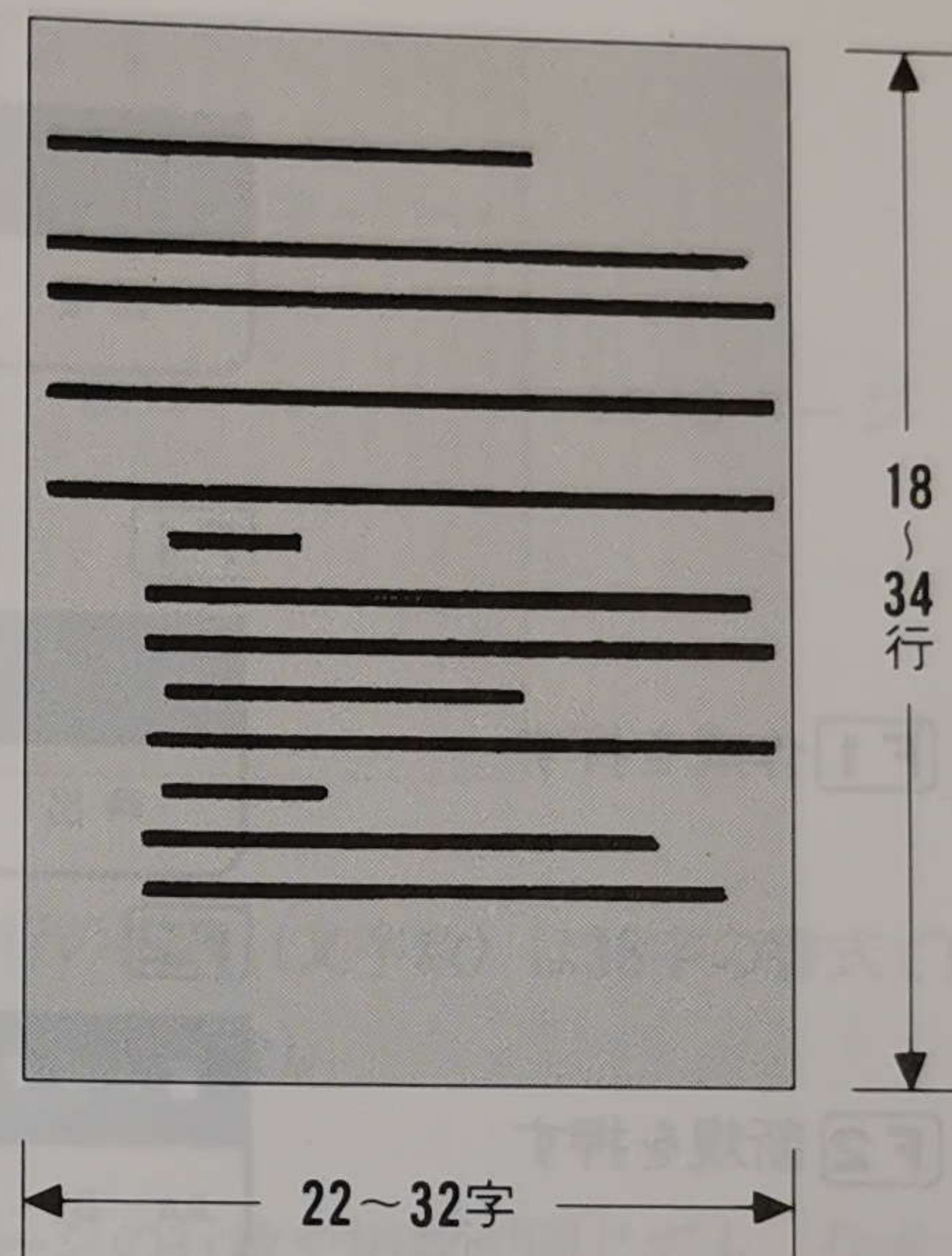
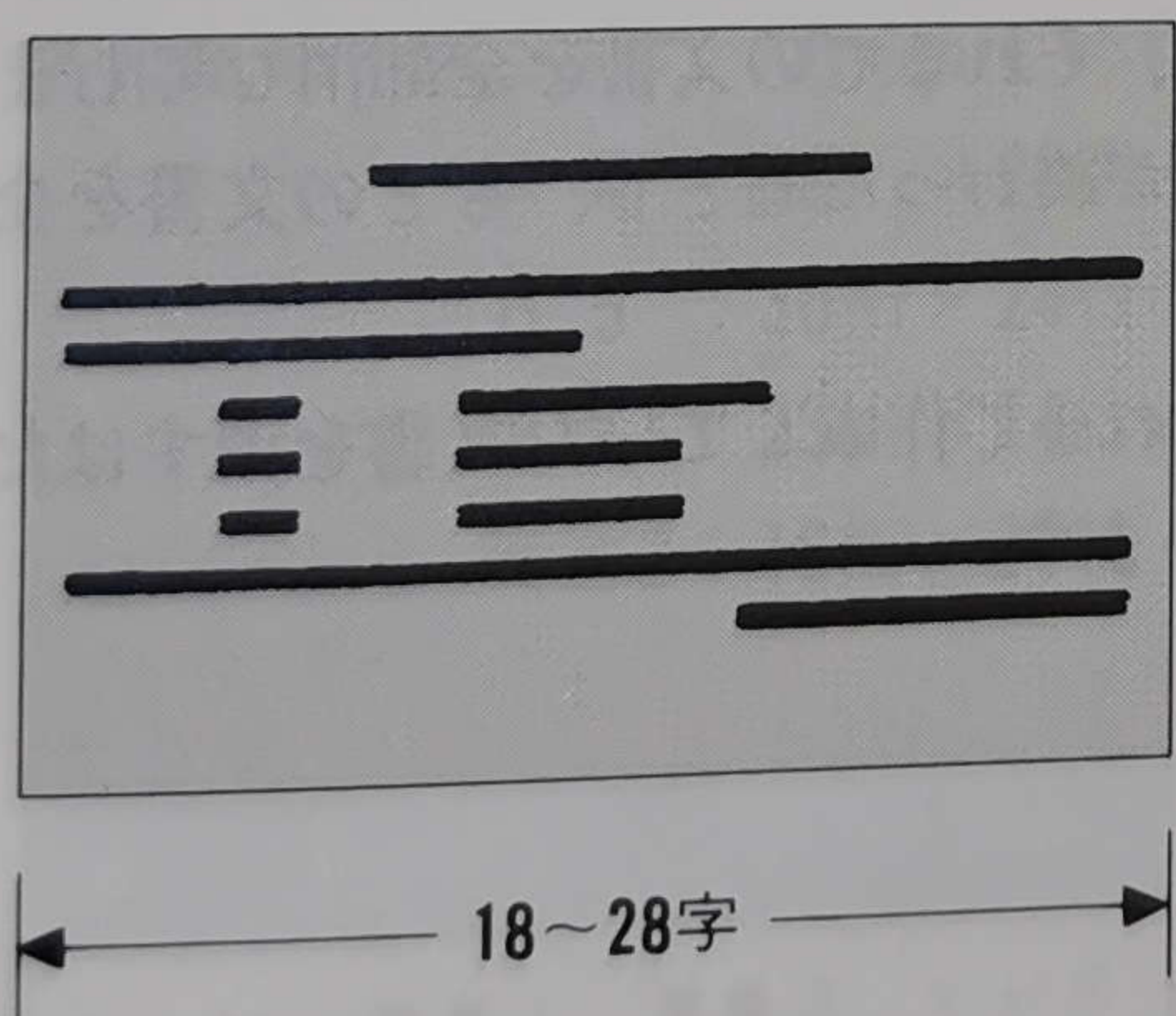
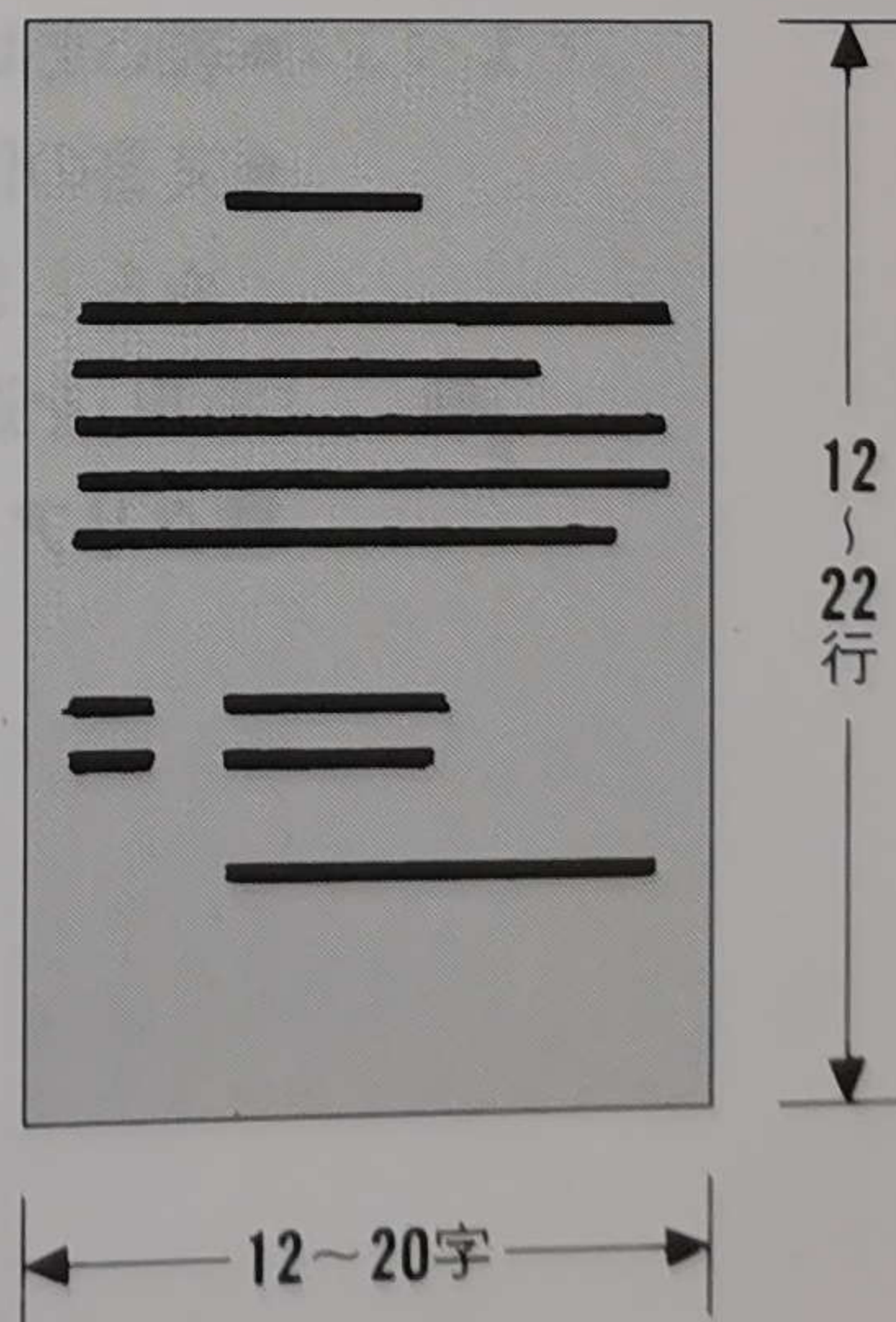
葉書1（横）

8〜20行

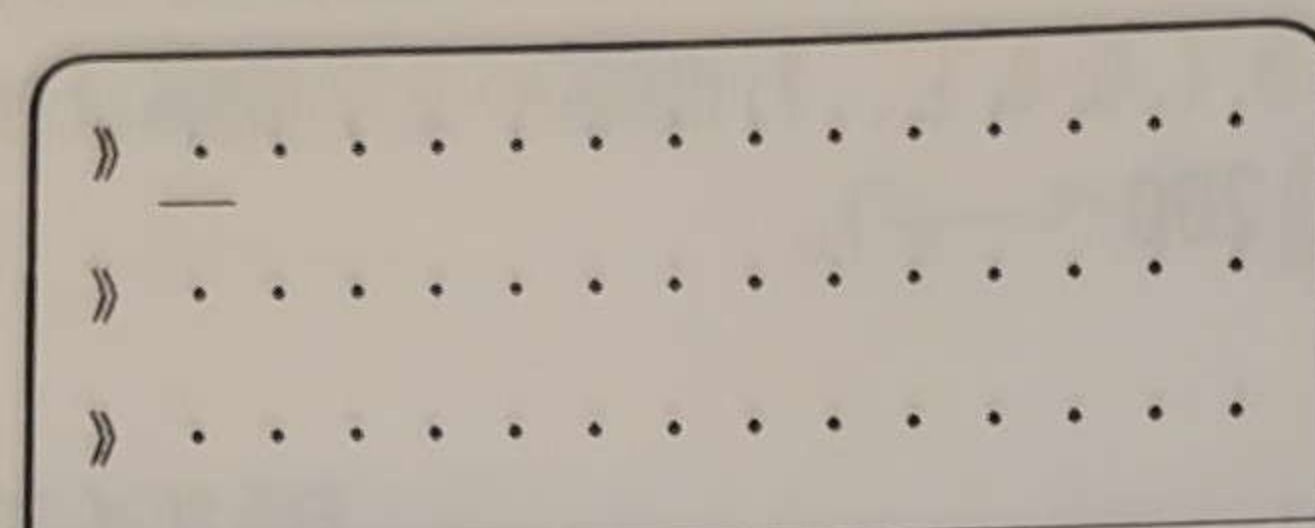
18〜28字

葉書2（縦）

12〜22行

12〜20字

書き始める前に書式を決める

文章を書き始める前に書式を設定する方法を説明します。

》．．．．．．．．．．．．．．．．．
》．．．．．．．．．．．．．．．．．
》．．．．．．．．．．．．．．．．．

電源を入れると文書作成画面が現れ、状態表示行に書式が表示されています。

'01.01.01　書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ﾍﾙﾌﾟ

F1

F1 作成を押す

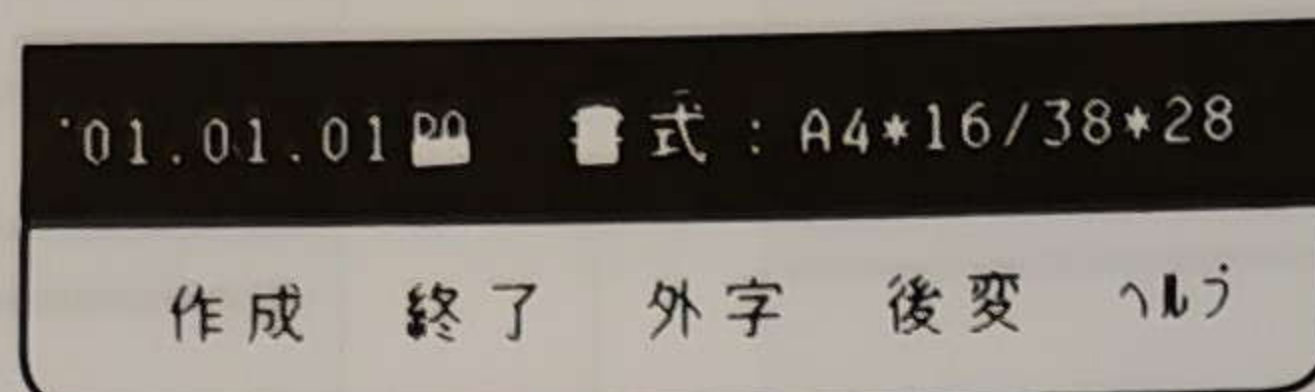
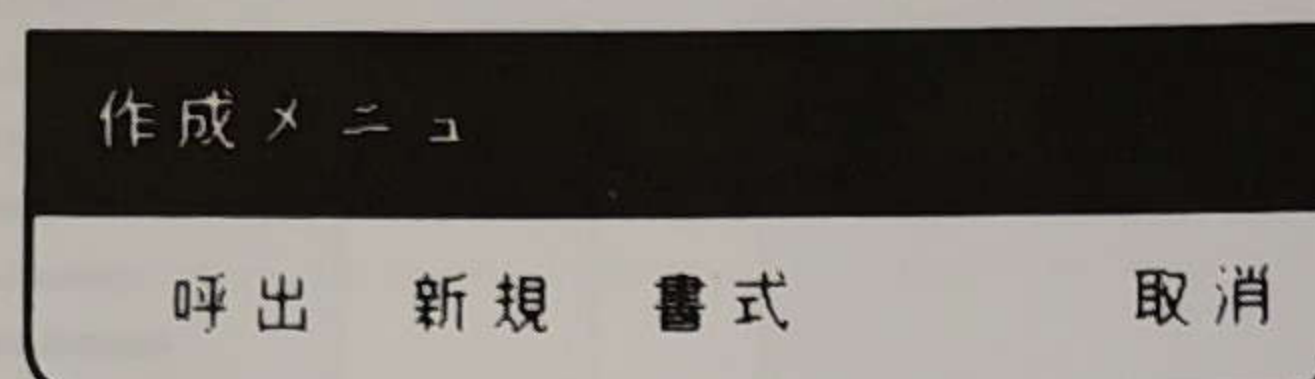
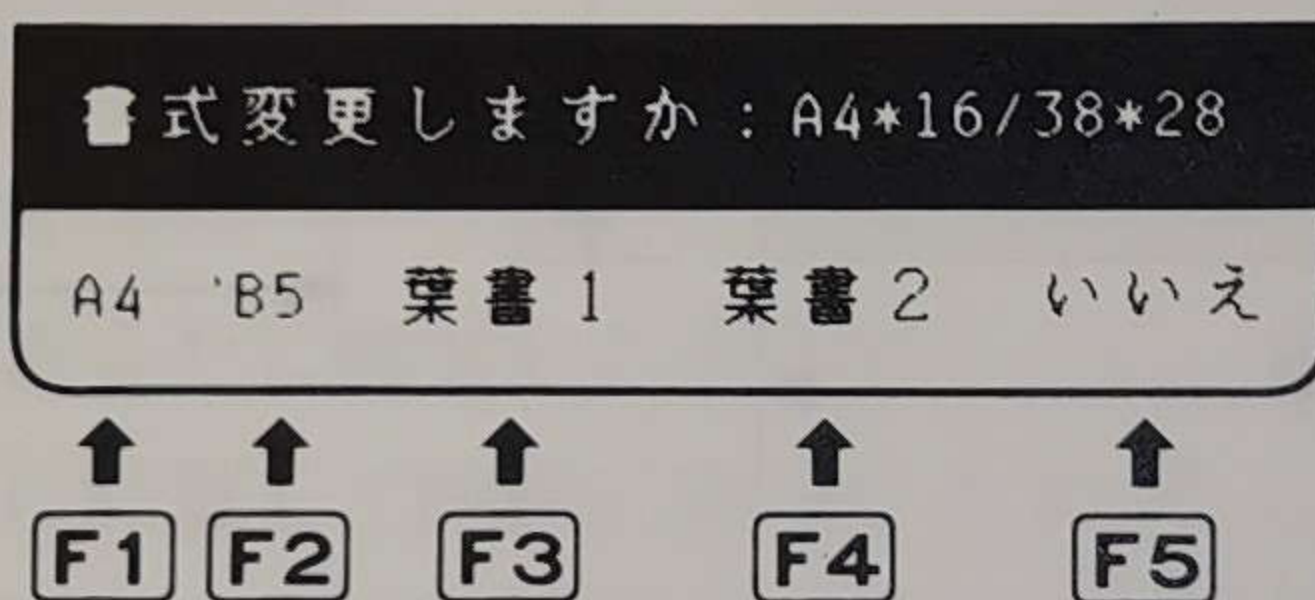
作成メニュ
呼出　新規　書式　取消

「作成」を選ぶと、コントロール表示ブロックが作成メニュに変わります。

F2

F2 新規を押す

書式変更しますか：A4*16/38*28
A4　B5　葉書1　葉書2　いいえ

F1 F2 F3 F4 F5

「新規」を選ぶと、状態表示行に「書式変更しますか」というメッセージを表示します。

F5 いいえを指定すると、コントロール表示ブロックは作成メニュに戻ります。

「新規」の指定は次のようなときにも利用します。
- 書いている途中で、それまでの文書を全部消してしまいたいとき。
- 文書の保存や印刷が終わったあとで、もとの文書を全部消して新しい文書を作り始めるとき。

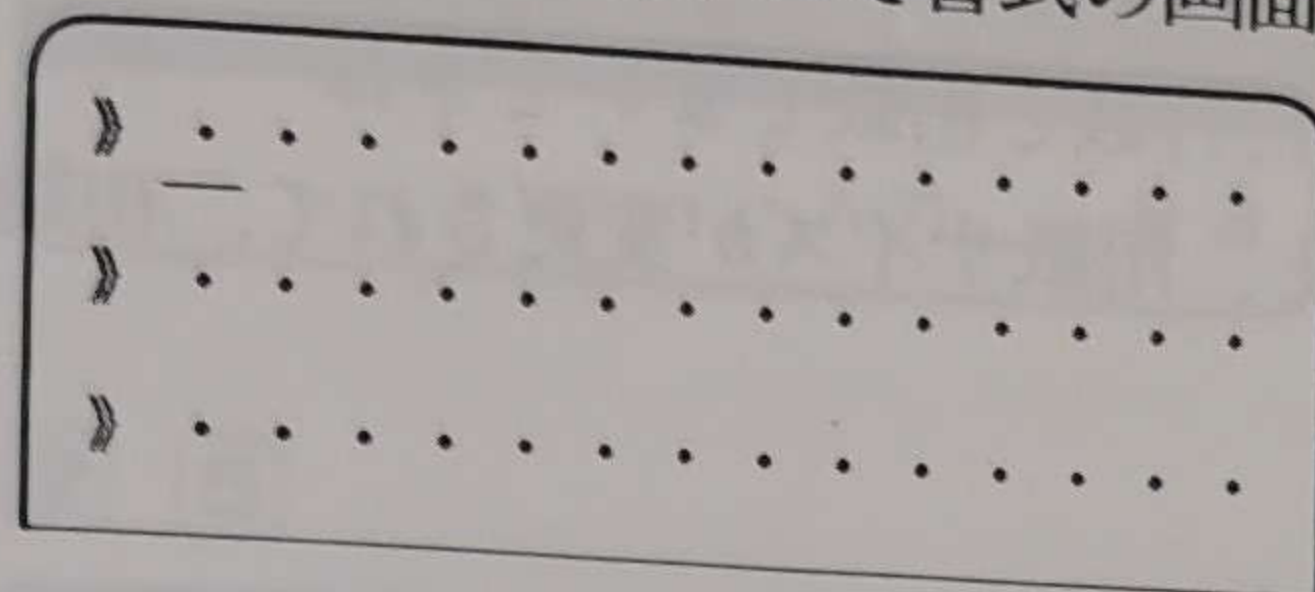
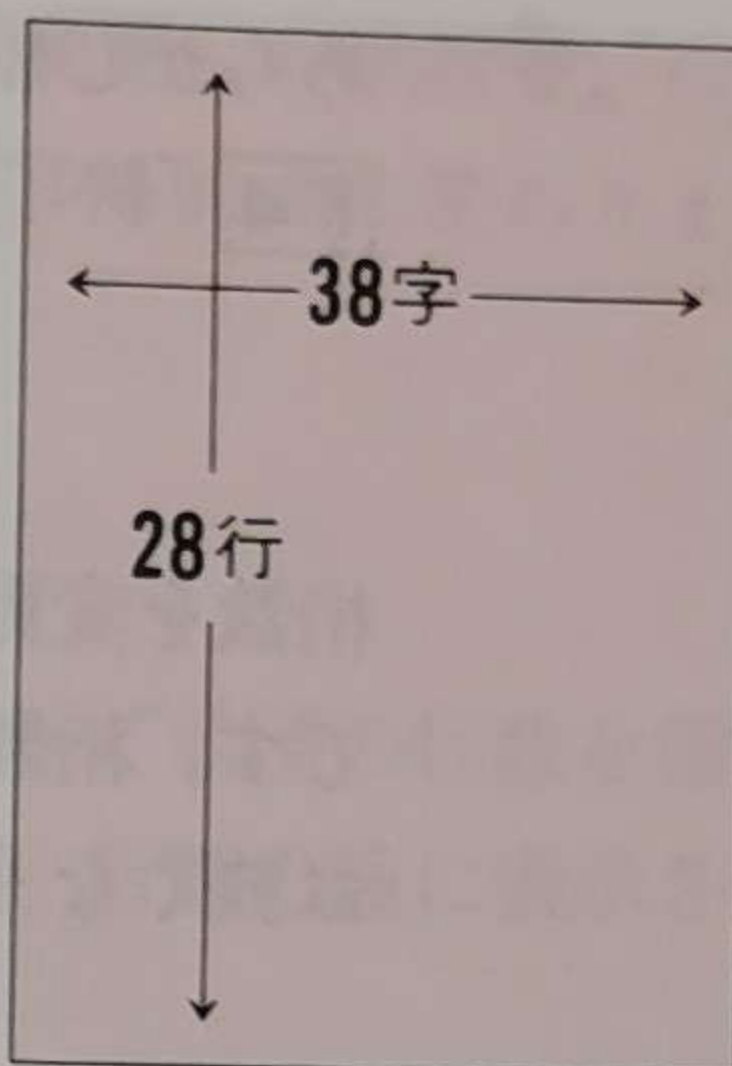
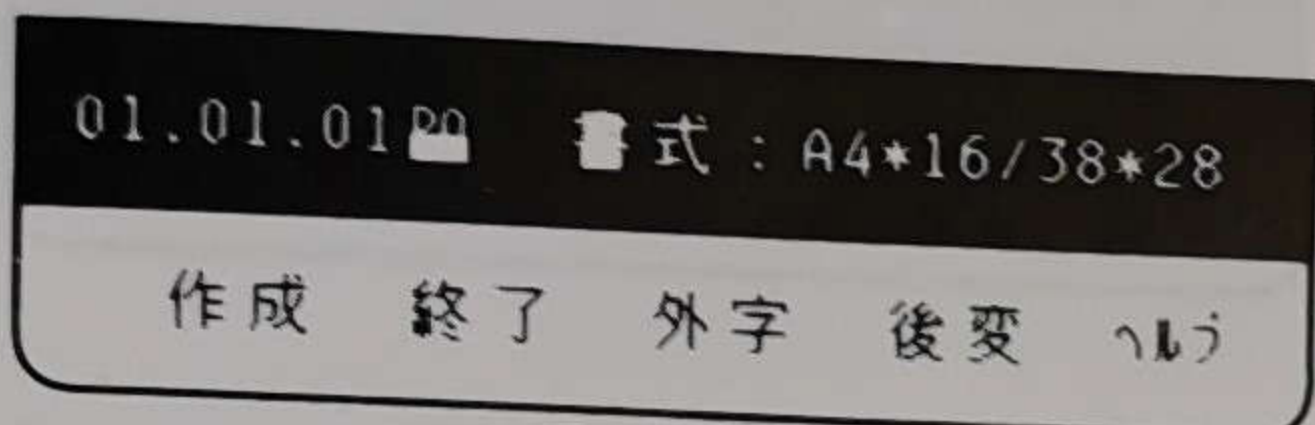
「新規」を選ぶと、それまで作成していた文書を消すはたらきがあります。これを**全文書クリア**と呼んでいます。

あらかじめ設定された書式を利用する

このソフトをスタートすると毎回、あらかじめ設定された書式が表示されます。変更しないと、文書はこの書式で作成、印刷されます（下図参照）。

《あらかじめ設定された書式の画面》

```
》_. . . . . . . . . . . . . .
》. . . . . . . . . . . . . . .
》. . . . . . . . . . . . . . .
```

```
01.01.01    書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

= A4サイズ（38字 × 28行）×16ページ

用紙サイズはA4、1ページの行数は28行、1行の桁数（文字数）は38字の書式で16ページまで書けます（MSX本体のRAMが64KBの場合）。

MSX本体のRAMの容量が異なると、1ページの行数や桁数が同じでも、作成できるページ数は違ってきます。

用紙サイズを変更する

用紙サイズを指定する

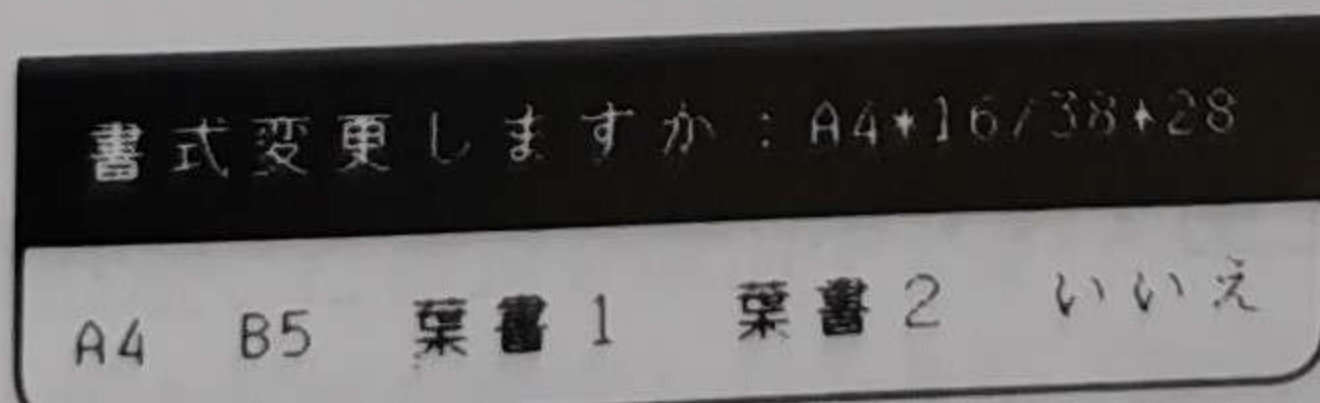
各用紙サイズごとに、あらかじめ行数と桁数が設定されています。

A 4 ：38桁×28行
B 5 ：30桁×24行
葉書1：23桁×14行
葉書2：16桁×17行

作成メニュで新規を指定して、用紙サイズを選ぶ画面を出す

```
書式変更しますか：A4*16/38*28
A4  B5  葉書1  葉書2  いいえ
```

F2

書式変更しますか：　B5*24/30*24
桁数　行数　　　　終了　取消

目的のサイズに対応するファンクションキーを押す

用紙サイズを選ぶと、本体にあらかじめ設定されている行数と桁数、および、その用紙サイズで作成できるページ数の上限を表示します。

あらかじめ設定された行数と桁数でよいときは……
F4「終了」を押すと、用紙サイズが変更されて、初期メニュに戻ります。

桁数を変更する

桁数を変更するときは、次の操作を続けます。桁数とは1行内で書ける文字数のことです。桁数を少なくすると印刷のときに文字の間隔は広がり、多くすると文字の間隔は狭くなります。

F1

桁数：　　　指定可能範囲22～32
入力　取消

F1 桁数を押す

「桁数」を指定すると、桁数を表示する画面が表示されます。

2 5

桁数：２５　指定可能範囲22～32
入力　取消

数字キーで桁数を指定する

数字キーで希望の桁数を指定します。指定した数字が、桁数の後に表示されます。

F4

書式変更しますか：　B5*29/25*24
桁数　行数　　　　終了　取消

F4 入力を押す

「入力」を指定すると、新たに指定した桁数が状態行に表示されます。桁数に合わせてページ数も自動的に変更されます。

行数の変更が必要ないときは……
「終了」に対応する F4 を押すと、コントロール表示ブロックは初期メニュに戻ります。

行数を変更する

行数を変更するときは次の操作を行います。行数を少なくすると、行の間隔が広がり、行数を多くすると行の間隔が狭くなります（▶📖201ページ）。

F2 行数を押す

F2

行数：　　　指定可能範囲18～34
入力　　取消

「書式変更」の画面で「行数」を選ぶと、行数を指定する画面に変わります。

数字キーで行数を指定する

2 5

行数：２５　指定可能範囲18～34
入力　　取消

数字キーで希望の行数を指定します。指定した数字が、行数の後に表示されます。

F4 入力を押す

F4

ページ数

書式変更しますか：B5*28/25*25
桁数　行数　　終了　　取消

「入力」を選ぶと指定した行数の書式が表示されます。この書式に合わせてページ数も自動的に変更します。

F4 終了を押す

F4

》. . . . .
》. . . . .
》. . . . .

01.01.01　書式：B5*28/25*25
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

行数を指定してから「終了」を選ぶと、自動的に文書作成画面にもどります。これで指定した用紙サイズ、桁数、行数に書式が変更されました。

指定した書式を取消すとき……
書式変更を指定したときに「取消」に対応する **F5** を押すと、変更を指定する前の画面に戻ります。

書いている途中で書式を変える

文章を書いている途中でも書式を変えることができます。たとえば行数や桁数を大きくしたり、逆に小さくしたり、あるいは用紙サイズを変更するなど初めに決めた書式の変更が可能です。変更前に書いていた文章も新しい書式に変わります。

書式の変えかた

書いている途中で書式を変える場合は、作成メニュで「書式」を選択してから、書式の変更を行います。その後の手順は「書き始める前に書式を決める」(▶📖72ページ)と同様ですので、詳しい説明は省略します。

書式変更の準備

● 初期メニュで「作成」を選ぶ

```
作成メニュ
呼出　新規　書式　　　　取消
```

⬇

書式を選ぶ

● 作成メニュで「書式」を選ぶ

```
書式を変更しますか：
A4　B5　葉書1　葉書2　いいえ
```

・用紙サイズを変更する（▶📖73ページ）
・桁数を変更する（▶📖74ページ）
・行数を変更する（▶📖75ページ）

⬇

書式の変更を終了する

新書式の文書画面に戻る

新書式の文書画面に戻った場合、カーソルは画面の左上のすみに戻ります。

文書量が多いと変更に時間がかかります。

文書作成の途中で書式を変更する場合、作成メニュで「新規」を指定しないでください。誤って「新規」を選ぶと、それまで書いた文章がすべて消えてしまいます。

漢字に直す

漢字への直しかたを説明します。漢字に直すことを漢字変換といいます。ひらがなだけが漢字に変換できます。
《使用するキー》

SPACE	ひらがなを漢字に直すときに必ず使うキーです。これを押してからメニュ行に漢字の「読み」を書きます。
GRAPH	1文字の漢字に直すときに使います。漢字の「読み」を書いてから押すと、1文字の漢字に変わります。
SELECT	熟語に直すときに使います。漢字の「読み」を書いてから押すと熟語に変わります。
1～7	「読み」に対応する漢字は、番号がふられてメニュ行に表示されます。目的の漢字の番号を数字キーで選びます（高解像度モードのときは1～9）。

2通りある漢字変換方法

このソフトには漢字変換の方法が2通りあります。文章を書きながら漢字に直す方法と、もうひとつはひらがなで文章を書き、あとから漢字に変換していく方法（「あとから変換」▶📖84ページ）です。はじめに文章を書きながら漢字に変換する方法から説明します。

入力方法が異なると変換方法は？
ひらがなはローマ字入力、かな入力のいずれで書いても変換方法は同じです。

漢字1文字に直す

1文字の漢字（単漢字といいます）に直します。送りがなのある漢字とない漢字に分けて説明します。

送りがなのない漢字に直す

例で「木」を書きます。

例 コーヒーの木

》コーヒーの＿・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.06 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

SPACE

SPACE を押す

01.01.06 書式：A4*16/38*28
〔＿

メニュ行に「〔＿」が表示されます。ここに漢字の「読み」を書きなさいという意味のしるしです。

K **I**

漢字の「読み」を書く

01.01.06 書式：A4*16/38*28
〔き＿

コントロール表示ブロックに「読み」を書きます。

SPACE

再び**SPACE**を押す

01.01.06 書式：A4*16/38*28
〔き〕＿

「読み」をかっこでくくります。

GRAPH

GRAPH を押す

```
01.01.06    書式：A4*16/38*28
1 危 2 既 3 機 4 気 5 貴 6 喜 7 器
```

「読み」に対応する漢字が表示されます。

高解像度モードの場合は漢字を9つ表示します。

同音の漢字が7つ以上あるとき

GRAPH

再びGRAPHを押す

```
01.01.06    書式：A4*16/38*28
1 起 2 黄 3 基 4 木 5 企 6 鬼 7 葵
```

別の漢字グループが表示されます。

目的の漢字を選択する

4

数字キーで目的の漢字の番号を指定する

```
》コーヒーの木_・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

選んだ漢字が文書作成画面に表示されます。

```
01.01.07    書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

もしも、目的の漢字が見つからないときは……
別の「読み」を書いてみましょう。ただし、JIS第1水準にない漢字は変換できません。外字(▶120ページ)を作成するか、ひらがなで書いてください。

GRAPHを押しすぎてしまった！
メニュ行が別の漢字グループを表示する画面に変わります。SHIFTを押しながらGRAPHを押すと、ひとつ前の画面にもどります。

「読み」をかっこでくくらずにGRAPHを押すと……
その読みの単漢字が表示されます。「読み」が漢字と送りがなに区別できるときは、次のページのように自動的に送りがなを除いた部分の漢字が表示されます。

「読み」をかっこでくくったときは……
「読み」をかっこでくくってGRAPHを繰り返し押すと、「決まる」の「決」などのようにその読みに送りがなのつく漢字も表示されます。

GRAPHを押し続けると、「読み」にもどります。

送りがなのある漢字

送りがなのある漢字を書きます。

例　笑った

SPACE

SPACE を押す

```
》_・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

コントロール表示ブロックに漢字の「読み」が書けるようになります。

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔_
```

W A R A T T A

漢字の「読み」と送りがなを書く

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔わらった_
```

漢字の「読み」と送りがなを書きます。

GRAPH

GRAPH を押す

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔わら〕った
```

漢字の「読み」と送りがなを自動的に区別する画面を約0.5秒間表示してから、次の画面に変わります。

↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
 1 笑　2 呵
```

同じ読みの1文字の漢字を表示します。

1

数字キーで目的の漢字の番号を指定する

```
》笑った_・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.04  書式：A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ﾍﾙﾌﾟ
```

目的の漢字を選ぶと、文書作成画面に漢字と送りがなが表示されます。
コントロール表示ブロックは初期メニュに戻ります。

「読み」を書き間違えたときは……
[←]か[BS]を1度押すと、メニュに書いた「読み」が1文字消えます。まとめて消す場合は、[SPACE]を2度続けて押します。

「読み」をかっこでくくってから[GRAPH]を押すと……
「読み」を書いてから[SPACE]を押すと、「読み」はかっこでくくられます。

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔はら_
```

[SPACE] ↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔はら〕_
```

[GRAPH] ↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
1 腹  2 原
```

送りがなのつかない1文字の漢字（名詞）を表示します。

[GRAPH] ↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔はら〕 -
```

約0.5秒間、左の画面を表示して下の画面に変わります。

↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
1 払 2 掃 3 妊 4 孕 5 攘 6 胚
```

同音で送りがなが必要な漢字を表示します。

[GRAPH] ↓

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
〔はら〕_
```

始めの画面にもどります。

熟語に直す

メニュ行に熟語の「読み」を書いてから SELECT を押すと、目的の熟語に直すことができます。

「使者」（ししゃ）を漢字にします。

例　アルタイ国からの使者

》アルタイ国からの_・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.09　書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

SPACE

SPACE を押す

01.01.09　書式：A4*16/38*28
〔_

メニュ行に、熟語の「読み」を書くしるし「〔_」が表示されます。

S I S Y A SPACE

熟語の「読み」を書いてから SPACE を押す

01.01.09　書式：A4*16/38*28
〔ししゃ〕_

「読み」がかっこでくくられます。

SELECT

SELECT を押す

01.01.09　書式：A4*16/38*28
1支社　2四捨　3使者　4死者

同音の熟語が表示されます。

3

数字キーで目的の熟語の番号を指定する

》アルタイ国からの使者_・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.01.11 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

目的の熟語の番号を選ぶと(この例では3)、文書作成画面に熟語が表示されます。

目的の熟語が見つからない場合

●SELECTを押すと、メニュ行に別の熟語が表示されます。押し続けると、再び「読み」の画面に戻ります。前に表示された熟語に戻るときは、SHIFTを押しながらSELECTを押すと前の画面を表示します。

●どうしても目的の漢字が見つからないときは、単漢字を組み合わせて熟語を作ります。

《魔》＋《神》———→ 魔神

《怪しい》＋《人》———→ 怪人(「怪しい」の「しい」は削除します)

「読み」をかっこでくくらない場合の熟語表示

●「読み」を頭文字に持つ熟語を表示します。

01.01.11 書式：A4*16/38*28
〔こい_

SELECT ↓

01.01.11 書式：A4*16/38*28
1 故意 2 恋敵 3 小意気 4 小池

SELECT ↓

01.01.11 書式：A4*16/38*28
1 小石 2 小石川 3 恋路 4 小泉

「あとから変換」で漢字に直す

ひらがなで文章を書き、最後にまとめて漢字に変換する方法を「あとから変換」といいます。1文字の漢字のときも熟語のときもあとから変換できます。

漢字1文字を「あとから変換」する

文書作成画面に書いたひらがなを漢字に直します。

例

わたしがみたのはかっぱだった

⬇

私が見たのは河童だった

送りがなのない漢字1文字を変換する

カーソルを「読み」の先頭の文字へ移動する

```
》わたしがみたのはかっぱだった
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01    書式：A4*16/38*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

「あとから変換」の略

F4

F4 後変を押す

```
》わたしがみたのはかっぱだった
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

「読み」の先頭の文字が反転になり、メニュ行に「後から変換」と表示されます。

```
01.01.02    書式：A4*16/38*28
後から変換
```

➡

➡で「読み」の最後の文字へカーソルを移動する

```
》わたしがみたのはかっぱだった
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「読み」の最後の文字までカーソルを移動すると、「読み」はすべて反転で表示されます。

```
01.01.04    書式：A4*16/38*28
後から変換
```

GRAPH

1文字の漢字に直すのでGRAPHを押す

```
01.01.04    書式：A4*16/38*28
1 私
```

メニュ行に漢字が表示されます。

1

目的の漢字の番号を数字キーで指定する

```
》私がみたのはかっぱだった
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

数字キーを押すと、文書作成画面に漢字が表示されます。メニュ行も初期メニュにもどります。

```
01.01.02    書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

送りがながあるとき

カーソルを「読み」の先頭位置へ移動する

```
》私がみたのはかっぱだった・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

F4

F4 後変を押す

》私がみたのはかっぱだった・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.01.04 書式：A4*16/38*28
後から変換

F4を押すと、「読み」の先頭文字は反転になります。

➡

カーソルを送りがなの最後の文字へ移動する

》私がみたのはかっぱだった・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.01.05 書式：A4*16/38*28
後から変換

➡キーを押して、漢字の「読み」と送りがなを反転にします。

GRAPH

GRAPHを押す

01.01.05 書式：A4*16/38*28
〔み〕た

⬇

01.01.05 書式：A4*16/38*28
1見 2観 3視 4満 5診 6看 7瞥

漢字の「読み」と送りがなをかっこで区切った画面が約**0.5**秒間表示されます。
その後すぐに次の画面に変わります。

同音の漢字を表示します。

1

数字キーで目的の漢字を指定する

》私が見たのはかっぱだった
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.05 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

目的の漢字を選ぶと、文書作成画面に漢字と送りがなが正しく表示され、カーソルは送りがなの右隣へ移動します。

熟語をあとから変換する ひらがなで書かれた「読み」をあとから熟語に直します。

熟語に直す「読み」の先頭の文字へカーソルを移動する

》私が見たのはかっぱだった・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.07 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

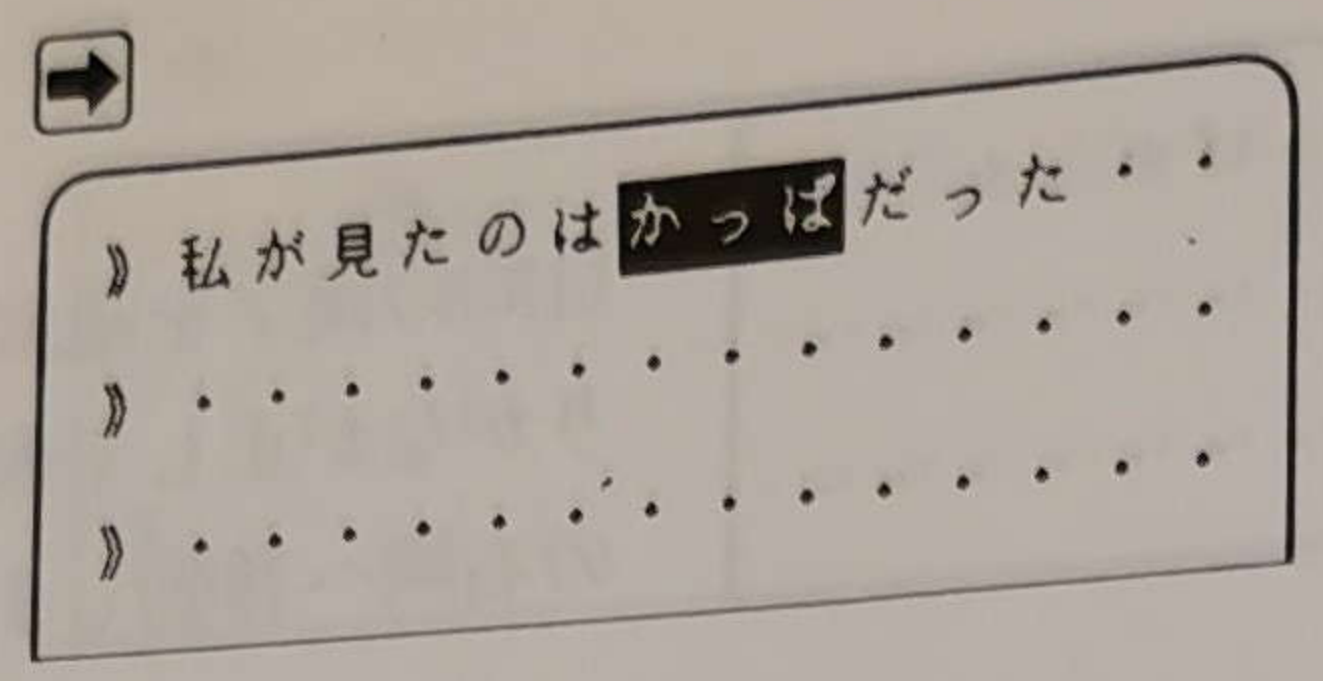
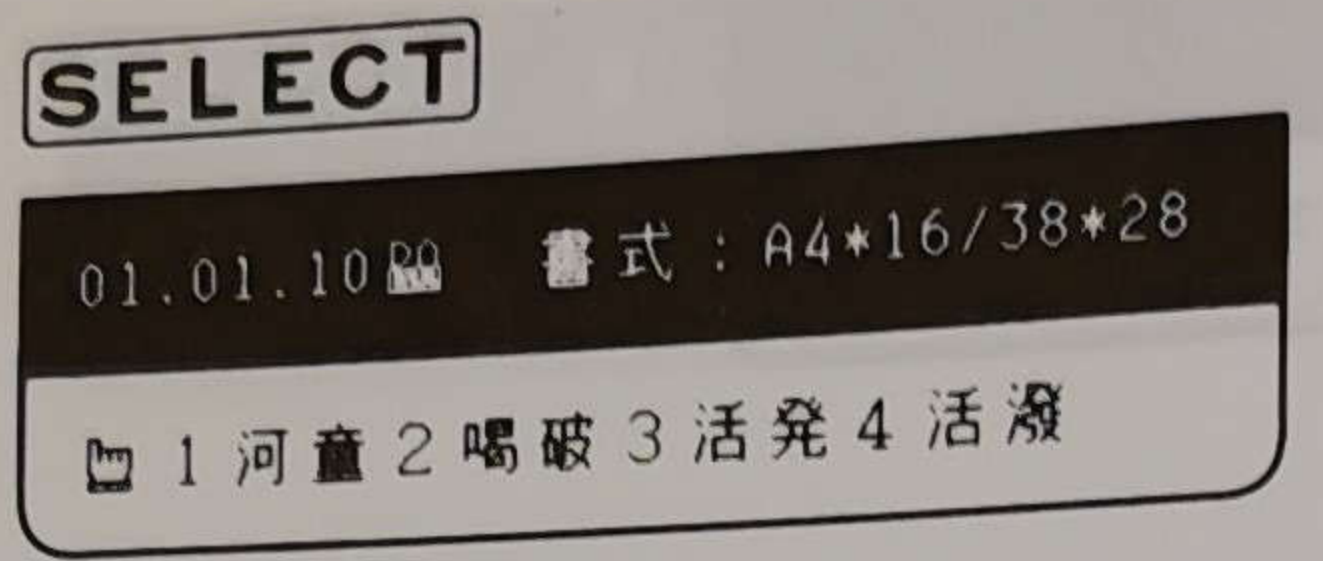
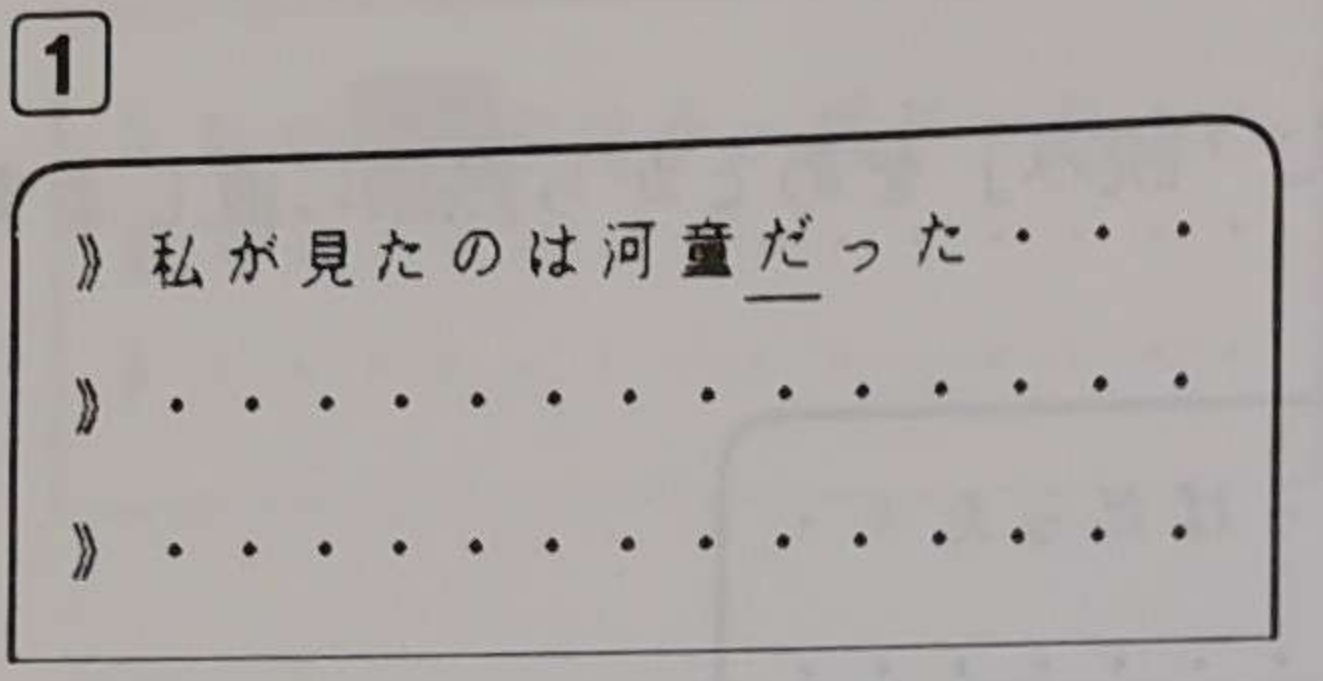
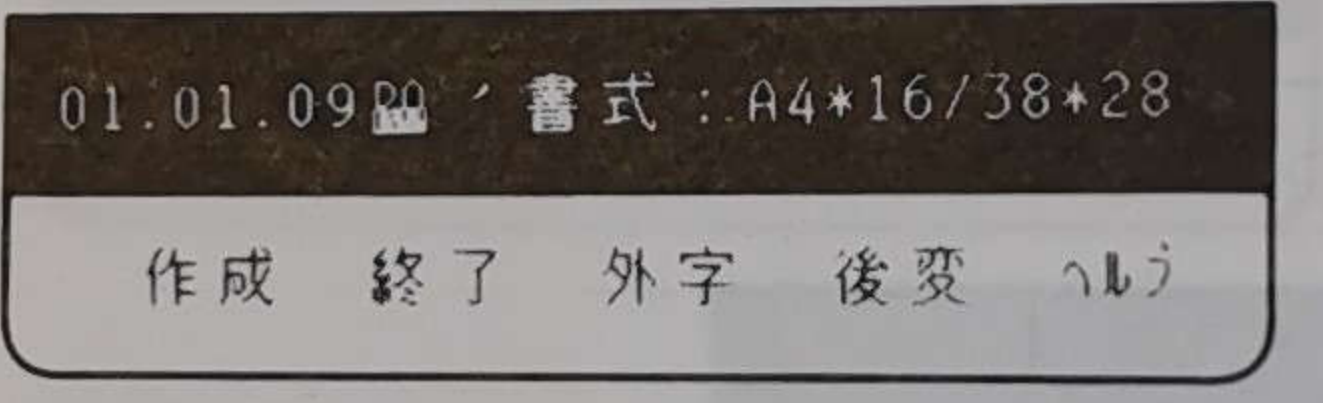
F4

F4 後変を押す

》私が見たのはかっぱだった・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.08 書式：A4*16/38*28
後から変換

後変を選ぶと、カーソル位置の文字が反転表示になります。

カーソルを「読み」の最後の文字まで移動する	➡ 》私が見たのはかっぱだった・・ 》・・・・・・・・・・・・・・ 》・・・・・・・・・・・・・・	熟語の「読み」をすべて反転にします。
SELECT を押して熟語に直す	SELECT 01.01.10 書式：A4*16/38*28 1 河童 2 喝破 3 活発 4 活潑	メニュ行に同音の熟語と同じ「読み」で始まる熟語が表示されます。
数字キーで目的の熟語を選ぶ	1 》私が見たのは河童だった・・・ 》・・・・・・・・・・・・・・ 》・・・・・・・・・・・・・・ 01.01.09 書式：A4*16/38*28 作成 終了 外字 後変 ヘルプ	選んだ熟語が文書作成画面に表示されます。コントロール表示ブロックは初期メニュにもどります。

特殊な記号や文字の書きかた

このソフトには「☎、♡」などの特殊な記号や文字が入っています。プライベートな手紙や日記からビジネス文書にいたるまで幅広く利用できるものばかりです。活用してください。

特殊な記号と文字の一覧

下の表はこのソフトに内蔵されている特殊記号（文字）の一覧です。どのメニュからでも CTRL を押しながら STOP を押すと、コントロール表示ブロックに2文字1組の記号が5組（計10字）表示されます。CTRL を押しながら STOP を押すごとに1から5までの記号が順繰りに表示され、全部で50種類の中から選べます。

CTRL＋STOP
CTRL＋STOP
CTRL＋STOP
CTRL＋STOP
CTRL＋STOP

	特殊な記号（文字）の種類				
1	㊞ ㊙	㈱ ㈲	㈳ ㈹	[illegible] [illegible]	(自) (至)
2	☎ 〶	✂ ※	ゝ ゞ	々 ヵ	〆 ヶ
3	№ §	☝ ☞	… ⇔	⇨ ⇦	⇧ ⇩
4	℃ ℓ	[illegible] [illegible]	α β	γ θ	λ π
5	× ÷	♪ ♡	◇ ▽	▲ △	○ □

特殊な記号（文字）の書きかた

特殊な記号や文字を文中で使用する方法を説明します。

《使用するキー》

CTRL＋STOP ‥1回押すごとにコントロール表示ブロックに10種類の特殊記号を表示します。

F1～F5…………特殊記号は2文字が1組になって表示されます。スラッシュ(/)の左側の記号を指定する場合に押します。

SHIFT＋F1～F5…目的の記号がスラッシュの右側にあるときは、SHIFT を押しながら対応するキーを押します。

STOP………………特殊記号の表示画面から文書作成画面に戻るときに押します。

記号を呼び出す

特殊記号の電話マーク「☎」を文中で使います。

例

☎ください

CTRL + STOP

CTRL を押しながら STOP を押す

```
》・ください・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

コントロール表示ブロックに特殊記号が10種類ならびます。

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
㊞ ／ ㊙ ㈱ ／ ㈲ ㈳ ／ ㈹ ㈵ ／ ㈺ ㈾ ／ ㈸
```

CTRL + STOP

目的の記号が表示されるまで CTRL を押しながら STOP を押す

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
☎ ／ 〒 ✂ ／ ※ 〵 ／ 〆 々 ／ ヵ ヶ ／ ケ
```

別の記号を10種類表示します。

F1

目的の記号に対応するファンクションキーを押す

```
》☎ください ・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

文書作成画面に、選んだ記号が表示されます。

```
01.01.02  書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

スラッシュ（／）の右側の記号を指定するときは……
SHIFT を押しながら、記号に対応するファンクションキーを押します。

入力モードが 全 または 囲 のときに、SHIFT を押しながら文字キーを押すと、特殊記号が書けます。詳しくは巻末の付録を参照してください。

よく使う漢字(日常漢字)

よく使う漢字は、簡単な名称で呼び出せるようになっています。貨幣単位や漢数字など、ふだんの生活でひんぱんに出てくる漢字ばかりです。この本では日常漢字と呼びます。

日常漢字の呼び出しかた

日常漢字は短縮された「読み」で登録されています。この「読み」さえ覚えておけば、あとの操作は漢字や熟語への変換方法と同じです。「読み」の書きかたは下の表をご参照ください。

日常漢字の種類と書きかた

日常漢字の「読み」	入力方法(モード)と使用する文字キー		使用するキーと変換される内容	
	ローマ字入力 RO	かな入力 平	単漢字 GRAPH	熟語 SELECT
ん	N N	ン	上、中、下、前、後、左、右	——
んあ	N N A	ン ア	一、二、三、四、五、六、七	——
んか	N K A	ン カ	八、九、十、百、千、万、億	——
ゃ(小文字)	L Y A	SHIFT＋ヤ	府、県、市、郡、区、町、村	昭和、大正、明治
ゅ(小文字)	L Y U	SHIFT＋ユ	様、殿、行、御、中、番、号	十円、百円、千円、万円、億円
ょ(小文字)	L Y O	SHIFT＋ヨ	部、課、室、係、区	住所、郵便番号、電話番号
っ(小文字)	T T	SHIFT＋ツ	東、西、南、北、不、無、御	自宅、勤務先、所属

1文字の日常漢字を呼び出す

1文字の日常漢字を呼び出してみましょう。例では「府」を呼び出します。

```
》京都_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.03  書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

SPACE を押す

SPACE

```
》京都_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.03  書式：A4*16/38*28
〔_
```

メニュ行に「読み」を書くしるしが表示されます。

日常漢字の「読み」を書き、再び SPACE を押す

L Y A SPACE

```
》京都_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.03  書式：A4*16/38*28
〔ゃ〕_
```

メニュ行に「読み」を書いたら、かっこでくくります。

かっこでくくらなくても呼び出すことができます。

GRAPH を押す

GRAPH

```
01.01.03    書式：A4*16/38*28
  1府2県3市4郡5区6町7村
```

「読み」に対応する日常漢字が7文字表示されます。

目的の漢字に対応する数字キーを押す

1

```
》京都府・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

文書作成画面に、選んだ日常漢字が表示されます。

```
01.01.04    書式：A4*16/38*28
  作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

熟語の日常漢字を呼び出す

熟語の日常漢字を呼び出してみましょう。例では「電話番号」を呼び出します。

SPACE を押す

SPACE

```
01.01.01    書式：A4*16/38*28
  〔_
```

メニュ行に「読み」を書くしるしが表示されます。

「読み」を書いてから SPACE を押す

L Y O

```
01.01.01    書式：A4*16/38*28
  〔ょ〕_
```

メニュ行に「読み」を書いたら、かっこでくくります。

SELECT を押す

SELECT

01.01.01 書式：A4*16/38*28
1 住所 2 郵便番号 3 電話番号

メニュ行に、「読み」に対応する熟語が表示されます。

目的の熟語に対応する数字キーを押す

3

》電話番号・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.01.05 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

文書作成画面に、選んだ日常漢字が表示されます。

日常漢字を使うと、住所録などが簡単に作成できます。

例

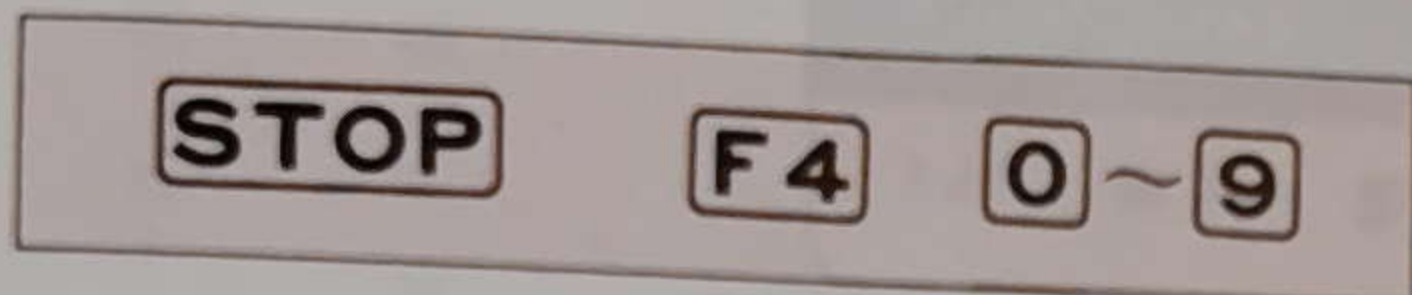
顧客リスト	番
氏名	様
勤務先	
所属	部　課
電話	
自宅住所	
郵便番号	
電話	

内蔵句の使いかた

このソフトには手紙や案内状などでよく使われる慣用句が100種類入っています（付録「内蔵句一覧」を参照してください）。時候のあいさつやあらたまった手紙など、この内蔵句はそのまま使うことができます。少し手を加えて自分の言葉に書き直すこともできます。

内蔵句の呼び出しかた

内蔵句は00から99までの番号で登録されており、利用するときは、この番号を使って呼び出します。

《使用するキー》

STOP　F4　0～9

内蔵句を呼び出す

内蔵句（87番）の次の句を呼び出します。

例　音もなく春雨が降っております。

STOP

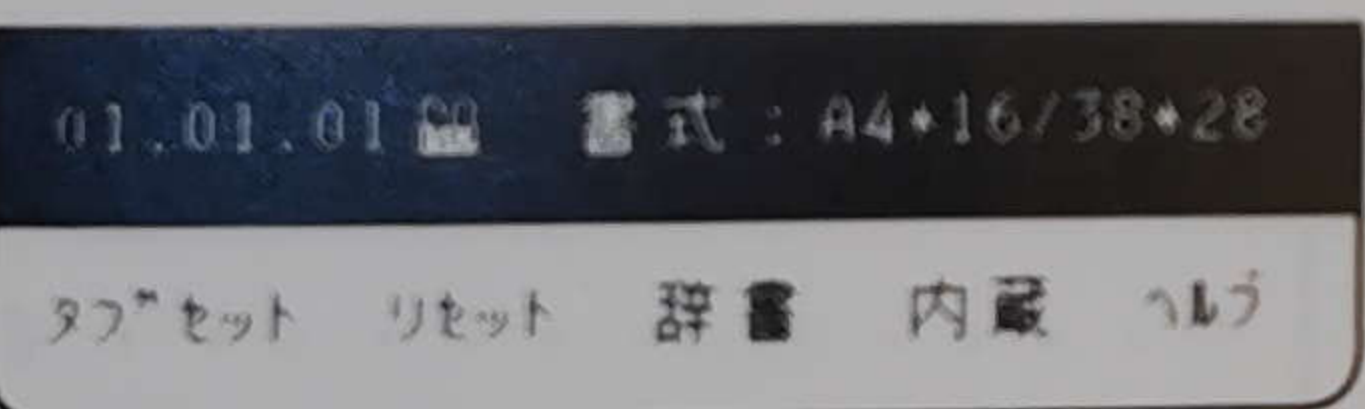
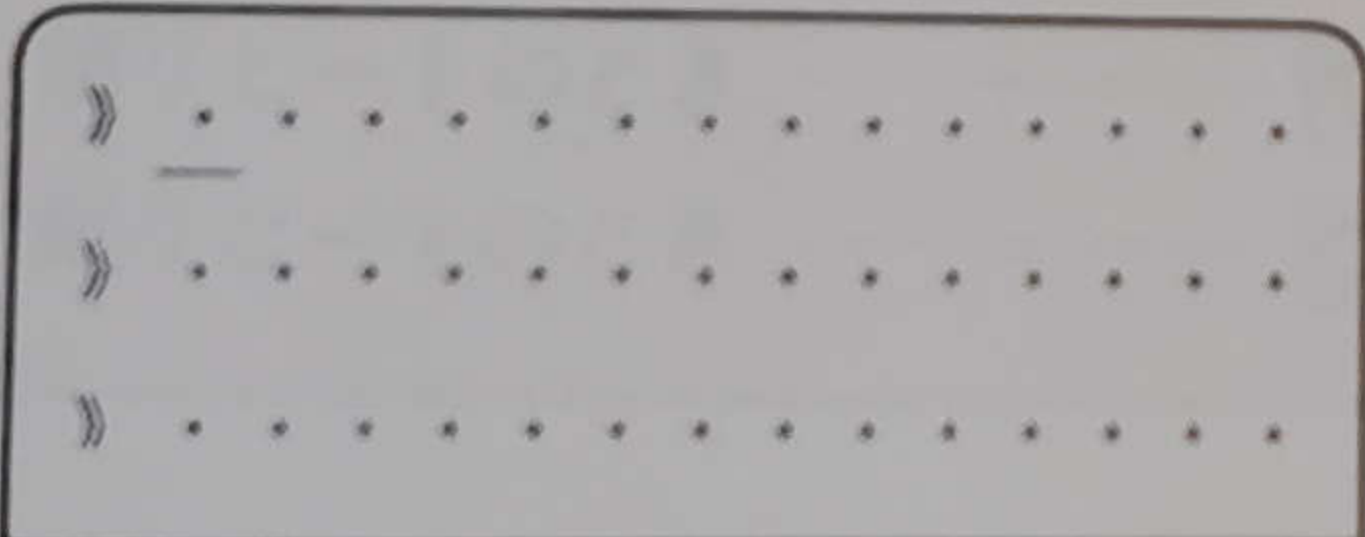
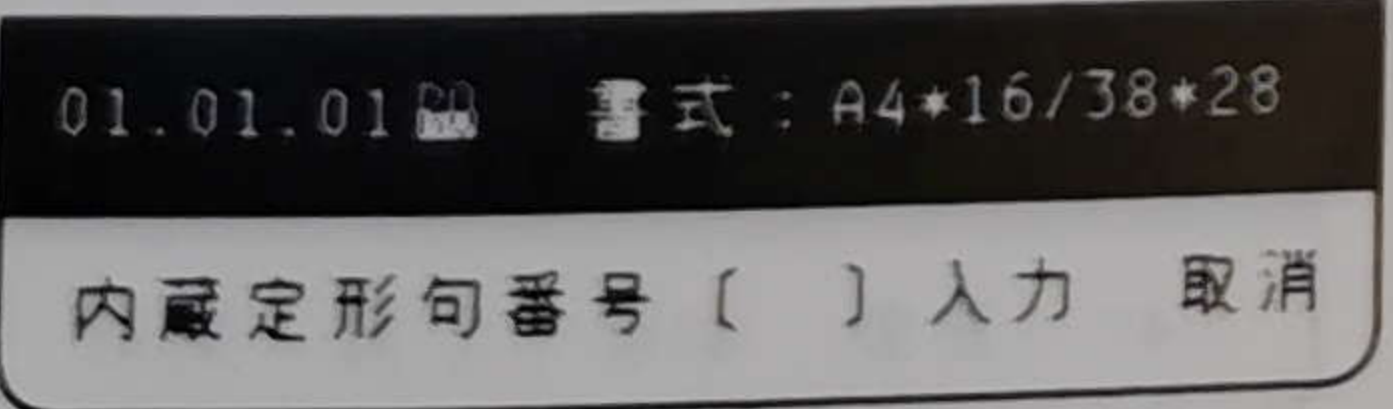
STOPを押してメニュ行に内蔵を出す

```
》_・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01 書式：A4*16/38*28
ﾀﾌﾞｾｯﾄ　ﾘｾｯﾄ　辞書　内蔵　ﾍﾙﾌﾟ
```

F4

F4内蔵を押す

```
01.01.01 書式：A4*16/38*28
内蔵定形句番号〔　〕入力　取消
```

「内蔵」を選ぶと、メニュ行に内蔵句番号を記入する画面が表示されます。

8 7

内蔵句番号の数字キーを押す

01.01.01 書式：A4*16/38*28
内蔵定形句番号〔87〕入力　取消

〔　〕内に内蔵句番号を書きます。

F4

F4 入力を押す

く春雨が降っております。

「入力」を選ぶと、内蔵句が文書作成画面に表示されます。

01.01.16 書式：A4*16/38*28
タブセット　リセット　辞書　内蔵　ヘルプ

再び内蔵句を呼び出す場合は……
F4 を押すと、再び内蔵句を記入する画面に変わります。操作は同様におこないます。

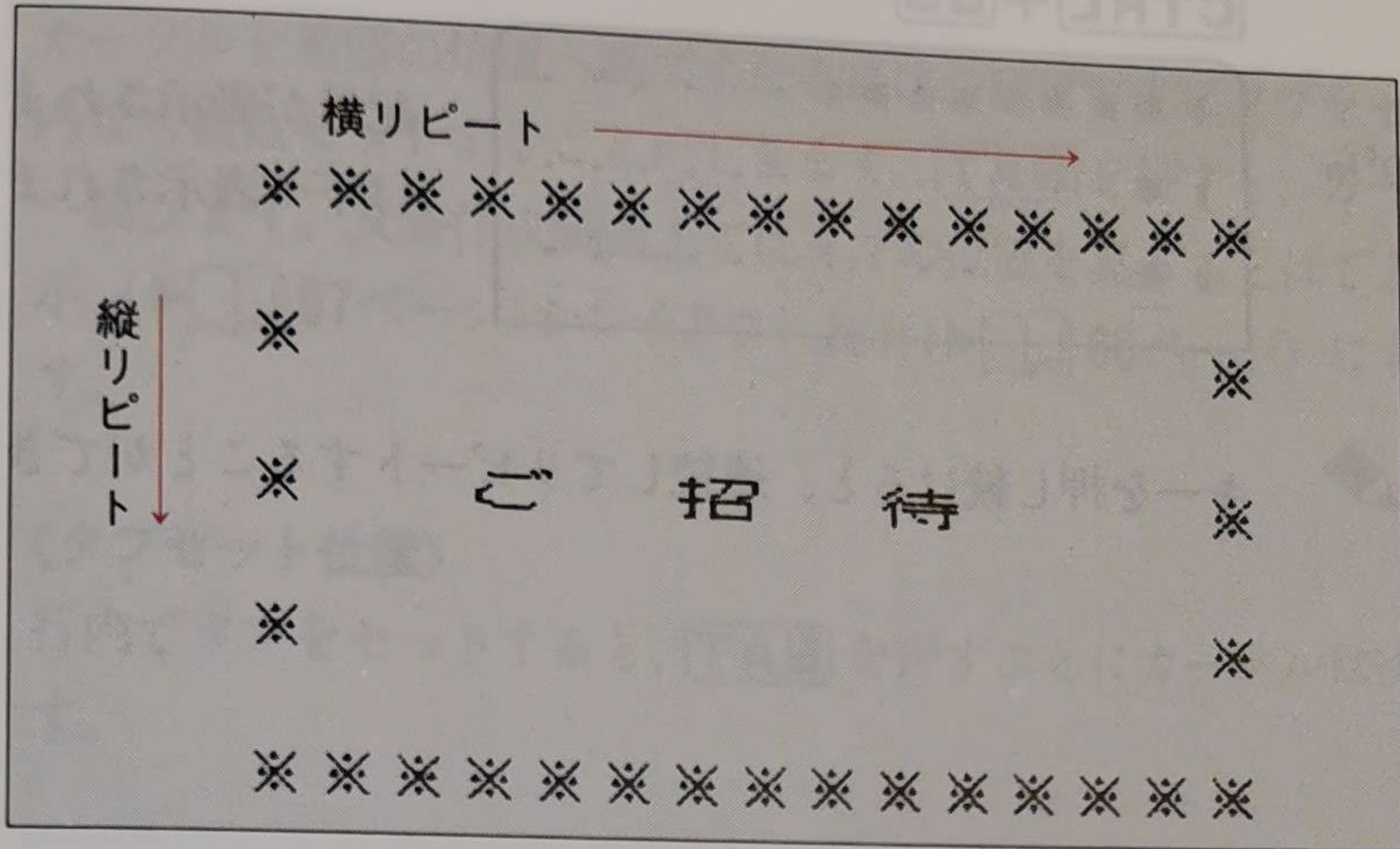
同じ文字を繰り返し書く

このソフトは同じ文字や記号を繰り返し書くときに便利なリピート機能を備えています。特に縦に繰り返すときは、操作が簡単で便利です。

リピートの使いかた

リピート機能は、縦にも横にも使えます。「※」を例のようにリピートします。

例

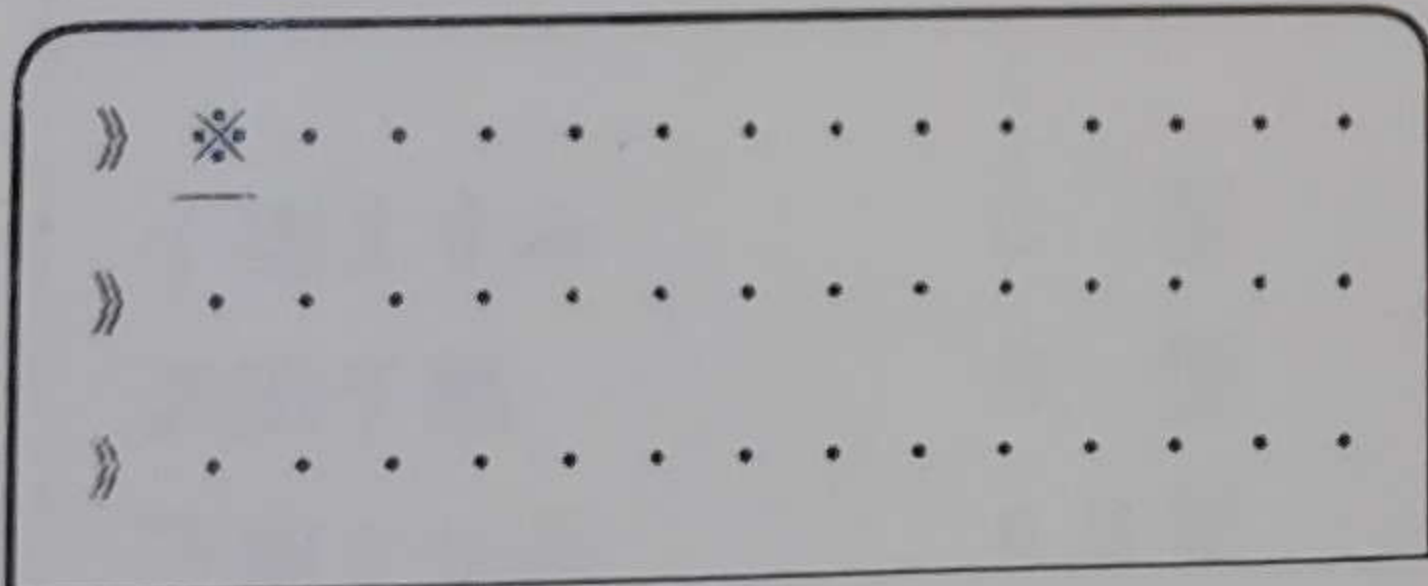
```
横リピート →
※※※※※※※※※※※※※※※
※                         ※
※        ご 招 待         ※
※                         ※
※※※※※※※※※※※※※※※
```
縦リピート ↓

《使用するキー》

横リピートのとき	SHIFT＋BS
縦リピートのとき	CTRL ＋BS

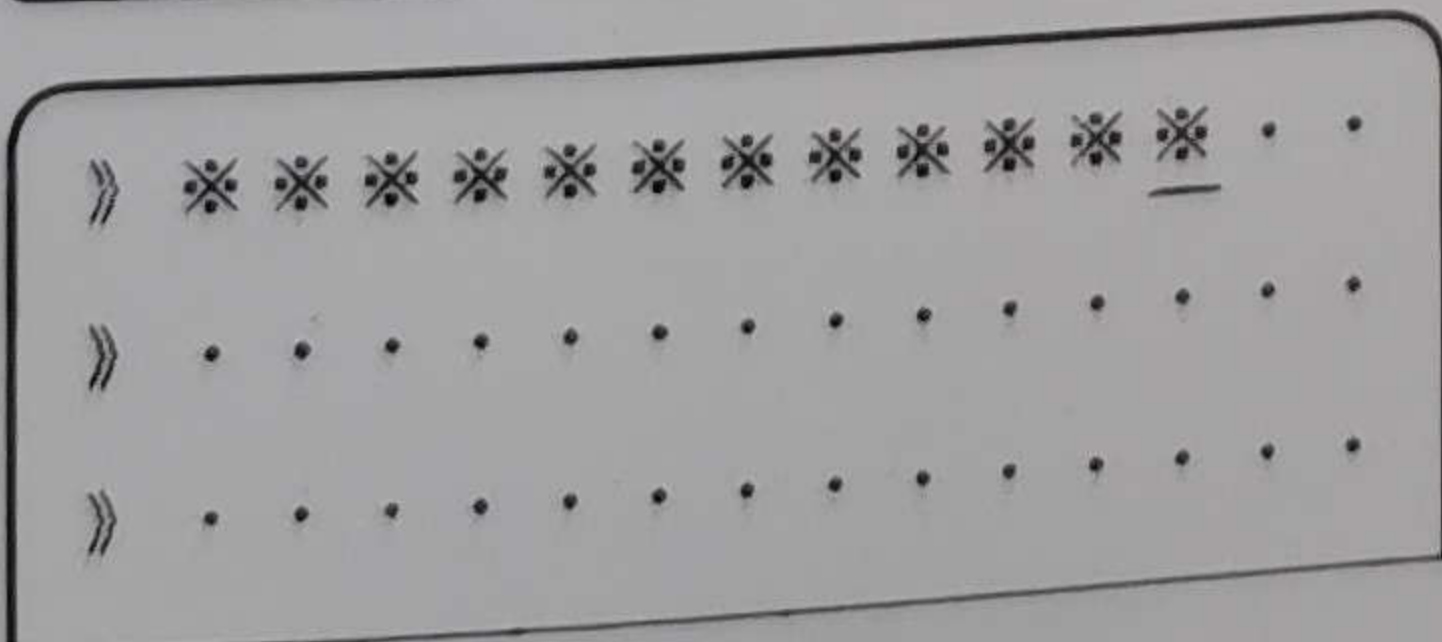
横リピートの方法

繰り返したい文字や記号の下へカーソルを移動する

```
》※・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

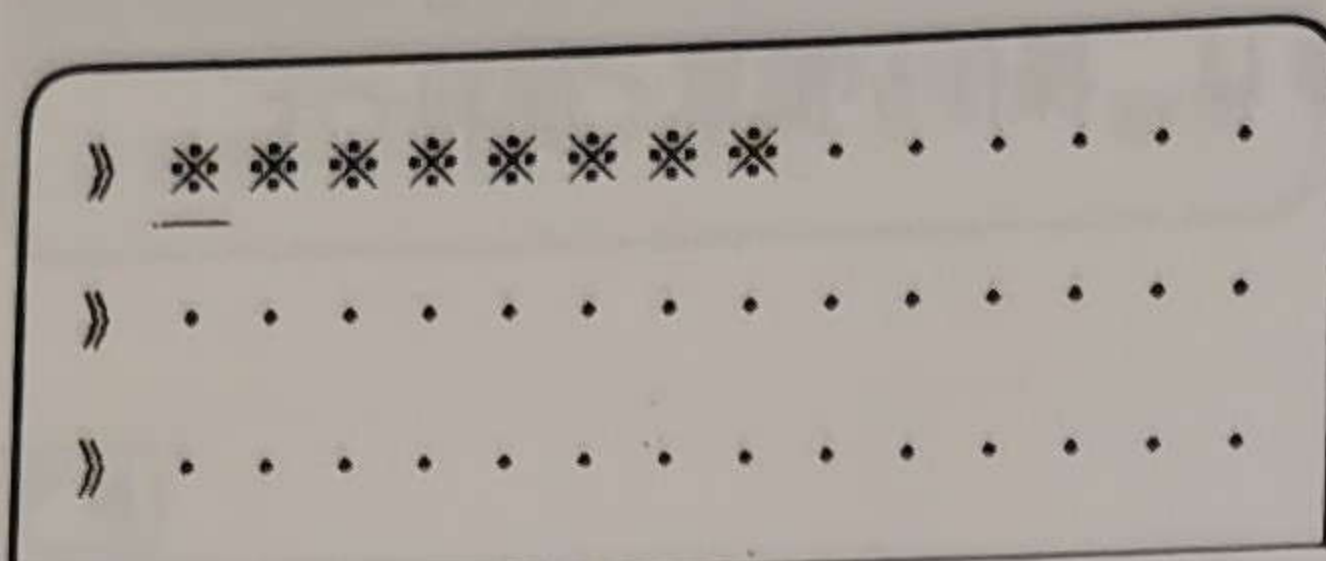
```
01.01.01 ・書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

SHIFT＋BS

SHIFT を押しながら BS を押す

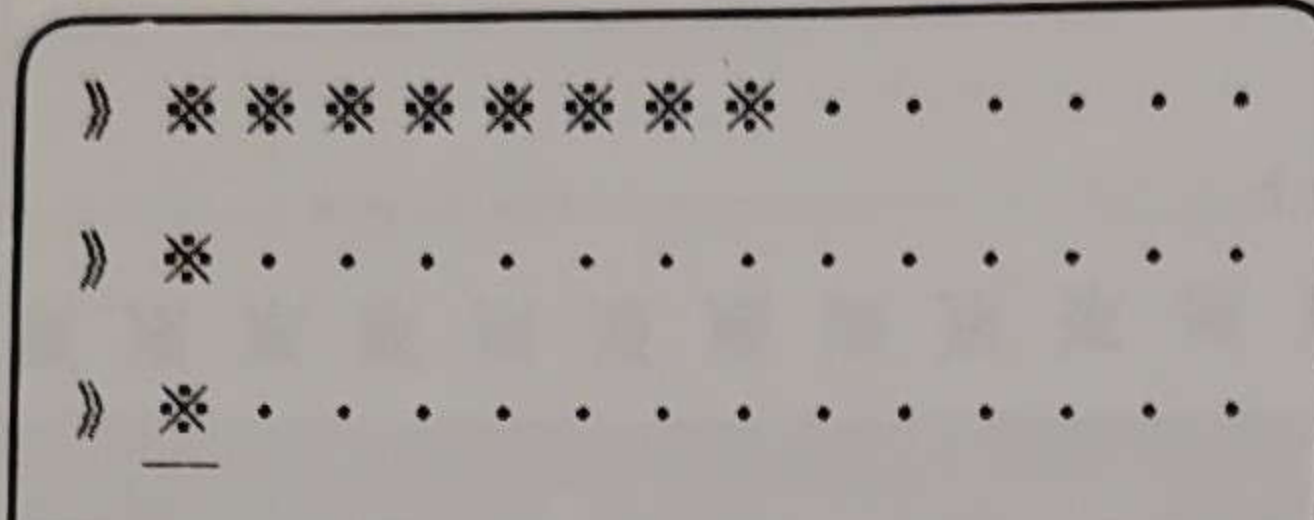
```
》※※※※※※※※※※※※※※・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

記号が表示されます。記号はキーを押した数だけ右へ表示されます。

縦リピートの方法

繰り返したい文字や記号の下へカーソルを移動する

```
》※※※※※※※※※・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

CTRL＋BS

CTRLを押しながらBSを押す

```
》※※※※※※※※※・・・・・・
》※・・・・・・・・・・・・・・
》※・・・・・・・・・・・・・・
```

記号が表示されます。記号はキーを押した数だけ下へ表示されます。

キーを押し続けると、連続してリピートすることができます。

カーソルを行の途中へ跳ばす（タブ）

TABを押して、カーソルを行の希望の位置へ跳ばすときに使う機能をタブといいます。表の中や、1行をいくつかに区切ってデータなどを並べるときの書き出し位置をそろえるときに使います。このソフトでは、A4サイズとB5サイズの16桁目にあらかじめタブがセットされています。

タブをセットする

カーソルを希望の位置へ跳ばすためには、跳ばす先にタブをセットします。タブは行内なら複数セットすることができます。TABを押すと、カーソルはセットした位置へ跳びます。文書作成画面上ではタブの位置を見ることはできませんが、タブ位置表示（▶67ページ）かレイアウト表示（▶66ページ）にすると見ることができます。

《タブセット位置》

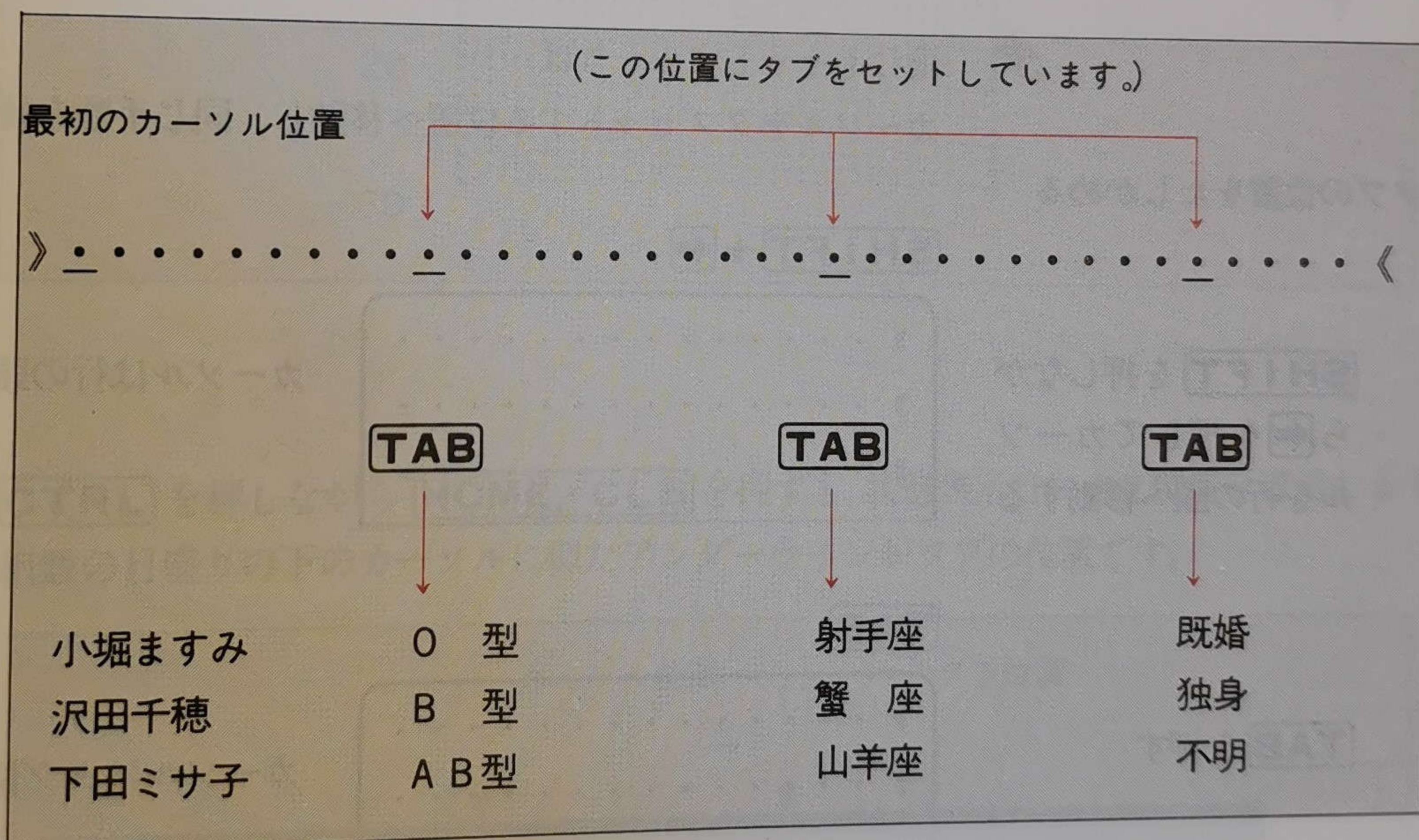
行内でタブをセットすると、TABを押すごとにカーソルは次のタブ位置まで跳びます。

（この位置にタブをセットしています。）

最初のカーソル位置

》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

TAB　TAB　TAB

小堀ますみ	O　型	射手座	既婚
沢田千穂	B　型	蟹　座	独身
下田ミサ子	AB型	山羊座	不明

- TABを押すとカーソルが次のタブセット位置まで跳びます。
- タブ位置へ文字を書くと、文字の書き出し位置がそろいます。

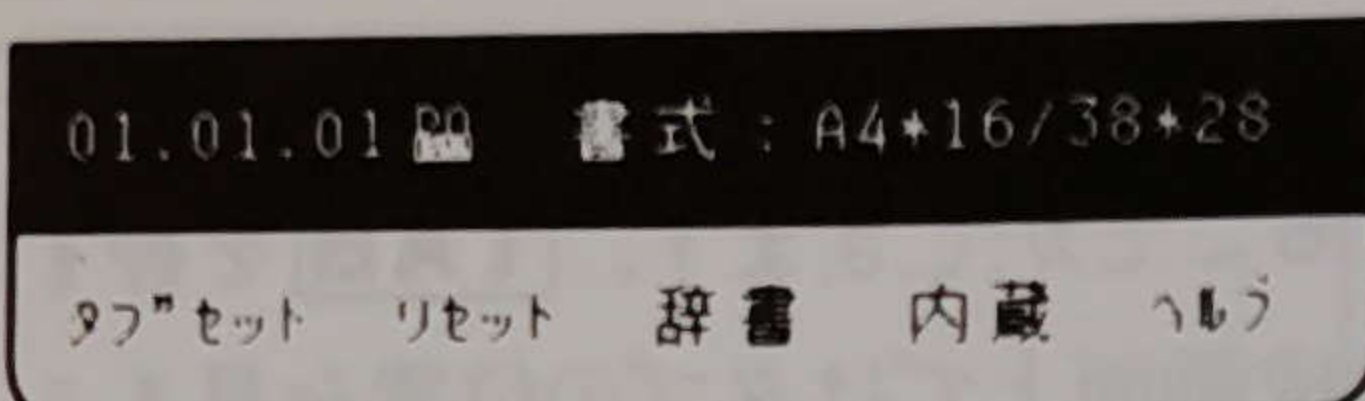
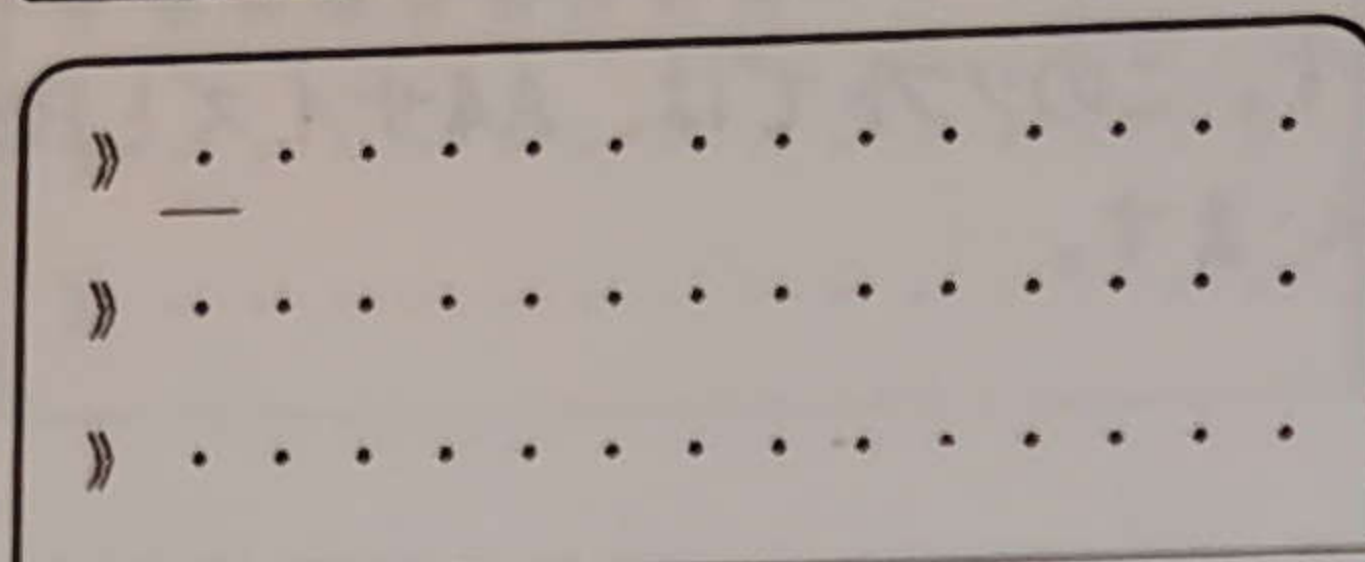
このソフトをスタートしたときは16桁目にタブがセットされています。

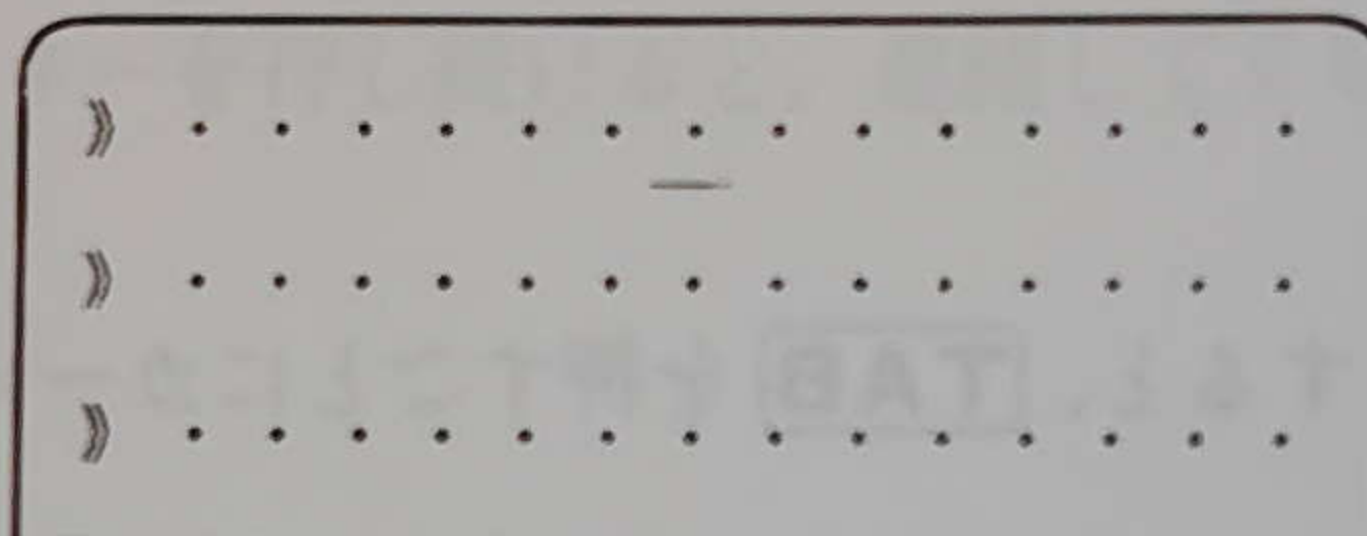
タブをセットする

STOP

STOPを押してタブセットをメニュ行に出す

01.01.01 書式：A4*16/38*28

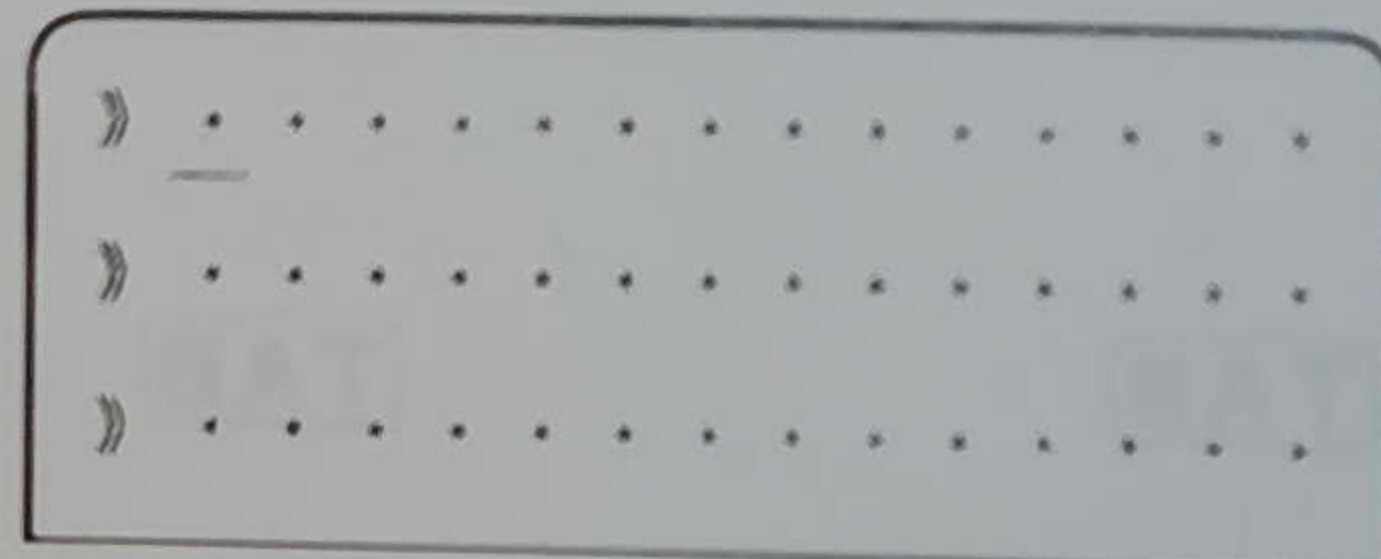
タブセット　リセット　辞書　内蔵　ヘルプ

F1

タブをセットする位置へカーソルを移動し、F1タブセットを押す

カーソル表示位置に、タブがセットされます。

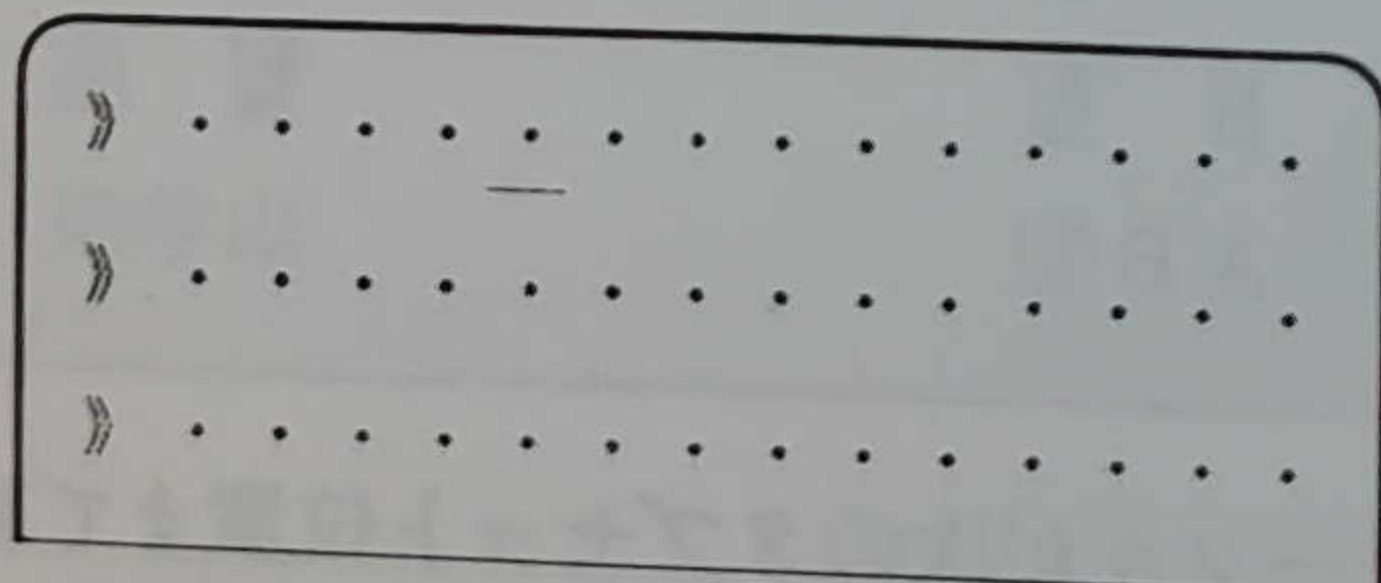
他にもセットするときは……
カーソルをタブセットする位置へ移動し、同じ手順を繰り返します。

タブの位置をたしかめる

SHIFT＋←

SHIFTを押しながら←を押してカーソルを行の頭へ移動する

カーソルは行の頭へ移動します。

TAB

TABを押す

カーソルはタブ位置へ跳びます。

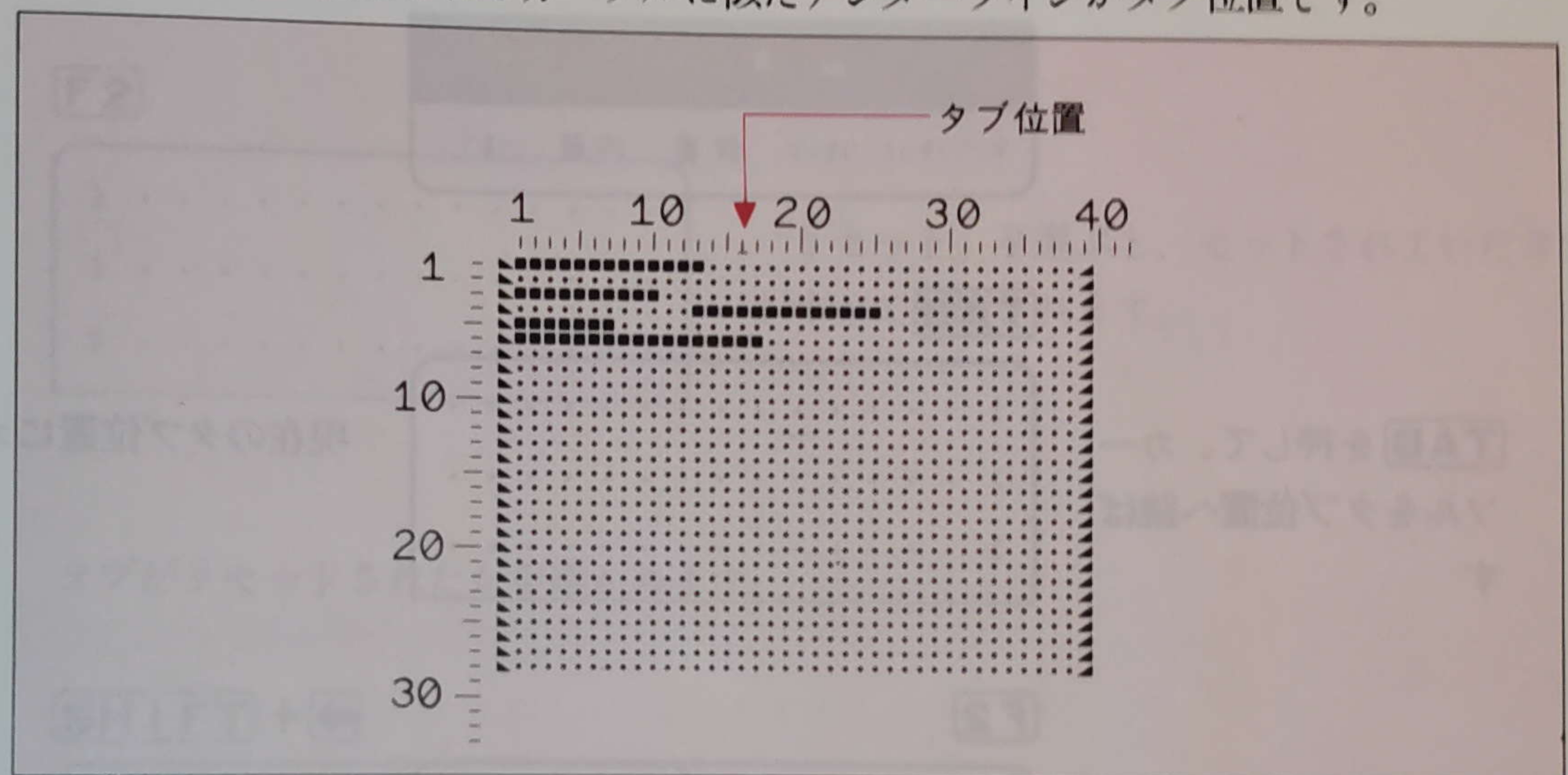
他のタブ位置を確かめるには同じ手順を繰り返します。

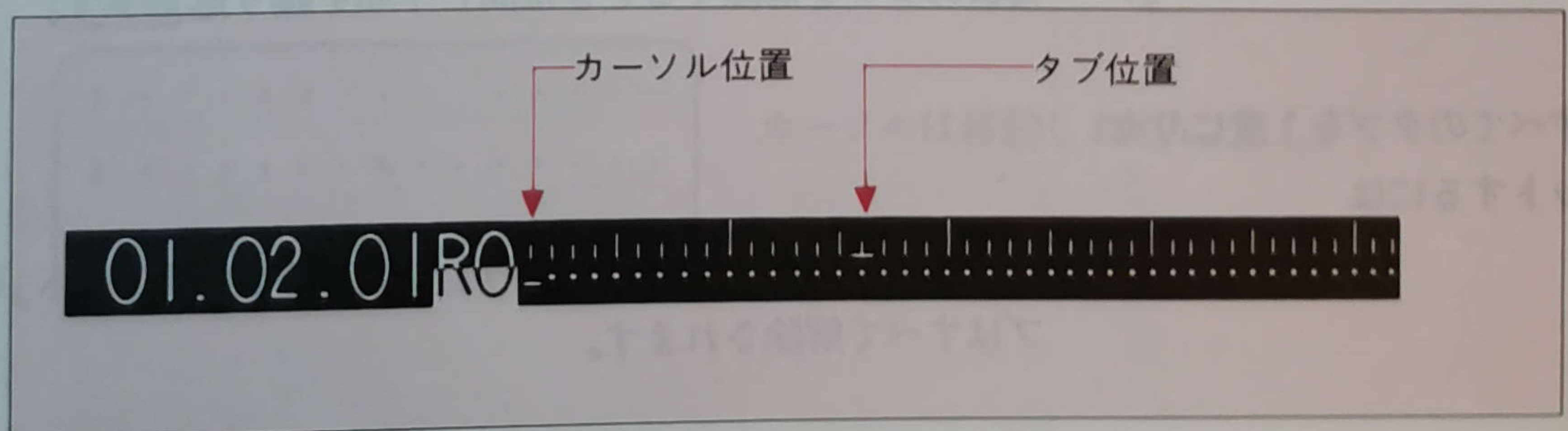
カーソルが一番右端のタブ位置か、その右側にあるときに **TAB** を押すと、次の行の先頭にカーソルが跳びます。

レイアウト表示でタブの位置を確かめる

全体レイアウト表示とタブ位置表示で、タブの位置を見ることができます。

全体レイアウト表示でタブセット位置を見る

ESC を押すと、画面いっぱいに全体レイアウトが表示されます。1行の桁数を示す目盛りの下に表示されるカーソルに似たアンダーラインがタブ位置です。

タブ位置表示でタブ位置を見る

CTRL を押しながら **HOME/CLS** を押すと、状態表示行にタブ位置を表示します。桁数の目盛りの下のカーソルに似たアンダーラインがタブの位置です。

SHIFT を押しながら **TAB** を押しても、状態表示行にタブ位置を表示します。

セットしたタブの解除のしかた（リセット）

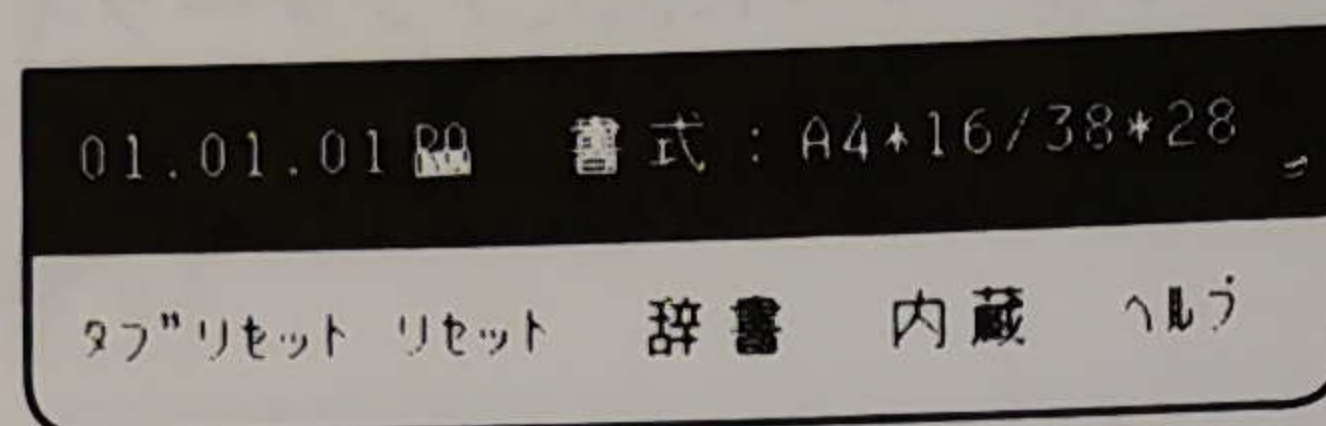
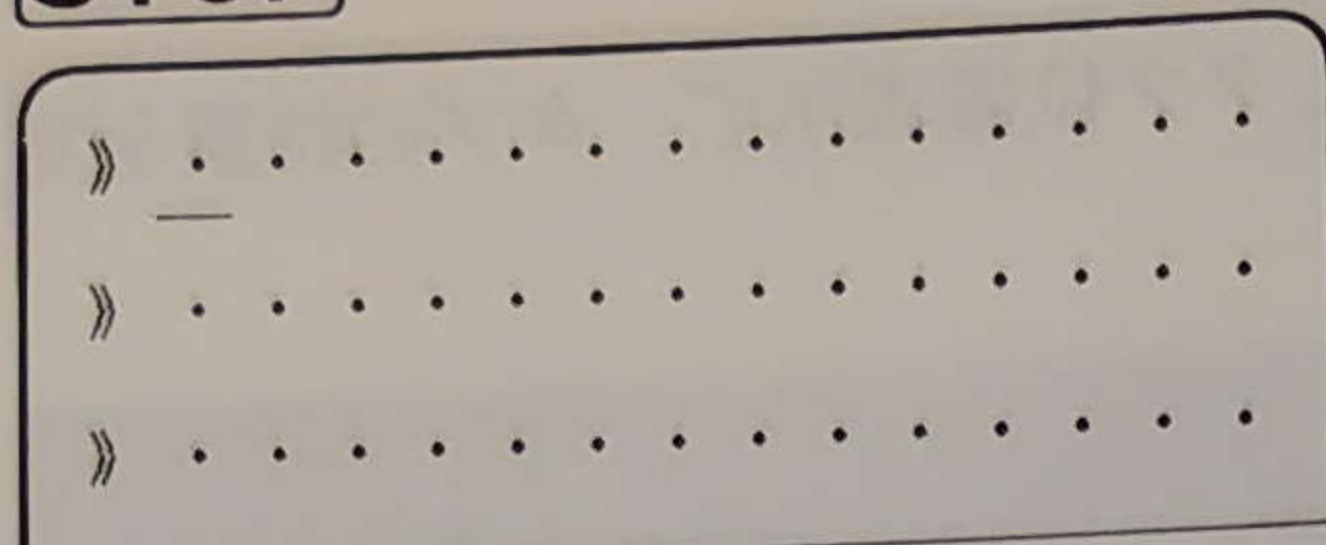
1度設定したタブを解除することをリセットといいます。

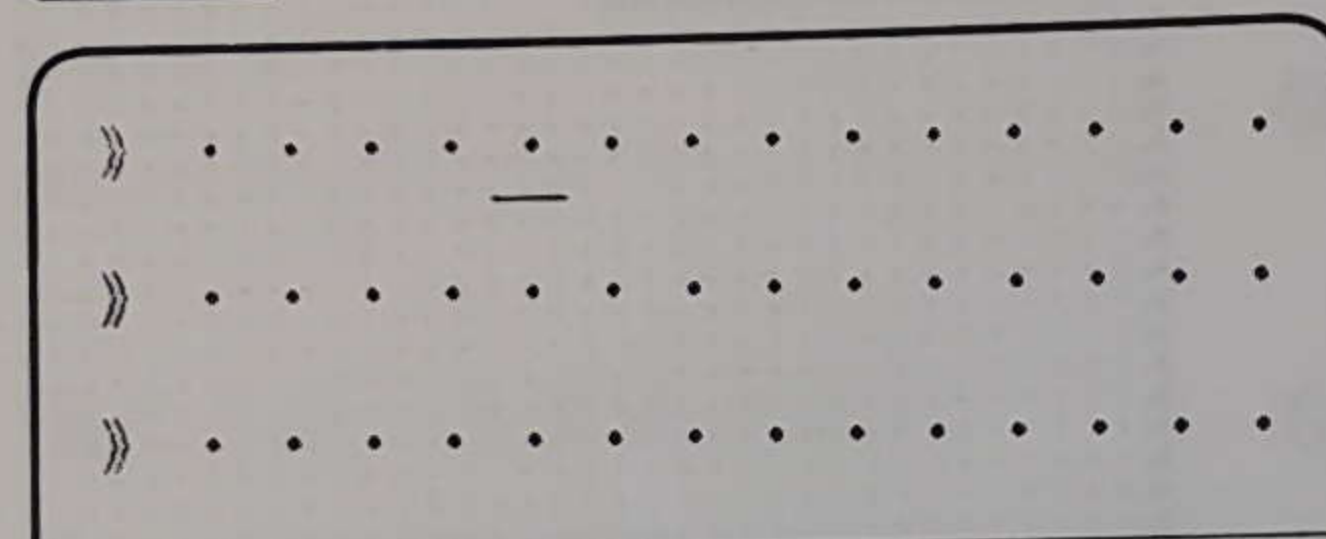
タブを1つずつリセットする

STOP を押す

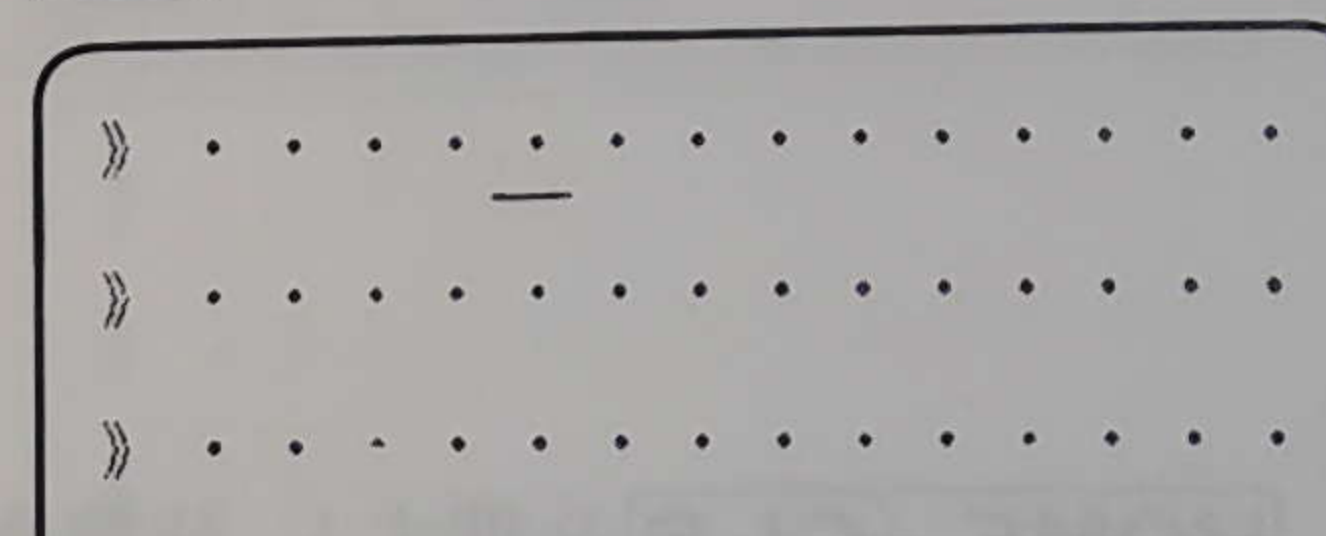
STOP

01.01.01 書式：A4*16/38*28

タブリセット　リセット　辞書　内蔵　ヘルプ

TAB を押して、カーソルをタブ位置へ跳ばす

TAB

現在のタブ位置にカーソルが跳びます。

F2 リセットを押す

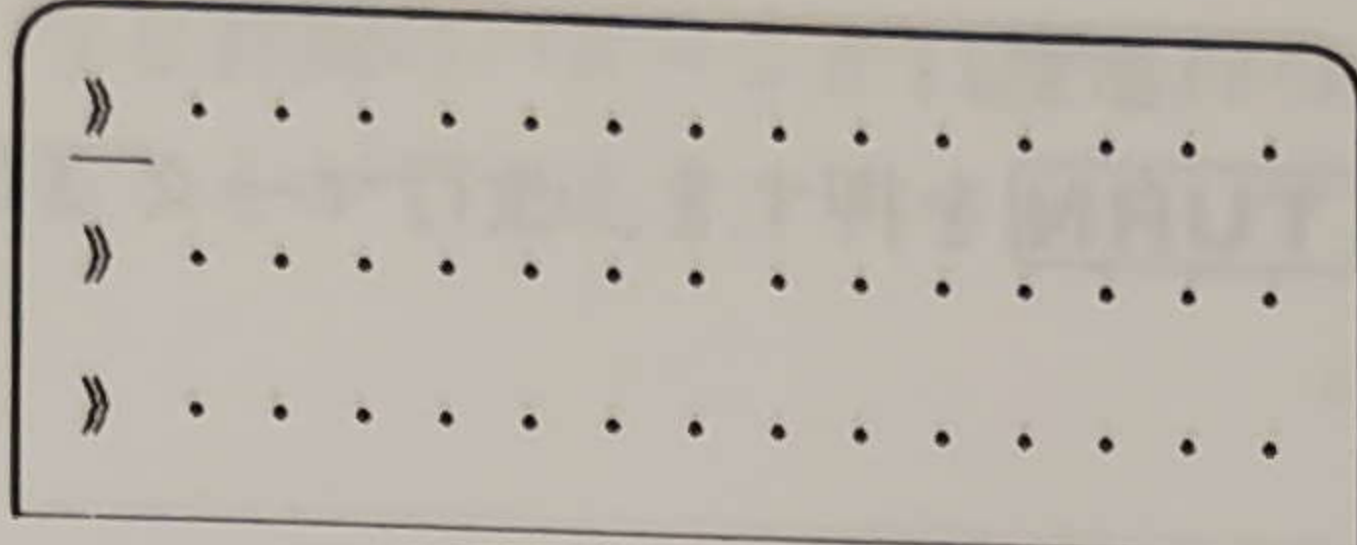
F2

「リセット」を選ぶと、その位置のタブを解除します。

複数のタブを解除するときは同じ手順を繰り返します。

すべてのタブを1度にリセットするには

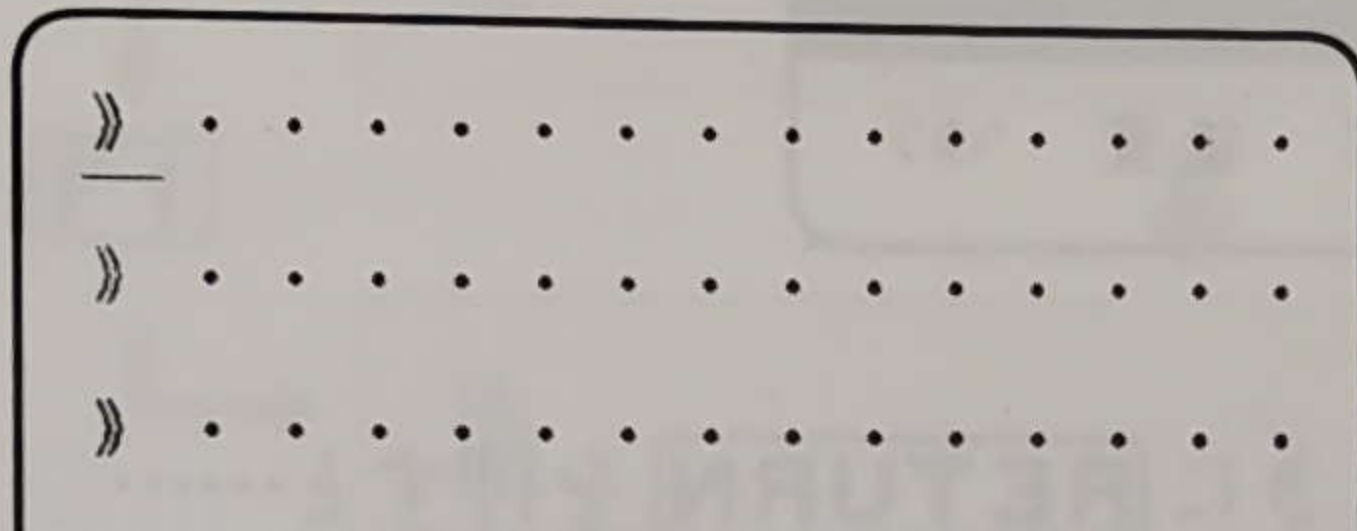
カーソルを行の左端マークに移動して、**F2**「リセット」を押すと、セットされていたタブはすべて解除されます。

STOP ⬅

STOPを押して、リセットをメニュ行に出し、カーソルを左端マークへ移動する

カーソルを左端マークへ移動します。

01.01.01 書式：A4*16/38*28
タブリセット リセット 辞書 内蔵 ヘルプ

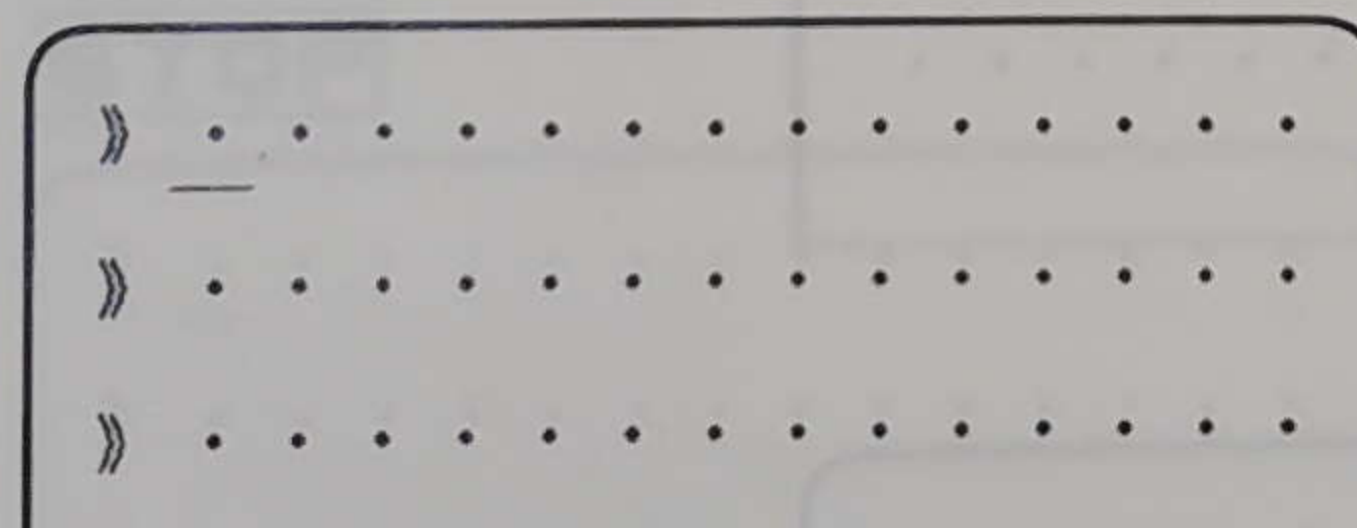
F2

F2リセットを押す

「リセット」を選ぶと、セットされていたタブがすべて解除されます。

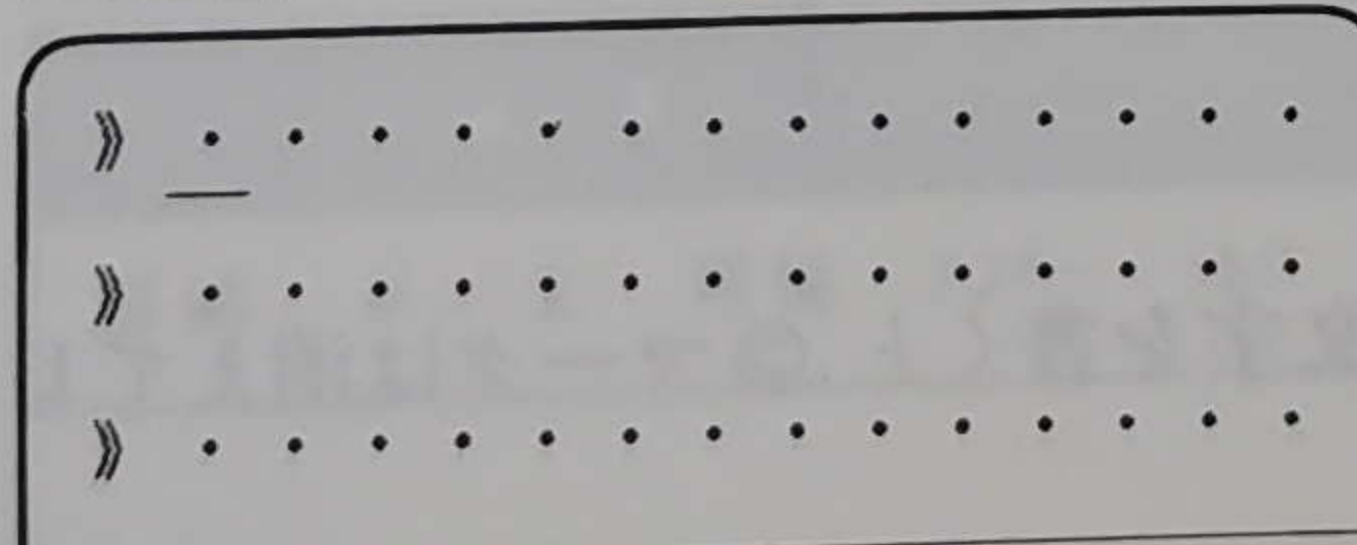
タブのリセットを確かめる

タブがリセットされたかを確かめます。

SHIFT＋⬅

行の頭へカーソルを移動する

行の頭へカーソルを移動します。

TAB

TABを押す

カーソルは移動しません。

行を変える

段落をつけるときなど、文章を書いている途中で次の行へ進むことができます。行を変えることを改行といいます。
文書の区切りで **RETURN** を押すと、改行マーク（◎）を表示して次の行の頭にカーソルが跳びます。

RETURN を押す

RETURN

```
》皆さん、さようなら。◎・・・
》_・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.02.01   書式：A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ﾍﾙﾌﾟ
```

RETURN を押すと ◎ マークが表示され、カーソルは次行の先頭に移動します。

後ろに文字が続くときに **RETURN** を押すと……

RETURN

```
》皆さん、さようなら。・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

⬇

```
》皆さん、さようなら。◎・・・
》_・・・・・・・・・・・・・・
```

行の最後に ◎マークが表示されて、カーソルは次の行に跳びます。

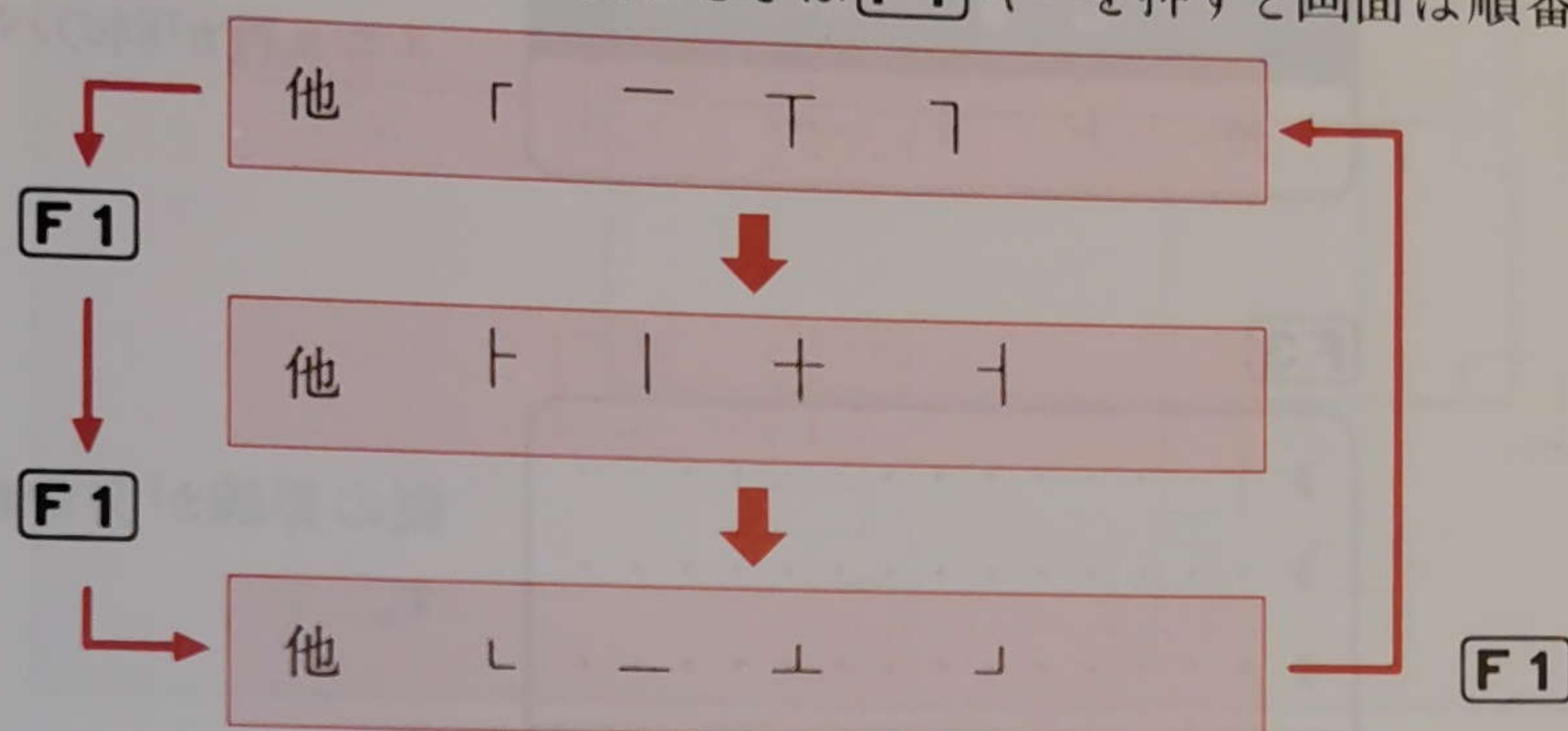
◎マークの後ろに文字を書くと ◎マークは消えてしまいます。

行の途中で **SHIFT** を押しながら **ESC** を押すと、◎マークが表示され、それ以降の文字は次行へ移動します。強制的に改行するときに便利です。

線を引く

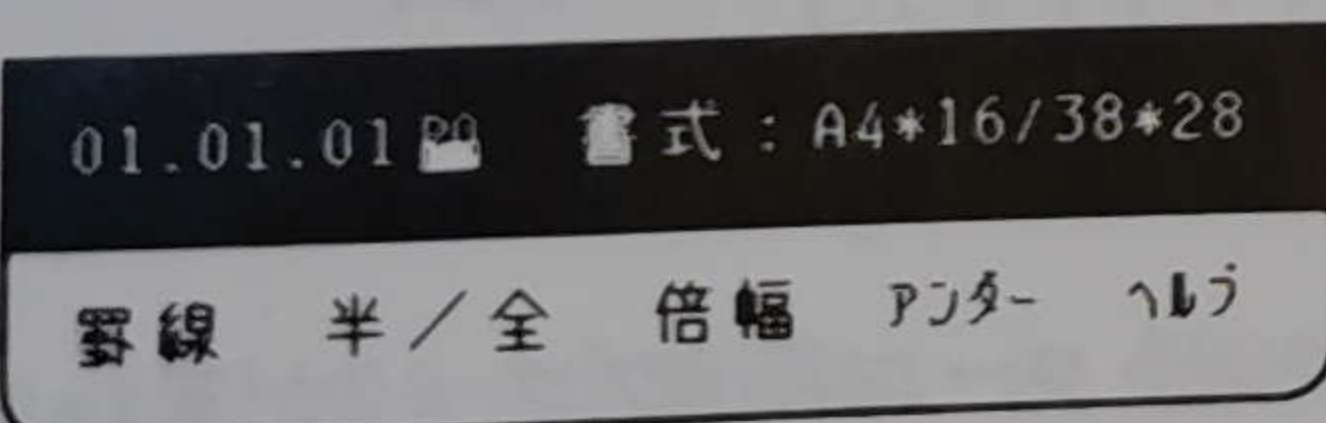
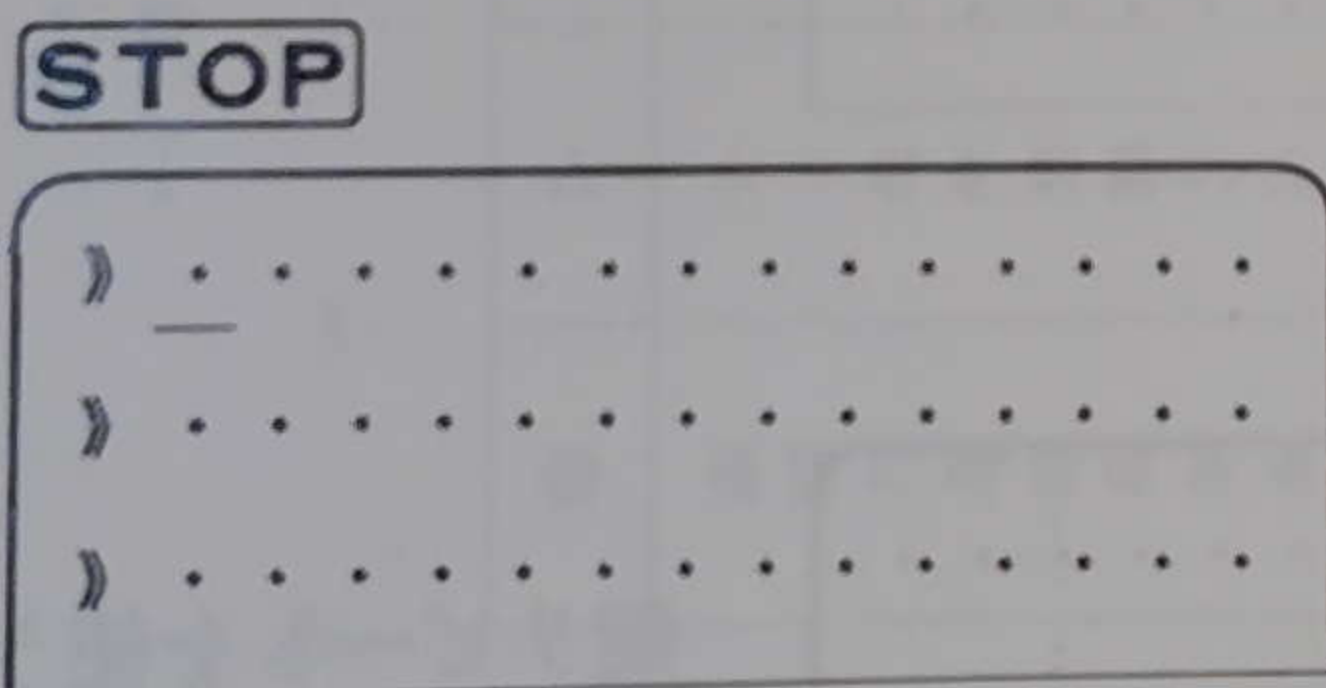
縦や横にまっすぐ伸びる線のことを罫線といいます。このソフトは「┌」や「┬」のような罫線のパターンが11種類あります。いろいろなパターンを組み合わせて、表を作ることができます。

罫線のパターンの種類

メニュ行で「罫線」を指定すると、下図のように4種類の罫線のパターンを表示します。別のパターンが必要なときは F1 キーを押すと画面は順番に変わります。

罫線の引きかた

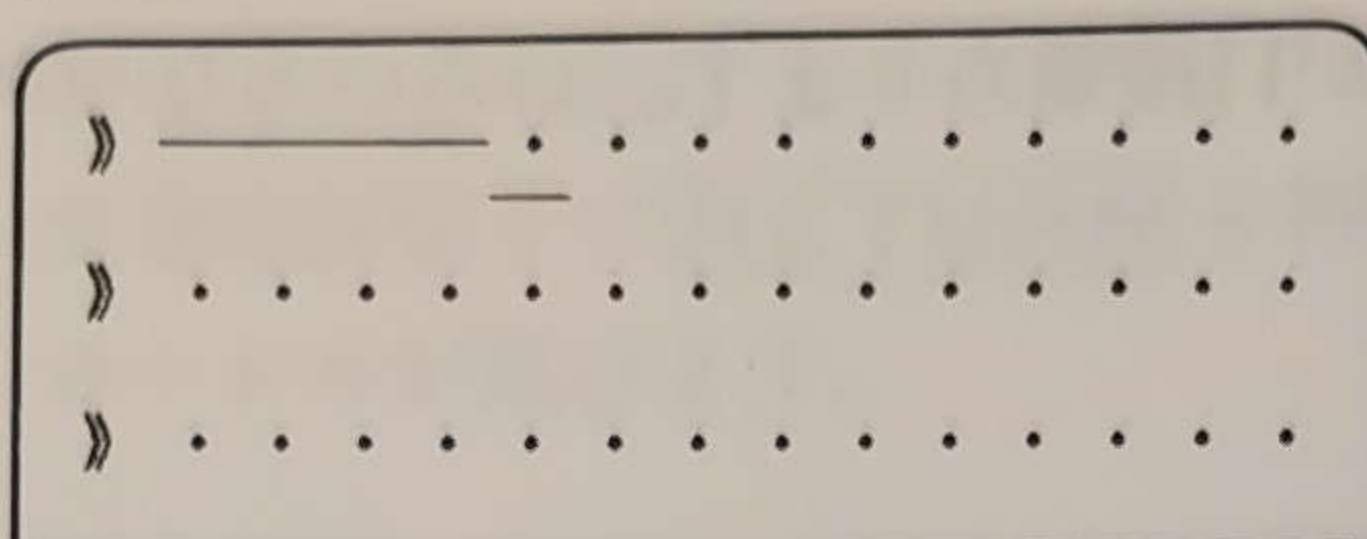
罫線の引きかたについて説明します。

横の罫線を引く

STOP を押して「罫線」を画面に出す

F1 罫線を押す

「罫線」を選ぶと、メニュ行に4種類の罫線のパターンを表示します。

F3ーを押す

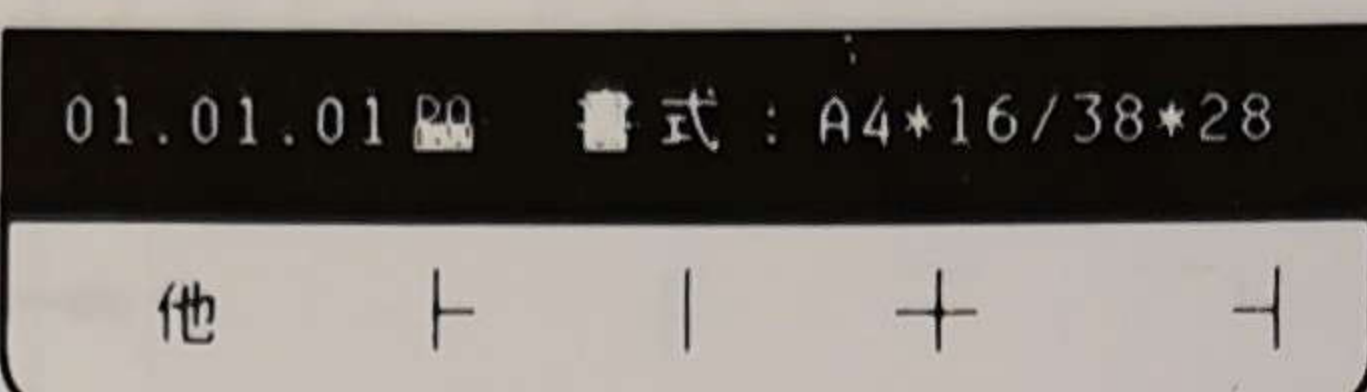
F3

押し続けると、横の罫線が引けます。

縦の罫線を引く

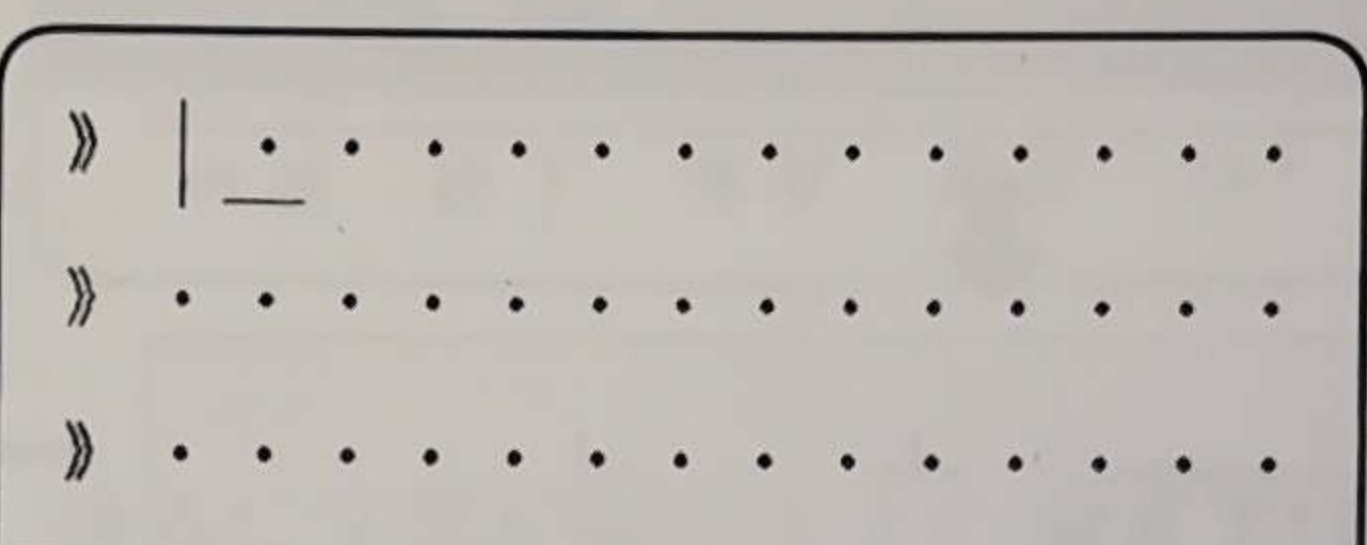
F1他を押す

F1

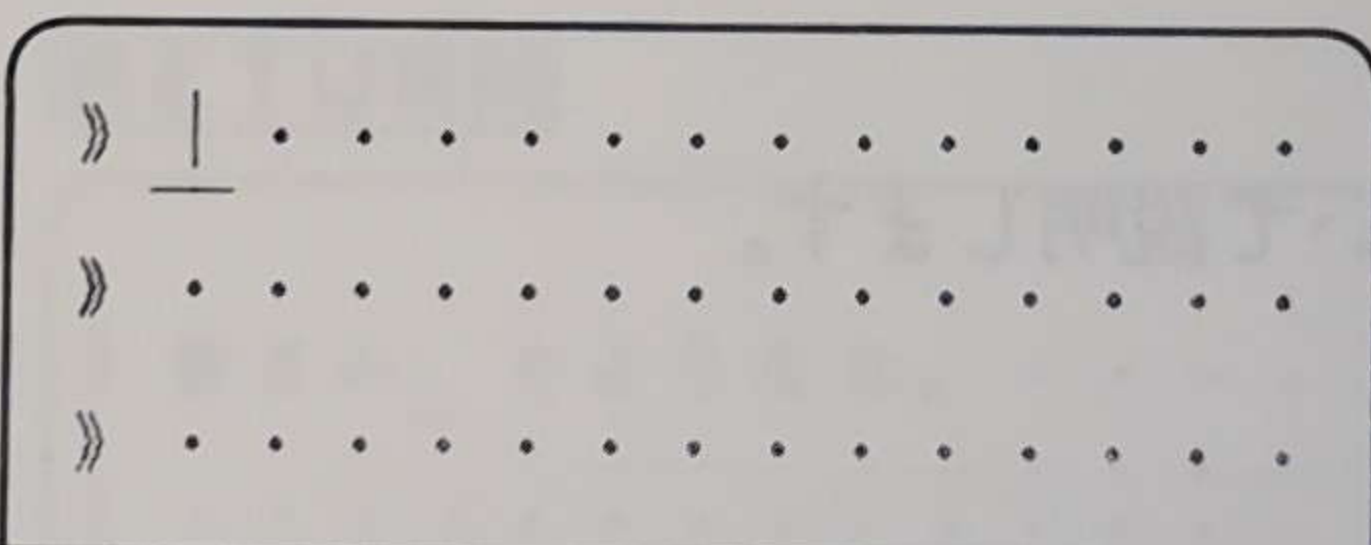
01.01.01 書式：A4*16/38*28

他 ├ │ ┼ ┤

メニュ行が別のパターンに変わります。

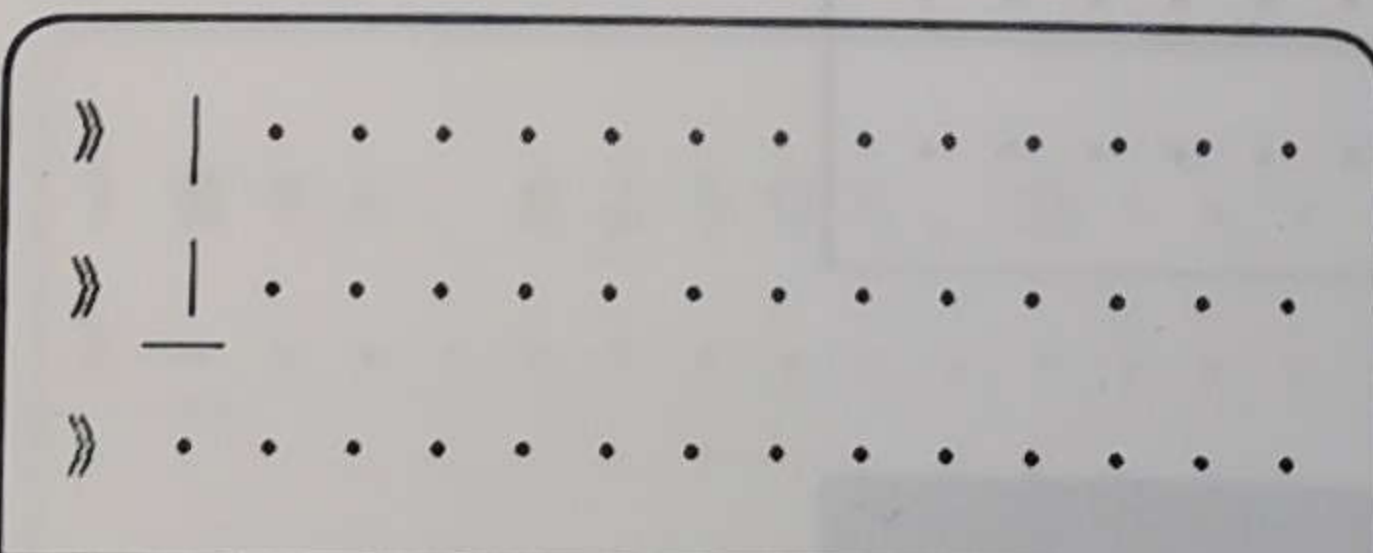
F3│を押す

F3

縦の罫線が引かれ、カーソルは隣へ移動します。

カーソルを戻す

←

カーソルをもどします。

CTRLを押しながらBSを押す

CTRL＋BS

縦リピートを使うと、簡単に縦の線が引けます。(▶98ページ)。

罫線を引くのをやめる

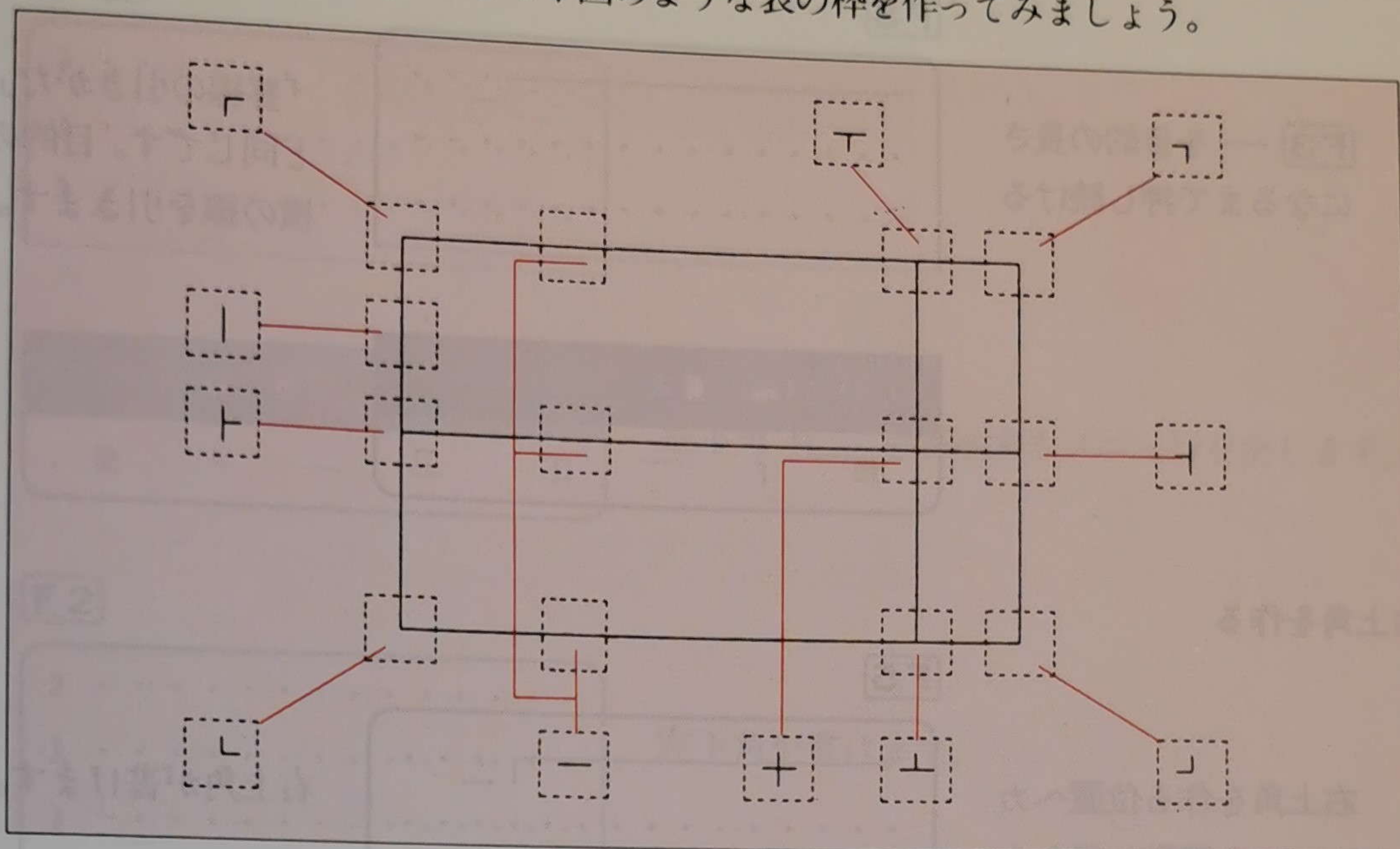
STOPを押すと、コントロール表示ブロックが変わり、罫線のパターンを表示する画面が消えます。

罫線を消す

文字を消す場合と同様、DEL、BS、「削除」(▶131ページ) を使って罫線を消すことができます。

表を作る

罫線のパターンを組み合わせて下図のような表の枠を作ってみましょう。

┌ ┬ ┐ │ ├ ┤ └ ─ ┼ ┴ ┘

表の大きさを決める

表の中に文字を書く場合は文字の数を計算してから作ります。たとえば、例のような文字を書く場合に必要な桁数と行数は以下のようになります。

桁数→　1　3　14

行数↓　1--　3--　5--

△	ホラ吹き男爵の大後悔
◎	俺達に明日はあるぜ

●枠よりも文字数が多いと、線の上に文字がかかって罫線が消えてしまいます。

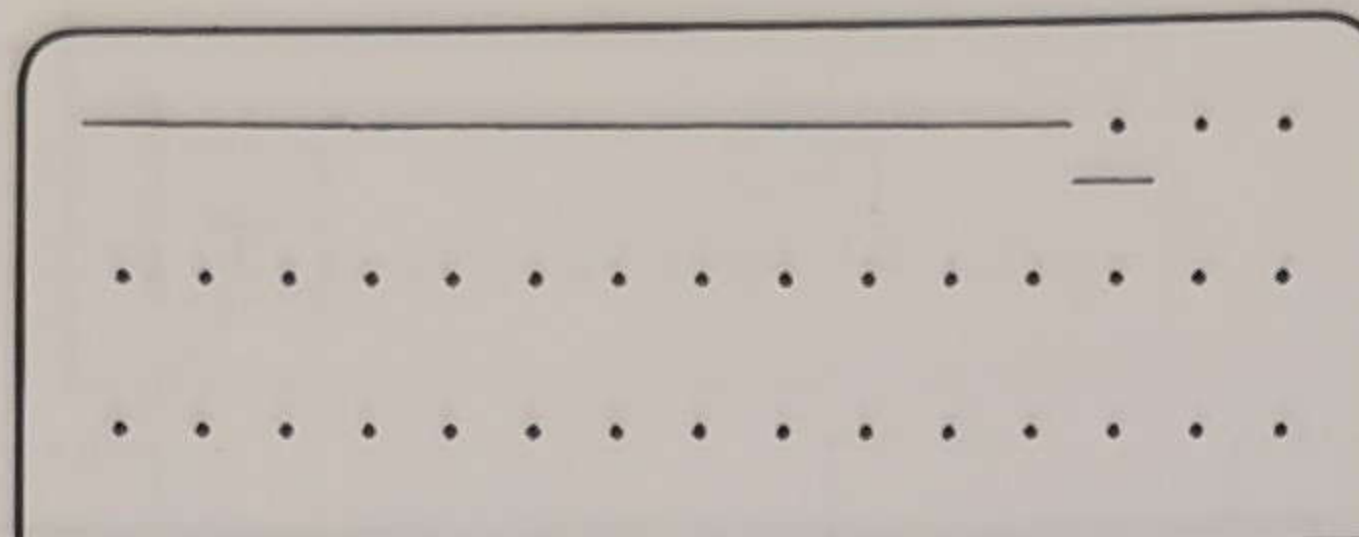
1　3　13

△	ホラ吹き男爵の大後悔
◎	俺達に明日はあるぜ

横の罫線を引く

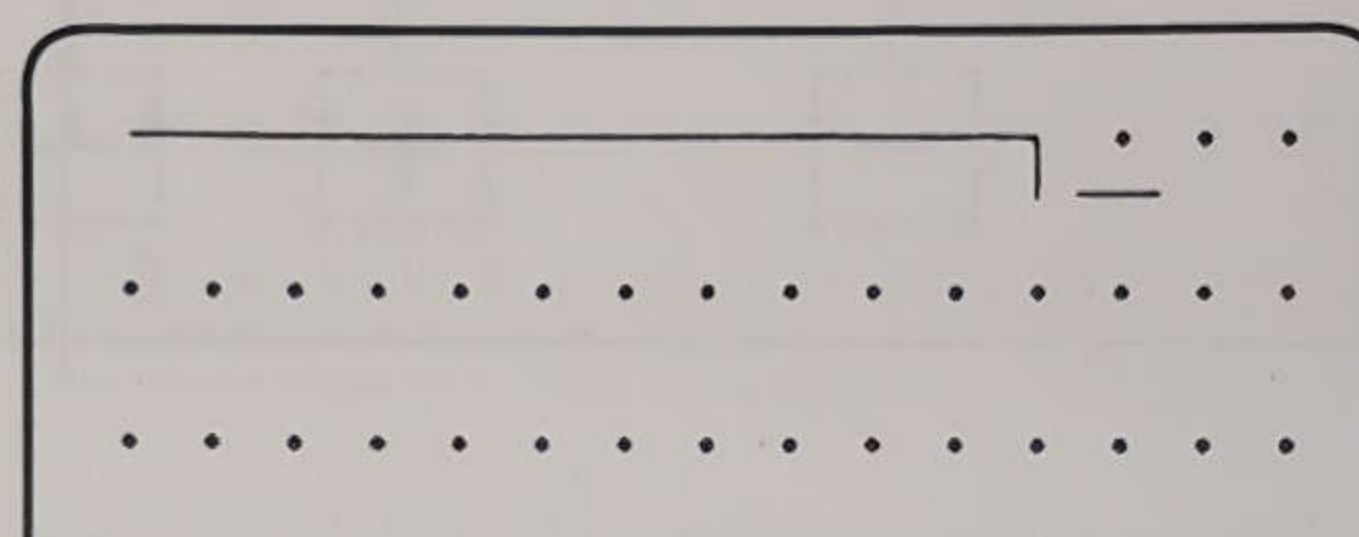
F3 ― を目的の長さになるまで押し続ける

F3

01.01.14 書式：A4*16/38*28
他 ┌ ─ ┬ ┐

「罫線の引きかた」(▶📖105ページ) の要領と同じです。目的の長さになるまで、連続した横の線を引きます。

右上角を作る

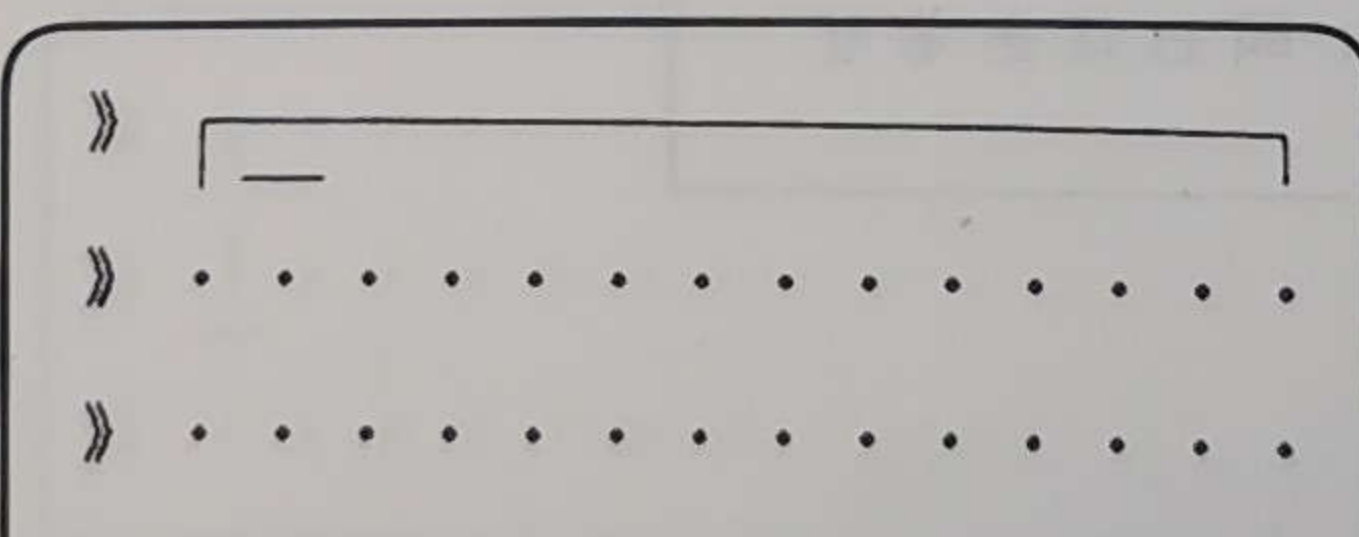
右上角を作る位置へカーソルを移動してから F5 ┐ を押す

F5

01.01.15 書式：A4*16/38*28
他 ┌ ─ ┬ ┐

右上角が書けます。

左上角を作る

左上角を作る位置へカーソルを移動してから F2 ┌ を押す

F2

左上角が書けます。

左下角を作る

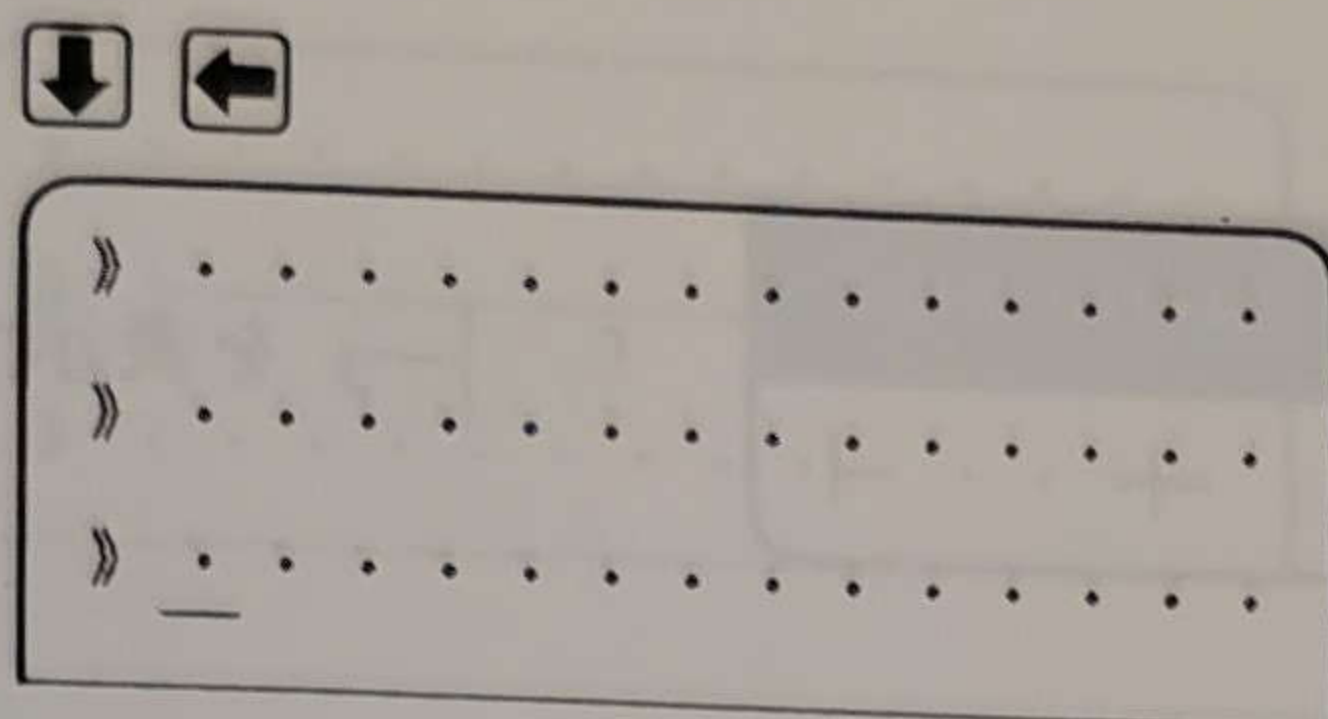
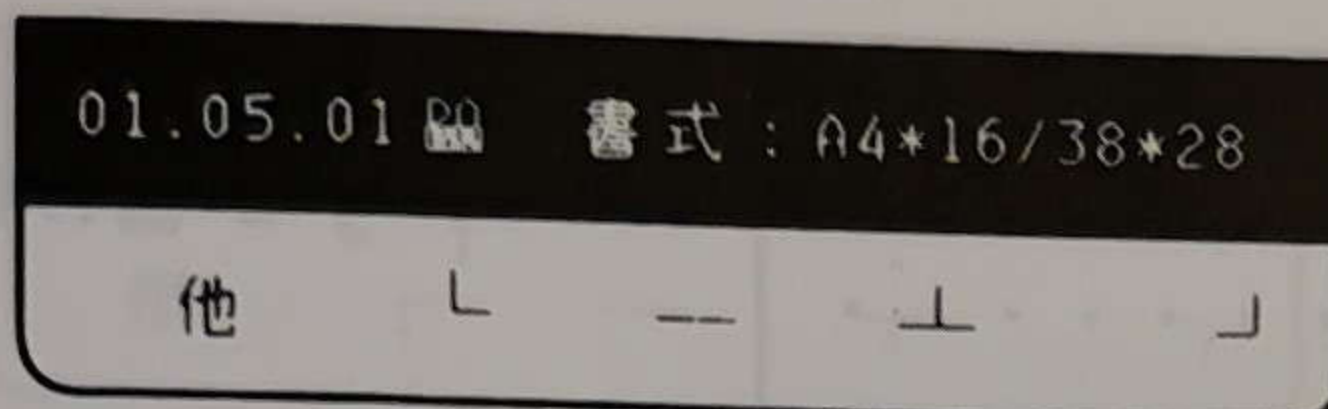
[↓] [←]

カーソルを左下角を作る位置へ移動する

[F1] 他を押す

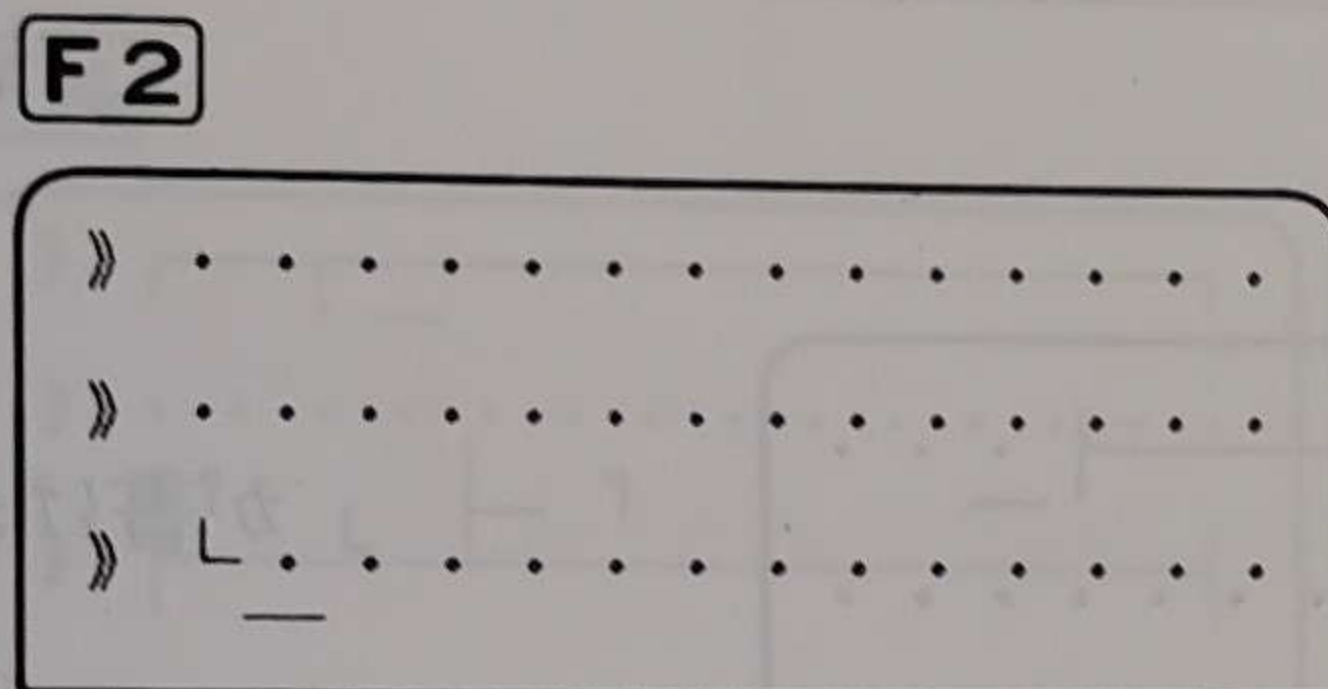
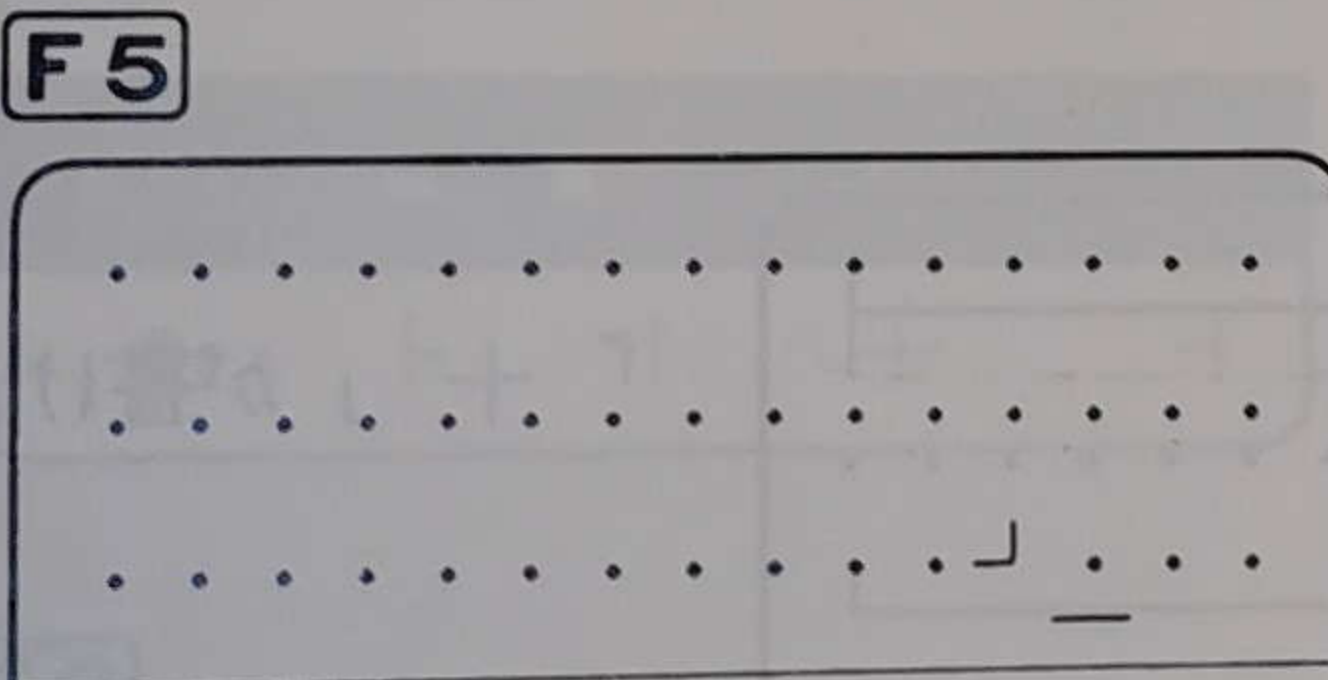
01.05.01 書式：A4*16/38*28
他　└　─　┴　┘

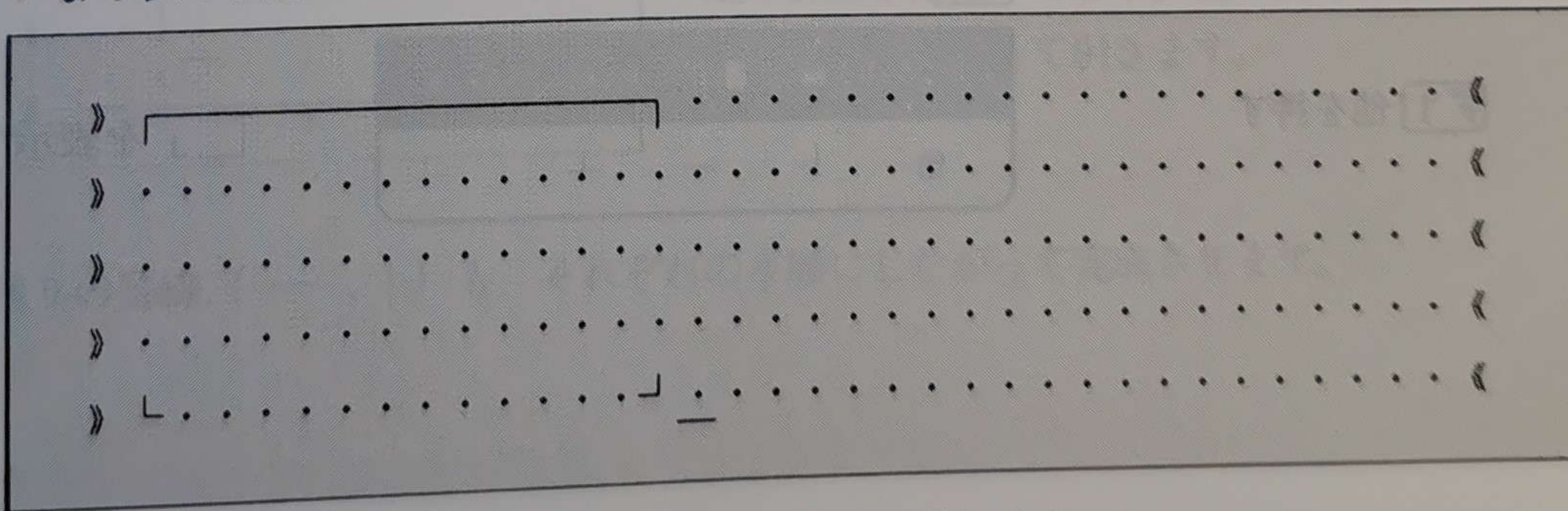
左下角「└」を表示するメニュ行を出します。

[F2]

[F2] └ を押す

左下角が書けます。

右下角を作る

[F5]

カーソルを右下角を作る位置へ移動してから [F5] ┘ を押す

右下角が書けます。

いまの表の状態は……

このあと、3行目の1桁目から14桁目まで横線を引きます。

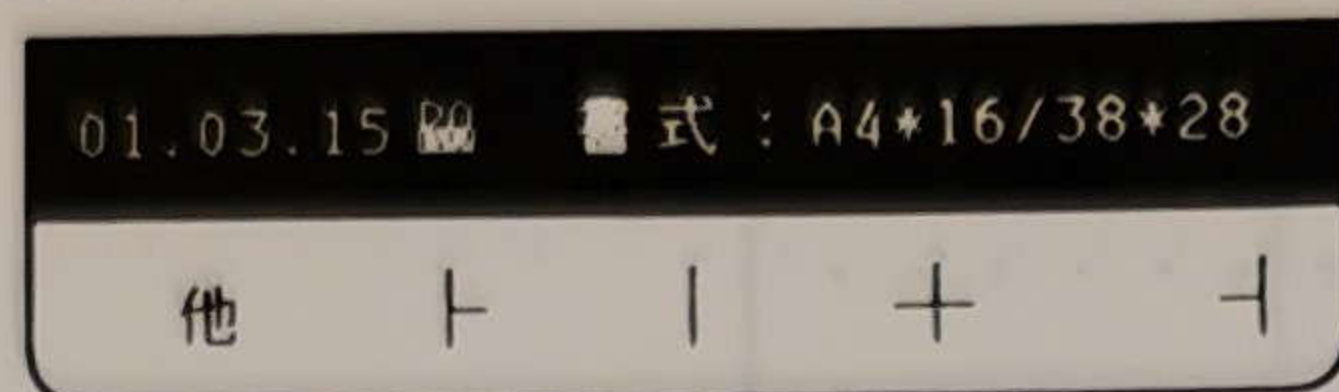
縦と横が交差する線を書く

F1

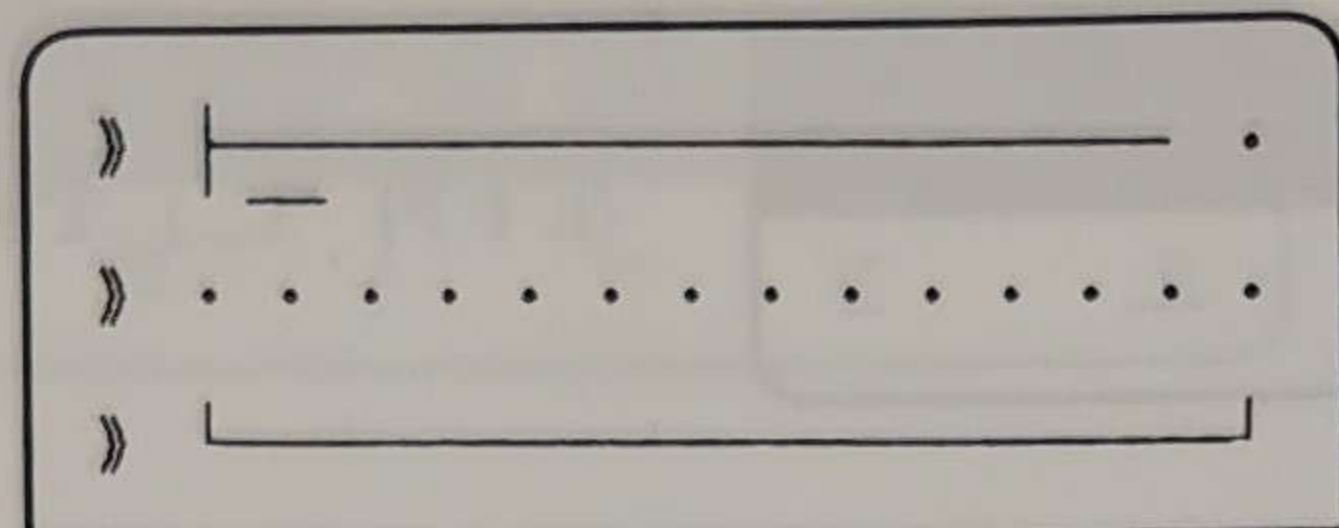
F1 他を押す

01.03.15 書式：A4*16/38*28
他 ├ │ ┼ ┤

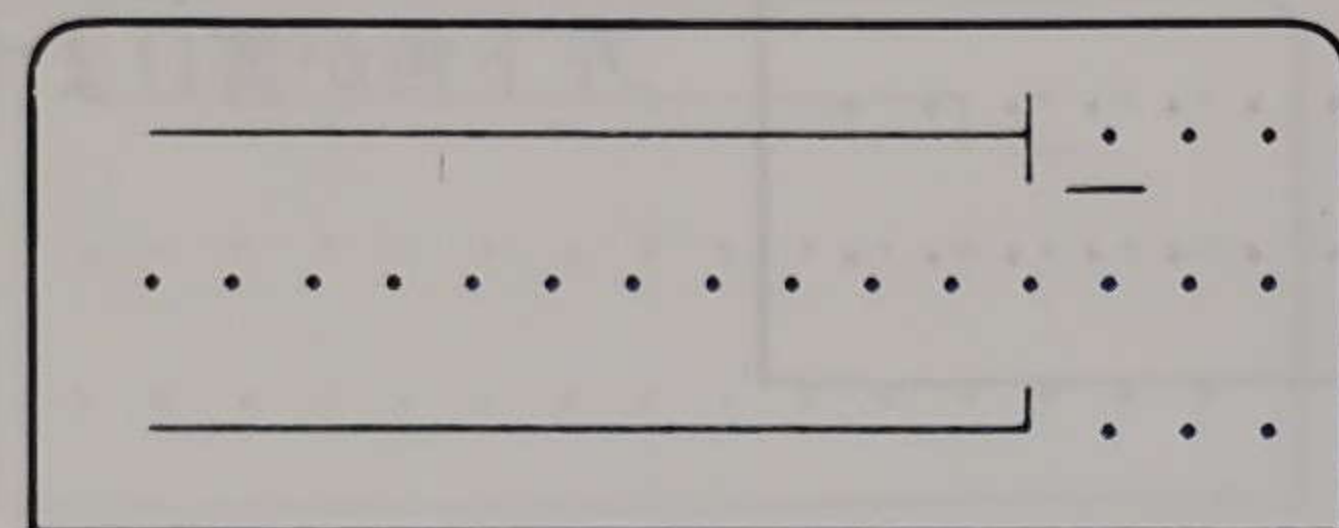
「├」を表示するメニュー行を出します。

F2

カーソルを中央の横線の左端へ移動してから F2 ├ を押す

「├」が書けます。

F5

カーソルを中央の横線の右端へ移動してから F5 ┤ を押す

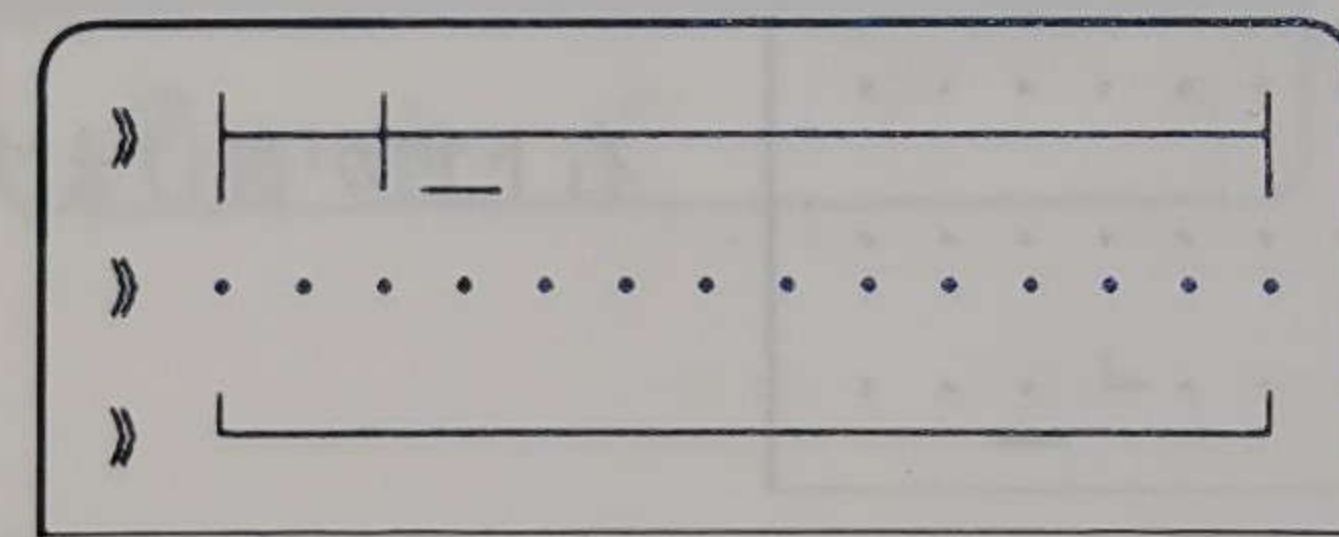
「┤」が書けます。

F4

カーソルを縦と横の罫線が交差する位置へ移動し、F4 ┼ を押す

「┼」が書けます。

F1

F1 他を押す

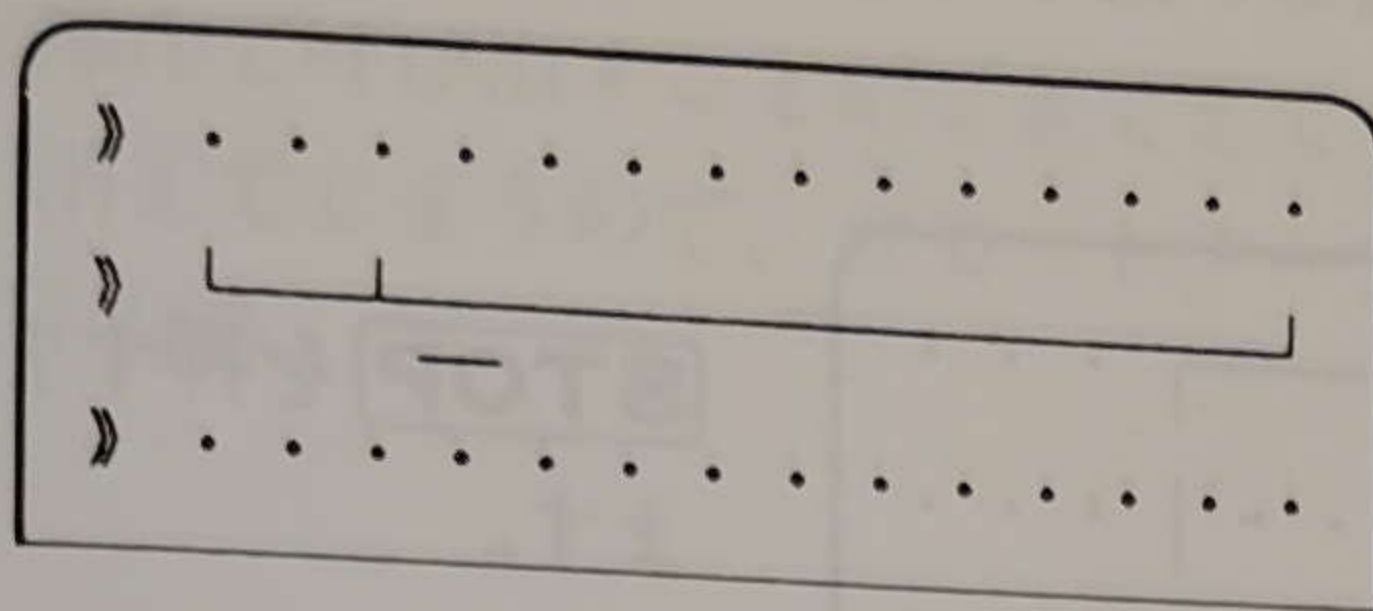
01.05.03 書式：A4*16/38*28
他 └ ─ ┴ ┘

「└」を表示するメニューを出します。

F4 ┴ を押す

F4

》・・・・・・・・・・・・・・・

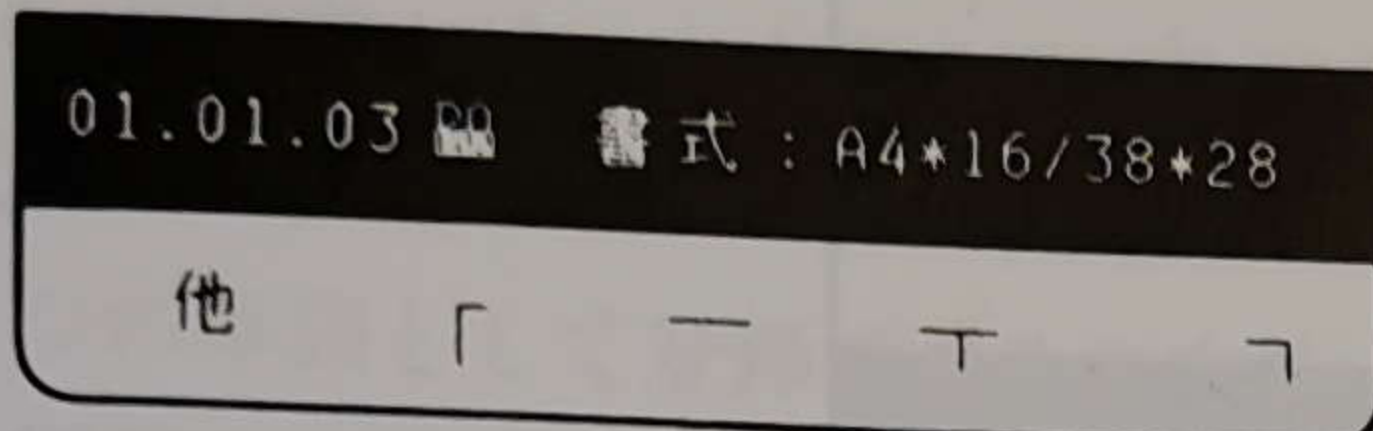
》└─┴─────────┘

》・・・・・・・・・・・・・・・

上に向かう縦の罫線を引きます。

F1 他を押す

F1

01.01.03 書式：A4*16/38*28

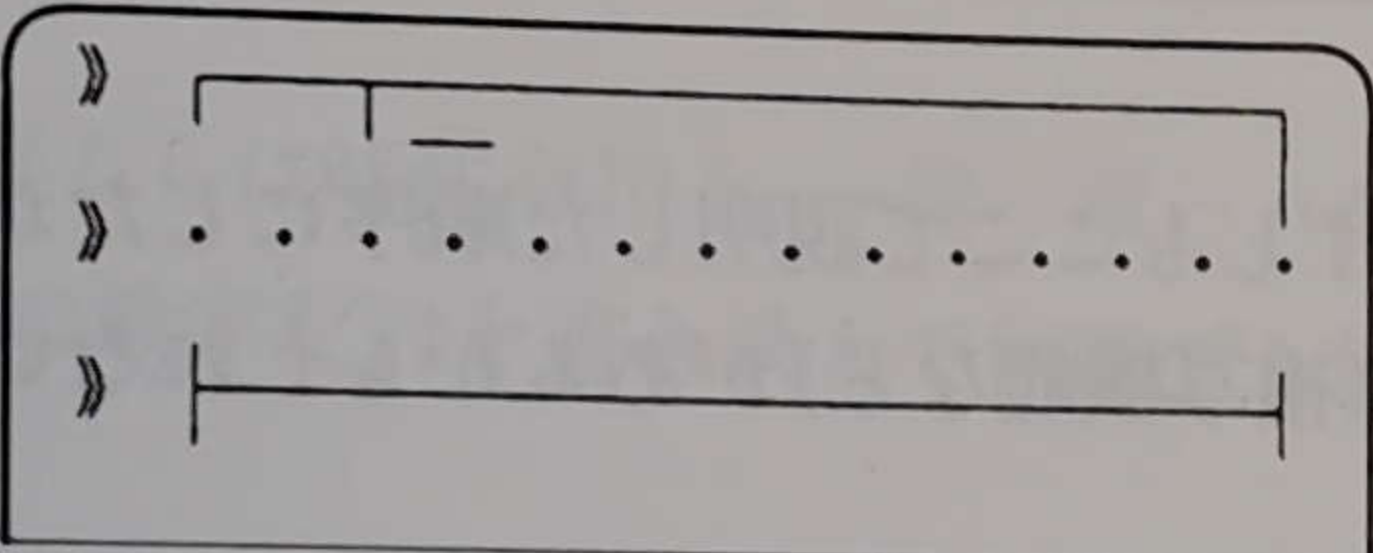
他　┌　─　┬　┐

「┬」を表示するメニュ行を出します。

F4 ┬ を押す

F4

》┌─┬─────────┐

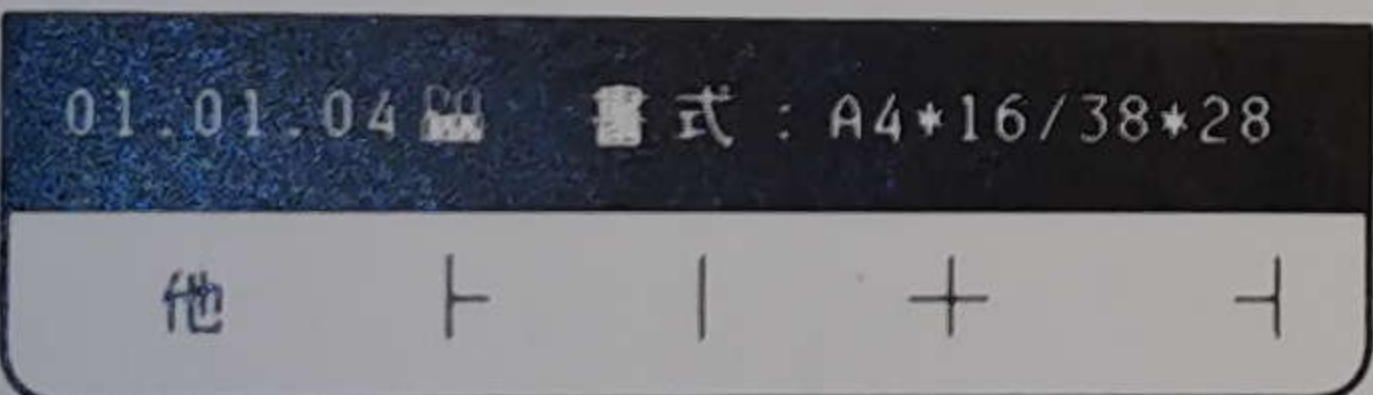
》・・・・・・・・・・・・・・・

》├──────────┤

下に向かう縦の罫線が引けます。

F1 他を押す

F1

01.01.04 書式：A4*16/38*28

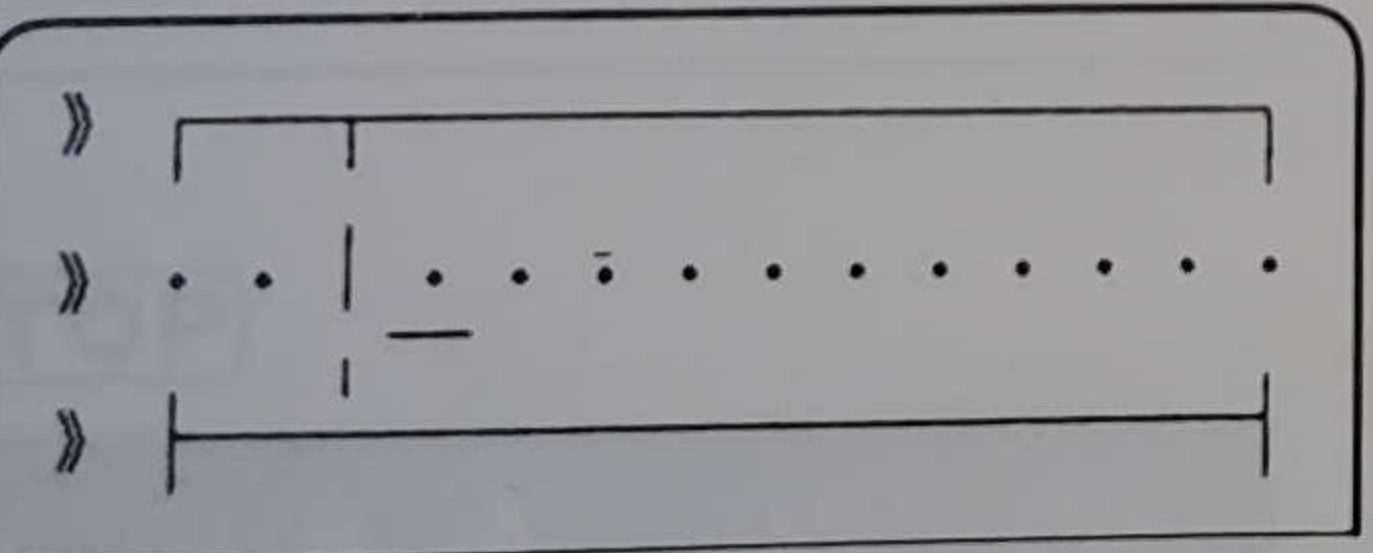
他　├　│　┼　┤

「│」を表示するメニュ行を出します。

「┬」の下へカーソルを移動して F3 │ を押す

F3

》┌─┬─────────┐

》・・│・・・・・・・・・・・・

》├──────────┤

縦の罫線を接続させます。他の縦の罫線もリピート機能を利用して引きます。

残りの罫線（─、│）も、それぞれの手順にしたがって完成させます。

作表を終了する

STOP

STOP を押す

STOP を押すとメニュ行がもとの画面に戻ります。

表の作りかたは、必ずしもここで説明した順序にしたがう必要はありません。自分に合った合理的な方法(複写機能など)があるかもしれないので、工夫してみてください。

表の中で INS 、DEL 、削除、右寄せ、センタリングをすると、罫線がずれることがあります。ずれた場合は、「文字の削除や挿入」(▶127ページ)の操作を利用して修正できます。

よく使う単語を登録する

文書を作成するときに、よく使う単語をユーザ辞書に登録しておくと、次からは簡単な操作で呼び出すことができてとても便利です。ただし、電源を切ると登録した内容が消えてしまうので、カセットテープかフロッピディスクに保存(▶📖159ページ)してください。

ユーザ辞書とは

ユーザ辞書とは、よく使う単語を記録しておくノートのようなものです。「ノートに記録する」というかわりに、このソフトでは「ユーザ辞書へ登録する」といいます。**1**つの単語として登録できる文字数は**255**字までです。登録するときには、呼び出しに便利なように、簡単な呼び出し名をつけてから登録します。

登録する

「ぼくらは時代を担う　―第　章―」を登録してみましょう。**1**度登録しておけば章番号の数字だけを書き換えて何度でも使うことができます。

登録する文字の先頭にカーソルを移動する

```
》ぼくらは時代を担う・―第・章
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01   書式：A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ﾍﾙﾌﾟ
```

STOP

STOPを押してメニュ行に辞書を出す

```
01.01.01   書式：A4*16/38*28
ﾀﾌﾞｾｯﾄ  ﾘｾｯﾄ  辞書  内蔵  ﾍﾙﾌﾟ
```

F3

F3 辞書を押す

```
ユーザ辞書管理
印字  削除  登録        取消
```

「辞書」を選ぶと、コントロール表示ブロックの内容が変わります。

F3

》ぼくらは時代を担う・—第・章
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

F3 登録を押す

「登録」を選ぶと、カーソル位置の文字が反転になります。状態表示行には、登録単語の文字数を示す〔001〕が表示されます。

ユーザ辞書登録中 〔001 〕
終了 取消

→

らは時代を担う・—第・章—・・
・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・

→を押す

カーソルキーを、登録する単語の最後の文字へ移動します。登録する文字全てが反転になり、文字数がメニュ行に表示されます。

ユーザ辞書登録中 〔015 〕
終了 取消

1度に登録できるのは255文字までです。

F4

呼出文字列＝
入力 取消

F4 終了を押す

「終了」を選ぶと、状態表示行に「呼出文字列＝」と表示されます。ここに登録した単語の呼び名を記入します。

これ以上登録する余裕がないときは、「格納場所不足です」というメッセージが表示されます(▶116ページ)。

D A I M E I

呼出文字列＝だいめい
入力 取消

登録する単語の呼び名を書く

登録する単語の呼び名を書きます。

「読み」は7文字以内で登録します。使える文字はひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、英記号です。半幅文字は使えません。

ユーザ辞書の登録をやめるときは……
F5 を押して、取消を指定すると、メニュ行が変わります。

登録を終了する

F4 入力を押す

F4

らは時代を担う・―第・章―・・

01.01.15 書式：A4*16/38*28

ﾀﾌﾞｾｯﾄ　ﾘｾｯﾄ　辞書　内蔵　ﾍﾙﾌﾟ

呼び名を書き終えてから、もう一度「入力」を選ぶと、コントロール表示ブロックが変わります。文書作成画面で登録を指定した単語が反転から通常の表示にもどります。

登録した単語を呼び出す

登録した単語を呼び出すのは、「読み」を書いて漢字に直す手順と同じです。

メニュ行に辞書を表示させて、SPACE を押す

SPACE

01.01.01 書式：A4*16/38*28

〔＿

メニュ行が、呼び名を記入する画面に変わります。

呼び名を書く

D A I M E I

01.01.01 書式：A4*16/38*28

〔だいめい＿

メニュ行に呼び名を書きます。

もし、呼び名を忘れた場合は登録した単語の一覧（▶117ページ）を見て調べることができます。

GRAPH を押す

GRAPH

01.01.01 書式：A4*16/38*28

1 ぼくらは時代を担う・―第

登録した単語がメニュ行に表示されます。
呼び名の前には、常に「1」の番号を表示します。

SELECT を押しても、登録した単語はメニュ行に表示されます。

1 を押す

1

は時代を担う・―第・章―・・

01.01.16 書式：A4*16/38*28

ﾀﾌﾞｾｯﾄ　ﾘｾｯﾄ　辞書　内蔵　ﾍﾙﾌﾟ

文書作成画面に、呼び出した単語が書き込まれます。メニュ行の内容も辞書を表示する画面にもどります。

これ以上登録できないとき……

●作成中の文書のページ数が、書式で設定されたページ数の上限に近くなると、単語を登録する余裕がなくなってきます。

F4

```
らは時代を担う・―第・章―・・
・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・
```

```
格納場所不足です
何かキーを押して下さい
```

↓

〈何かキーを押す〉

```
らは時代を担う・―第・章―・・
・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・
```

コントロール表示ブロックが変わります。

```
01.01.15  書式：A4*16/38*28
タブセット，リセット  辞書  内蔵  ヘルプ
```

●どうしても登録したい場合は、作成中の文書の一部を削除するか、すでに登録してある単語を削除してから登録し直します。

同じ呼び名は使えません。

同じ呼び名を登録した場合、コントロール表示ブロックにメッセージが表示されます。何かキーを押すとコントロール表示ブロックが変わります。

```
読みが重複します
何かキーを押して下さい
```

↓

〈何かキーを押す〉

```
01.01.15  書式：A4*16/38*28
タブセット  リセット  辞書  内蔵  ヘルプ
```

●別の呼び名でもう1度登録をやり直します。

登録した単語の一覧を印刷する

登録した単語の一覧をプリンタで印刷します。

登録した単語の一覧

STOP

STOPを押してメニュ行に辞書を出す

01.01.01 書式：A4*16/38*28
タブセット リセット 辞書 内蔵 ヘルプ

F3

F3 辞書を押す

ユーザ辞書管理
印字 削除 登録 取消

「辞書」を選ぶと、コントロール表示ブロックに「ユーザ辞書管理」と表示されます。

F1

F1 印字を押す

》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・

「印字」を選ぶと、登録した単語の一覧が印刷されます。
印刷内容は画面には表示されません。印刷が終わると、もとのメニュ行にもどります。

01.01.01 書式：A4*16/38*28
タブセット リセット 辞書 内蔵 ヘルプ

〈印刷例〉

単語の呼び名	登録内容
メニュ	今夜は　　と　　とです
みなと	東京都港区白金台
な	海老名まり
だいめい	ぼくらは時代を担う　－第　章－

一覧は、登録した順に印刷されます。

登録した辞書を削除する

登録できる辞書数は、作成中の文書のページ数や、登録した単語の文字数によって異なってきます。メモリを有効に使うためにも、不要になった辞書は削除します。

削除する

STOP を押してメニュ行に辞書を出す

STOP

》．．．．．．．．．．．．．．．．
》．．．．．．．．．．．．．．．．
》．．．．．．．．．．．．．．．．

01.01.01 書式：A4*16/38*28
ﾀﾌﾞｾｯﾄ ﾘｾｯﾄ 辞書 内蔵 ﾍﾙﾌﾟ

F3 辞書を押す

F3

ユーザ辞書管理
印字 削除 登録 取消

「辞書」を選ぶと、メニュ行に「ユーザ辞書管理」と表示されます。

F2 削除を押す

F2

呼出文字列＝
入力 取消

「削除」を選ぶと、状態表示行に「呼出文字列＝」と表示されます。

呼び名を書く

M E N Y U X

呼出文字列＝メニュ
入力 取消

削除する辞書の呼び名を書きます。

F4 入力を押す

F4

今夜は・・・・・・と・・・・と
を削除しますか？ はい いいえ

「入力」を選ぶと、呼び名に対応する単語が状態表示行に表示されます。

単語の先頭から15文字（高解像度モードでは30文字）までが表示されます。

F4 はいを押す

F4

```
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
タブセット  リセット  辞書  内蔵  ヘルプ
```

「はい」を選ぶと、単語は削除され、コントロール表示ブロックの画面が変わります。

削除を中止する場合は……
F5「いいえ」を押して、削除を中止します。

自分で記号や文字を作る

このソフトでは自分で文字や記号を作ることができます。JIS 第1水準（漢字ROM カートリッジに入っている漢字）にない漢字や、このソフトに内蔵されていない特殊記号が必要なときに、自分で文字や記号を作って文書に書き込むことができます。カセットテープかフロッピディスクに文書を保存する場合、作成した外字も一緒に保存されます。

外字の作りかた

初期メニュの「外字」を指定してから、外字を作り始めます。

外字作成画面を出す

STOP を押して初期メニュを出す

```
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.01  書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

F3 外字を押す

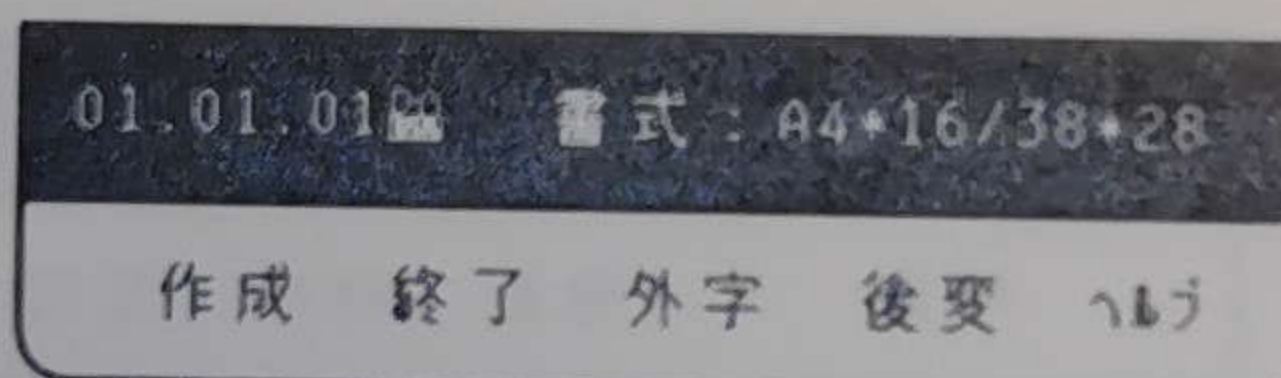
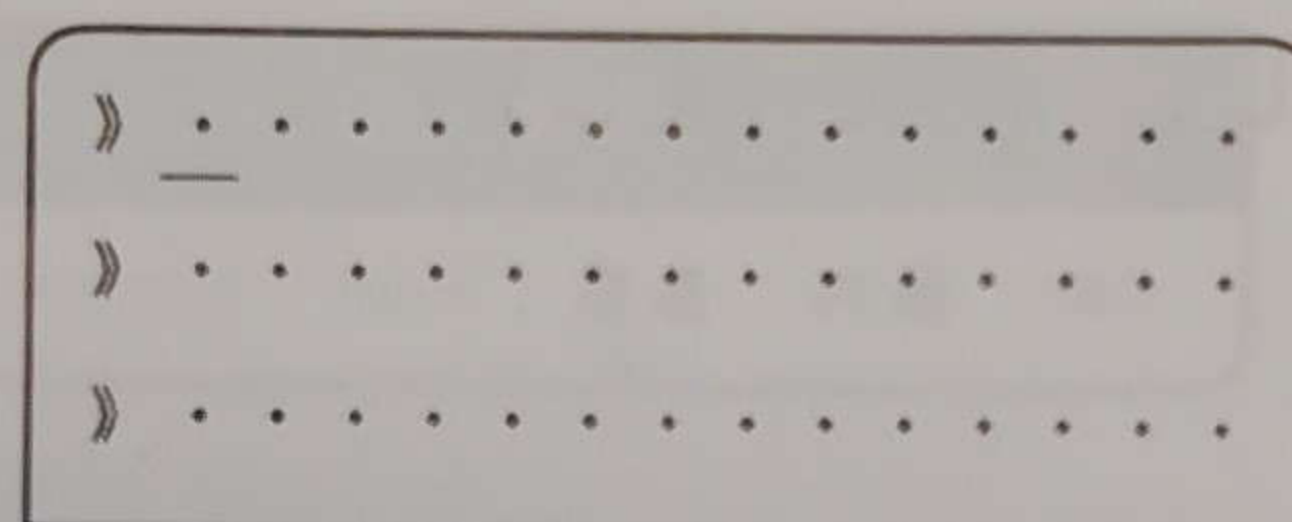
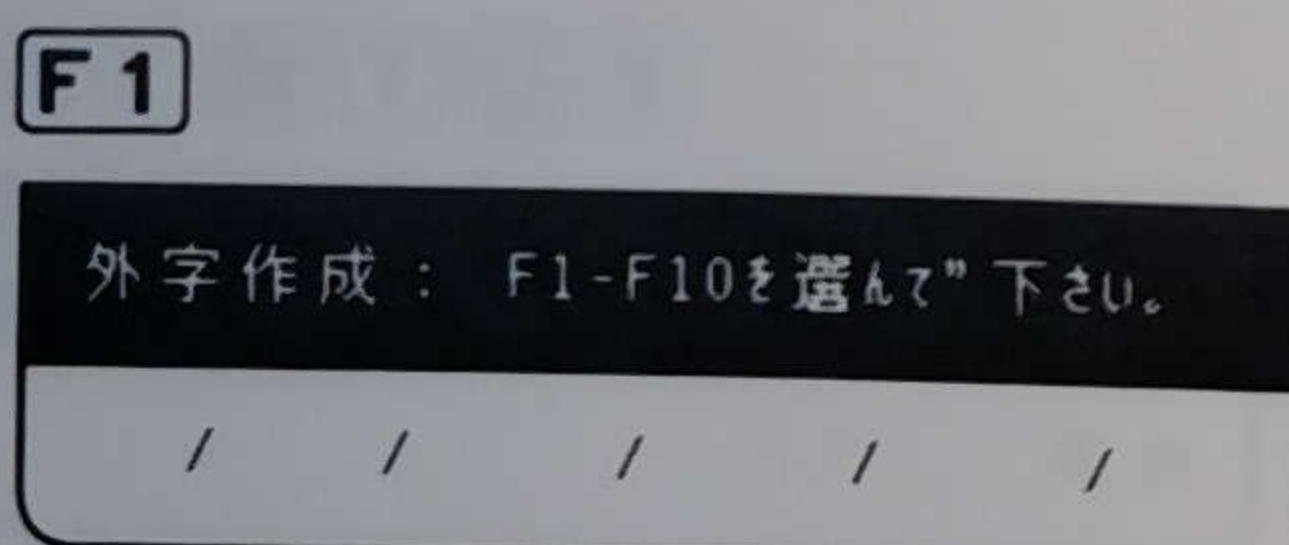
F3

```
外字メニュ
作成  消去  呼出      取消
```

「外字」を選ぶと、状態表示行が外字メニュに変わります。

F1 作成を押す

F1

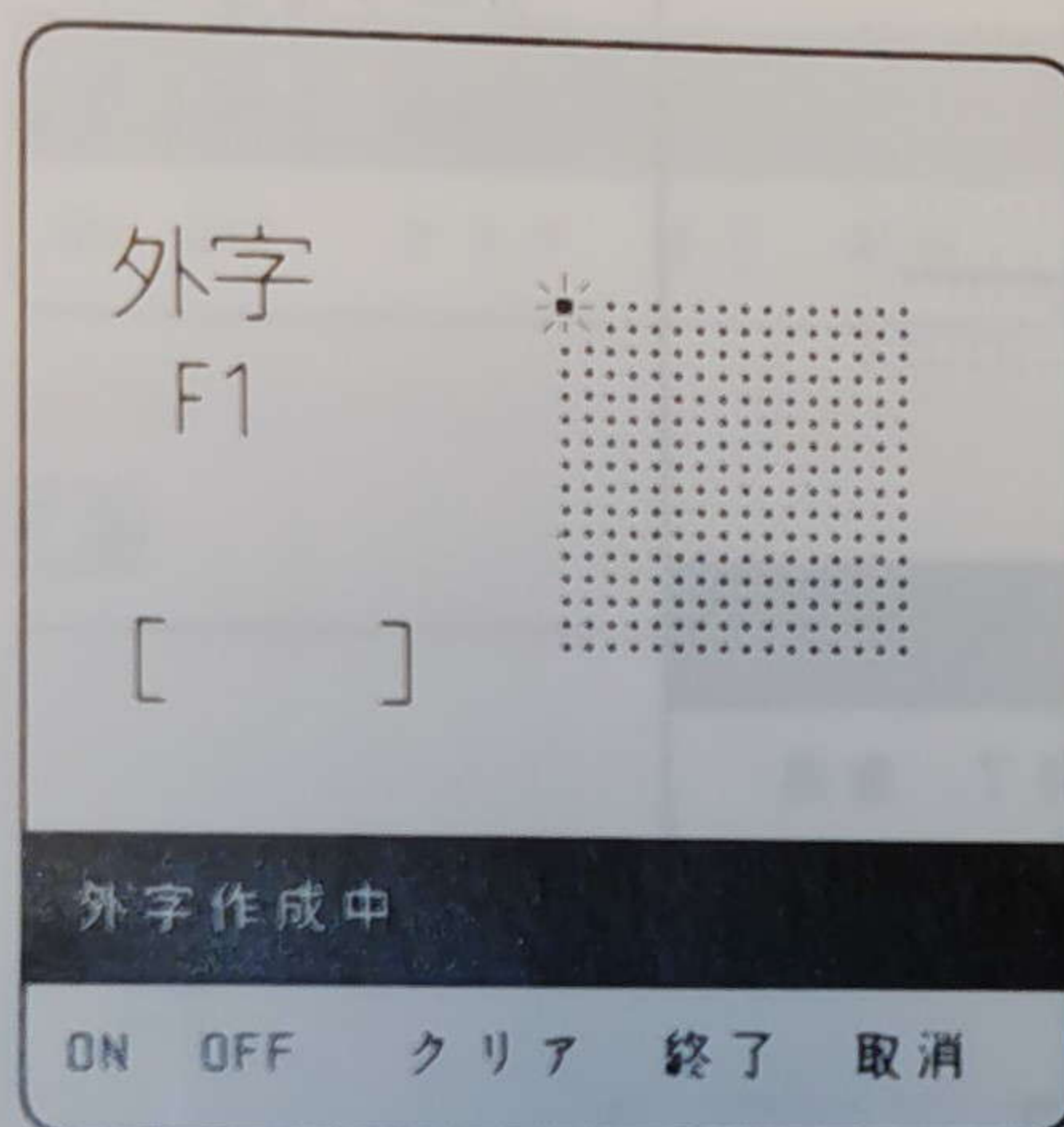
```
外字作成： F1-F10を選んで下さい。
/  /  /  /  /
```

「作成」を選ぶと、コントロール表示ブロックが変わります。

すでに作成した外字があるときは、メニュ行のスラッシュ（／）の左右に表示されます。

外字はF1からF10の好きな位置に登録できます。
スラッシュ（／）の左側に登録するときは、その位置のファンクションキー（F1～F5）をそのまま押します。スラッシュ（／）の右側に登録するときは、SHIFTを押しながらその位置のファンクションキー（F6 ～ F10）を押します。

F1

外字を登録するファンクションキーを押す

外字
F1
[ ]
外字作成中
ON OFF クリア 終了 取消

外字作成画面が表示されます。
縦16×横16のドット（点）が画面に表示されます。左上角の点が点滅して、現在のカーソル位置を示します。

《使用するキーとその意味》

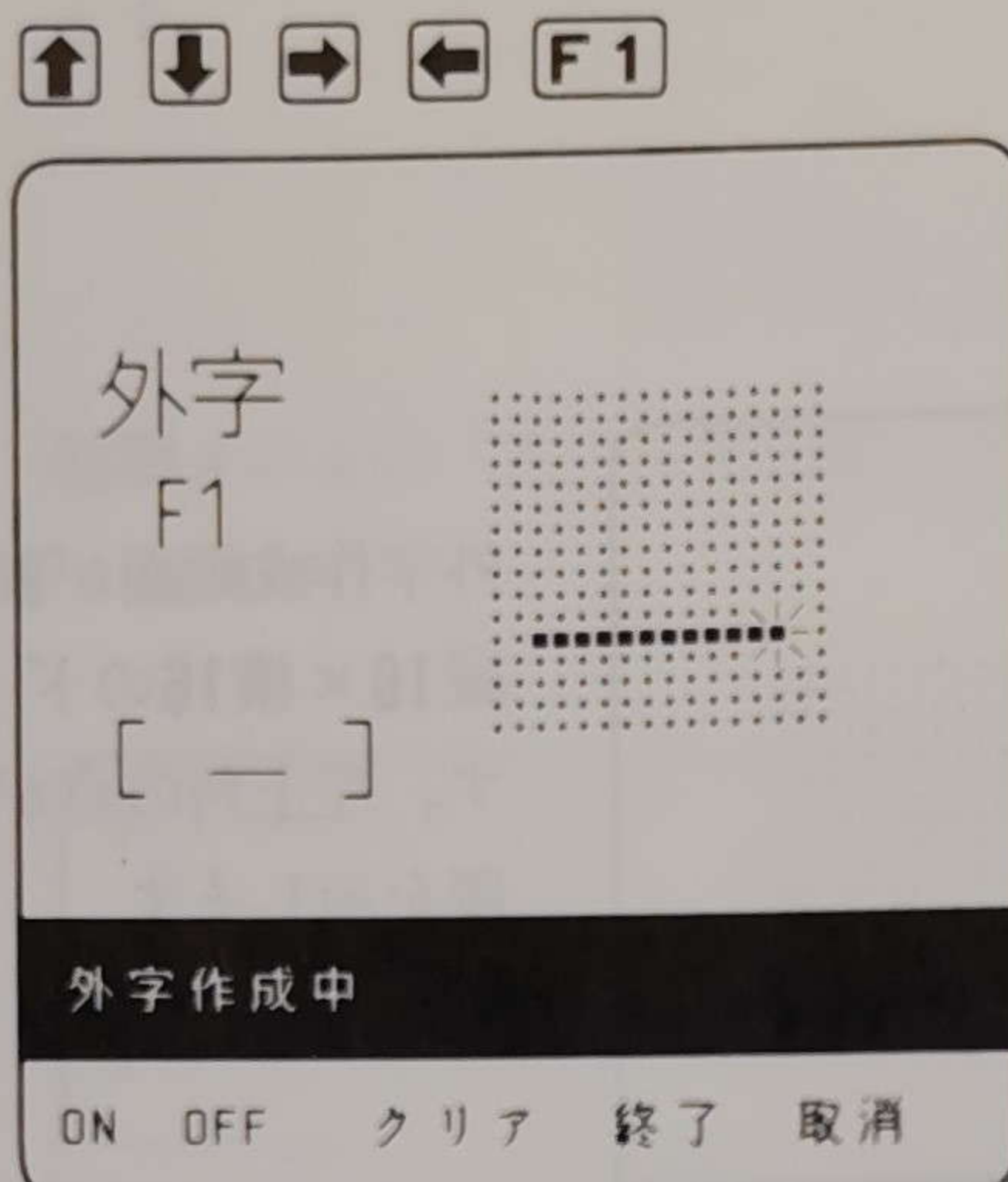
F1……「ON」（書く）に対応し、カーソルキーと組み合わせて外字を書きます。
F2……「OFF」（消す）に対応し、押すと消しゴム代わりになって書いたものを消します。
F3……「クリア」に対応し、書いた外字を全て消してしまいます。
F4……「終了」に対応し、外字作成を終了するときに押します。外字は登録され文書作成画面にもどります。
F5……「取消」に対応し、外字作成を取り止めるときに押します。外字は消え画面は文書作成画面に戻ります。
➡……… 右方向へ書きます。
⬅……… 左方向へ書きます。
⬆……… 上方向へ書きます。
⬇……… 下方向へ書きます。

外字を書く

外字は縦16個、横16個のドット（点）のひとつひとつ（下図）にON（書く）と、OFF（消す）を指定して書いていきます。

⇧ ⇩ ⇨ ⇦ F1

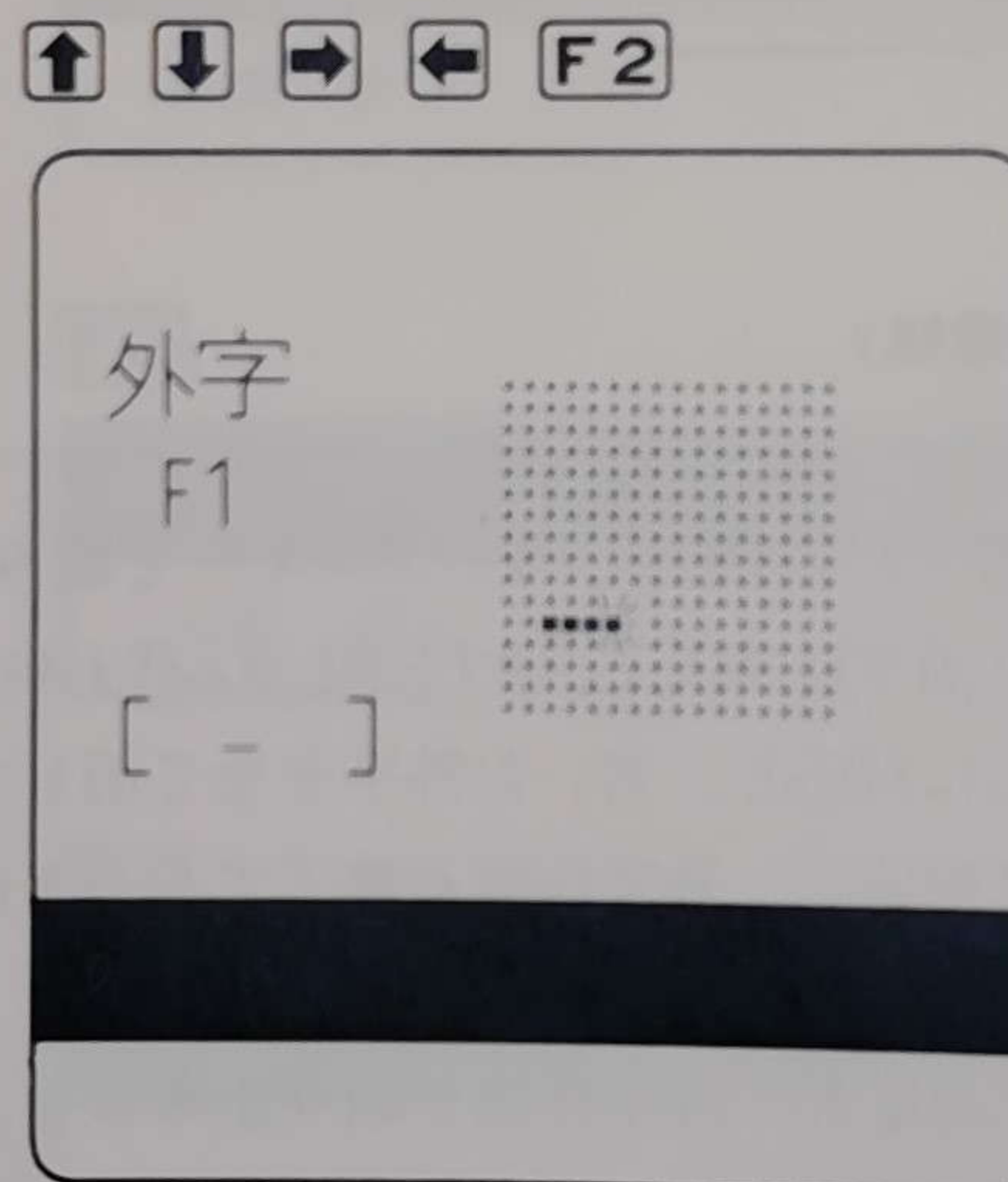
点を描く位置にカーソルを移動して F1 ONを押す

外字
F1
［ — ］
外字作成中
ON OFF クリア 終了 取消

「ON」を選ぶと、カーソル位置に点が描かれます。
カーソルキーで、点を描く位置を動かしながら「ON」を押していきます。

外字の1部を消す

⇧ ⇩ ⇨ ⇦ F2

点を消す位置へカーソルを移動して F2 OFFを押す

外字
F1
［ - ］

「OFF」を選ぶと、カーソル位置の点が消えます。
点の描かれた位置にカーソルを合わせて「OFF」を押します。

作成中の外字は、文書作成画面などに表示される大きさで〔　〕内に表示されます。ここを見ながら外字の形を整えてください。

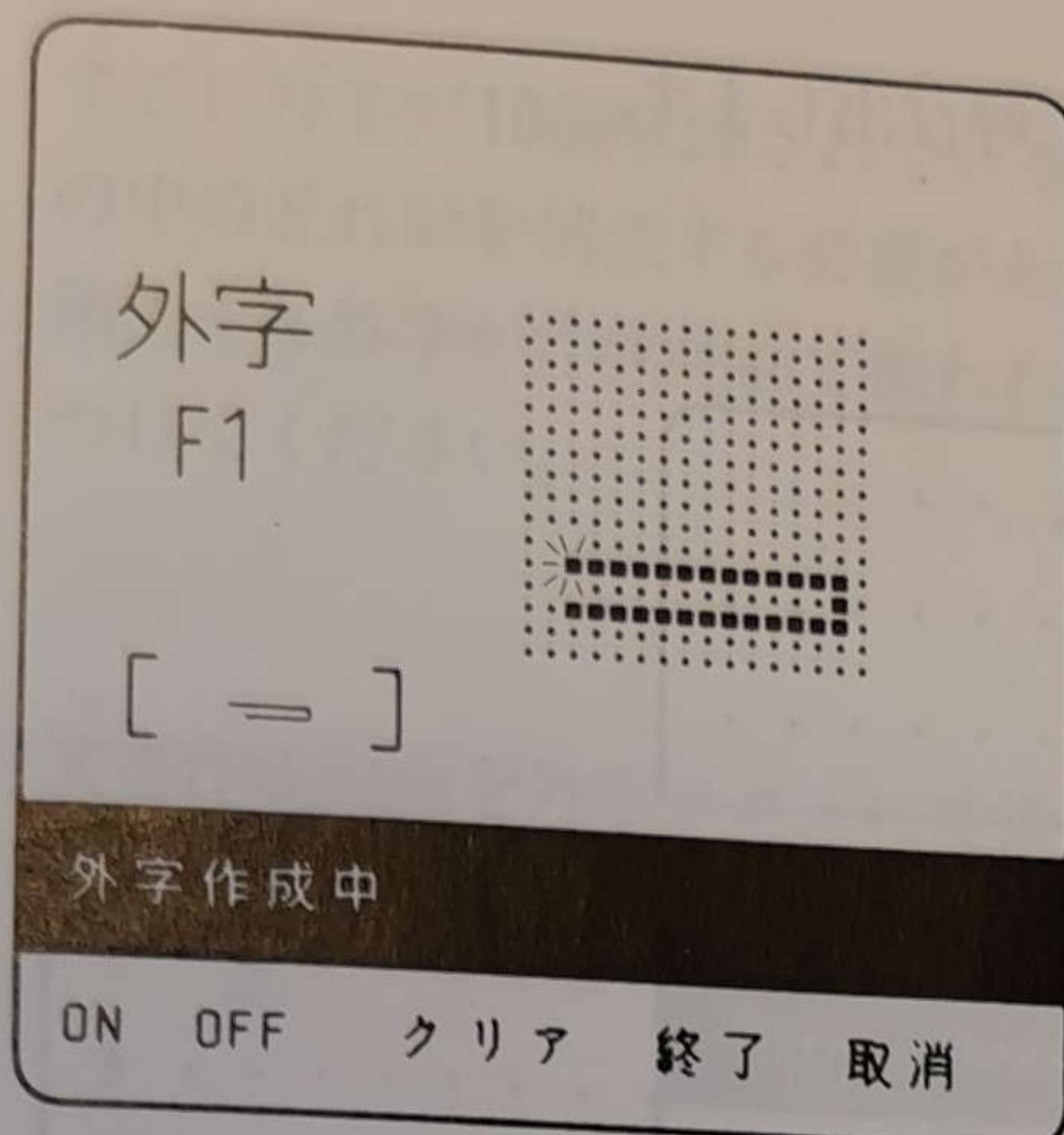
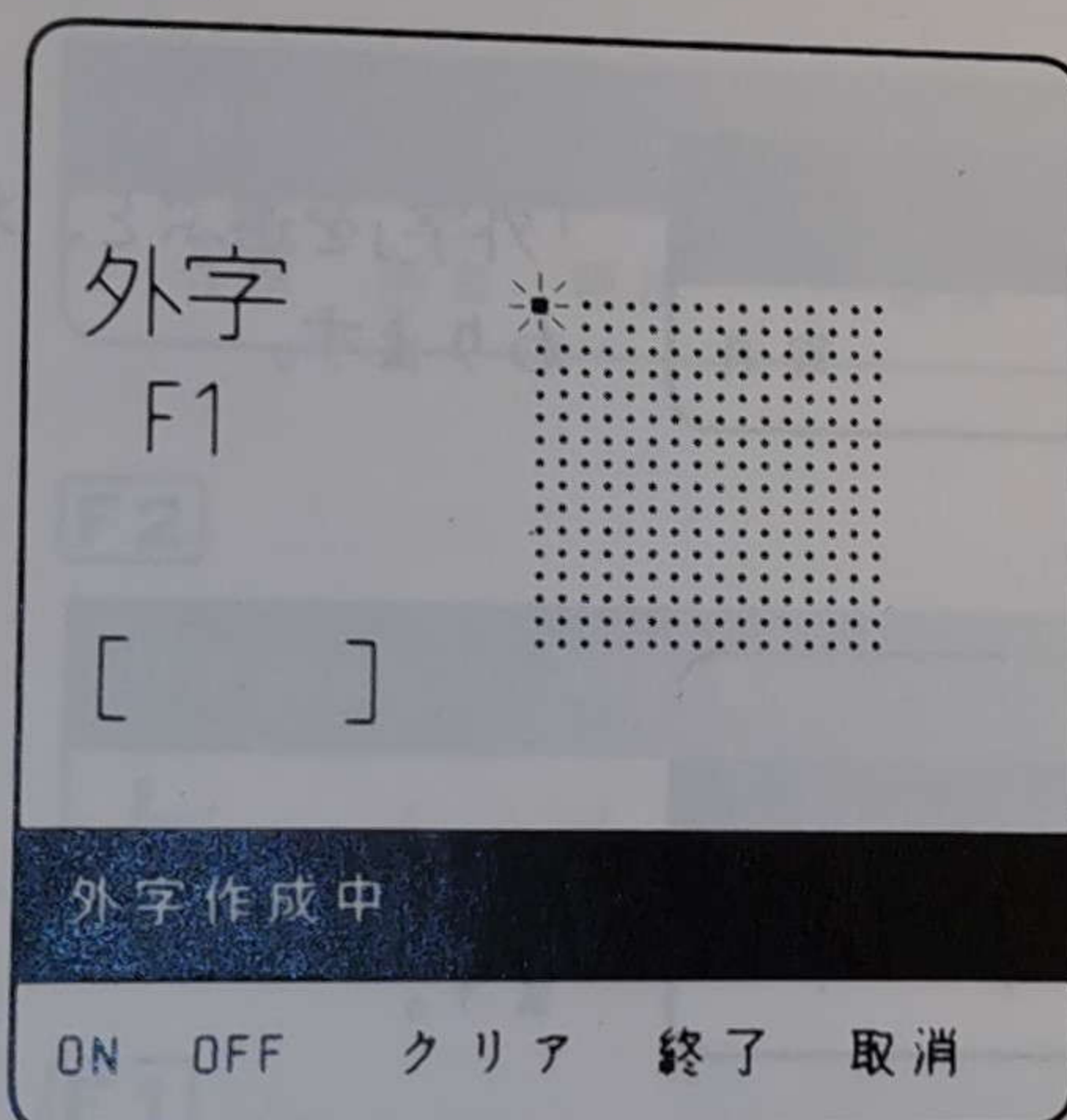
作成中の外字全体を消す

外字作成画面を出す

外字
F1
[ー]
外字作成中
ON OFF クリア 終了 取消

F3

F3 クリアを押す

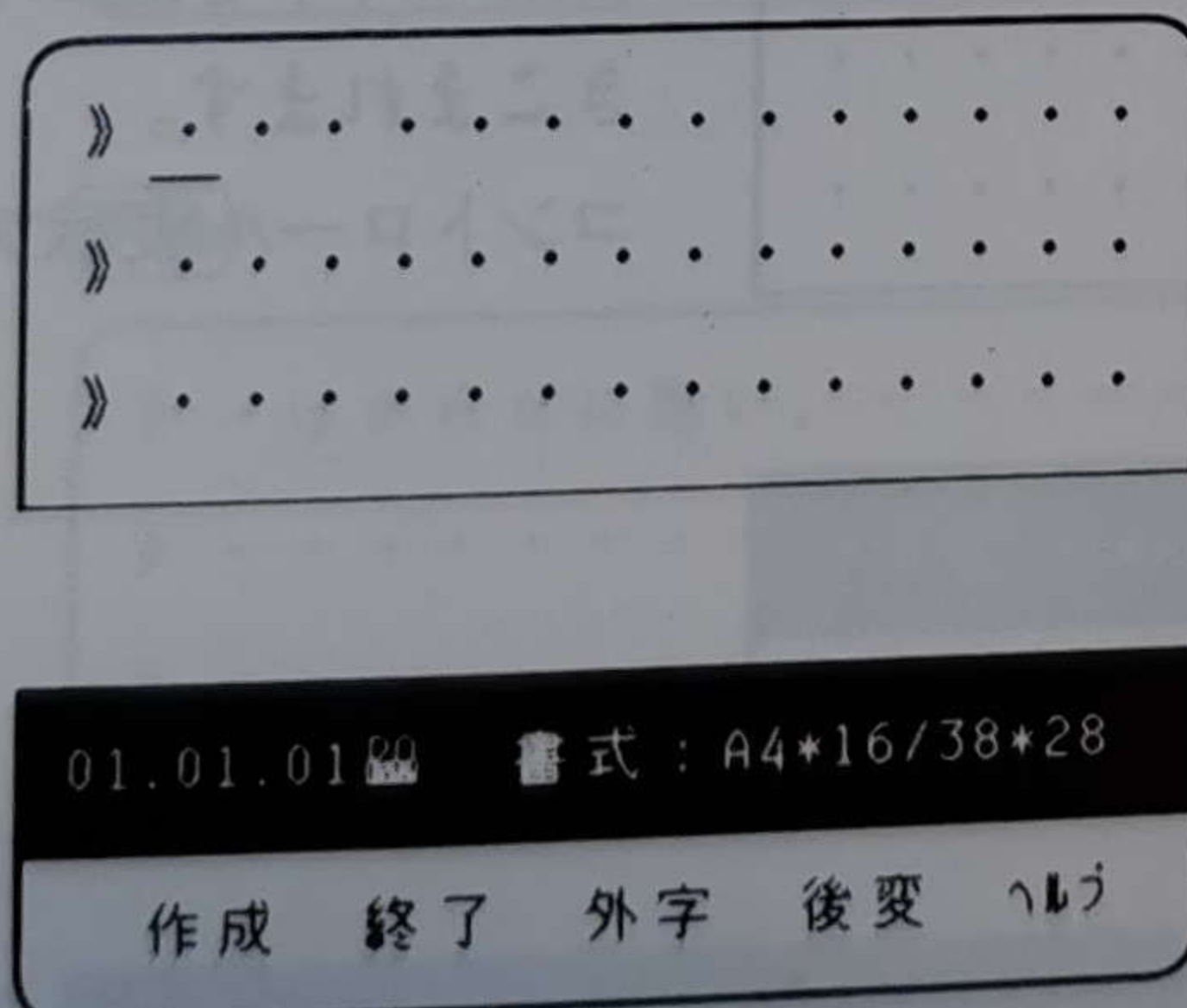
外字
F1
[ ]
外字作成中
ON OFF クリア 終了 取消

「クリア」を選ぶと作成中の外字は消えます。

外字作成を終了する

F4

F4 終了を押す

》＿. . . . .
》. . . . .
》. . . . .

01.01.01 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

「終了」を選ぶと、外字作成画面は文書作成画面に変わり、コントロール表示ブロックがもとにもどります。
作成した外字は、作成前に指定したファンクションキー位置へ登録されます。

外字を使う

作成した外字を文書に呼び出します。

外字を呼び出す位置へカーソルを移動する

[←]

》・はからだに悪い。・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.01 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

F3 外字を押す

F3

外字メニュ
作成 消去 呼出 取消

「外字」を選ぶと、状態表示行が外字メニュに変わります。

F3 呼出を押す

F3

外字呼出： F1-F10を選んで下さい。

「呼出」を選ぶと、以前作成した外字が表示されます。

目的の外字に対応するファンクションキーを押す

F1

》はからだに悪い。・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.02 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

目的の外字を選ぶと、文書作成画面に外字が書きこまれます。
コントロール表示ブロックはもとに戻ります。

外字を消去する

すでに外字が10個登録されているときに、さらに新しく外字を作成する場合は、10個の中のどれかを消去する必要があります。ここでは消去の方法を説明します。ただし、消去する外字が作成画面で使われている場合は、その外字まで消えてしまうので気をつけてください。

外字の消去の方法

文書作成画面を外字メニュに変換します。(▶📖120ページ)。

```
》≦ はからだに悪い。・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
外字メニュ
作成　消去　呼出　　取消
```

F2

F2 消去を押す

```
外字消去： F1-F10を選んで下さい。
≦/　/　/　/　/
```

「消去」を選ぶと、左のメッセージと外字が表示されます。

F1

消去する外字に対応するファンクションキーを押す

```
≦ を消去しますか
　　　　はい　いいえ
```

消去する外字を選ぶと、コントロール表示ブロックにメッセージが表示されます。

F4

F4 はいを押す

```
》・はからだに悪い。・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

```
01.01.02 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ﾍﾙﾌﾟ
```

「はい」を選ぶと、外字は消去され、コントロール表示ブロックは初期メニュにもどります。

✎ 文書に使われていた外字が消えて、その位置の文字は空白になります。

✎ 「取消」に対応する **F5** を押すと、外字メニュは消え、初期メニュにもどります。

外字を保存する

電源を切ると、外字は消えてしまいます。保存する場合は、カセットテープかフロッピディスクをご用意ください。文書と一緒に保存しておけば、好きなときに呼び出すことができます。保存方法は、「PART 7　文書や辞書の保存と呼出」(▶📖159ページ）を読んでください。

外字を作り直す

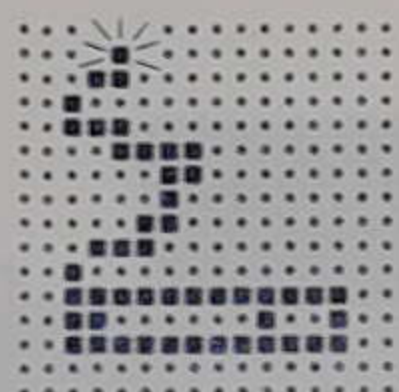
外字を作成する手順と同じです。外字作成メニュで作り直したい外字に対応するファンクションキーを押すと、外字作成画面に外字が表示されます。ここで外字を書き直します。

外字メニュで作成を指定する

外字作成：F1-F10を選んで下さい。
⻌/　/　/　/　/

「作成」を選ぶと左の画面を表示します。

F1

作り直す外字に対応するファンクションキーを押す

外字
F1
［ ⻌ ］
外字作成中
ON　OFF　クリア　終了　取消

外字作成画面が表示されます。「ON」と「OFF」を押して、外字を書き直します。

以下の操作は外字を書く場合（▶📖122ページ）と同じです。

文字を修正する

たいていの人は文章を書きながら文字を間違えたり、ちょっとおかしな表現をしてみたり……といったことがあるのではないでしょうか。このソフトでは、書き終えてからの修正も簡単にできます。

文字の修正方法

文字を書きながら間違いに気づいた場合と、書き終えてから気づいた場合では修正方法が異なります。

次の文字を書く前に、間違いに気づいたとき

```
》りんこ・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

BS

BS を押す

```
》りん・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルの左隣の文字が消えます。

G O

正しい文字を書く

```
》りんご・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

正しい文字が表示されます。

しばらく書いてから1文字の間違いに気づいたとき

カーソルを修正する位置へ移動する

```
》あじらいの花は・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・・・
```

[S] [A]

正しい文字を重ねて書く

```
》あじさいの花は・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

1文字だけを修正する場合は、間違った文字の上に正しい文字を重ねて書きます。

文字の間に文字を挿入する

1文字書き忘れのある例文に、文字を挿入します。

カーソルを挿入することばの先頭へ移動する

```
》ひまりは太陽に向かって咲く。
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

[INS]

[INS]を押す

```
》ひま・りは太陽に向かって咲く
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソル位置の文字が後ろへずれ、1文字分の空きができます。カーソル位置は変わりません。

[W] [A]

挿入する文字を書く

```
》ひまわりは太陽に向かって咲く
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

空いた位置に文字が挿入されます。

文字を書いた後で空白行を挿入する

文書の途中に1行空きを作ります。

カーソルを空けたい行の左端マーク「》」の位置へ移動する

```
》旅に出よう⏎・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで⏎・
》軽い上着に小銭を少々⏎・・・
```

INS

INS を押す

》旅に出よう↵・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで↵・
》軽い上着に小銭を少々↵・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.02.01 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

その行から1行ずつ下に移動して、新しい行が挿入されます。
カーソルの位置は変わりません。

左端マーク位置で、DEL を押すと1行削除することができます。

1文字を削除する

いらなくなった文字を削除します。

カーソルを削除する文字の位置へ移動する

》いま彼に必要なのは愛情です。
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

DEL

DEL を押す

》いま彼に必要なのは愛です。・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

カーソル位置にあった文字が消え、後ろの文字がつまります。カーソルは動きません。

DEL キーの押しすぎで必要な文字が消えたとき……
DEL キーであやまって文字を消したときは、**INS** キーを押して空きを作り、そこに文字を書き込みます。

》いま彼に必要なのは愛す。・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

⬇
INS

》いま彼に必要なのは愛・す。・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

⬇
D **E**

》いま彼に必要なのは愛です。・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

行単位で削除する

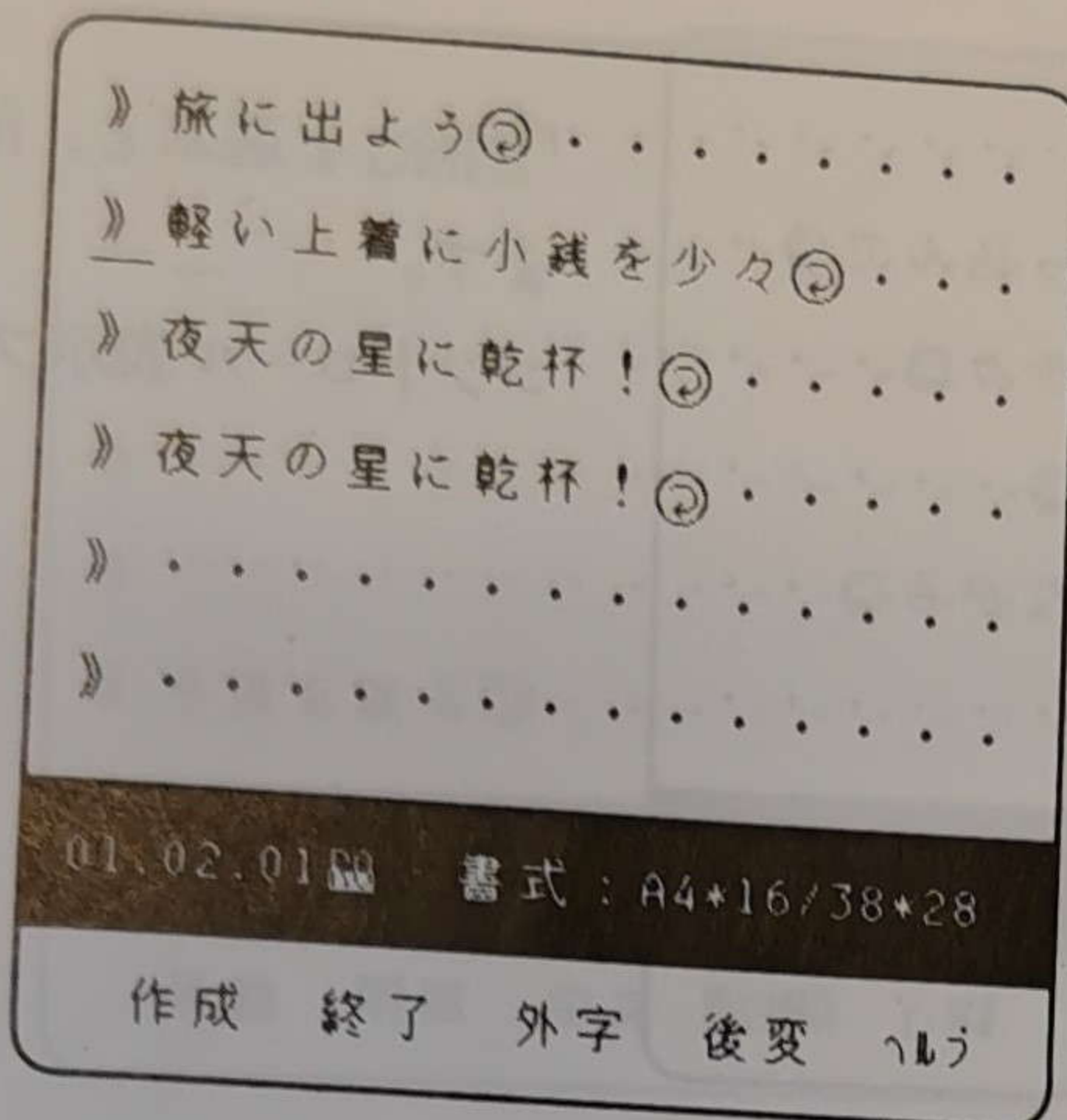
1行まとめて削除します。

カーソルを削除する行の「》」の位置へ移動する

》旅に出よう⏎・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで⏎・
》軽い上着に小銭を少々⏎・・・
》夜天の星に乾杯！⏎・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.02.01 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

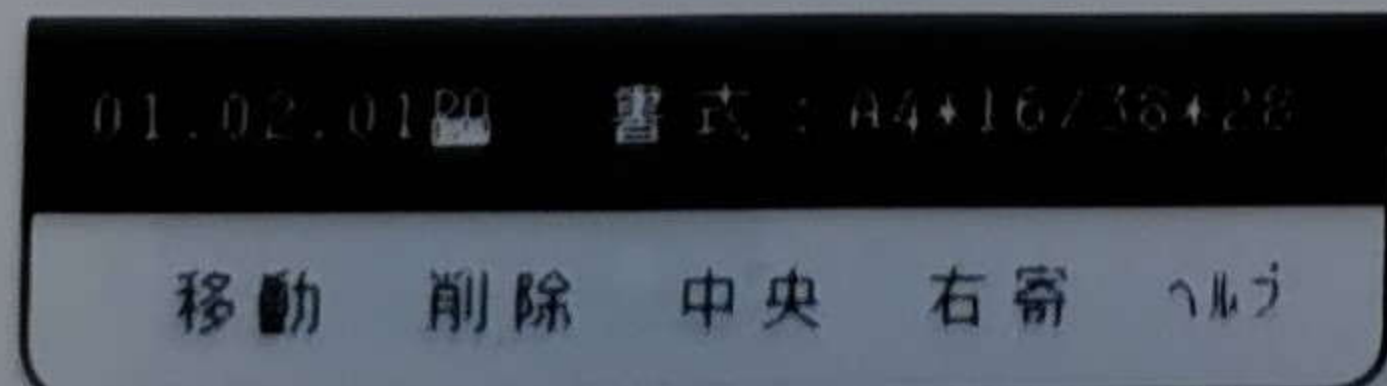
DEL

DEL を押す

》旅に出よう↩・・・・・・・・
》軽い上着に小銭を少々↩・・・
》夜天の星に乾杯！↩・・・・・
》夜天の星に乾杯！↩・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
01.02.01 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

その行にあった文字は削除され、次の行の文字がくり上がってきます。
カーソルは動きません。

文字の範囲を指定して削除をおこなう

範囲の指定を行ってから、文字を削除することができます。文字がつながっている場合に削除を指定すると、後ろの文字がつまってきますが、行内に↩マークや何も書かれていないことを示す「・」があれば、そのマークの後ろの文字はくり上がらず、削除した範囲は空白になります。

カーソルを削除する文字の先頭に移動する

》旅に出よう↩・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで↩・
》軽い上着に小銭を少々↩・・・
》夜天の星に乾杯！↩・・・・・
》なんてことを夢見ながら↩・・
》今夜も眠ろう↩・・・・・・・
01.02.01 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

STOP

STOP を押して削除を出す

01.02.01 書式：A4*16/38*28
移動　削除　中央　右寄　ヘルプ

F2

F2 削除を押す

》旅に出よう⏎・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで⏎・
》軽い上着に小銭を少々⏎・・・
》夜天の星に乾杯！⏎・・・・・
》なんてことを夢見ながら⏎・・
》今夜も眠る⏎・・・・・・・・
削除範囲指定中〔001 〕
終了　取消

「削除」を選ぶと、削除する文字の先頭が反転します。
コントロール表示ブロックの表示も変わります。

削除する範囲を指定する

➡

カーソルキーを押す

》旅に出よう⏎・・・・・・・・
》ポケットに手を突っ込んで⏎・
》軽い上着に小銭を少々⏎・・・
》夜天の星に乾杯！⏎・・・・・
》なんてことを夢見ながら⏎・・
》今夜も眠る⏎・・・・・・・・
削除範囲指定中〔085 〕
終了　取消

➡ キーを押して、削除する範囲を指定します。削除する文字はすべて反転され、状態表示行の〔　〕の中に削除する文字数が表示されます。

1度に999文字まで削除できます。

⬇ キーを使うと1行全部を指定することができます。

F4 終了を押す

F4

》旅に出よう⏎・・・・・・・・
》_・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》今夜も眠る⏎・・・・・・・・

01.02.01 書式：A4*16/38*28

移動 削除 中央 右寄 ヘルプ

削除を指定した文字が消えます。カーソルは削除した文字の先頭に移動します。
コントロール表示ブロックも元に戻ります。

削除した行をつめたいときは、行単位で削除する操作（▶📖130ページ）をします。

削除範囲指定中に、**F5 取消**を押すと、削除を指定した範囲は消え、通常の文字表示に戻ります。

●文字がつながっている場合に削除を指定すると、削除した文字の位置に後ろの文字がくり上がってきます。

》その夜は特に寝つきが悪かった。どうしても眠らな《
》ければならない理由はないのだが、12056 匹も羊を《

F2 （削除） ⬇

》どうしても眠らなければならない理由はないのだが《
》、12056 匹も羊を数えるとさすがの私も、もうつく《

●削除する文字の後に「・」や⏎マークがあれば、それらのマーク以下の文字は前につまりません。削除した部分には何も書かれてないことを示す「・」が表示されます。

》あなたの返事をお待ちしています。・・・・かな子《

F2 （削除） ⬇

》お待ちしています。・・・・・・・・・・・かな子《

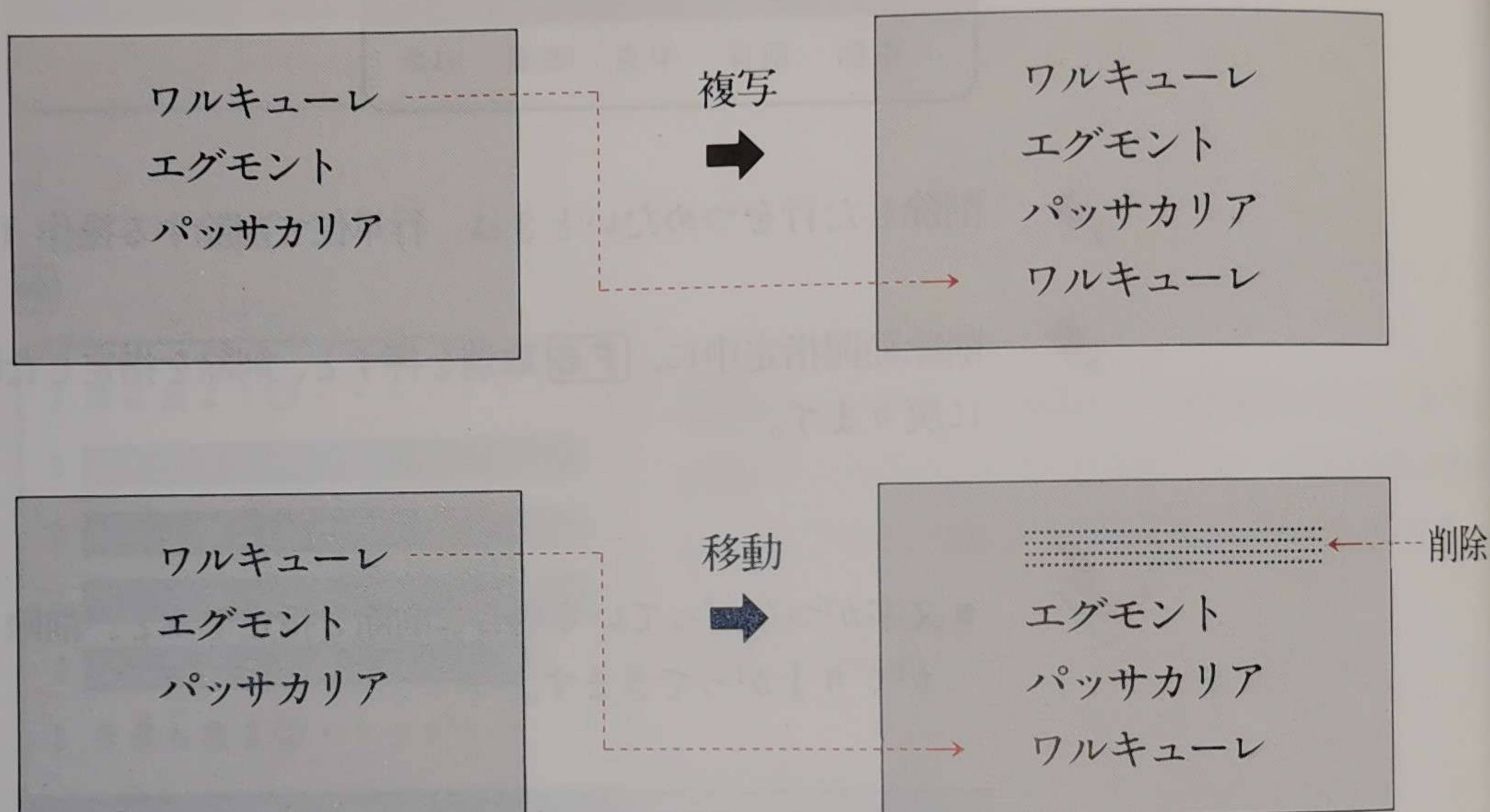
複写と移動

このソフトは256文字以内の文字を一時的に記憶して、それらを指定した位置へ表示することができます。この機能を利用して、文字の移動や複写を行うことができます。文字を何度も使う場合や、表などの複写にとても便利です。

「複写」と「移動」について

記憶させた文字や文章を、指定した位置へ表示させることを「複写」といいます。複写してから、複写元の文字を削除することを「移動」といいます。

ワルキューレ
エグモント
パッサカリア
複写
ワルキューレ
エグモント
パッサカリア
ワルキューレ

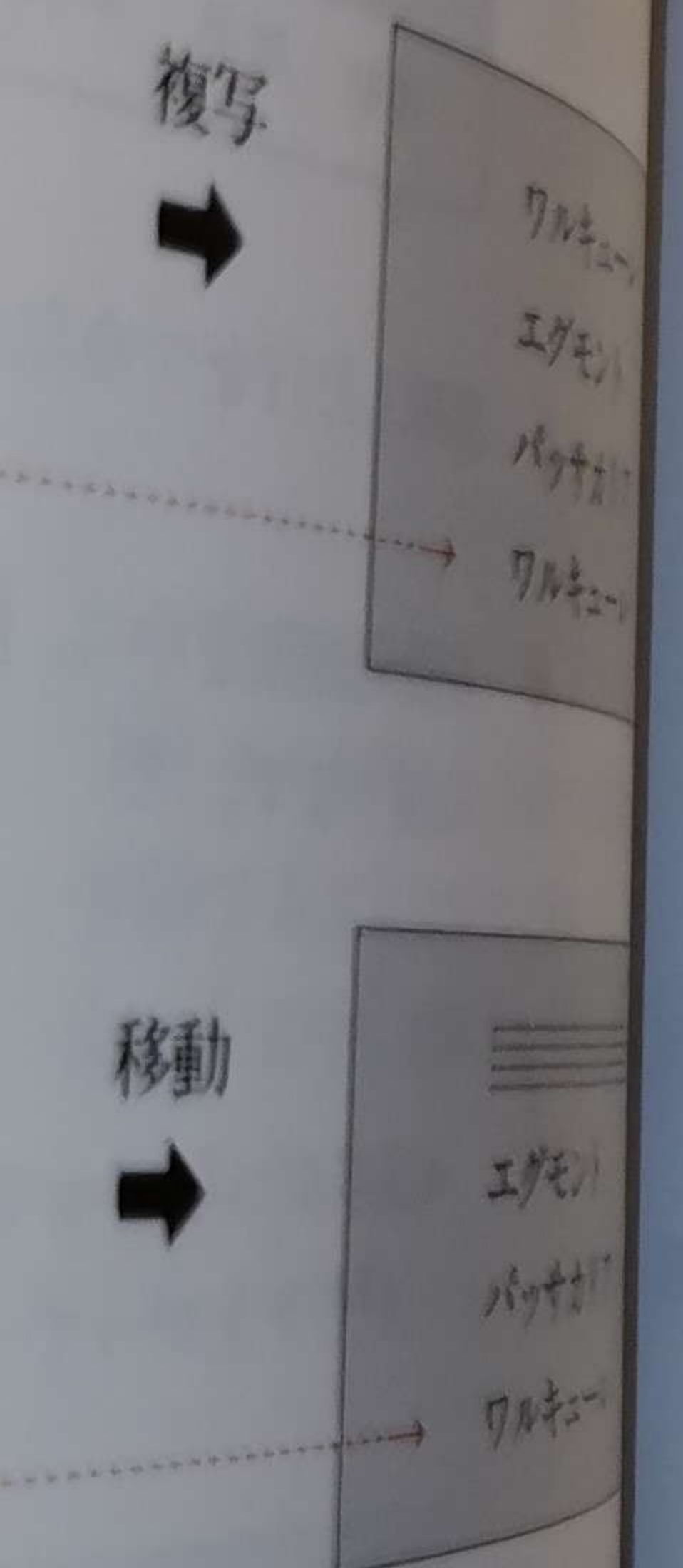
ワルキューレ
エグモント
パッサカリア
移動
削除
エグモント
パッサカリア
ワルキューレ

複写する

指定した文字をそのままそっくり他の位置へ複写することができます。複写元の文字はそのまま残ります。1度に複写できる文字は256字以内です。

文字を複写する

複写する文字の先頭位置にカーソルを移動する

```
》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・・
》・鼠男・・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.02.02  書式：A4*16/38*28
作成  終了  外字  変換  ヘルプ
```

複写する文字の先頭位置にカーソルを移動します。

STOP

STOPを押して移動を出す

01.02.02 書式：A4*16/38*28
移動　削除　中央　右寄　ヘルプ

F1

F1移動を押す

01.02.07 書式：A4*16/38*28
範囲　移動先　終了

「移動」を選ぶと、メニュ行が変わります。

F1

F1範囲を押す

》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・・
》・鼠男・・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
移動範囲指定中　〔001〕
終了　取消

「範囲」を選ぶと状態表示行に「移動範囲指定中」のメッセージが表示され、カーソル位置の文字が反転します。

➡

カーソルキーで移動範囲を指定する

》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・・
》・鼠男・・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
移動範囲指定中　〔006〕
終了　取消

カーソルを動かして、複写する文字すべてを反転します。〔　〕の中には、指定した範囲の文字数が表示されます。

1度に指定できる文字数は256文字までです。

F4

F4 終了を押す

》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・
》・鼠男・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
01.02.07 書式：A4*16/38*28
範囲　移動先　　　終了

文字の範囲指定が終わったら「終了」を選びます。文字の反転は解除され、メニュ行も変わります。

↓ ←

カーソルを複写先へ移動する

》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・
》・鼠男・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
01.05.02 書式：A4*16/38*28
範囲　移動先　　　終了

カーソルを複写先へ移動します。

F2

F2 移動先を押す

```
》・《日本のおばけ》・・・・・
》・おんぶおばけ・・・・・・・
》・鬚男・・・・・・・・・・・
》・こなきじじい・・・・・・・
》・おんぶおばけ_・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.05.08  書式：A4*16/38*28
範囲 移動先        終了
```

「移動先」を選ぶと、指定した位置へ文字が複写されます。

文字の上に複写すると、複写先にあった文字は消えてしまいます。

STOP

STOP を押す

```
01.05.07  書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

STOP を押して初期メニューに変えます。

移動する

「移動」とは、文字の複写を行ってから、複写元の文字を削除することです。文字を削除するまでの手順は、複写の場合と全く同じです。

複写元の文字を削除する

削除の方法は「文字を修正する」(▶📖127ページ)の「削除」の項を参照ください。

編集する

作成した文書をさらに見やすくするために、文書を整えることを編集といいます。

編集機能を使う

見出しを中央に揃えたり、日付や署名を右端へ寄せたり、強調したい部分にアンダーラインを引いたり、文字を大きくして目立たせるなど、いろいろな編集機能を例文を参考に説明します。例①は普通に文章を書いたもの。それを編集したものが②の文書です。

例文①

ついに私もお母さん？！

11月17日

お元気ですか？

この前、電話で話したと思うけど、とうとう、とうとう子供！

が生まれた・・・・・

ちゃんとした猫の子です。とっても生意気そうなドラ猫だから

名前は"ドラ焼き"。実はきょう命名したばかりなの。

もしあなたの所へ逃げたら食べてやってください。

念のため手配写真も送ります。ヨロシック！　　かなこ

例文②

センタリング

ついに私もお母さん？！

倍幅

11月17日

右寄

お元気ですか？

この前、電話で話したと思うけど、とうとう、とうとう子供！

が生まれた・・・・・

ちゃんとした猫の子です。とっても生意気そうなドラ猫だから

名前は"ドラ焼き"。実はきょう命名したばかりなの。

アンダーライン

もしあなたの所へ逃げたら食べてやってください。

念のため手配写真も送ります。ヨロシック！　　かなこ

まえ　右よこ

うしろ　左よこ

文字を中央に寄せる方法

文字を行の中央に合わせることを「センタリング」といいます。タイトルなどを文書の左右の幅の中心に書き込むときにこの機能を利用します。

センタリングを指定する

カーソルをセンタリングする文字の行へ移動する

```
》ついに私もお母さん？！・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

カーソルは「センタリング」する文字の行にあれば、どの位置でもかまいません。

```
01.01.02  書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

STOP

STOP を押して中央を出す

```
01.01.02  書式：A4*16/38*28
移動 削除 中央 右寄 ヘルプ
```

F3

F3 中央を押す

```
》・・・・・・・・・・・・・・つ
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
```

「中央」を指定すると、文字が行の中央に移動します。カーソルは動きません。

```
01.01.02  書式：A4*16/38*28
移動 削除 中央 右寄 ヘルプ
```

文字を右端に寄せる方法

文字の行の右端に寄せることを「右寄(みぎよせ)」といいます。日付や署名などを書くときに利用します。

右寄を指定する

カーソルを右寄せする文字の行へ移動する

》11月17日・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

カーソルは右寄せする文字の行であれば、どの位置でもかまいません。

01.01.01 書式：A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

STOPを押して右寄を出す

STOP

》11月17日・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.01 書式：A4*16/38*28
移動　削除　中央　右寄　ヘルプ

F4 右寄を押す

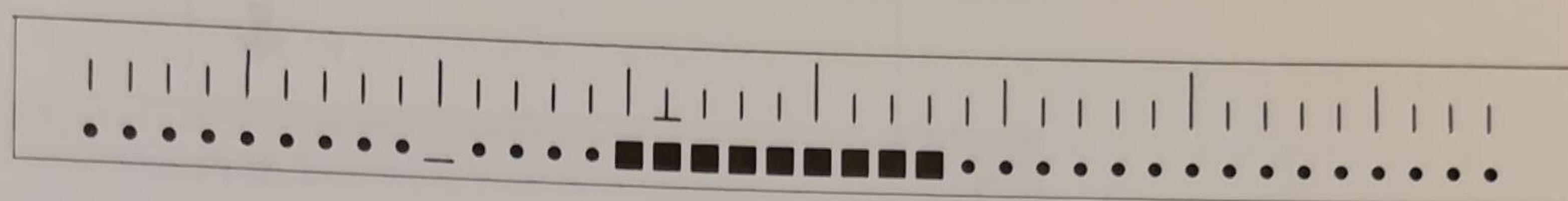
F4

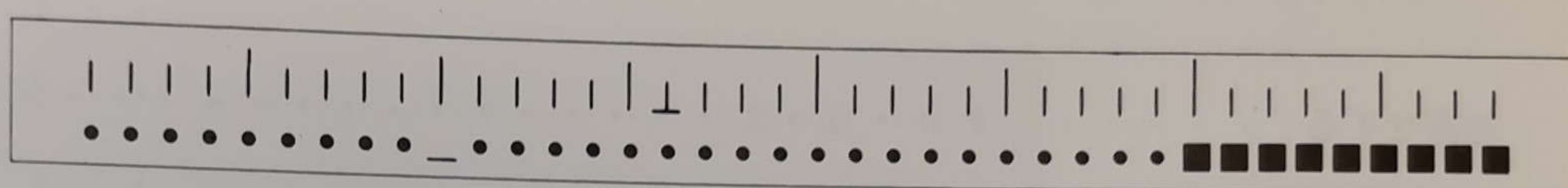
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

「右寄」を選ぶと文字が右端に移動します。カーソルは動きません。

01.01.01 書式：A4*16/38*28
移動　削除　中央　右寄　ヘルプ

レイアウト表示でセンタリングと右寄せを確認してみましょう。ESCを押すと、全体レイアウト画面を表示します。

〈センタリング〉

センタリングされた文字

〈右寄せ〉

右寄せされた文字

センタリング・右寄せで気をつけること

文字と文字の間をあけてセンタリングや右寄せをする。

文字と文字の間に空白がある場合

空白（SHIFT ＋ SPACE）

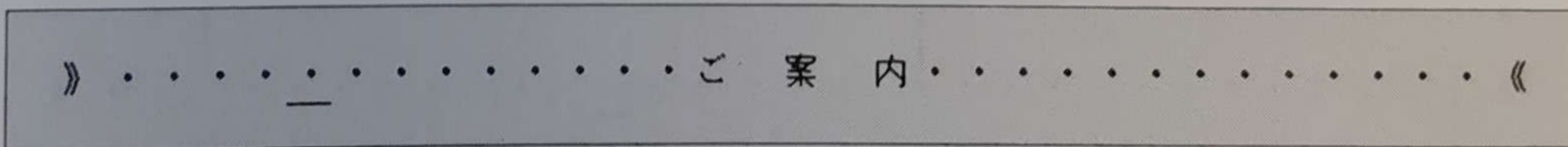
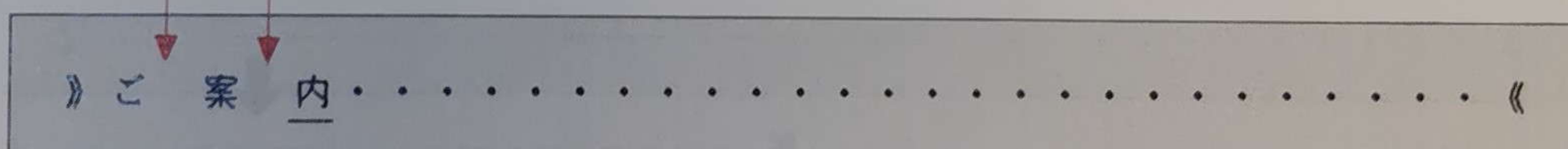
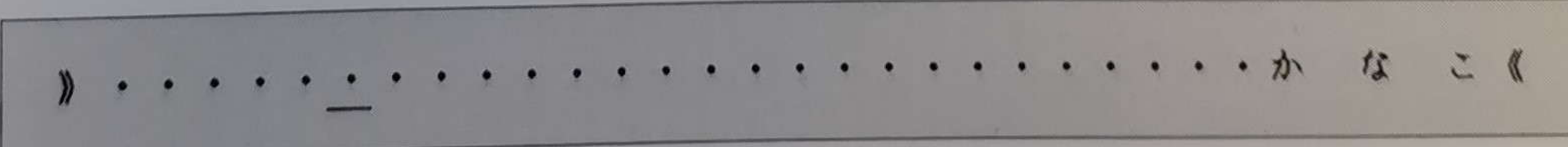
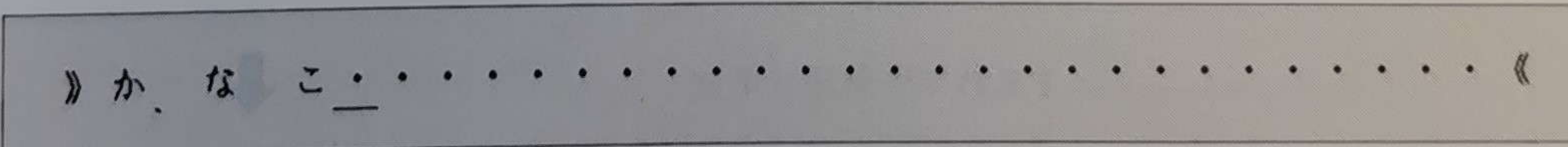
センタリングする

》ご　案　内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

》・・・・・・・・・・・・・・ご　案　内・・・・・・・・・・・・・・《

右寄せする

》か、な　こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・か　な　こ《

文字と文字の間に空白がない場合

センタリングする

》ご・案・内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

》・・・・・・・・・・・・・・・・・・ご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

右寄せする

》か・な・こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・《

》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・かなこ《

行の後ろに文字がある場合

センタリングする

》ご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・衛生部《

》・・・・・・・・・・・・・・・・ご案内衛生部・・・・・・・・・・・・・・・・《

右寄せする

》かなこ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・白馬にて《

》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・かなこ白馬にて《

表の中でセンタリングや右寄せを指定すると、罫線がずれます。

〈センタリング〉

》・・ ご案内・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・《

↓

》・・ ・・・・・・・・・・・ ご案内 ・・・・・・・・・・・・・《

文字と罫線がずれます

〈右寄せ〉

》・・ かなこ・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・《

↓

》・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ かなこ《

文字と罫線がずれます

倍幅文字にする方法

文字の幅を2倍に大きくすることができます。タイトルや目立たせたい文字に使用します。

文字を倍幅にする

STOP

STOPを押して倍幅を出す

》ついに私もお母さん？！・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.12 書式：A4*16/38*28
罫線 半／全 倍幅 アンダー ヘルプ

←

倍幅にしたい文字の先頭へカーソルを移動する

》ついに私もお母さん？！・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.01 書式：A4*16/38*28
罫線 半／全 倍幅 アンダー ヘルプ

F3

F3 倍幅を押す

》倍ついに私もお母さん？！・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

「倍幅」を選ぶと、カーソル位置に倍幅を意味する倍マークが挿入され、カーソルは2つ先の文字位置へ移動します。

同じ操作をくり返すと、他の文字も倍幅になります。

STOP

倍幅の指定を終えたらSTOPを押す

》倍つ倍い倍に倍私倍も倍お倍母
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

STOPを押して、コントロール表示ブロックを初期メニュにもどします。

01.01.08 書式：A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

印刷すると……

●画面では文字の大きさは変わりませんが、印刷すると倍マークの右隣の文字の幅が倍になります。

〈画面〉 》倍花倍咲倍く倍乙倍女倍た倍ち　・・・・・・

⬇

〈印刷〉 花 咲 く 乙 女 た ち

●倍マークを入れ忘れた場合

〈画面〉 》倍花咲倍く倍乙倍女・・

倍マークを忘れました

〈印刷〉 花 咲 く 乙 女 た ち

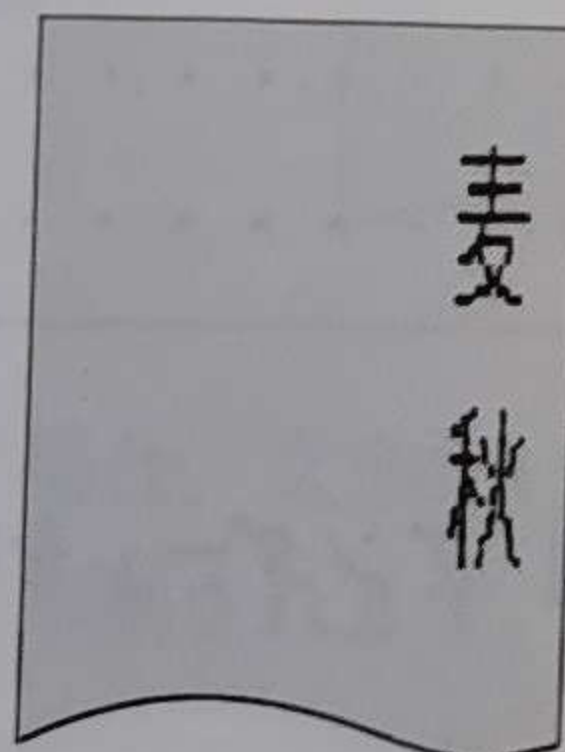
倍幅になりません

●倍幅文字を縦書印刷にすると、文字が縦に2倍になります。

〈画面〉 》倍麦倍秋・・・・・・

⬇

〈印刷〉
（縦書指定）

麦
秋

倍幅文字を指定したが、取り止めるときは……

DEL や BS を押して倍マークを削除すると、通常の文字幅にもどります。

文字にアンダーラインを引く

文書のなかで強調したい部分や目立たせたい部分にアンダーラインを引く方法を説明します。

「アンダー」を指定する

アンダーラインを引く文字の先頭へカーソルを移動する

》大切なのは、信頼と実績です。
》. . . . .
》. . . . .

01.01.07 書式：A4＊16/38＊28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

STOP

STOPを押してアンダーを出す

》大切なのは、信頼と実績です。
》. . . . .
》. . . . .

01.01.07 書式：A4＊16/38＊28
罫線　半/全　倍幅　アンダー　ヘルプ

F4

F4 アンダーを押す

》大切なのは、信頼と実績です。
》. . . . .
》. . . . .

「アンダー」を選ぶと、カーソル位置の文字にアンダーラインが引かれ、カーソルは次の文字に移動します。

F4「アンダー」を押し続けると、連続してアンダーラインが引けます。

先にアンダーラインを引いてから文字を書くと、アンダーラインは消えてしまいます。必ず文字を書いてから、アンダーラインを引いて下さい。

アンダーラインの消しかた

アンダーラインを消す位置へカーソルを移動し、アンダーラインを引くときと同じ操作を繰り返せば消すことができます。

アンダーラインを消す文字の先頭へカーソルを移動する

》大切なのは、信頼と実績です。
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.07 書式：A4*16/38*28
罫線 半/全 倍幅 アンダー ヘルプ

F4

F4 アンダーを押す

》大切なのは、信頼と実績です。
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

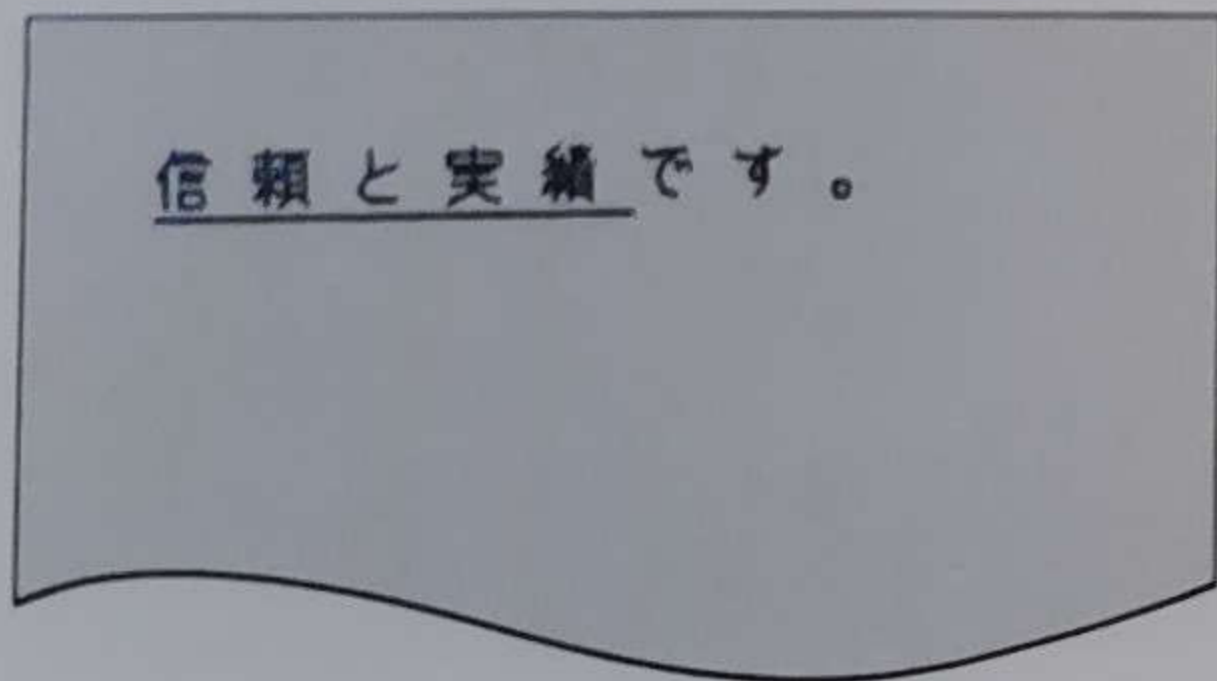
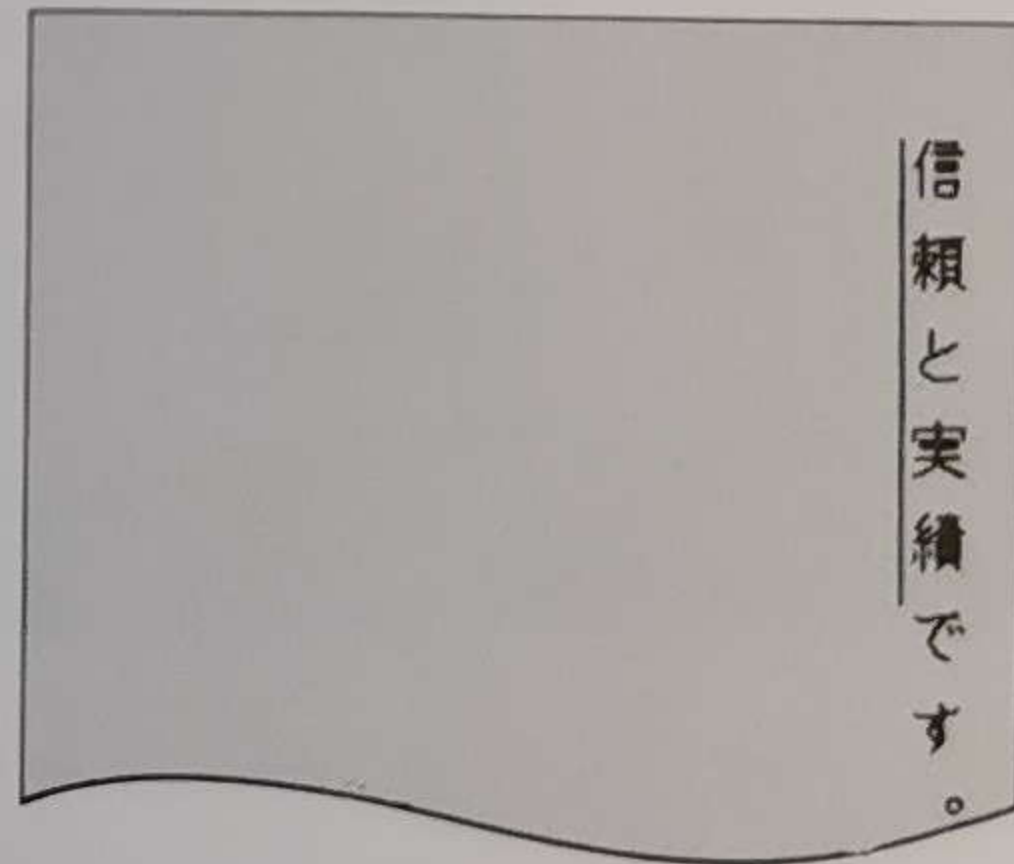
「アンダー」を選ぶと、カーソル位置のアンダーラインが消えます。カーソルは隣の文字位置へ移動します。

印刷する……

● 横書きの場合は文字の下に、縦書きの場合は文字の左にアンダーラインが引かれます。

〈横書き〉

信頼と実績です。

〈縦書き〉

信頼と実績です。

● 倍幅文字にアンダーラインを引く場合、文字だけにアンダーラインを引くと、倍幅文字にアンダーラインが引かれて印刷されます。

》大切なのは、信頼と実績です。 〈画面〉

↓

大切なのは信頼と実績です。 〈印刷例〉

マークと文字の両方にアンダーラインを付けてもアンダーラインを印刷することができます。

● 倍幅文字にアンダーラインを引く場合、[倍]マークだけにアンダーラインを引いても、アンダーラインは印刷されません。

》大切なのは、[倍]信[倍]頼[倍]と[倍]実[倍]績です。　〈画面〉

⬇

大切なのは信　頼　と　実　績　です。　〈印刷例〉

PART 6

印刷しましょう

文書を作って印刷しておくと、あとから手軽に修正できます。紙に印刷されたものはどこにでも運べるし、手紙やハガキにして人に送ることもできます。この章では、作成した文書の印刷形式を決める方法と、印刷の方法について説明します。

この章の内容

印刷のながれ

ここではプリンタを使って、文書を印刷する手順を説明します。

の操作は必要に応じておこなうものです。

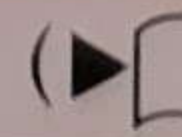
印刷の準備

- プリンタの接続
- プリンタの電源ON
- MSX本体電源ON
- 文書の保存（▶159ページ）。

↓

書式の変更

- 書式の設定（▶70ページ）。
  文書を作成する前に、あるいは作成中に設定した書式を、印刷する直前に変更することができます。保存してある文書を呼び出して印刷するときは、(文書の呼出▶159ページ) 作成時に設定した書式を変更できます。

↓

印刷形式の変更

- 一括／一行　（▶152ページ）。
- 横書き／縦書き（▶152ページ）。
- 禁則処理の有無（▶153ページ）。
- プリンタの種類（▶155ページ）。
- このソフトに対応するプリンタの種類は、MSX-A、MSX-B、ESC-Pの3種類です。使用している機種によって、プリンタの種類を設定します。お手持ちのプリンタの説明書でお確かめ下さい。

MSX-A	MSX標準プリンタで最大印字ドット数/行＝1120
MSX-B	MSX標準プリンタで最大印字ドット数/行＝1280
ESC-P	ESC-P規格準拠のプリンタ

↓

印刷する

- 印刷の方法　（▶156ページ）。

文字は小さな点（ドット）の集まりで印刷されます。最大印字ドット数とは、横1列に印刷できる最大のドット数のことです。

印刷形式の変更

印刷をする前にやっておくこと

印刷には作成した文書を最後にまとめて印刷する方法と、指定した１行だけを印刷する方法があります。また、横書きや縦書きの印刷も自由に選べます。その他、行の先頭にきてはならない文字や記号を読み取って、自動的に調整する禁則処理も指定できます。使用するプリンタの種類も指定する必要があります。これらのことを印刷形式といい、印刷する前に指定しておきます。

変更前の印刷形式

電源をＯＮにすると、印刷形式は次のような状態に設定されています。

- 作成中の文書をまとめて印刷する（一括印刷）
- 横書きで印刷する
- 禁則処理（▶153ページ）をする
- ＭＳＸ―Ａのプリンタを使用する

これらは、必要に応じて変更することができます。変更を指定しても、電源をＯＦＦにするともとの状態に戻るので、印刷する前にそのつど印刷形式を指定してください。

印刷形式変更のメニューを出す

STOP を押して初期メニュを出す

》アンミツパフェ・・・・・・・
》ショコラ・モコラ・・・・・・
》プリン・ザ・プリン・・・・・
》ババロ・ア・ラモード・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.04.11 書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

F2 終了を押す

F2

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

「終了」を選ぶと、コントロール表示ブロックは終了メニュに変わります。

F1 印刷を押す

F1

一括	横書	禁則有	MSX-A	
プリント	停止	変更		終了

「印刷」を選ぶと、状態表示行に現在の印刷形式が表示されます。

F3 変更を押す

F3

一括	横書	禁則有	MSX-A		
印字	横/縦	有/無	プリンタ	終了	

「変更」を選ぶと、メニュ行に変更内容が表示されます。

一行印刷にする

作成した文書全体をまとめて印刷するか、1行だけを印刷するかを選ぶことができます。

F1 印字を押す

F1

一行	横書	禁則有	MSX-A		
印字	横/縦	有/無	プリンタ	終了	

「印字」を選ぶと、状態表示が「一行」に変わります。

このあと印刷すると、カーソルのある行だけが印刷できます。

「一括」印刷にもどるときは……
もう1度、**F1**「印字」を押すと、「一括」にもどります。

(一括印刷)

アンミツパフェ………………¥　950
プリン・ザ・プリン…………¥1200
ショコラ・モコラ……………¥1350
パパロ・アラモード…………¥1600

(一行印刷)

プリン・ザ・プリン…………¥1200

縦書印刷にする

印刷の方向は横書き、縦書きのどちらも選ぶことができます。

一行	横書	禁則有	MSX-A		
印字	横/縦	有/無	プリンタ	終了	

状態表示行に「横書」が表示されています。

F2

一行　縦書　禁則有 MSX-A

印字　横/縦　有/無　ﾌﾟﾘﾝﾀ　終了

F2 横／縦を押す

「横／縦」を選ぶと、状態表示行が「縦書」に変わります。

英字・英記号・数字の半幅文字は縦書きにはなりません。

横書きに戻すには……
もう一度 F2「縦／横」を押すと、横書きにもどります。

倍幅文字は縦に2倍になります。

〈横書印刷〉

枕 草 紙

春はあけぼの。やうやうしろくなり行く、
山ぎはすこしあかりて、むらさきだちた
る雲のほそくたなびきたる。
夏は夜。月の頃はさらなり、やみもなほ、
ほたるの多く飛びちがひたる。また、た
だひとつふたつなど、ほのかにうちひか
りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

〈縦書印刷〉

枕 草 紙
春はあけぼの。やうやうしろくなり行
山ぎはすこしあかりて、むらさきだ
る雲のほそくたなびきたる。
夏は夜。月の頃はさらなり、やみも
だひとつふたつなど、ほのかにう
りて行くもをかし。雨など降るも

禁則処理の有無を選ぶ

印刷するときに、句読点やハイフンなどが行の頭にこないようにする機能を禁則処理といい、禁則処理をするか、しないかを選べます。

〈画面〉

》」と彼女はつぶやいた。・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・

➡

〈印刷例〉

と彼女はつぶやいた。

禁則処理された記号（上の例では」）は、前の行の末尾に印刷されます。

禁則処理される文字や記号は以下のとおりです。

禁則処理がおこなわれる文字
ー − ＿ 、 。 〉 ） 』 」 】
］ ） 》 ｝ 】 ； ： ’ ” ゜
， ・ ！ ？ ｀ 〉 ．
ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ ゃ ゅ ょ っ ゎ
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ヮ

禁則処理がされない場合
●倍幅文字のとき
●行の頭に禁則処理される文字があっても、前行の文字が倍幅文字のとき

一行　縦書　禁則有　MSX-A
印字　横／縦　有／無　プリンタ　終了

状態表示行には、「禁則有」が表示されています。

F3 有／無を押す

F3

一行　縦書　禁則無　MSX-A
印字　横／縦　有／無　プリンタ　終了

「有／無」を選ぶと状態表示行が「禁則無」に変わり禁則処理がされなくなります。

「禁則有」にもどすには……
もう一度 **F3** を押すと、再び「禁則有」が指定されます。

「禁則有」と「禁則無」の印字例です。

〈禁則有〉

そんな私にも、ひとつくらいなら、
取柄があるのです。たとえそれが、
他人が見てつまらない事でも、私
には重要なことなのです。

〈禁則無〉

そんな私にも、ひとつくらいなら
、取柄があるのです。たとえそれ
が、他人が見てつまらない事でも
、私には重要なことなのです。

プリンタの種類を変更する

このソフトにあらかじめ設定されているプリンタの種類はMSX-Aです。他の機種へ変更する場合は**F4**「プリンタ」を押します。**F4**を押すと以下の順でプリンタが変更され、状態表示行に表示されます。お手持ちのプリンタを指定してください。

一括　横書　禁則有　MSX-A
印字　横/縦　有/無　プリンタ　終了

F4 プリンタ

一括　横書　禁則有　MSX-B
印字　横/縦　有/無　プリンタ　終了

F4 プリンタ

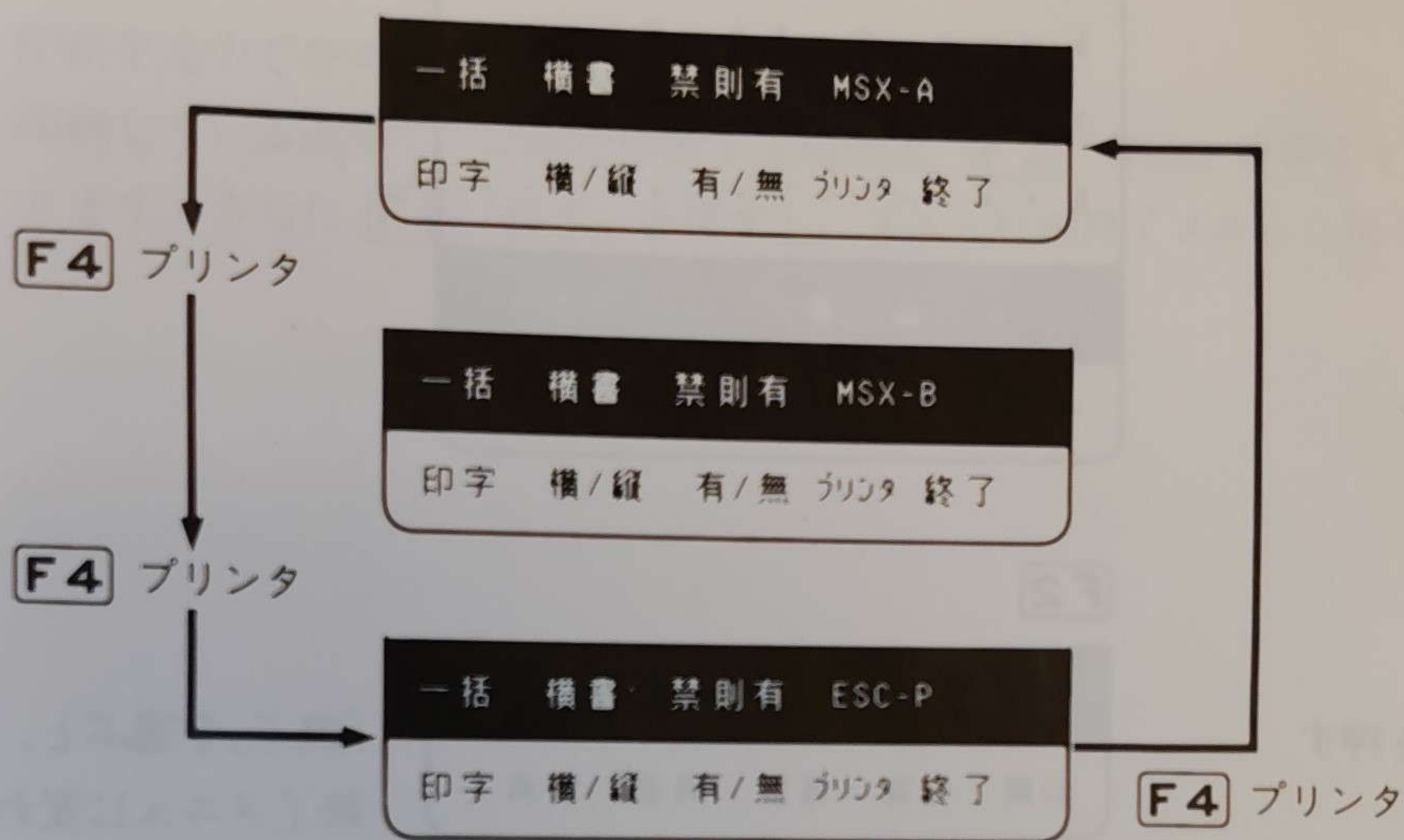
一括　横書　禁則有　ESC-P
印字　横/縦　有/無　プリンタ　終了

F4 プリンタ

印刷形式の変更を終了する

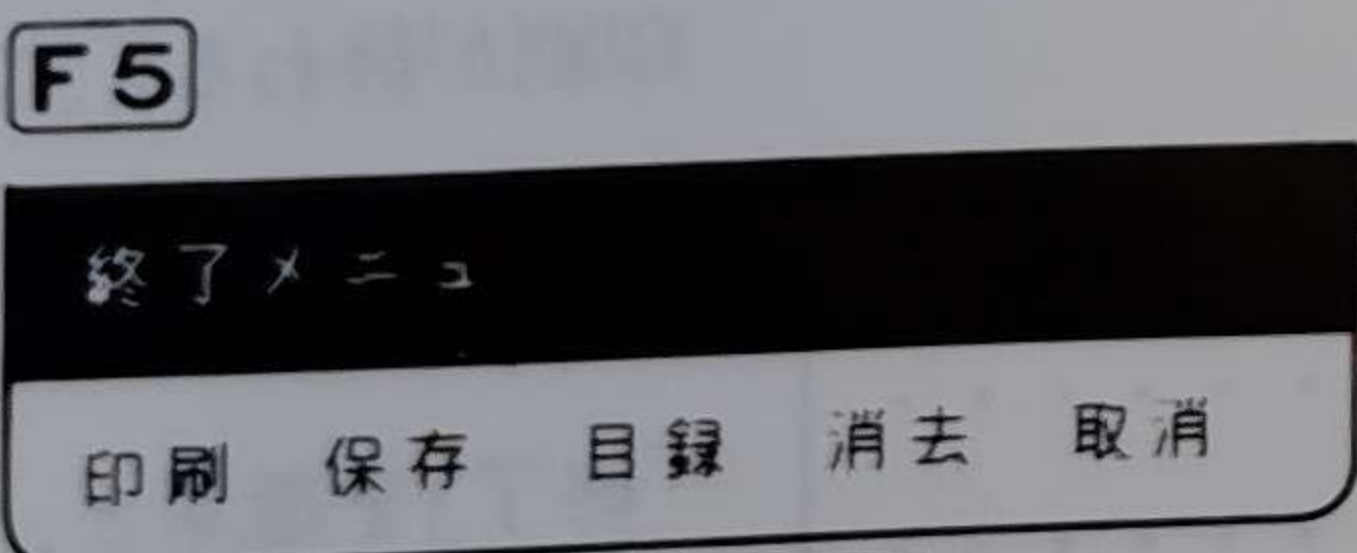
F5 終了を押す

F5

一括　横書　禁則有　MSX-A
プリント　停止　変更　終了

「終了」を選ぶと、メニュ行が変わります。

印刷形式の変更終了後、すぐに印刷をする場合は、**F1**「プリント」を選ぶとプリンタが動きだし、印刷されます。

F5 終了を押す

F5

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

このあと、さらに「取消」を選ぶと、初期メニュにもどります。

一度変更した印刷形式は、MSX本体の電源を切るか、または、再度変更するまで有効です。

印刷の開始

印刷（プリント）を開始する

STOP を押して
初期メニュを出す

```
》アンミツパフェ・・・・・・・
》ショコラ・モコラ・・・・・・
》プリン・ザ・プリン・・・・・
》パパロ・ア・ラモード・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.04.11 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ
```

F2 終了を押す

F2

```
終了メニュ
印刷 保存 目録 消去 取消
```

「終了」を選ぶと、コントロール表示ブロックは、終了メニュに変わります。

F1 印刷を押す

F1

```
一括 横書 禁則有 MSX-A
プリント 停止 変更 終了
```

「印刷」を選ぶと、状態表示行に現在の印刷形式が表示されます。

F1 プリントを押す

F1

```
一括 縦書 禁則無 MSX-A
プリント 停止 変更 終了
```

「プリント」を選ぶと、プリンタが動き始め、印刷を開始します。
印刷が終わると、プリンタは自動的に止まります。

F5 終了を押す

F5

```
》アンミツパフェ・・・・・・・
》ショコラ・モコラ・・・・・・
》プリン・ザ・プリン・・・・・
》パパロ・ア・ラモード・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
終了メニュ
印刷 保存 目録 消去 取消
```

「終了」を選ぶと、メニュ行が終了メニュにもどります。

印刷の途中で用紙がなくなったとき

印刷の途中で用紙がなくなったときは CTRL を押しながら STOP を押して印刷を中断してください。

印刷を途中でやめたいとき

印刷している途中で、印刷を中断する場合は、F2「停止」を押すとプリンタが止まります。さらに F5「終了」を押すと、メニュ行が終了メニュに戻ります。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ 第７回秋の発表会プログラム ♪

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

Ｊ．アード音楽研究所主催

《ピアノの部》

1	館森　泉	（４才）	アラブスク	（ブルン・ミューラー）
2	清水　一音	（７才）	エリックの為に	（ベントーベン）
3	宮沢　朋子	（10才）	幻想曲嬰へ短調第３番	（ブラーム）
4	安川　和子	（14才）	ピアノ狂詩曲KH35番	（リストン）

《ヴァイオリンの部》

1	佐藤　陽一	（13才）	Ｇ線上のアリラン	（J.J ガッハ）
2	多賀谷　穣	（16才）	ツィゴイネルワーゲン	（サラ・サテン）
3	海野　由雄	（16才）	無伴奏即興曲NO.5	（クリーク）
4	黒沼　百合	（17才）	ヴァイオリンソナタ第３番	（チャイコ）

《声楽の部》

1	島田　祐治	（16才）	歌曲「冬のツアー」	（シューベット）
2	立川　澄子	（17才）	歌劇「イーダ」より	（カラマン）
3	田谷　主税	（18才）	嘆きのアリア	（H.S.ビゼン）
4	岡村　喬子	（19才）	麗しのマドンナ	（メンデルサン）

PART 7

文書や辞書の保存と呼出

MSX本体の電源を切ると、このソフトで作成した文書のの内容は消えてしまいます。カセットテープやフロッピディスクに文書を保存しておけば、好きなときに呼び出して、修正や印刷ができます。この章では、文書や辞書の保存方法と保存した文書や辞書の呼び出しについて説明します。

この章の内容

カセットテープによる保存と呼出

必要な装置

カセットテープに文書を保存したり、文書を画面に呼び出すためには、以下の装置が必要です。

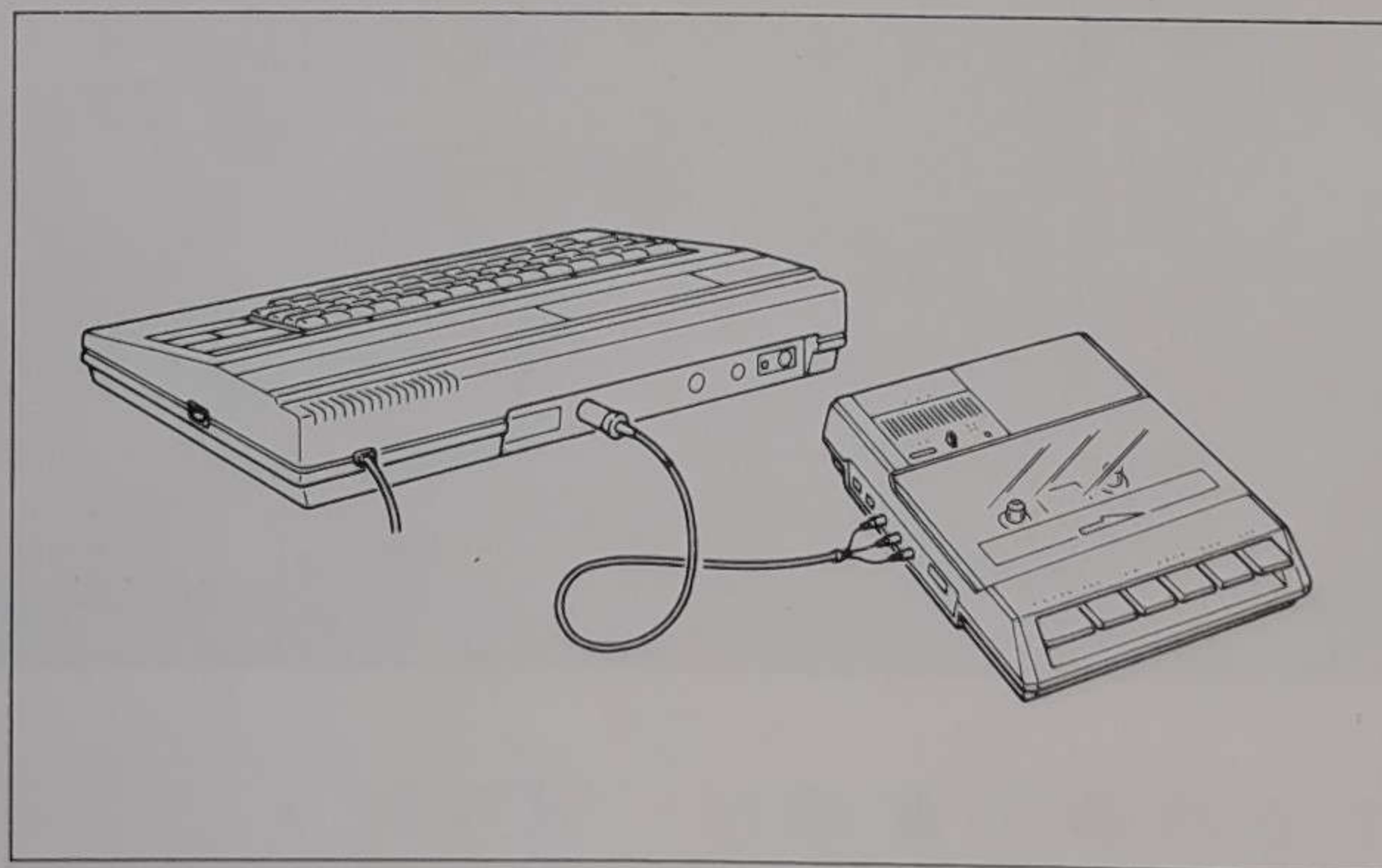
カセットレコーダ

文書や辞書をカセットに保存するときに使います。なるべくパソコン専用のカセットレコーダをご利用ください。通常のカセットレコーダも利用できますが、リモート端子の有無によって操作の手順が多少異なりますので説明書をよくお読みください。カセットレコーダの接続には、専用のカセットケーブルをお求めください。

カセットテープ

文書や辞書を保存します。市販のテープで良いのですが、録音時間の短いテープを使用して下さい。長時間用のテープは、呼び出しに時間がかかって不便です。

カセットレコーダの接続

カセットレコーダは、電源を切った状態で接続してください。

リモート端子がある場合は接続してください。

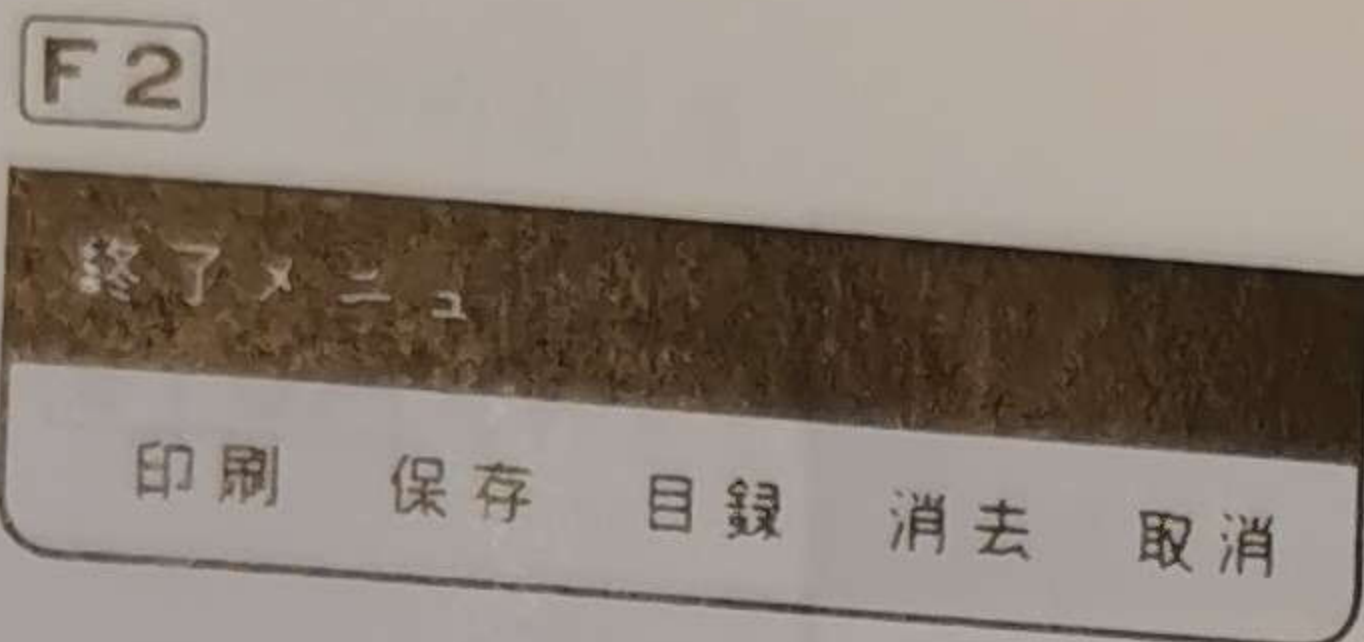
カセットテープへ文書または辞書を保存する

カセットテープへ文書または辞書を保存するときは、次の操作をします。

STOPを押して
初期メニュを出す

```
01.01.01     書式:A4*16/38*28
  作成  終了  外字  設定  ヘルプ
```

F2 終了を押す

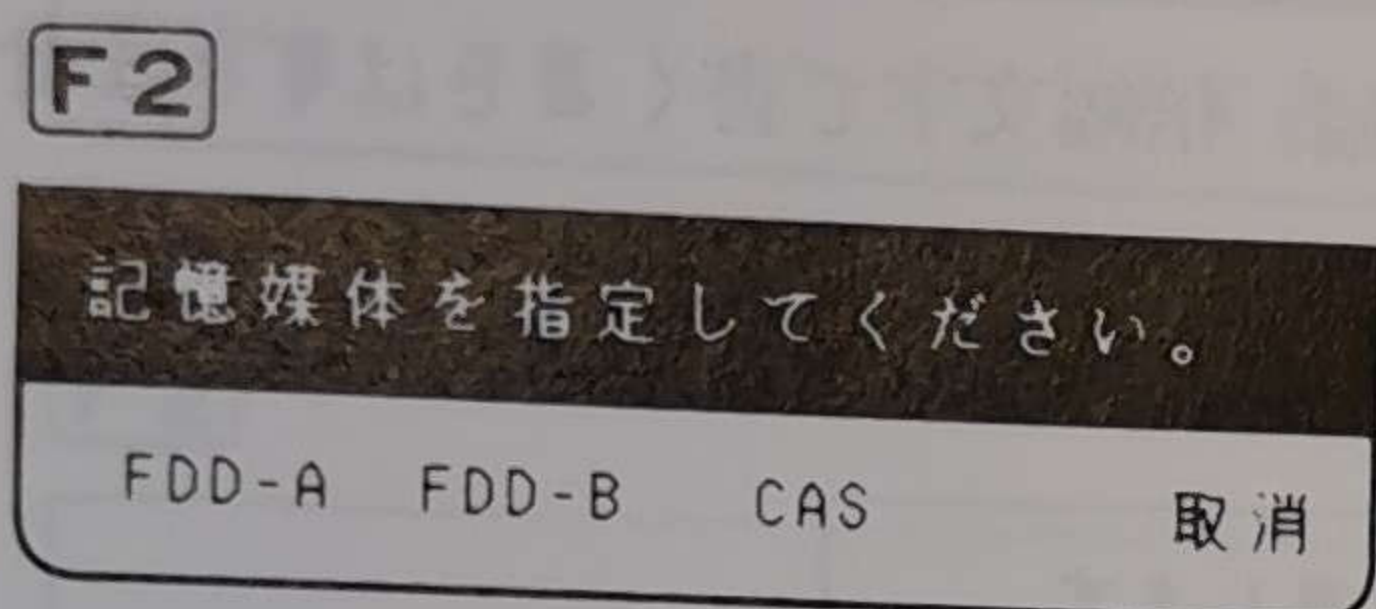
F2

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

F2 を押すと終了メニュに変わります。

途中でやめたいとき
カセットテープを使う操作を途中でやめたいときは、F5「取消」を押すと、初期メニュにもどります。このあとの操作でも同様です。

F2 保存を押す

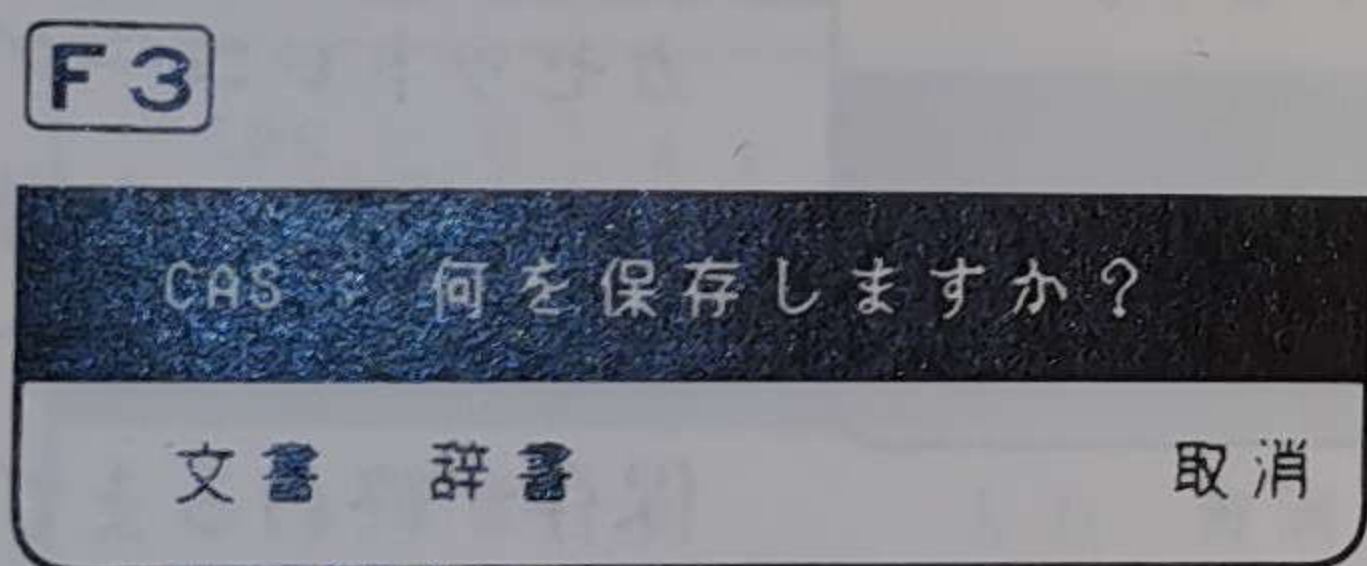
F2

記憶媒体を指定してください。
FDD-A　FDD-B　CAS　取消

「保存」を選ぶと、保存先（記憶媒体）を選ぶメニュが表示されます。

フロッピディスクドライブがないときは……
ディスクドライブが接続されていないときは、終了メニュで F2「保存」を選ぶと、上記の画面は省略され、次の画面に移ります。

F3 CASを押す

F3

CAS：何を保存しますか？
文書　辞書　取消

「CAS」（カセット）を選ぶと、文書と辞書のどちらを保存するかを選ぶメニュに変わります。

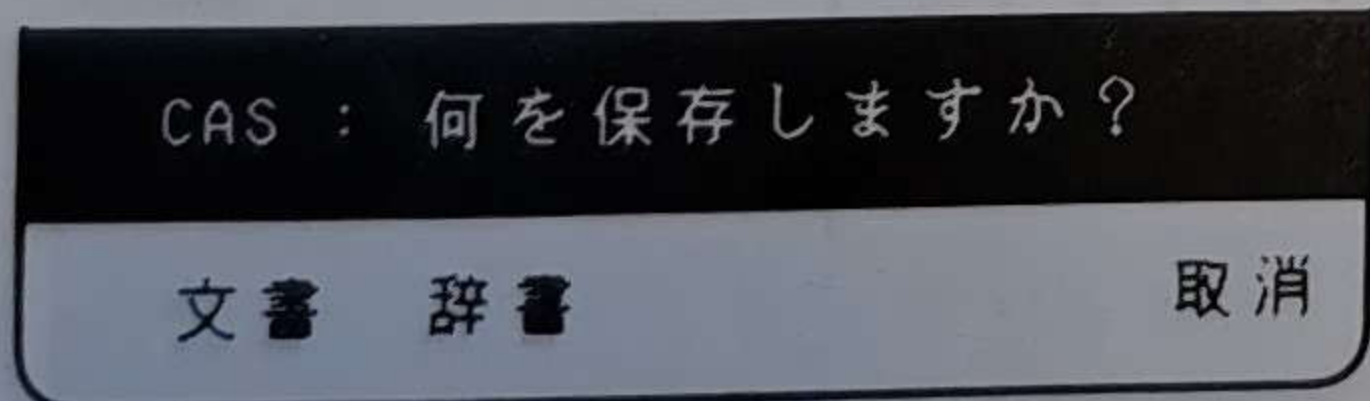
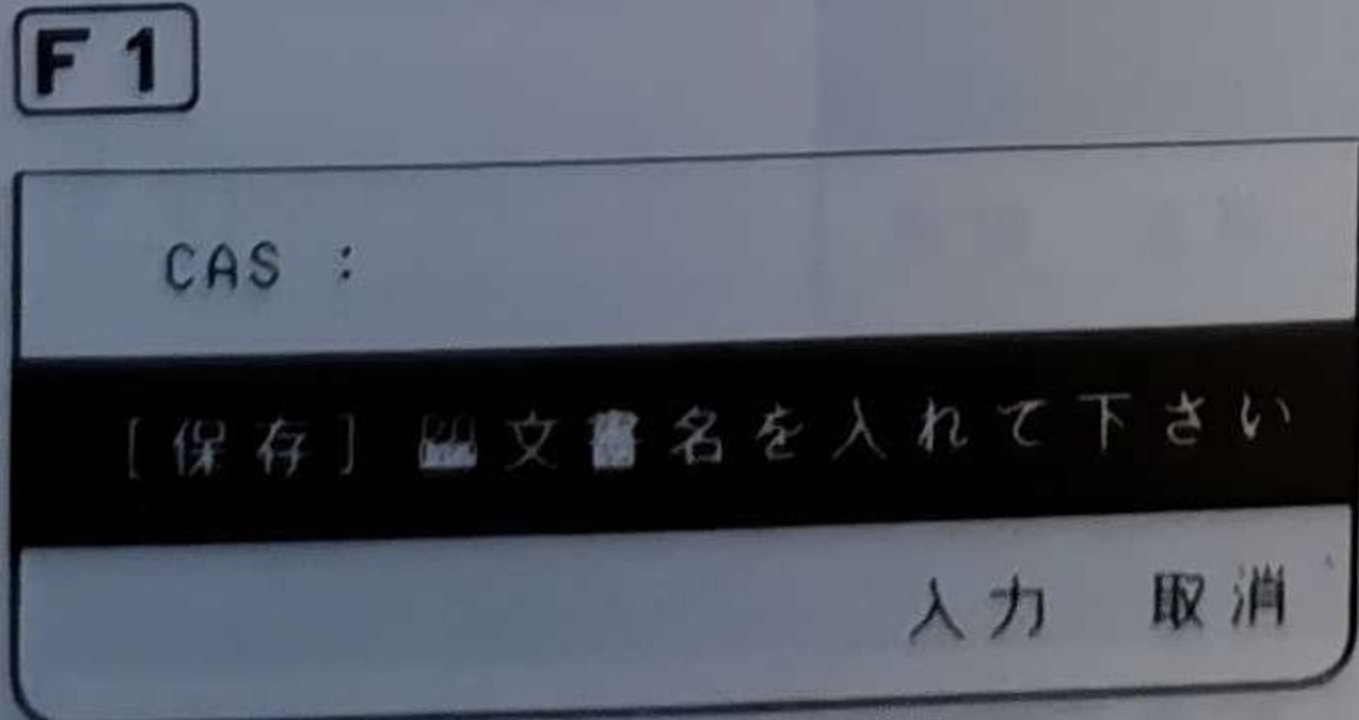
文書を保存する

文書を保存するときは次の操作を続けます。

CAS：何を保存しますか？
文書　辞書　取消

F1 文書を押す

F1

CAS：
［保存］文書名を入れて下さい
入力　取消

「文書」を選ぶと、状態表示行の上に文書の名前を書く場所が表示されます。

HIMITU

登録名を指定する

CAS : ひみつ
［保存］ 文書名を入れて下さい
入力　取消

文章を書くのと同じように、登録名を書きます。

登録名について
保存するときは、文書や辞書に名前をつけて登録します。これを登録名といいます。登録名は**12文字以内のひらがな、カタカナ、英字、数字、カナ記号、英記号**で書いてください。漢字、半幅、倍幅文字で書くことはできません。

F4

F4 入力を押す

文書をカセットに保存します。
［REC］と［PLAY］を押しましたか？
実行　取消

「入力」を選ぶとメッセージが変わります。

カセットの**REC**と**PLAY**を押してから、F1 実行を押す

カセットへ出力しています。
しばらくお待ち下さい。
［CTRL］＋［STOP］で中断します。

カセットレコーダの**REC**と**PLAY**を押してから、「実行」を選ぶとカセットテープが回って、保存が始まります。
保存が終わるまで、しばらく待ちます。

保存を完了する

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

カセットへの保存が終わると、もとの文書作成画面と終了メニュに戻ります。

リモート端子なしのカセットレコーダの場合は
リモート端子がついているカセットレコーダの場合は、保存が終わると自動的にテープが止まりますが、リモート端子が付いていない場合は、コントロール表示ブロックの表示が変わったらすぐにテープを止められるように、カセットレコーダのストップボタンを押す準備をしておきます。

途中でやめるとき
CTRL を押しながら STOP を押すと、カセットへの保存が中断します。さらに STOP を押すと、初期メニュにもどります。

辞書を保存する

辞書をカセットテープに保存するときは、次の操作を続けます。

CAS： 何を保存しますか？
文書　辞書　　取消

F2 辞書を押す

F2

［保存］ 辞書名を入れて下さい
入力　取消

「辞書」を選ぶと状態表示行の上に、辞書の名前を書く場所が表示されます。

登録名を指定する

Z I S Y O 1

CAS ： じしょ1
［保存］ 辞書名を入れて下さい
入力　取消

文章を書くのと同じように、登録名を書きます。

辞書登録名の記入に使用できる文字は文書の場合（▶162ページ）と同様です。

F4 入力を押す

F4

辞書をカセットに保存します。
［REC］と［PLAY］を押しましたか？
実行　取消

「入力」を選ぶとメッセージが変わります。

カセットのRECとPLAYを押して
F1 実行を押す

F1

カセットへ出力しています。
しばらくお待ち下さい。
［CTRL］＋［STOP］で中断します。

カセットレコーダのRECとPLAYを押してから「実行」を選ぶと、カセットテープが回って保存が始まります。
保存が終わるまで、しばらく待ちます。

リモート端子なしのカセットレコーダの場合は（▶162ページ）。
途中でやめるとき（▶163ページ）。

保存を完了する

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

カセットへの保存が終わると、もとの文書作成画面と終了メニュに戻ります。

カセットテープから文書や辞書を呼び出す

カセットテープから文書や辞書を呼び出すには次の操作をします。

STOP を押して初期メニュを出す

01.01.01　書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　役変　ヘルプ

F1

F1 作成を押す

作成メニュ
呼出　新規　書式　取消

「作成」を選ぶと、作成メニュに変わります。

呼出を途中でやめるときは **F5** 取消を押すと初期メニュにもどります。以下の操作でも同様です。

F1

F1 呼出を押す

記憶媒体を指定してください。
FDD-A　FDD-B　CAS　取消

「呼出」を選ぶと、メッセージが表示されます。

フロッピディスクドライブがないとき
フロッピディスクドライブが接続されていないときは、作成メニュで **F1**「呼出」を選ぶと、上記の画面は省略され、次の画面に移ります。

F3

F3 CASを押す

CAS ：何を呼出しますか？
文書　辞書　取消

「CAS」（カセット）を選ぶと、文書と辞書のどちらを呼び出すかを選ぶメニューに変わります。

文書を呼び出す

F1

F1 文書を押す

文書をカセットから読み込みます。
[PLAY] を押しましたか？
新規　合成　取消

「文書」を選ぶとメッセージが変わります。

辞書を呼び出す

F2

F2 辞書を押す

辞書をカセットから読み込みます。
[PLAY] を押しましたか？
実行　取消

「辞書」を選ぶとメッセージが変わります。

カセットテープから読み込む

以下の操作は文書を読み込む場合も、辞書の場合も共通です。

F1

F1 を押す

カセットから読み込んでいます。
しばらくお待ち下さい。
[CTRL] ＋ [STOP] で中断します。

カセットレコーダのPLAYを押してから、「新規」(辞書の場合は「実行」) を選ぶと、カセットテープが回って呼び出しが始まります。
少し時間がかかるのでしばらく待ちます。

「合成」のときは、167ページの説明にしたがって操作してください。

リモート端子なしのカセットレコーダの場合は
F1 を押してからカセットレコーダのPLAYを押します。また、コントロール表示ブロックの表示が変わったら、すぐにテープを止めます。

途中でやめるとき
CTRL を押しながら STOP を押すと、カセットからの呼び出しを中断します。さらに STOP を押すと、初期メニュにもどります。

読み込む文書の指定

「ひみつ　　　　」
が見つかりました。
これを読み込みますか？
実行　次へ

カセットテープから登録名を読み込むと、目録画面に、登録名とメッセージが表示されます。

F1

F1 実行を押す

カセットから読み込んでいます。
しばらくお待ち下さい。
[CTRL] + [STOP] で中断します。

表示された登録名の文書、または辞書を読み込む場合は、「実行」を選びます。

リモート端子なしのカセットレコーダの場合　(▶162ページ)。

表示された文書、または辞書を読み込まない場合
F2「次へ」を押してしばらく待つと、次に保存された文書、または辞書の登録名が表示されます。目的の登録名が表示されるまで、同じ手順を繰り返します。

「ごくひ　　　　」
が見つかりました。

これを読み込みますか？
実行　次へ

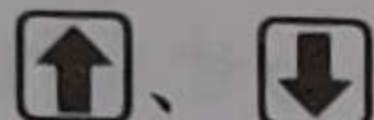
呼出終了

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何もしらない
》・・・・・・・・・・・・・・

01.01.01 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

読み込みが終わると、文書の場合は呼び出した文書が、辞書の場合は、呼び出しの操作をおこなう前の画面が文書作成画面に表示されます。

2つ以上の文書を合成する

⬆、⬇

カーソルを合成したい位置の前の行におく

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何もしらない
》・・・・・・・・・・・・・・

01.02.01 書式:A4*16/38*28
作成 終了 外字 後変 ヘルプ

呼出を指定する

文書をカセットから読み込みます
[PLAY] を押しましたか?
新規 合成 取消

文書の呼出の要領で、左のように画面を表示させます。

F2

F2 合成を押す

『こくひ
が見つかりました。

これを読み込みますか?
実行 次へ

「合成」を選びます。
読み込む文書を指定する操作は、「新規」を選んだときと同じです。

```
》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何もしらない
》ある晴れた午後、あの娘は一冊
》だった。だから僕はてっきりそ
》・・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・・
01.02.01    書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ
```

カーソルの次の行から、呼び出した文書が合成され、画面に表示されます。

書式は1番最初に呼び出された文書の書式にあわせられます。

エラー表示について

テープ・リード・エラー

```
カセットから読み込んでいます。
テープ・リード・エラー　が発生しました。
何かキーを押して下さい。
```

カセットテープからの信号が正しく読み込まれていないときの画面です。
メッセージに従ってどれかキーを1つ押すとコントロール表示ブロックが初期メニュにもどります。

テープ・リード・エラーが発生したときは
カセットレコーダの出力が弱い場合や、接続のミスなどの原因が考えられます。カセットレコーダのボリュームを上げたり、接続を確認してから、最初からもう一度、呼び出しの手順を繰り返します。それでもエラー表示が出る場合は、データが保存されているカセットテープに原因があると考えられます。カセットテープに原因があれば、指定した文書または辞書の呼び出しは不可能です。

メモリ容量の不足

```
カセットから読み込んでいます。
メモリに入りきりません。
何かキーを押して下さい。
```

文書や辞書を、読み込む余裕がなくなったときの表示です。
メッセージに従ってどれかキーを1つ押すとコントロール表示ブロックが初期メニュにもどります。

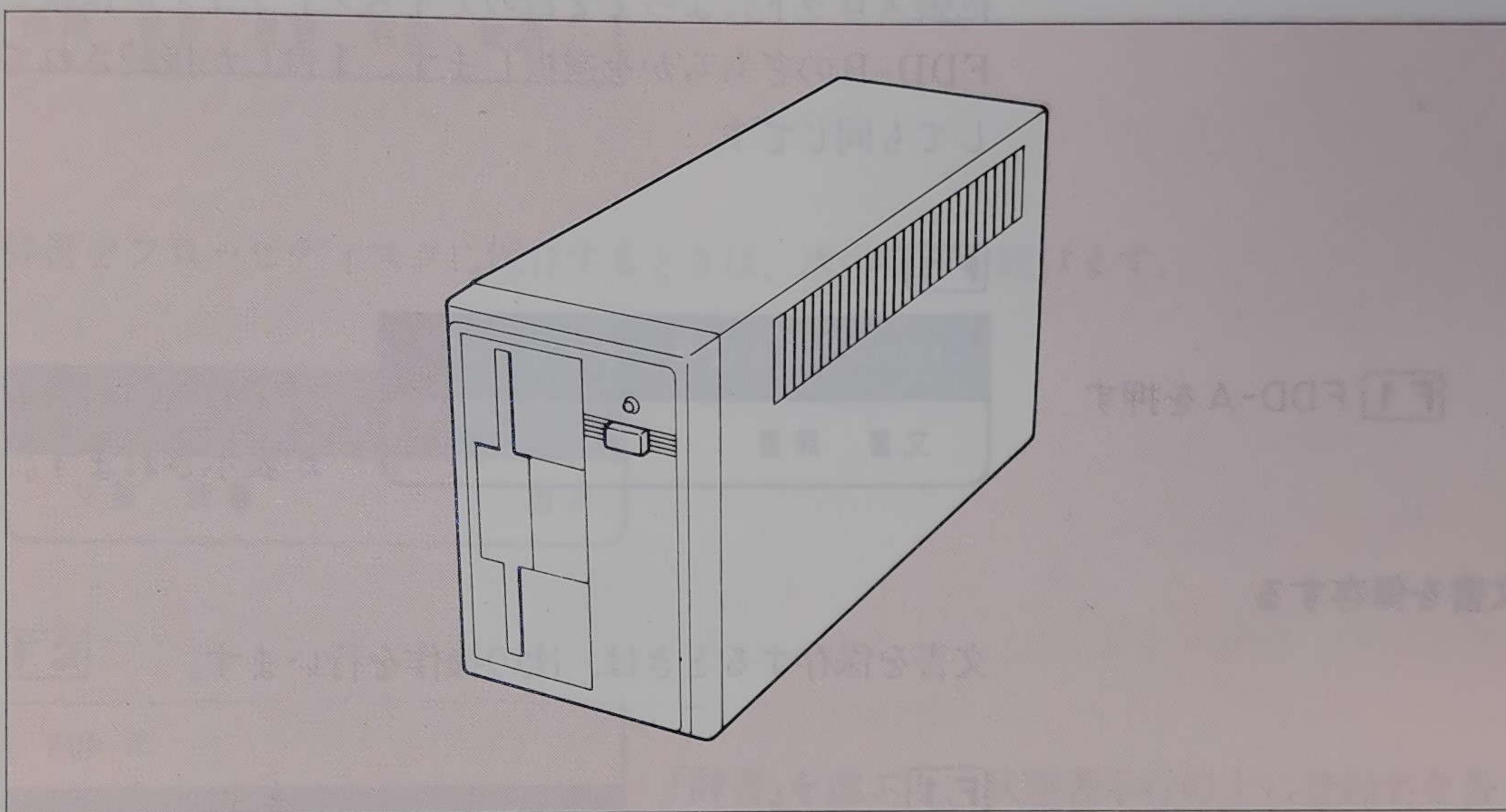
メモリ容量不足になったら
それ以上の読み込みは不可能です。ただし、不必要な辞書を削除するなど(▶118ページ)、メモリ容量を有効に使うことにより、新たなデータを読み込むことが可能です。

フロッピディスクによる保存と呼出

必要な装置

フロッピディスクに作った文書を保存したり、呼び出すためには、以下の装置が必要です。

フロッピディスクドライブ

フロッピディスクに文書や辞書を保存するための装置です。MSX本体にフロッピディスクドライブが内蔵されていない場合は、接続するために拡張スロットが必要となる場合があります。

フロッピディスク

文書や辞書を保存します。フロッピディスクはフォーマットをしてからでないと使えません。フォーマットの方法は、MSX本体やフロッピディスクドライブの使用説明書などを見てください。

フロッピディスクへ文書または辞書を保存する

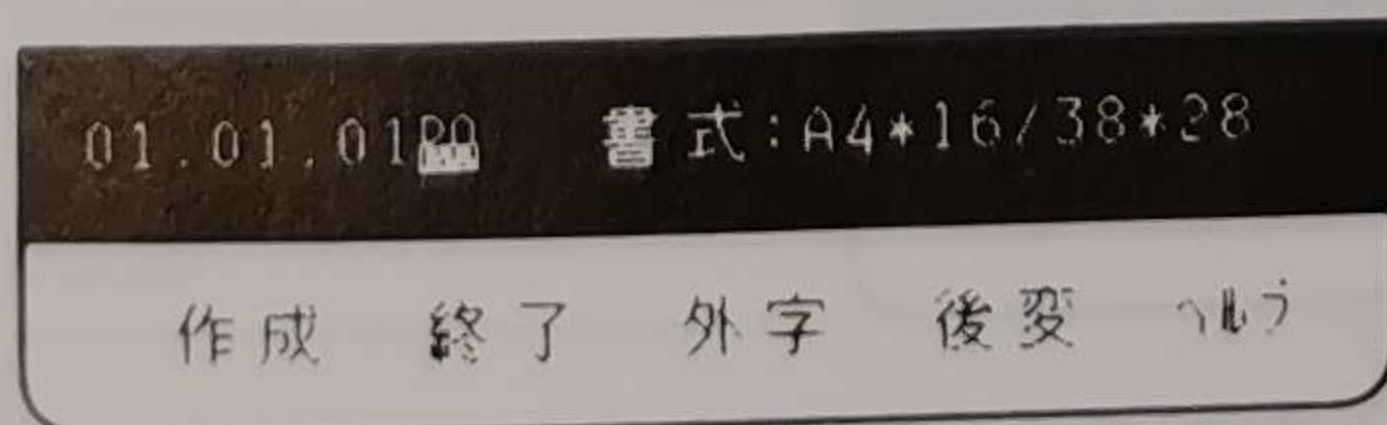
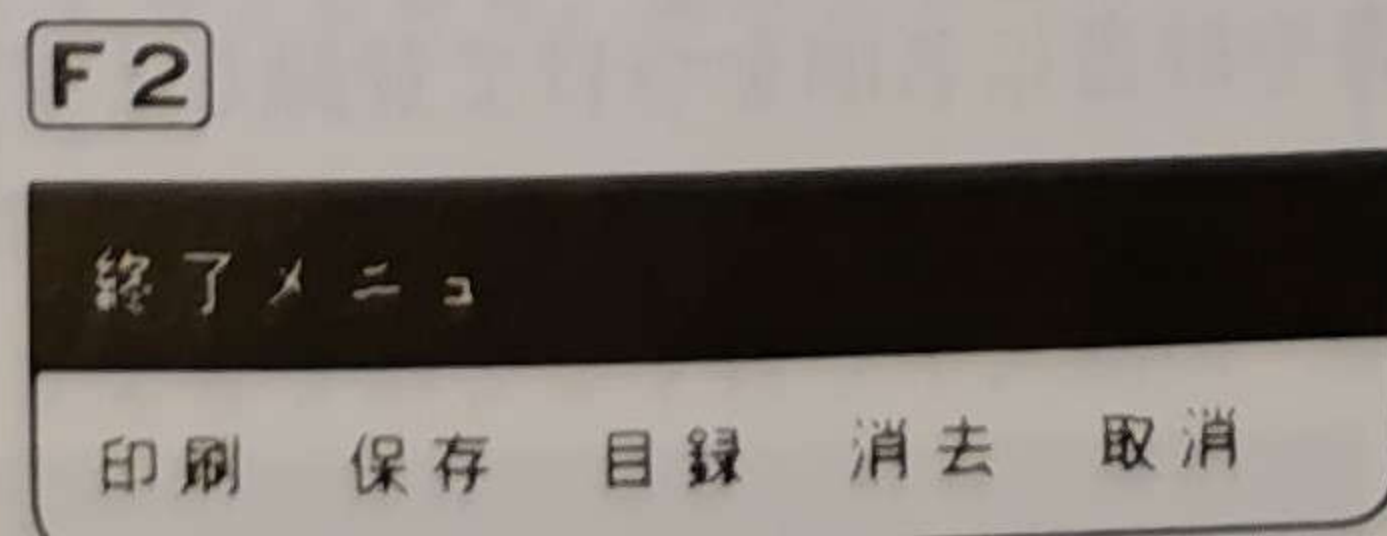
フロッピディスクへ文書または辞書を保存するときは、次の操作をします。

STOP を押して初期メニュを出す。

```
01.01.01    書式:A4*16/38*28
 作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

F2 終了を押す

F2

```
終了メニュ
印刷  保存  目録  消去  取消
```

「終了」を選ぶと終了メニュに変わります。

途中でやめたいとき

フロッピディスクを使う操作を途中でやめたいときは、F5「取消」を押すと、初期メニュに戻ります。このあとの操作でも同様です。

F2 保存を押す

F2

記憶媒体を指定してください。
FDD-A　FDD-B　CAS　取消

「保存」を選ぶと「保存先」（記憶媒体）を選ぶメニュが表示されます。
フロッピディスクに保存するので、FDD-Aを指定します。

2台のディスクドライブがあるときは
拡張スロットによって2台のディスクドライブが接続されている場合は、FDD-A、FDD-Bのどちらかを選択します。1台しか接続されていないときは、どちらを選択しても同じです。

F1 FDD-Aを押す

F1

FDD-A: 何を保存しますか？
文書　辞書　取消

「FDD-A」（Aドライブ）を選ぶとメッセージが表示されます。

文書を保存する

文書を保存するときは、次の操作を行います。

F1 文書を押す

F1

FDD-A:
［保存］文書名を入れて下さい
入力　取消

「文書」を選ぶと、状態表示行の上に登録名を書く場所が表示されます。

登録名を指定する

H I M I T U

FDD-A: ひみつ
［保存］文書名を入れて下さい
入力　取消

文章を書くのと同じように、登録名を書きます。

登録名について
保存するときは、文書や辞書に名前をつけて登録します。これを登録名といいます。
登録名は**12文字以内のひらがな、カタカナ、英字、数字、カナ記号、英記号**で書いてください。漢字、半幅、倍幅文字で書くことはできません。

F4

F4 入力を押す

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

「入力」を選ぶと、フロッピディスクドライブのディスク動作ランプが点灯して保存が始まります。
数秒後、保存が終わると、終了メニュ画面にもどります。

辞書を保存する

辞書をフロッピディスクに保存するときは、次の操作を続けます。

FDD-A: 何を保存しますか。
文書　辞書　　取消

F2

F2 辞書を押す

FDD-A:
［保存］辞書名を入れて下さい
入力　取消

「辞書」を選ぶと、状態表示行の上に登録名を書きます。

Z I S Y O 1

登録名を指定する

FDD-A: じしょ1
［保存］辞書名を入れて下さい
入力　取消

文書を書くのと同じように、登録名を書きます。

F4

F4 入力を押す

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

「入力」を選ぶと、フロッピディスクドライブのディスク動作ランプが点灯して保存が始まります。
数秒後、保存が終わると、終了メニュ画面にもどります。

エラー表示について

```
FDD-A：おしらせ
Diskの空エリアがなくなりました
何かキーを押して下さい。
```

フロッピディスクに、それ以上保存の余裕がなくなると、状態表示行に左のメッセージが表示されます。
どれかキーを**1**つ押すと、コントロール表示ブロックが、初期メニュにもどります。

フロッピディスクに空エリアがなくなったら……
新しいフロッピディスクに取り替えるか、不要になった文書や辞書を削除してから、もう一度、操作をやり直します（▶📖181ページ）。

```
同じファイル名があります。
新しいものと置き換えますか？
実行                取消
```

登録名を指定するとき、すでにフロッピディスクに同じ登録名で保存された文書や辞書がある場合、左のメッセージが表示されます。

同じファイル名があった場合……
古い文書や辞書を消去し、新しい文書や辞書を保存する場合は [F1]「実行」を押し、操作をやり直して文書名や辞書名を変更して保存する場合は、[F5]「取消」を押します。

```
FDD-A：おしらせ
Disk装置に異常が発生しました。
何かキーを押して下さい。
```

フロッピディスクドライブの装置に何か異常があった場合、状態表示行に左のメッセージが表示されます。
どれかキーを**1**つ押すと、コントロール表示ブロックが、初期メニュにもどります。

フロッピディスクドライブに異常が発生したら……
フロッピディクスドライブに故障がないか、フロッピディスクが正しくセットされているかをよく確認してからもう一度、操作をやり直してください。

フロッピディスクから文書や辞書を呼び出す

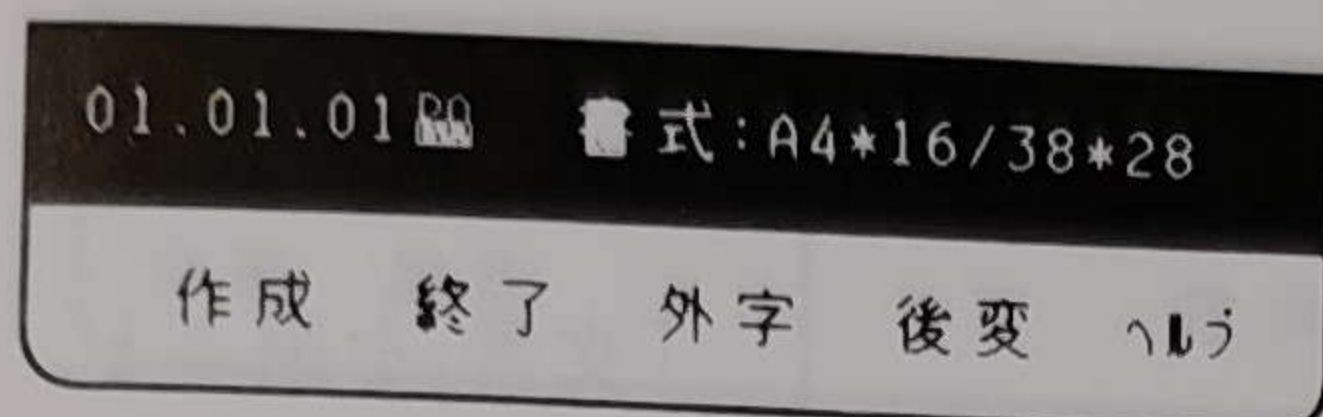
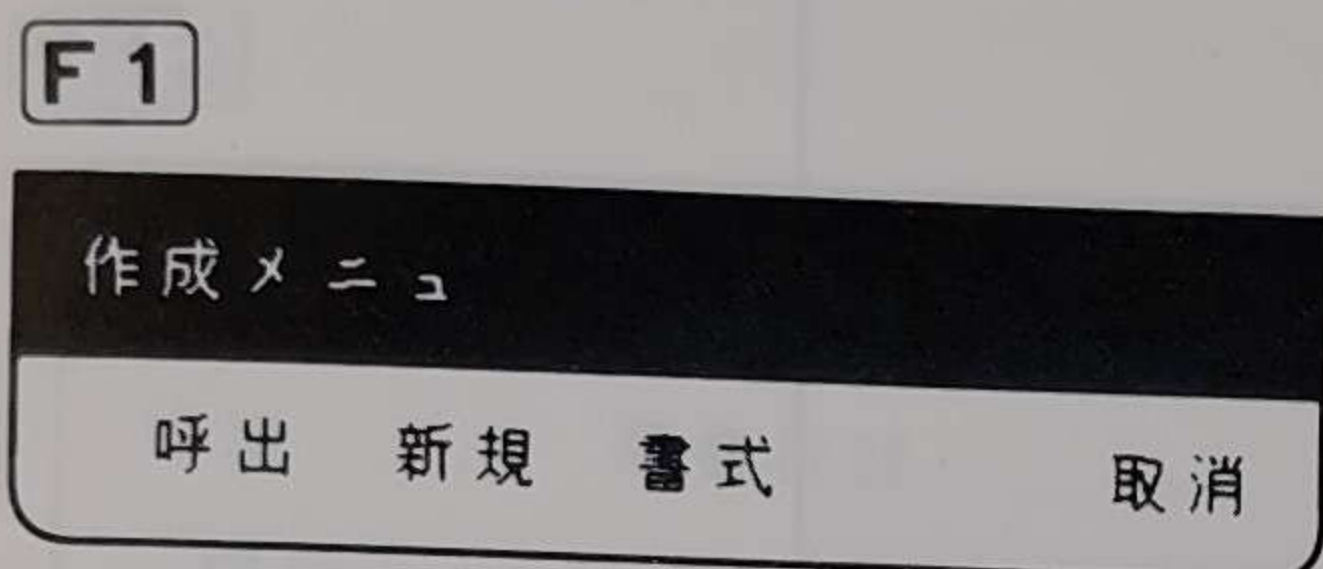
フロッピディスクから文書や辞書を呼び出します。

STOP を押して初期メニュを出す

```
01.01.01    書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

F1

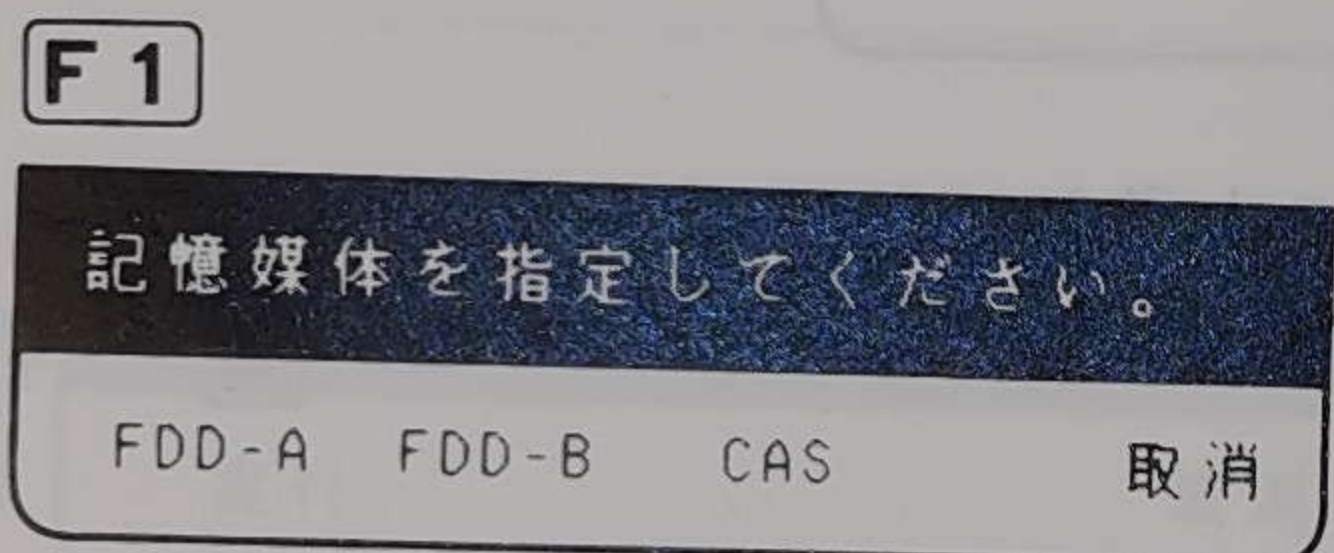
F1 作成を押す

```
作成メニュ
呼出  新規  書式        取消
```

「作成」を選ぶと作成メニュに変わります。

呼び出しを途中でやめるときは、**F5**「取消」を押すと初期メニュにもどります。以下の操作でも同様です。

F1

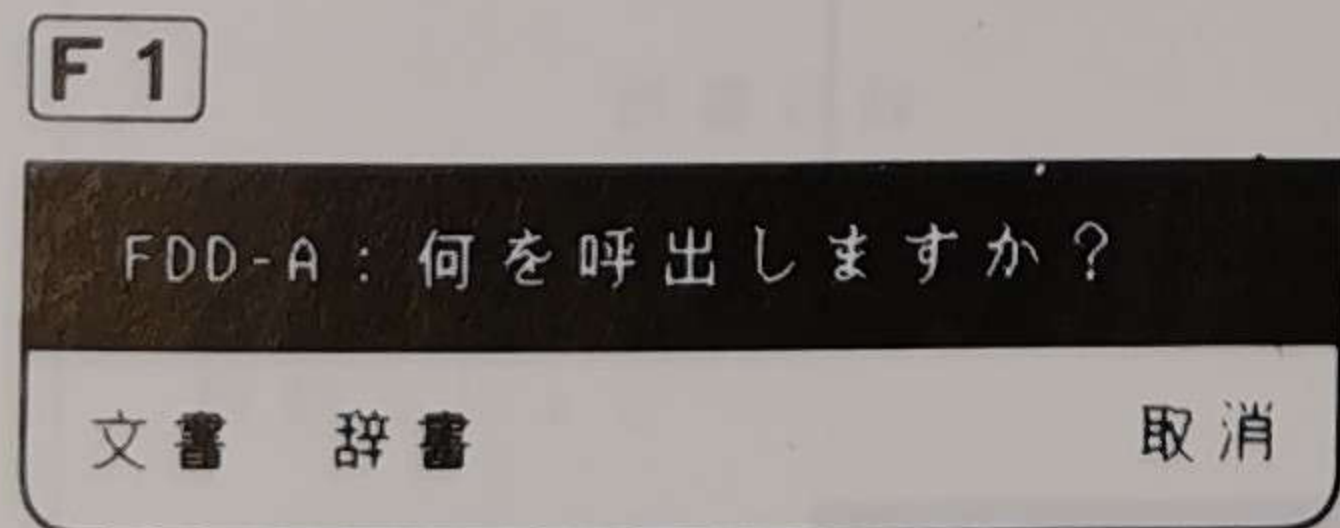
F1 呼出を押す

```
記憶媒体を指定してください。
FDD-A  FDD-B  CAS        取消
```

「呼出」を選ぶと「保存場所」(記憶媒体)を選ぶメニュが表示されます。
フロッピディスクから呼び出すので、FDD-Aを指定します。

2台のディスクドライブが接続されているとき
拡張スロットによって2台のディスクドライブが接続されている場合は、FDD-A、FDD-Bのどちらかを選択します。一台しか接続されていないときは、どちらを選んでも同じです。

F1

F1 FDD-A を押す

```
FDD-A:何を呼出しますか?
文書  辞書              取消
```

「FDD-A」(Aドライブ)を選ぶとメッセージが表示されます。

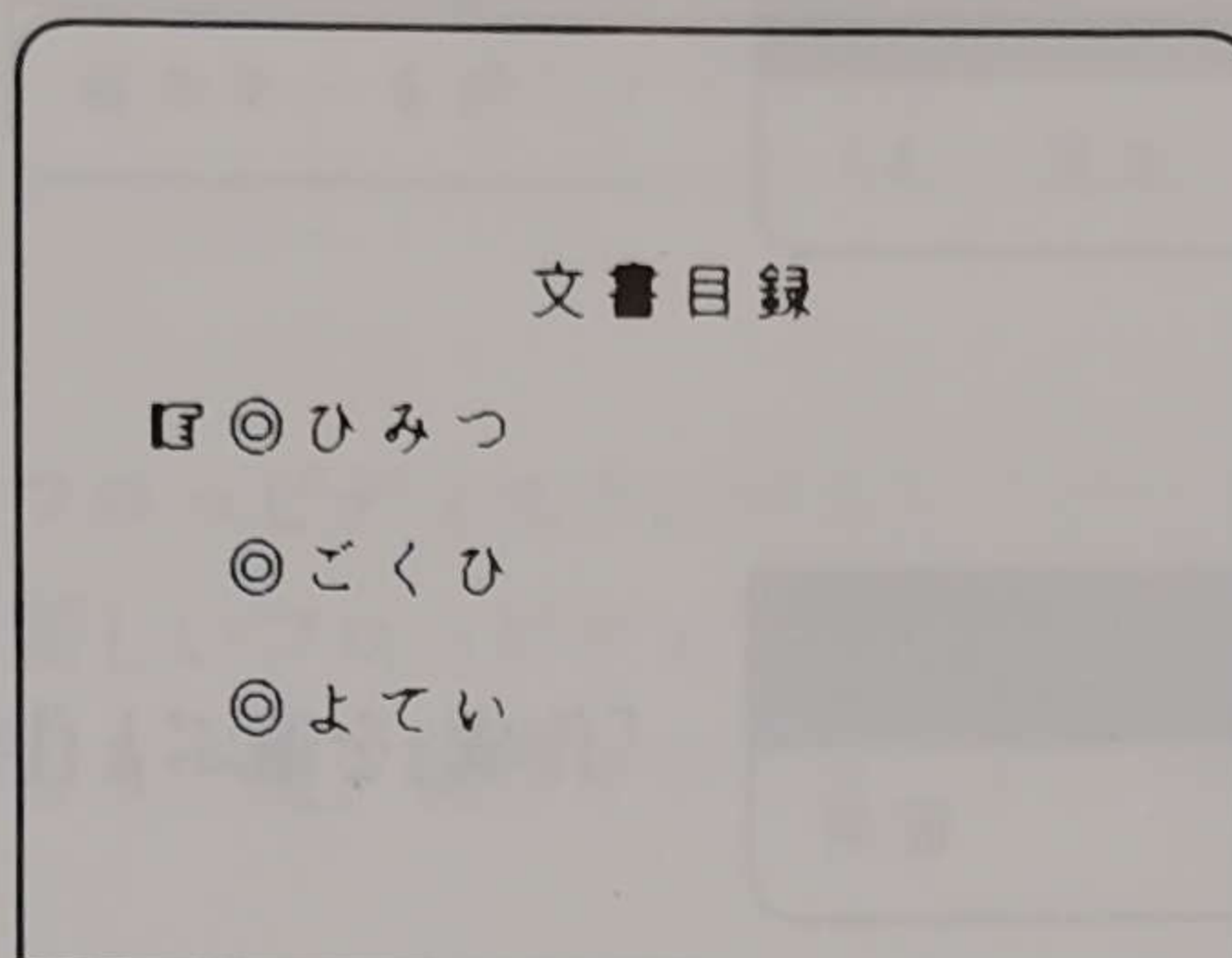
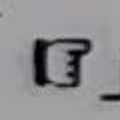
呼び出す文書を指定する

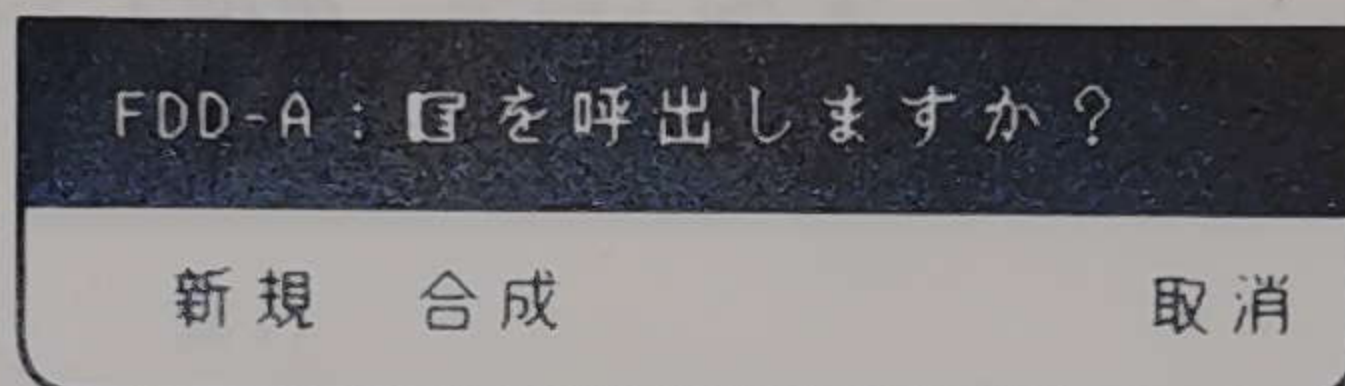
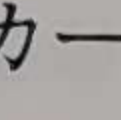
フロッピディスクから文書を呼び出すには次の操作を行います。

F1 文書を押す

F1

文書目録

☞◎ひみつ
◎ごくひ
◎よてい

「文書」を選ぶと、目録画面に文書名が表示されます。

FDD-A：☞を呼出しますか？
新規　合成　取消

1画面には5つまでの文書名が表示できます。保存された文書の数が5以上あるときは、1番下の行にカーソルを移動して、さらに ↓ を押すと、別の文書名を表示する画面に変わります。

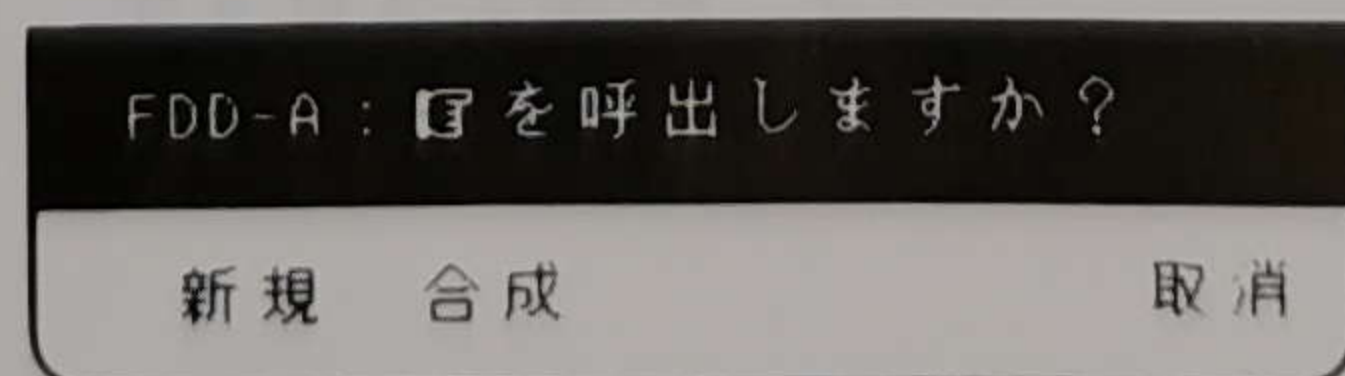
「☞」を呼び出す文書へ移動する

↓ または ↑

文書目録

◎ひみつ
☞◎ごくひ
◎よてい

カーソルキーで「☞」を動かして、呼び出したい文書名にあわせます。

FDD-A：☞を呼出しますか？
新規　合成　取消

↓ を押し過ぎて次の目録画面になってしまったときは、↑ を押しても前の目録画面にはもどれません。
↓ を押し続けると、もとの目録画面にもどることができます。

呼び出す辞書を指定する

フロッピディスクに保存した辞書を呼び出すときは、以下の操作を行います。

FDD-A：何を呼出しますか？
文書　辞書　取消

F2

F2 辞書を押す

辞書目録
☞◎じしょ1
◎じしょ2
◎じしょ3

「辞書」を選ぶと、目録画面に辞書名が表示されます。

FDD-A：☞を呼出しますか？
実行　取消

1画面には5つまでの辞書名が表示できます。保存された辞書の数が5以上あるときは、1番下の行にカーソルを移動して、さらに ⬇ を押すと、別の辞書名を表示する画面に変わります。

⬆ または ⬇

「☞」を呼び出す辞書に移動する

辞書目録
◎じしょ1
☞◎じしょ2
◎じしょ3

カーソルキーで「☞」を動かして、呼び出したい辞書名にあわせます。

FDD-A：☞を呼出しますか？
実行　取消

⬇ を押し過ぎて次の目録画面になってしまったときは、⬆ を押しても前の目録画面にはもどれません。

⬇ を押し続けると、もとの目録画面にもどることができます。

画面に呼び出す

「新規」を選ぶと、呼び出した文書だけが使用できます。「合成」を選択すると、呼び出す文書は、すでに表示されている文書や使用している辞書に合成されます。

F1 新規を押す

F1

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・・

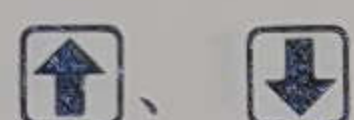
01.01.01 書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

「新規」を選ぶと、文書の場合は呼び出した文書が、辞書の場合は呼び出しの操作をおこなう前の画面が文書作成画面に表示されます。

2つ以上の文書を合成する

すでに呼び出した文書に、他の文書を合成することができます。

カーソルを合成したい位置の前の行におく

↑、↓

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》・・・・・・・・・・・・・・・

01.02.01 書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

合成する文を書き始める前の行にカーソルを移動します。

文書目録
◎ひみつ
☞◎こくひ
◎よてい

FDD-A：☞を呼出しますか？
新規　合成　取消

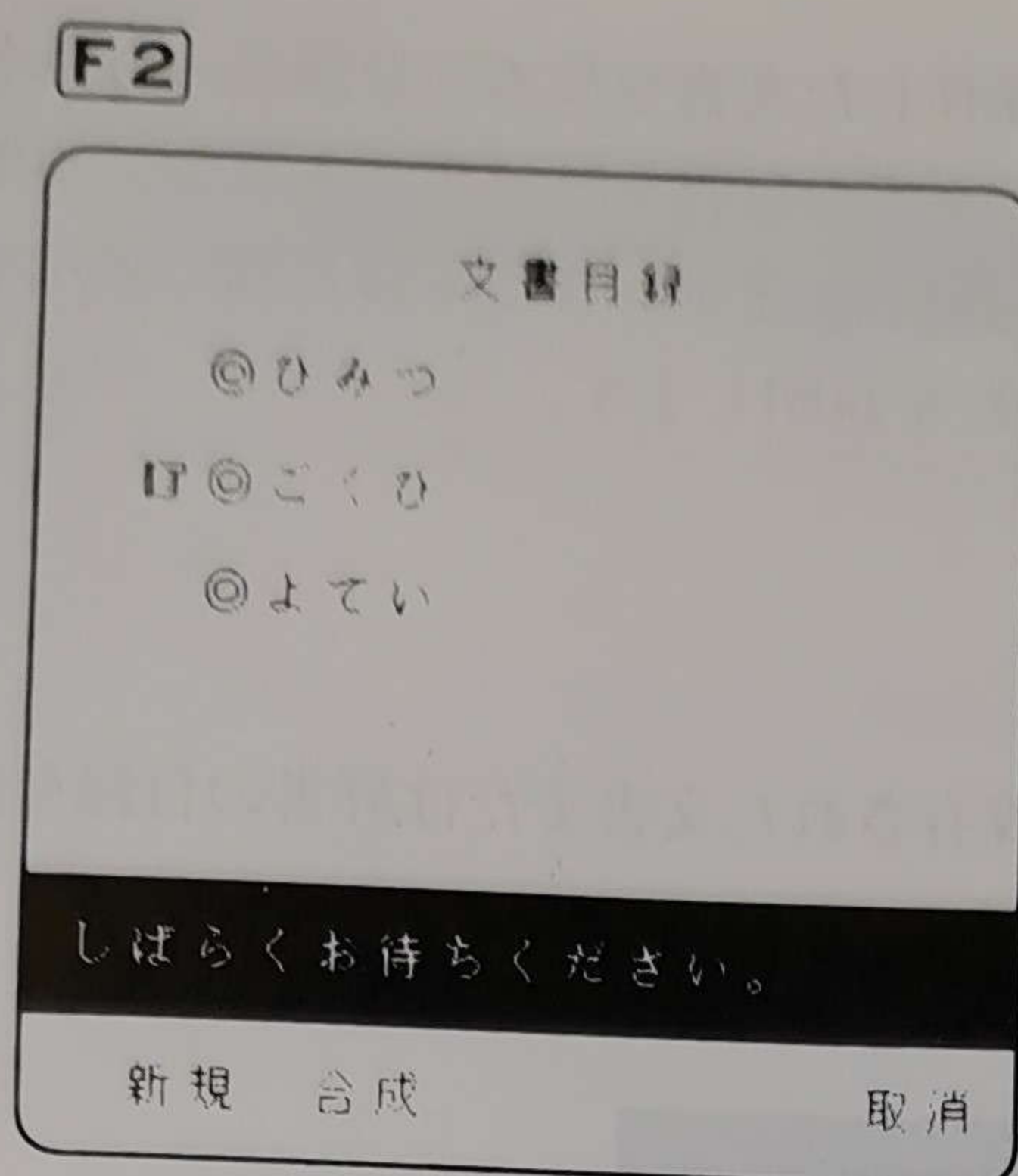
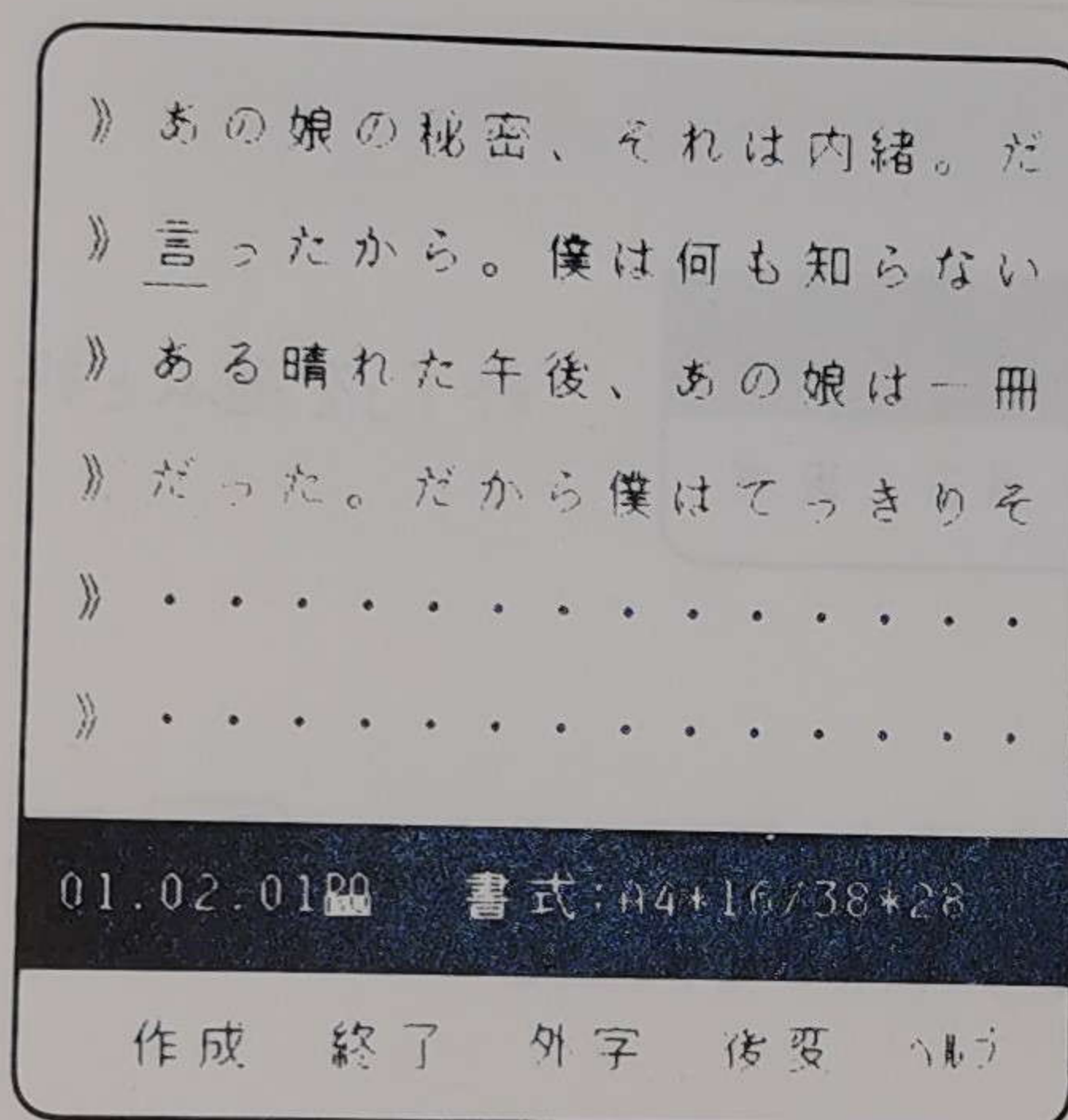
文書の呼出の要領で、左のように画面を表示させます。

F2 印刷を押す

F2

文書目録
◎ひみつ
IT◎こくひ
◎よてい
しばらくお待ちください。
新規　合成　　　取消

「印刷」を選ぶと、メニュ行にメッセージが表示されます。

》あの娘の秘密、それは内緒。だ
》言ったから。僕は何も知らない
》ある晴れた午後、あの娘は一冊
》だった。だから僕はてっきりそ
》・・・・・・・・・・・・・
》・・・・・・・・・・・・・
01.02.01　書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　倍変　ヘルプ

数秒後、カーソルの次の行から、呼び出した文書が合成され、画面に表示されます。

書式は1番最初に呼び出された文書の書式にあわせられます。

エラー表示が出た場合（▶172ページ）。

フロッピディスクの文書や辞書の管理

フロッピディスクに保存した文書や辞書の登録名の目録を画面に表示し、それを印刷することができます。文書や辞書を呼び出すときや、不要な文書や辞書を削除するときも、この一覧表が利用できます。ここでは目録の表示や印刷の方法と、保存文書（辞書）の消去のしかたを説明します。

目録を表示・印刷する

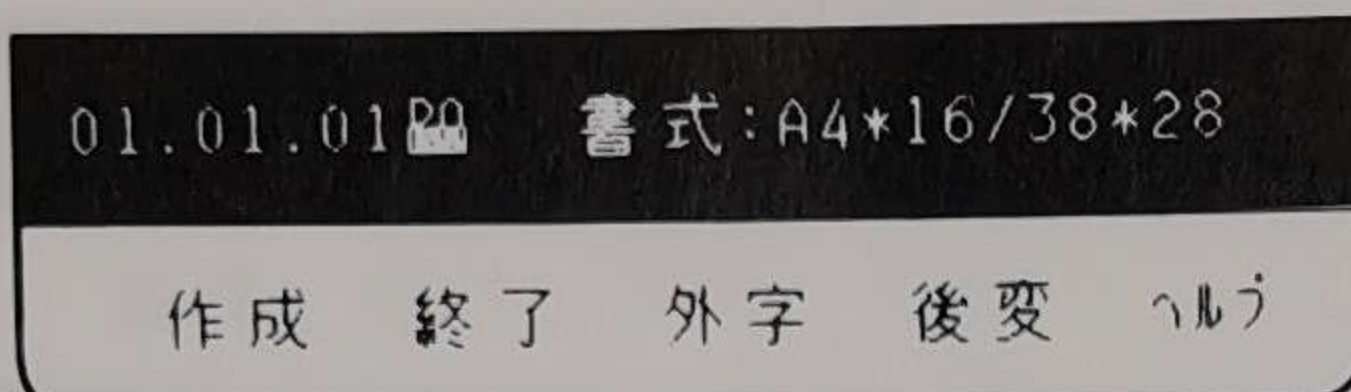
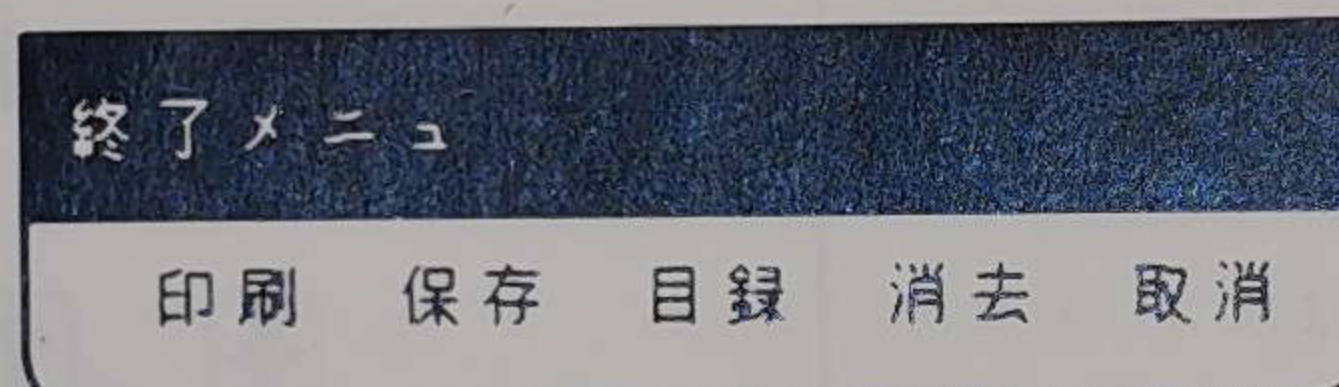
フロッピディスクへ保存された文書または辞書の目録を表示するときは、次の操作をします。

STOPを押して初期メニュを出す

```
01.01.01    書式:A4*16/38*28
作成  終了  外字  後変  ヘルプ
```

F2 終了を押す

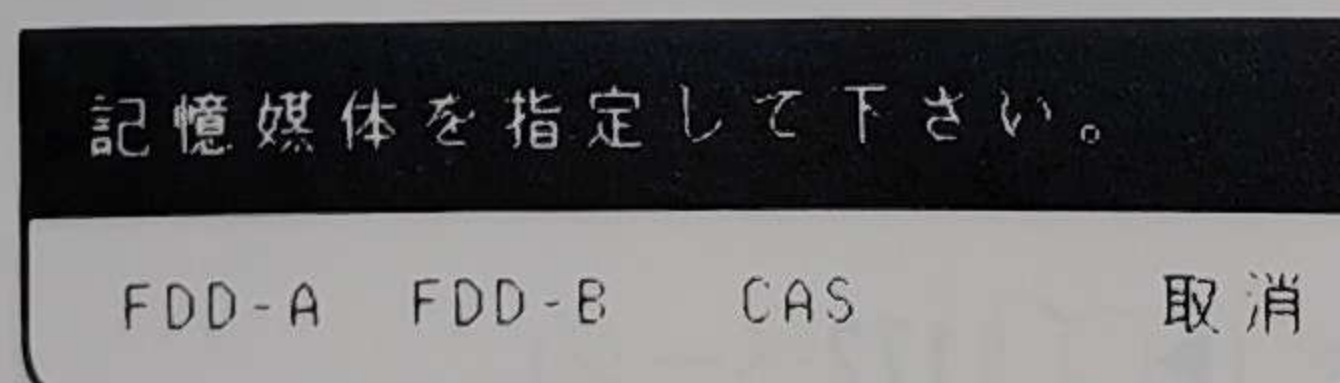
F2

```
終了メニュ
印刷  保存  目録  消去  取消
```

「終了」を選ぶと終了メニュに変わります。

途中でやめるとき
目録を表示する操作を途中でやめるときは、**F5**「取消」を押すと、初期メニュにもどります。このあとの操作でも同様です。

F3 目録を押す

F3

```
記憶媒体を指定して下さい。
FDD-A  FDD-B  CAS  取消
```

「目録」を選ぶと、状態表示行にメッセージが表示されます。

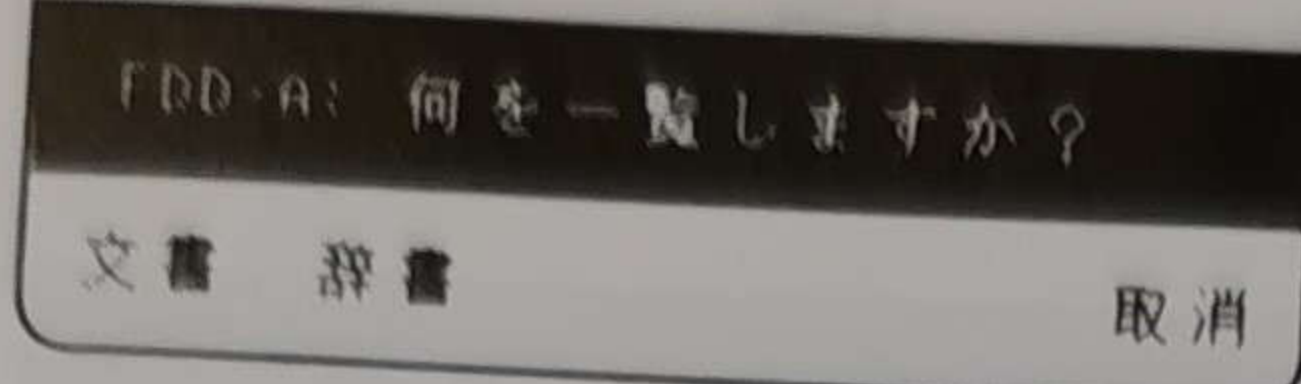
記憶媒体の選択について
拡張スロットによって2台のディスクドライブが接続されている場合は、FDD-A、FDD-Bのどちらかを選択します。

カセットでは目録の表示はできません。**F3**「CAS」を押しても画面は初期メニュに戻ってしまいます。

F1 FDD-Aを押す

F1

FDD-A: 何を一覧しますか?

文書　辞書　取消

「FDD-A」（ドライブA）を指定するとメッセージが表示されます。

F1 文書を押す

F1

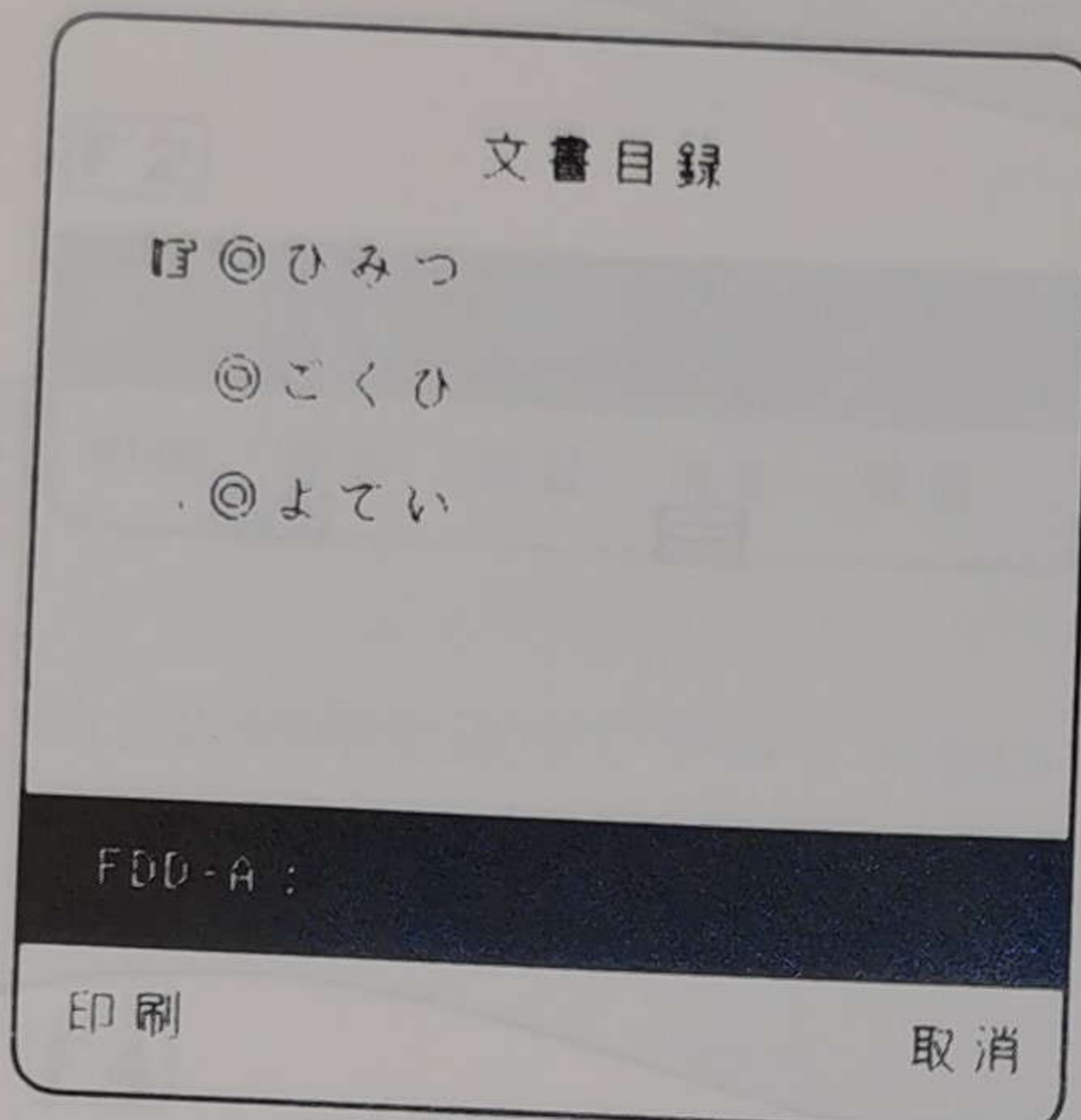
文書目録

☞◎ひみつ

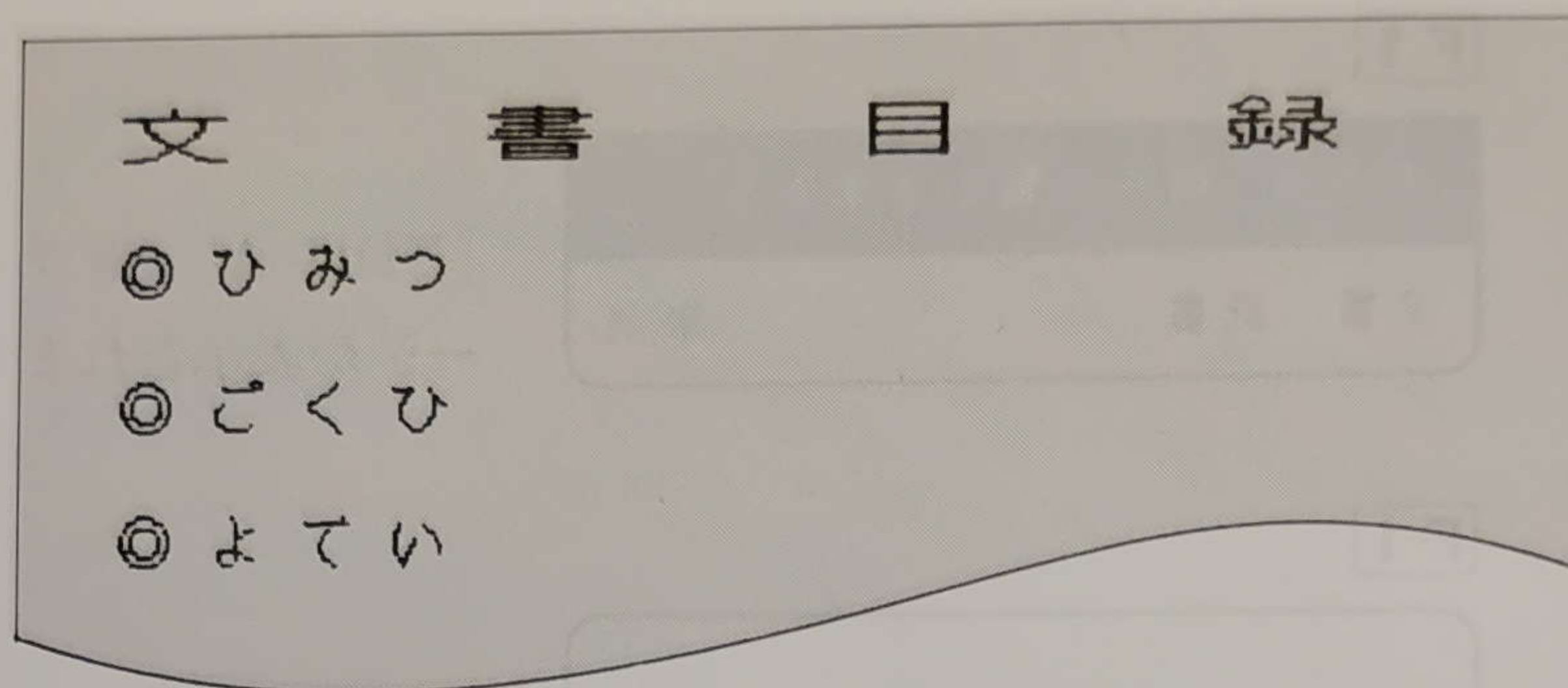
◎こくひ

◎よてい

FDD-A:

印刷　取消

「文書」を選ぶと目録画面に保存した文書名が表示されます。

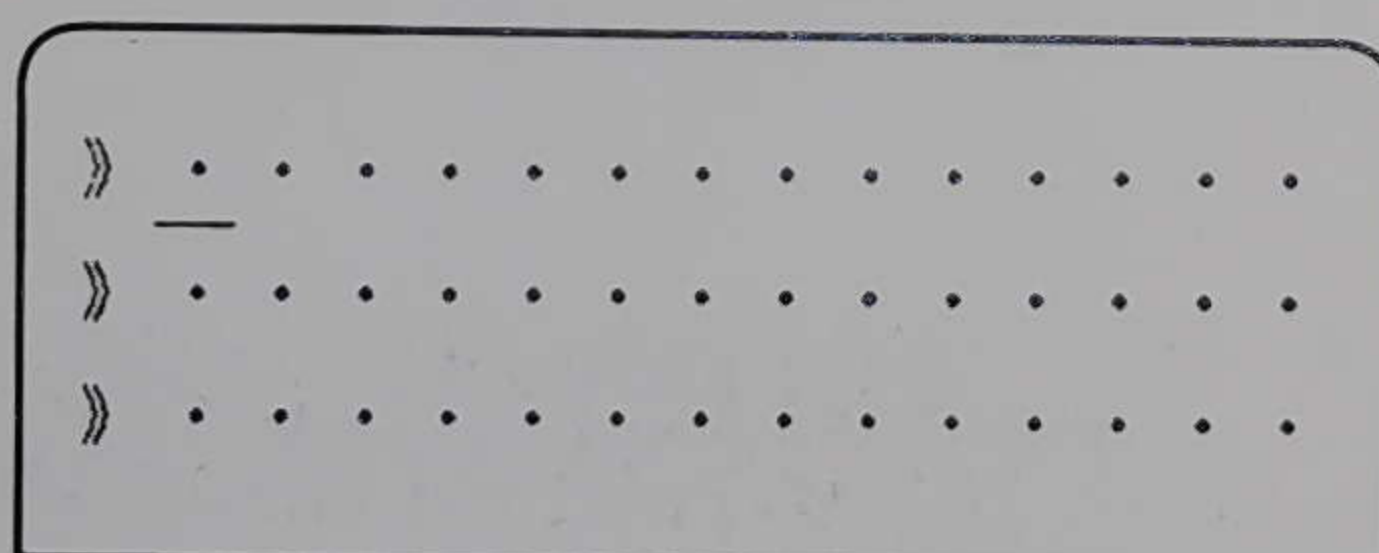
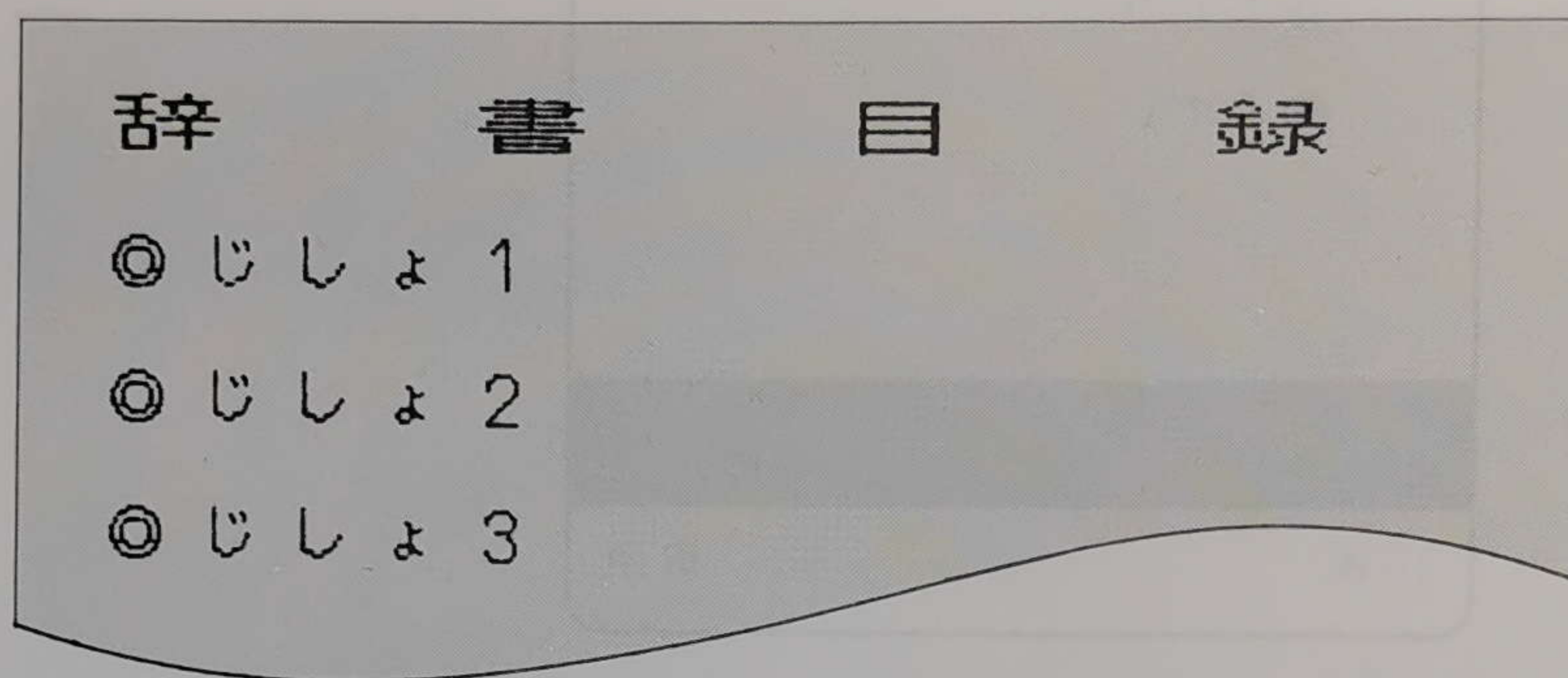
F2「辞書」を押すと、辞書名の目録が表示されます。

F1 実行を押す

文　　書　　目　　録
◎ひみつ
◎ごくひ
◎よてい

「実行」を選ぶと、文書目録が印刷されます。

辞書目録の場合……

辞　　書　　目　　録
◎じしょ1
◎じしょ2
◎じしょ3

》_ . . . .
》 . . . .
》 . . . .

目録の印刷が終わると、目録の操作を行う前の終了メニュ画面にもどります。

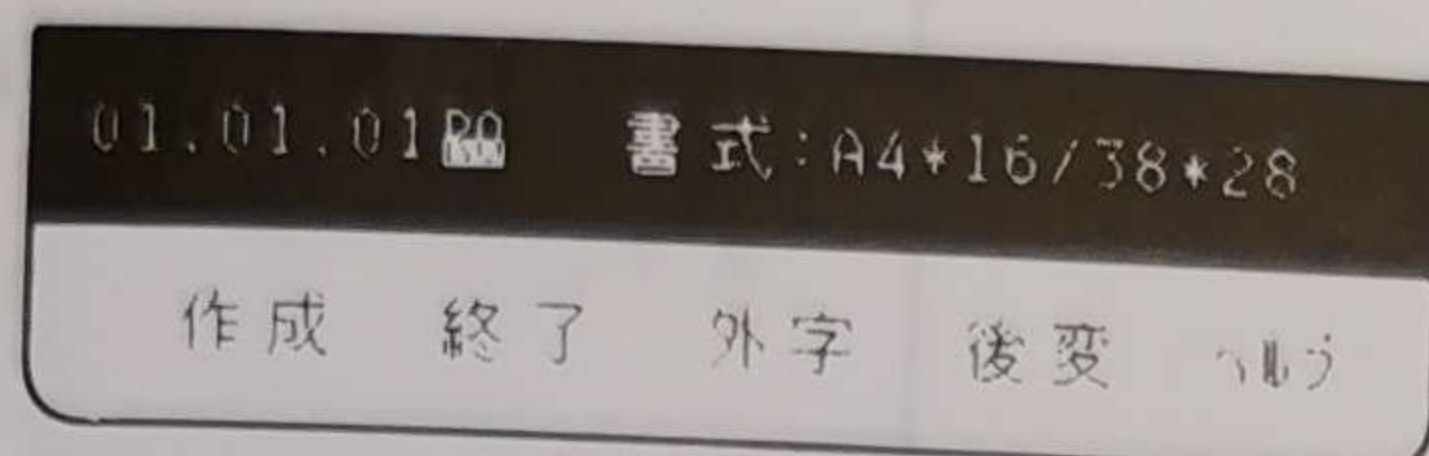
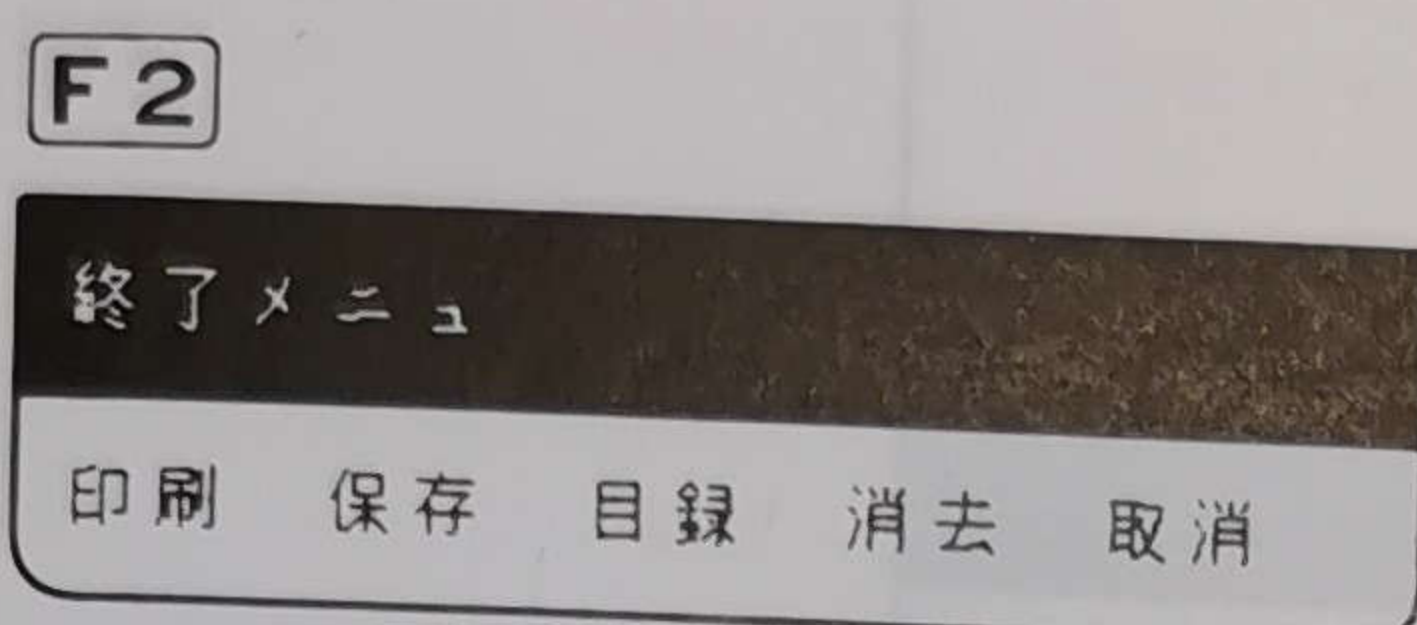
終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

保存した文書や辞書を消去する

フロッピディスクへ保存した文書や辞書を消去します。

STOP を押して初期メニュを出す

01.01.01 書式:A4*16/38*28
作成　終了　外字　後変　ヘルプ

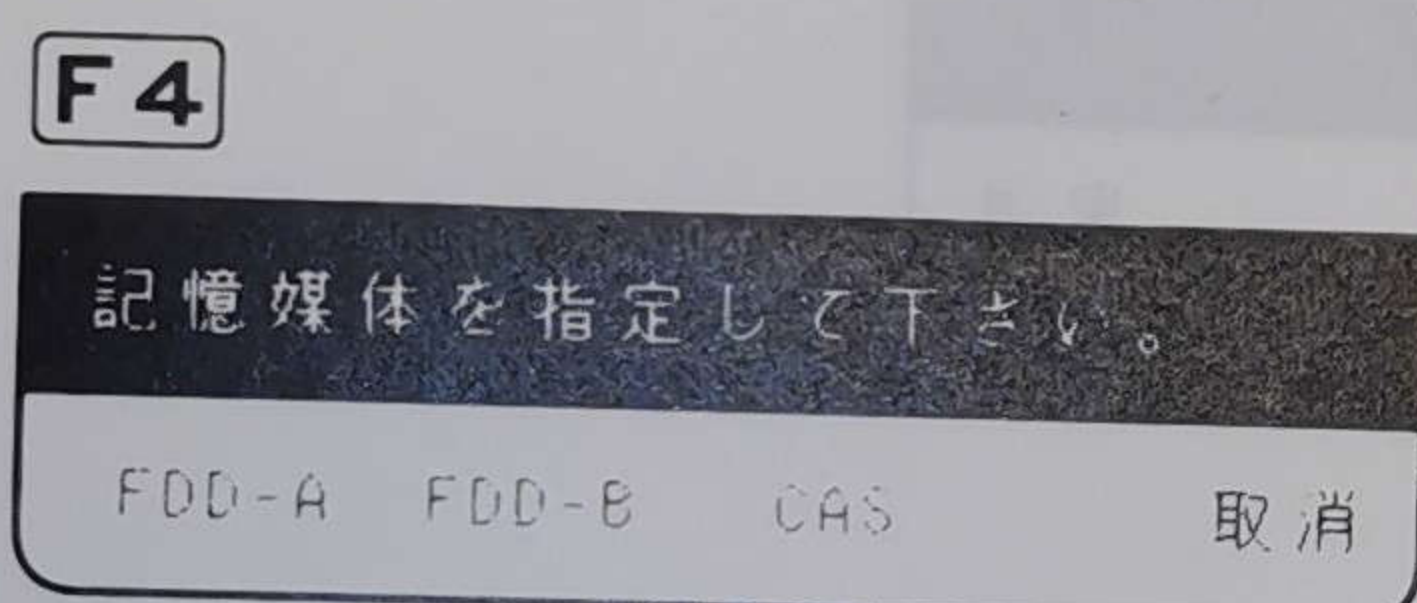
F2

F2 終了を押す

終了メニュ
印刷　保存　目録　消去　取消

「終了」を選ぶと、状態表示行に終了メニュが表示されます。

消去の操作を途中でやめるときは F5「取消」を押すと初期メニュにもどります。このあとの操作でも同様です。

F4

F4 消去を押す

記憶媒体を指定して下さい。
FDD-A　FDD-B　CAS　取消

「消去」を選ぶと、状態表示行にメッセージが表示されます。

記憶媒体の選択について（▶📖178ページ）。

F1

F1 FDD-A を押す

FDD-A: 何を消去しますか？
文書　辞書　取消

「FDD-A」（ドライブA）を選ぶとメッセージが表示されます。

消去する文書を指定する

F1 文書を押す

F1

文書目録
☞◎ひみつ
◎ごくひ
◎よてい
FDD-A: ☞を消去しますか？
実行　取消

「文書」を選ぶと目録画面に文書目録が表示されます。

消去する辞書を指定する

FDD-A: 何を消去しますか？
文書　辞書　取消

F2 辞書を押す

F2

辞書目録
☞◎じしょ1
◎じしょ2
◎じしょ3
FDD-A: ☞を消去しますか？
実行　取消

「辞書」を選ぶと目録画面に辞書目録が表示されます。

文書名や辞書名を指定する操作はフロッピディスクから文書を呼び出すときの方法（▶173ページ）と同じです。

ここで **F1**「実行」を押すと、すぐに消去がおこなわれます。消去された文書の復元はできないので、気をつけて操作してください。

消去を完了する

消去を実行する前に、もう一度、指定した文書名や辞書名を確認してください。

[F 1]

[F 1] 実行を押す

作成　終了　外字　後変　ヘルプ

「実行」を選ぶと指定した文書または辞書が消去されます。
画面は操作をおこなう前の文書作成画面にもどります。

付　録

このソフトの各種一覧（ローマ字変換規則・記号・内蔵句・機能）と索引が入っています。わからないことや調べたいことがあるときにご活用ください。また、操作をしていて、故障かな？と思われる現象やエラーメッセージが出たときの対処の方法もあります。困ったときにお読みください。

付録の内容

ローマ字変換の規則一覧

ローマ字入力でひらがなを書くときの規則です。
CAPSLOCKのランプが点灯した状態で書くと**カタカナ**が書けます。

母音

文				字	ロ	ー	マ字	入	力
あ	い	う	え	お	a	i	u	e	o

子音と母音

文				字	ロ	ー	マ字	入	力
あ	い	う	え	お	va	vi	vu	ve	vo
か	き	く	け	こ	ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ	sa	si	su	se	so
た	ち	つ	て	と	ta	ti	tu	te	to
な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	hu	he	ho
ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
や	い	ゆ	いぇ	よ	ya	yi	yu	ye	yo
ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
わ	うぃ	う	うぇ	を	wa	wi	wu	we	wo
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	la	li	lu	le	lo
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	zi	zu	ze	zo
じゃ	じ	じゅ	じぇ	じょ	ja	ji	ju	je	jo
だ	ぢ	づ	で	ど	da	di	du	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	pa	pi	pu	pe	po
ふぁ	ふぃ	ふ	ふぇ	ふぉ	fa	fi	fu	fe	fo
ゎ	ゐ	う	ゑ	お	qa	qi	qu	qe	qo

特殊なカタカナ（CAPSLOCKのランプが点灯状態）

ヮ	ヰ	ウ	ヱ	オ	QA	QI	QU	QE	QO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ	VA	VI	VU	VE	VO

子音とHと母音

文字					ローマ字入力				
ちゃ	ち	ちゅ	ちぇ	ちょ	cha	chi	chu	che	cho
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ	dha	dhi	dhu	dhe	dho
しゃ	し	しゅ	しぇ	しょ	sha	shi	shu	she	sho
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ	tha	thi	thu	the	tho

特殊なカタカナ（CAPSLOCKのランプが点灯状態）

ヵ	ヒ	フ	ヶ	ホ	KHA	KHI	KHU	KHE	KHO

子音とSと母音

つ	tsu

子音とYと母音

ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ	lya	lyi	lyu	lye	lyo
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ	kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ	sya	syi	syu	sye	syo
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ	cya	cyi	cyu	cye	cyo
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ	tya	tyi	tyu	tye	tyo
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ	nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ	hya	hyi	hyu	hye	hyo
ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ	fya	fyi	fyu	fye	fyo
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ	mya	myi	myu	mye	myo
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ	rya	ryi	ryu	rye	ryo
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ	gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ	jya	jyi	jyu	jye	jyo
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ	zya	zyi	zyu	zye	zyo
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ	dya	dyi	dyu	dye	dyo
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ	bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ	pya	pyi	pyu	pye	pyo

「ん」、「っ」（促音）、「ー」（長音）

ん	n(子音の前)、nn(母音とyの前)
っ	子音キーを2度押す(ttやppなど)
ー	x

機能一覧

このソフトの機能の一覧表です。操作方法はそれぞれのページをお読みください。

機能一覧

用途	機能	はたらき	ページ
文書作成	書式の設定	用紙サイズ、1ページの行数、桁数を指定する	70
	書式の変更	用紙サイズ、1ページの行数、桁数を変更する	76
	全文書クリア（消去）	作成中の文書を全て消去する	72
	ひらがな		
	かな入力	かなキーを押して文字を書く	41
	ローマ字入力	英字キーでローマ字を押してひらがなを書く	38
	英字	英字の大文字、小文字を書く	45
	数字	数字を書く	47
	英記号・かな記号	英記号とかな記号を書く	47
	半幅文字	数字、英字の幅を半分にする	49
	倍幅文字	文字や記号の幅を2倍にする。	144
	漢字変換	ひらがなを漢字に直す。	77
	特殊記号（文字）	☎♡㉅㈱などの特殊な文字や記号を書く	89
	日常漢字	様、殿、番など日常でよく使う漢字を書く	91
	内蔵句	手紙や案内文でよく使う慣用句を呼び出す	95
	リピート文字	同じ文字や記号をくり返し書く	97
	タブ	カーソルをタブ位置へ跳ばす	99
	タブ位置表示	状態表示行にタブ位置を表示する	67
	タブセット	タブ位置を設定する	99
	タブリセット	設定したタブを解除する	102
	全体レイアウト表示	1ページ全体の形を表示する	66
	改行	行を変える	104
	罫線／作表	11種のパターンで罫線を引く／表を作る。	107
文字の修正	1文字削除	1文字を削除する	129
	重ね書き	文字の上に文字を重ねて書く	127
	1文字挿入	1文字分の空きを作る	128
	1行挿入	行単位で挿入する	128
	1行削除	行単位で削除する	130
	ブロック削除	文字の範囲を指定して削除する	131
ユーザ辞書の登録	ユーザ辞書登録	よく使う単語などをユーザ辞書に登録する	113
	ユーザ辞書呼出	登録したユーザ辞書を呼び出す	115
	ユーザ辞書一覧の印刷	ユーザ辞書の一覧を印刷する	117
	ユーザ辞書削除	登録した単語をユーザ辞書から削除する	118

用　途	機　　能	は　た　ら　き	ページ
外字作成	外字作成	自分で文字や記号を作る	120
	外字の一部を削除	外字の一部を削除する	122
	外字の呼出	作成した外字を文書中に呼び出す	124
	外字クリア	作字した外字を消去する	125
	外字の保存	外字をカセットテープかフロッピディスクに保存する	126
	外字の更新	外字を作り直す	126
カーソル移動	カーソルの移動	カーソルを⬆⬇⬅➡（上下左右）に移動する	62
		画面の左上すみに移動する	63
		前のページに移動する	65
		次のページに移動する	65
編　　集	センタリング	文字を中央に合わせる	139
	右寄せ	文字を右端に寄せる	140
	倍幅	文字の幅を2倍にする	144
	アンダーライン、	文字にアンダーラインをつける	146
		アンダーラインを消す	147
	複写	文字を他の位置へ複写する	134
	移動	文字を他の位置へ移動する	134
印　　刷	印刷形式の変更		
	一括／一行印刷	まとめて全文を印刷する（一括印刷）	152
		指定した1行のみを印刷する（一行印刷）	152
	禁則処理の有無	「、」や「。」「」」などの記号が、行の先頭にこないように自動的に調整する（禁則有）	153 153
		禁則処理を行わない（禁則無）	154
	縦書／横書印刷	縦書きの文書を印刷する（縦書印刷）	152
		横書きの文書を印刷する（横書印刷）	153
	プリンタの種類	自分の持っているプリンタに合う機種を指定する	155
	印刷を開始する	作成した文書を印刷する	156
フロッピディスクへの文書／辞書の保存と呼出	文書／辞書の保存	フロッピディスクに文書または辞書を保存する	169
	文書／辞書の呼出	フロッピディスクから文書または辞書を呼び出す	173
	文書の合成	2つ以上の文書を合成する	176
	文書／辞書の登録名の一覧印刷	フロッピディスクに保存した文書または辞書の登録名の一覧印刷をする	178
	文書／辞書の削除	フロッピディスクへ保存した文書または辞書を消去する	181
カセットテープへの文書／辞書の保存と呼出	文書／辞書の保存	カセットテープに文書または辞書を保存する	160
	文書／辞書の呼出	カセットテープから文書または辞書を呼び出す	164
	文書の合成	2つ以上の文書を合成する	167

特殊記号一覧

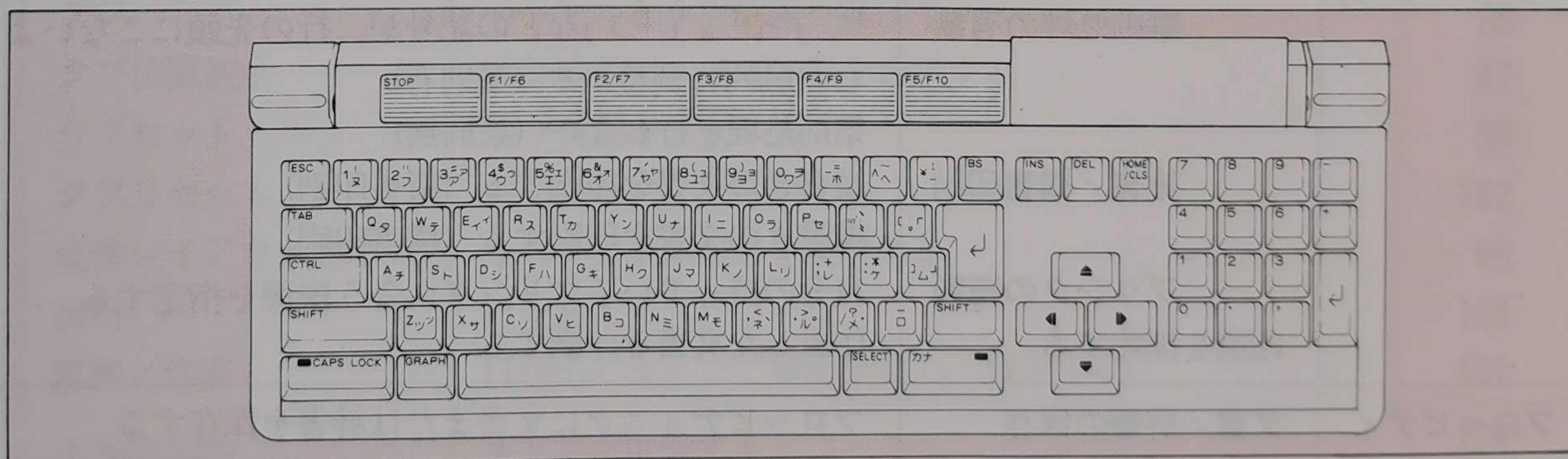
このソフトに入っている特殊記号の一覧です。それぞれのファンクション キーに対応する記号ごとにまとめてありますが、スラッシュ(／)の右側の記号を選択するときは、SHIFT を押しながら対応するファンクションキーを押します(▶📖89ページ)。

特殊記号一覧

F1	F2	F3	F4	F5
㊞ ㊙	㈱ ㈲	㈳ ㈹	㈺ (注)	㉂ ㉃
☎ 〠	✂ ※	ゝ ゞ	々 ヵ	〆 ヶ
№ §	☝ ☞	… ⇔	⇨ ⇦	⇧ ⇩
℃ ℓ	🏠 [illegible]	α β	γ θ	λ π
× ÷	♪ ♡	◇ ▽	▲ △	○ □

かな入力時に書ける特殊記号のキーボード対応図

下記のキーボード上の記号は、かな入力モード(平)のときと、カタカナ入力モード(囲)のときに、 所定のキーを押すと書ける記号の一覧です。キーボードの種類によって書ける記号の種類は異なります。

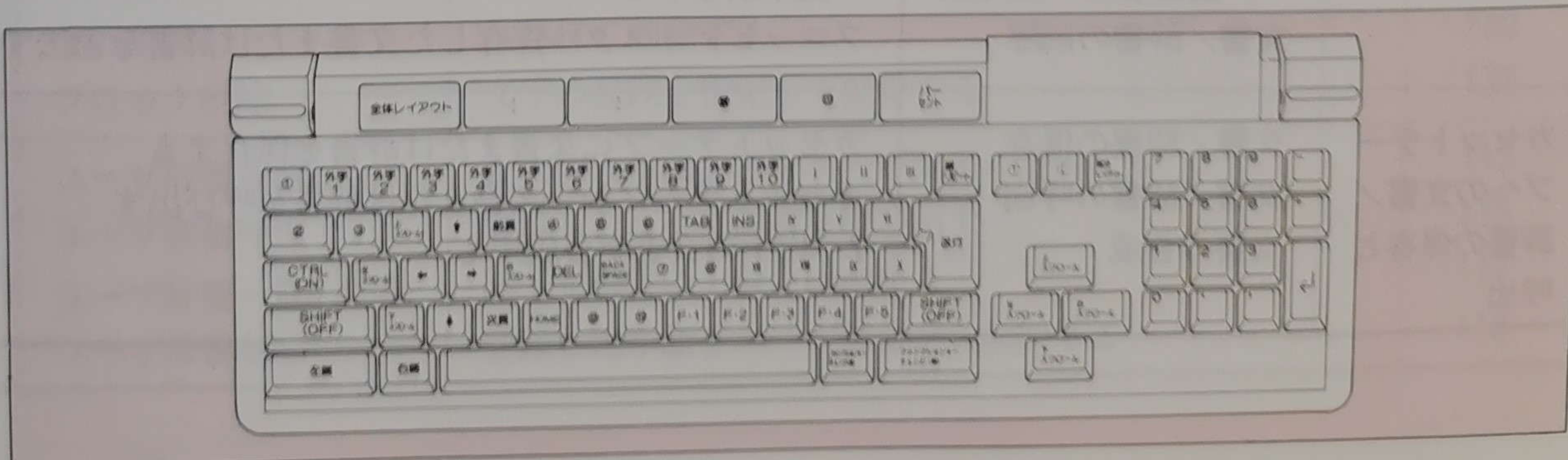
JIS配列キーボードの場合

ひらがな入力モードのときに、CTRL を押します。

ひらがな入力モードのときに、SHIFTを押します。

カタカナ入力モードのときに、SHIFTを押します。

50音配列キーボードの場合

ひらがな入力モードのときに、SHIFTを押します。

カタカナ入力モードのときに、SHIFTを押します。

内蔵句一覧

内蔵句は00～99の番号で登録されています。この一覧では、100種の内蔵句を目的別に分類してあります。

実用手紙文(季節のあいさつ・慶弔文)

分類	番号	内蔵句
年賀	00	明けましておめでとうございます。
	01	謹んで新年のお喜びを申し上げます。
	02	昨年中は格別の御指導をいただき厚くお礼を申し上げます。
	03	旧年中はひとかたならぬお世話になりましてありがとうございました。
	05	本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。
	06	本年もよろしく御指導のほどお願いいたします。
	07	皆様にとって幸多き年でありますようお祈りしております。
	08	昨年中は格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。
	09	今年も一層の御愛顧のほどをお願い申し上げます。
	10	本年も変わらぬ御厚誼のほどお願い申し上げます。
	63	幸多き御迎年をお喜び申し上げます。
	68	昨年中はなにかと御庇護を賜わり感謝申し上げます。
	73	輝かしき新春を迎え、謹みて御一同様の御清栄をお喜び申し上げます。
	74	本年も格別のお引き立てのほどを懇願申し上げます。
	12	父の喪に服しておりますので、お年賀は御遠慮させていただきます。 寒さの折から、御自愛のほどお祈り申し上げます。
	13	新年の御挨拶ありがとうございました。 皆様お元気でよい年を迎えられましたこと、何よりと存じます。 実は私ども、昨年　　月、母を亡くしまして服喪中のため、お年賀は遠慮させていただいております。 まずはお礼かたがた御挨拶まで。

分類	番号	内蔵句
春	32	初春とはいいながら厳しい寒さですが、
	33	春寒の候
	34	立春とは名ばかりで相変わらず寒さが続いております。
	35	どことなく日の色が暖かく、春を思わせるようになりました。
	36	早春の候
	37	急に春めいてまいりました。
	38	やわらかな日ざしが日一日と暖かさを加えるこのごろ、
	39	陽春の候
	40	桜花爛漫うららかな季節となり、
	84	梅のつぼみもようやくふくらみはじめ、
	85	早くも花だよりの聞かれるころとなり、
	86	花冷えの今日このごろ、
	87	音もなく春雨が降っております。

季節	番号	文
夏	41	新緑の候
	42	風薫る新緑の好季節、
	43	すがすがしい若葉の光が目にしみるようです。
	88	五月晴れの日が続きます。
	44	初夏の候
	45	うっとうしい梅雨の季節となりました。
	90	暑気日ごとに加わります折から、
	91	海山が恋しい季節となりました。
	46	盛夏の候
	47	炎暑の候
	48	暑さの厳しい折、
	77	毎日しのぎがたい暑さですが、いかがお過ごしですか。
	92	草も木も生気を失うような暑さが続いています。
	14	暑中お見舞い申し上げます。
	15	厳しい暑さですが、皆様お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。
	16	暑い日が続きますが、お元気でお過ごしのことと存じ上げます。
	18	まだ当分は暑さが続くとのこと、くれぐれも大切になさいますようお祈り申し上げます
	23	暑さ厳しき折、ますます御健勝のことと存じ上げます。ますようお祈り申し上げます 平素は格別の御愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。今後とも一層お引き立てくださいますよう、ひとえにお願い申し上げます。
	49	残暑の候

季節	番号	文
秋	19	立秋を過ぎましたのに、相変わらず厳しい暑さが毎日続いております。
	20	さすがに朝夕はいくぶん涼しくなってきたようですが、御無理をなさらずに残りの暑さを切り抜けられますようお祈りしております。
	89	すがすがしい風が吹き抜けるころとなり、
	50	暦の上では秋とはいえ、まだまだ残暑の厳しい今日このごろです。
	51	新秋の候
	52	ようやくしのぎやすい季節となりました。
	53	日増しに秋の深まる気配を感じます。
	54	秋もいよいよ深まり、朝夕肌寒さをおぼえるころとなりました。
	55	満山紅葉、行楽の好季節となりました。
	56	晩秋の候
	57	落ち葉の散りしくころとなり、
	94	虫の声に秋の気配が感じられるようになりました。
	95	灯下親しむの候となりました。

秋	９６	秋雨の候
	９７	菊花薫るころ、

冬	９３	朝夕はいくぶん冷気を覚えるこのごろ、
	５８	おいおい寒さに向かいます折、
	７８	朝夕の寒さことに厳しくなりました。
	９８	初霜の知らせに驚かされました。
	９９	木枯らし吹きすさぶころとなりました。
	８３	星も凍るような寒い夜です。
	５９	師走の候
	６０	年内いよいよ余日少なく、各位にはさぞかし御繁忙のことと拝察いたします。
	６１	本年もいよいよ押し迫ってまいりました。
	３１	厳寒の候
	２２	厳しい寒さの折から、くれぐれもお体をおいといくださいますよう祈っております。
	２１	寒にはいりましてから急に冷え込みが厳しくなりました。
	８２	寒にはいってひとしお寒さが厳しくなりました。
	２４	謹んで寒中お見舞い申し上げます。 平素は御愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。今後とも一層のお引き立てをよろしくお願い申し上げます。

慶弔文	６５	かねてより御心配をいただいておりました妻　　　が、　　日午前　時　　分、男の子を出産いたしました。体重は　　　　グラム、お陰さまで母子ともに健全ですので御安心ください。
	７０	♡　ＨＡＰＰＹ　ＢＩＲＴＨＤＡＹ　ＴＯ　ＭＩＳＳ
	８１	御尊父様御事、御療養の効もなく御永眠遊ばされました由ただ驚き入りました。かほどの御容体とも存じませず、お見舞いにも参上いたしませず、まことに残念と申すほかはございません。皆様のお力落としはいかばかりかと拝察申し上げます。

実用手紙文（商用）

社用	26	拝啓　時下いよいよ御清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは格別の御支援を賜わり深謝申し上げます。 さて、このたびの御用命品、さっそく手配いたしましたが、すでに御入手のことと拝察いたします。 つきましては以上の代金、別紙のとおりでございますから、よろしく御高配いただきたくお願い申し上げます。
	27	拝啓　毎々お引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。 さて、　月　日付をもって御送付いただきました　の代金、金　円也、お約定どおり、　月　日付書留速達便にて　銀行小切手を御送金申し上げました。すでにお受け取りのことと存じますが、いまなお領収書の御送付がございません。 つきましては、整理の都合もございますので、至急お取り調べの上、領収書を御送付くださるようお願い申し上げます。
	62	本年度の業績を回顧するとともに来年度の見とおしと諸計画につき各位の御高見を拝聴いたし、かつ会員懇親の意味をもって、以下のとおり忘年会を開催いたしたいと存じます。
	66	まずは取りあえず　の御挨拶かたがたお願い申し上げます。
	72	さて例年の通り　県人会総会を以下の通り開催いたします。
	75	今般、　氏が本社営業部長に御栄転、着任されましたので、以下により歓迎会を催したく思います。御参会のほどお願い申し上げます。
	76	さて、このたび当社では、かねてから期しておりました　地区への支店設置を以下のとおり実現する運びとなりました。 当初は不行き届きの点もあるかと存じますが、関係者一同精一杯努めてまいりますので、これまで同様、お引き立て御支援を賜わりますよう、よろしくお願いいたします。
	79	以上御案内申し上げます。追って御出席の有無、折返し御一報下さい。
	80	さて、来る　月　日（　）から　日（　）まで　日間、暑中休暇のため会社を休業いたします。 なお、　日（　）より平常どおり営業、とくに　日（　）は出勤いたしますから御承知を願い上げます。

お知らせ・案内・その他

分類	番号	内容
お知らせ・案内・その他	０４	平素はなにかととりまぎれて御無沙汰にうち過ぎてしまい、申し訳ありません。
	１１	今後一層の御支援を賜わりたくお願い申し上げます。
	１７	くれぐれも御自愛のほどお祈り申し上げます。
	２５	拝啓　青葉の目にしみる季節となりました。皆様ますますお元気で御活躍のことと存じます。 さて、私どもこのたび以下に転居いたしましたので御通知申し上げます。 お暇の折、あるいはこちらの方面においでの節など、遊びにおいでいただければと存じます。 まずは転居の御通知まで。
	６４	おまっとさんでした！ 冬の到来を告げる雪だよりを横目に、今年も恒例のスキーツアーを実施します。 ガッツなボーイズも、ハニーなガールズもきっと満足していただけるように、練りに練った企画の総攻撃！！ さあ、あなたはこの集中砲火にどこまで耐えられるか？
	２８	一、日時 一、会場 一、会費 一、議案
	２９	※　期　間 ※　場　所 ※　募集人員 ※　宿　泊 ※　費　用
	３０	一、名　称 一、所在地 一、電　話 一、開店日
	６７	さて、毎年秋に催してまいりました当クラス会、今回は特に恩師　　　　先生をお招きし、次のように開くこととなりました。つきましては、奮って御参加くださるよう御案内申し上げます。
	６９	平素の疎遠をおわび申し上げます。
	７１	私どもの研究会では、今年もまた以下のように発表会を催すこととなりました。 何分にも未熟な私どもではございますが、日ごろの成果を御覧いただきたいと存じます。

故障かな？とあわてる前に

このソフトを操作した結果が思いどおりにいかず、故障かなと思われるようなことが起こったときにお読みください。

<table>
<tr><th></th><th>症　状</th><th>考えられる原因</th><th>対　策</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">スタート時</td><td>MSX本体の電源が入らない</td><td>電源コードをコンセントに差し込んでいない</td><td>ＭＳＸ本体の電源を切ってから電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる</td><td>12</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＭＳＸ本体の電源を入れても何も画面に表示されない</td><td>テレビの電源が入っていない</td><td>ＭＳＸ本体の電源を切ってからテレビの電源を入れ、改めてＭＳＸ本体の電源を入れる</td><td>13</td></tr>
<tr><td>テレビとＭＳＸ本体の接続が正しくない</td><td>ＭＳＸ本体の説明書などを参考に、接続の確認をする</td><td>13</td></tr>
<tr><td>プログラムカートリッジが正しくセットされていない</td><td>ＭＳＸ本体の電源を切ってから正しくセットし、改めてＭＳＸ本体の電源を入れる</td><td>12</td></tr>
<tr><td rowspan="4">文書作成中</td><td>カーソルが動かない</td><td>メニュ行の機能を選んだ後の操作を完了していない</td><td>その後の操作を指定して、メニュ行の内容を変える</td><td>——</td></tr>
<tr><td>かなが単漢字（１文字の漢字）に直らない</td><td>その漢字が漢字ＲＯＭに入っていない</td><td>外字を作るか、ひらがなを使用する</td><td>120</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かなが熟語に直らない</td><td>その熟語の漢字が漢字ＲＯＭに入っていない</td><td>外字を作るか、ひらがなを使用する</td><td>120</td></tr>
<tr><td>その熟語が辞書に入っていない</td><td>●単漢字を組み合わせて熟語を作る
●同じ漢字を使う熟語を出して必要な漢字を組み合わせて目的の熟語を作る</td><td>83</td></tr>
</table>

	症　状	考えられる原因	対　策	ページ
印刷中	プリンタが動かない	プリンタの電源が入っていない	プリンタの電源を確認する	152
		ＭＳＸ本体とプリンタが正しく接続されていない	ＭＳＸ本体とプリンタの接続を確認する	12
	印刷されない	印刷形式が正しく設定されていない	印刷形式を確認する	158
		用紙が正しくセットされていない	プリンタの説明書にしたがって用紙のセットを確認する	159
呼出・保存中	フロッピディスクに文書や辞書が保存できない	フロッピディスクをフォーマットしていない	フロッピディスクをフォーマットする	11
		誤って他の目的で使用しているフロッピディスクをセットした	このソフト専用のフロッピディスクと取り替える	11
	フロッピディスクから文書や辞書を呼び出せない	フロッピディスクドライブとMSX本体が正しく接続されていない	ＭＳＸ本体の説明書などを参考に、接続の確認をする	12
	カセットテープに文書や辞書を保存できない	カセットテープの誤消去防止用ツメが折られている	カセットテープを新しいものと取り替える	11
	カセットテープから文書や辞書を読み込めない	カセットレコーダの音量が小さすぎる	カセットレコーダの音量を上げる	169
		カセットテープに保存されている部分の頭出しがされていない	テープを巻戻す	169
		カセットテープのリーダー部へ保存した	保存時にミスをすると、読み込みは不可能になる	169

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	エラー理由	訂正方法
デンゲンヲキリ、カンジROM カートリッジヲ　イレテ、デンゲンヲイレナオシテ　クダサイ。	漢字ROMカートリッジが取りつけられていない	MSX本体の電源を切ってから、漢字ROMカートリッジをセットし、改めてMSX本体の電源を入れる
読みが重複します 何かキーを押して下さい	ユーザ辞書を同じ呼び名で登録した	どれかキーを押して、別の呼び名で登録し直す
格納場所不足です 何かキーを押して下さい	ユーザ辞書を、それ以上登録する余裕がない	どれかキーを押してから、作成中の文書か、すでに登録してあるユーザ辞書を削除する
テープ・リード・エラーが発生しました	カセットレコーダの出力が弱い	カセットレコーダの音量を上げる
	接続のミス	本体とカセットレコーダの接続を確認する
	カセットテープに原因がある	カセットテープに原因があるときの呼び出しは不可能
メモリに入りきりません	MSX本体に文書や辞書を読み込む余裕がない	それ以上の読み込みは不可能なので、本体の文書や辞書を削除してからやりなおす
Diskの空エリアがなくなりました	フロッピディスクに文書や辞書を読み込む余裕がない	新しいフロッピディスクに取り替えるか、不要な文書や辞書を削除してから保存しなおす
同じファイル名があります	保存を行うとき、すでにフロッピディスクに同じ登録名で保存された文書や辞書がある	同じ登録名で保存すると、もとの文書や辞書は消去される。もとの文書や辞書を残すときは、別の登録名で保存する
Disk装置に異常が発生しました	フロッピディスクドライブの電源が入っていない	フロッピディスクドライブの電源を入れる
	フロッピディスクドライブ装置の故障や、フロッピディスクが正しくセットされていないなどの操作ミスがある	●フロッピディスクドライブに故障がないかを確認する。もし故障の場合は説明書にしたがい、修理に出す ●フロッピディスクを正しくセットする

桁数と行数を変えた印刷見本

下表は、A4サイズの用紙で書式をいろいろ変えて印刷した場合の見本です。左端の書式は桁数と行数を最も広く設定し、中央はこのソフトに設定されている標準の書式、右端は最も狭く設定した場合の書式の見本です。他の用紙サイズもこの見本に準じますので参考にしてください。

	A4サイズ ： 桁数 × 行数		
	26 × 20	38 × 28	42 × 40
横書	春はあけぼの。や かりて、むらさき 夏は夜。月の頃は びちがひたる。ま ちひかりて行くも	春はあけぼの。やうやう 雲のほそくたなびきたる 夏は夜。月の頃はさらな ひとつふたつなど、ほの	春はあけぼの。やうやうし くたなびきたる。 夏は夜。月の頃はさらなり たつなど、ほのかにうちひ
縦書	春はあけぼの。やうやうしろ かりて、むらさきだちたる雲 夏は夜。月の頃はさらなり。 びちがひたる。また、ただひ ちひかりて行くもをかし。雨	春はあけぼの。やうやうしろくなり行く、 雲のほそくたなびきたる。 夏は夜。月の頃はさらなり。やみもなほ、 ひとつふたつなど、ほのかにうちひかりて	春はあけぼの。やうやうしろくなり行く、山 くたなびきたる。 夏は夜。月の頃はさらなり。やみもなほ、ほ たつなど、ほのかにうちひかりて行くもをか

索　引

この索引は、使用説明書で出てくることばをあいうえお順に並べています。わからないことばが出てきたときには、参照ページで調べてください。

製品仕様

入力方法	ローマ字・カナ漢字自動変換方式（あとから変換付）
表示画面	30文字×6行（高解像度モード）、15文字×6行
表示文字構成	16×16ドット
文字種	JIS第2水準の一部 616文字 特殊文字 19文字 （JIS第1水準の漢字2,965文字と記号など546文字は漢字ROMにより供給）
辞書部	単漢登録数　9,474種 熟語登録数　32,716種 （単漢、熟語には人名約 5,000、地名約 2,700を含む）
編集機能	訂正、挿入、削除、改行、右寄せ、センタリング、アンダーライン、罫線（11種）、半幅文字、倍幅文字、文字列移動、複写、ユーザ辞書登録、外字作成、縦・横リピート、内蔵句（100種）日常漢字、特殊記号、タブ、タブ位置表示、レイアウト表示
印刷機能	横／縦印刷、一括／一行印刷、禁則処理
入力電圧	DC＋5V　±5％
消費電流	160mA
使用温湿度範囲	5～40°C、20～80％
外形寸法	109.3mm（幅）×21.2mm（奥行）×127mm（高さ）
重量	145g

商品構成	・日本語ワードプロセッサカートリッジ ・漢字ROMカートリッジ ・取扱説明書

コナミ　日本語ワードプロセッサカートリッジ
EC701　使用説明書

1985年11月　第1版　第1刷発行

発　　行　コナミ株式会社
〒102　東京都千代田区九段南2丁目3番14号
電　話　(03)262－9111

日本語ワードプロセッサ カートリッジ EC701 使用説明書

MSX, MSX2

Konami®